

平成 25 年度 全国学力・学習状況調査
報 告 書

平成 25 年 10 月

香川県教育センター

はじめに

全国学力・学習状況調査は、平成19年度から本年度までに、震災のため中断された平成23年度を除き、今年度で6回目を終えました。そして、今年度は、平成21年度以来4年ぶりに、悉皆調査で実施されました。

今年度の教科に関する調査では、小学校においては、すべての調査区分で全国平均よりも上位の結果となりました。中学校においては、国語Bにおいて昨年度に比べ全国平均との差は小さくなったものの、依然として全国平均を下回り、課題が残っていますが、国語B以外の調査区分では、全国平均より上位の結果となり、全体として、昨年度に比べて改善傾向が見られる結果となりました。

県教育委員会では、本県の状況が全国との関係の中でより具体的に分かり、課題が浮き彫りとなるよう、教科に関する調査だけでなく、児童生徒や学校質問紙調査も含めて、それぞれについて、また双方の相関関係などについても分析し、その結果をまとめてまいりました。昨年度からは、これまで行ってきた分析内容や方法も踏まえ、以下の点を工夫して報告書を作成しています。

- 平成19年度以降のこれまでの調査で明らかとなった課題の中から、いくつかをピックアップして“Q&A形式”で概論としてまとめています。
- 教科に関する調査や質問紙調査においては、これまでも行ってきた全国と香川県の比較に加え、平成19年度～平成25年度の経年変化を必要に応じて示し、学力や生活習慣、学習環境がどのように推移しているかが分かるようにまとめています。
- 質問紙調査においては、全国平均より上回っているから課題がなく、下回っているから課題があると安直に判断するのではなく、全国平均との比較に加え、各都道府県の回答状況を散布図で示すことによって、本県の状況をより正確に捉えるとともに、取組が推進されている県や学力上位県との比較を県名を挙げて示しています。
- 概論ではColumn欄を、質問紙調査では[参考]欄を設けて、国や本県の取組など、関係する情報を可能な限り掲載しました。

加えて今年度は、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に一層役立つよう報告書作成を迅速に行うとともに、次の点を工夫しました。

- 本報告書や概要版に掲載した設問や質問の結果について、自校のデータを表やグラフに表示する「活用ツール」を開発し、各学校等に提供しています。

各市町（学校組合）教育委員会や各学校におかれましては、本報告書や別途配布する概要版も参考にして、それぞれの市町や学校の実情に照らし合わせて分析と検証を行うことにより、学習指導や教育施策のさらなる充実・改善に取り組んでいただければ幸いです。

平成25年10月

香川県教育センター
所長 倉沢 均

目 次

はじめに	1
目次	2
I 調査の概要	3
調査の概要	4～6
II 調査結果（概論）	7
Question 1 「全体的な状況」	8
Question 2 「無解答率」	9
Question 3 「正答数の分布」	10・11
Question 4 「正答数が少ない層の割合」	12
Question 5 「補充的な学習サポートや校内研修」	13
Question 6 「学習に対する関心・意欲」	14・15
Question 7 「さぬきの授業 基礎・基本」	16・17
Question 8 「言語活動の充実」	18・19
Question 9 「自尊感情や規範意識」	20
Question10 「土曜日の過ごし方」	21
Question11 「外国語活動」	22
III 教科に関する調査結果及び分析	23
1 小学校国語	24～35
2 小学校算数	36～47
3 中学校国語	48～59
4 中学校数学	60～71
参考資料	72
IV 質問紙調査結果（児童生徒質問紙・学校質問紙）	73
1 児童生徒質問紙 調査結果一覧	74
2 学校質問紙 調査結果一覧	81
3 調査結果に見る全国と本県の状況（散布図の見方）	88
(1) 4つのアクションで示された手立てと関連する内容	90
(2) 学習に対する関心・意欲・態度や各教科の指導方法等	99
(3) 学力向上に向けた取組（補充的な学習サポート，少人数指導等）	116
(4) コンピュータなどを活用した教育 / 読書の状況	119
(5) 家庭学習 / 家庭との連携	123
(6) 基本的な生活習慣 / 家庭でのコミュニケーション / ゲーム等	126
(7) 社会に対する興味・関心	131
(8) 自尊感情・規範意識等	133
(9) 地域の人材・施設等の活用 / 開かれた学校	140
(10) 全国学力・学習状況調査等の活用 / 異校種間の連携 / 教員研修	143
4 結果に特徴の見られる質問【児童生徒質問紙】	147
5 結果に特徴の見られる質問【学校質問紙】	149

I 調査の概要

調査の概要

本体調査（全数調査）

1 調査の概要

(1) 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。また、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

(2) 調査対象

①国・公・私立学校の以下の学年の原則として全児童生徒を対象

ア（小学校調査）小学校第6学年，特別支援学校小学部第6学年

イ（中学校調査）中学校第3学年，中等教育学校第3学年，特別支援学校中学部第3学年

②特別支援学校及び小中学校の特別支援学級に在籍している児童生徒のうち、調査の対象となる教科について、以下に該当する児童生徒は、調査の対象としないことを原則とする。

ア 下学年の内容などに代替して指導を受けている児童生徒

イ 知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校の教科の内容の指導を受けている児童生徒

(3) 調査事項

①教科に関する調査（国語，算数・数学）

国語，算数・数学はそれぞれ、「主として知識に関する問題」と「主として活用に関する問題」を出題

〔主として知識に関する問題〕（A問題）

身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など

〔主として活用に関する問題〕（B問題）

知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などに関わる内容

②質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲，学習方法，学習環境，生活の諸側面等に関する質問紙調査 ＊児童生徒質問紙には、Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの3種類があり、学校ごとに実施する質問紙が異なる。	学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査

(4) 調査実施日

平成25年4月24日（水）

(5) 調査の方式

抽出調査であった平成22年度と平成24年度の全国学力・学習状況調査とは異なり、平成25年度は前述（2）の学年の全児童生徒を対象として全国的な調査を行う。

(6) 調査を実施した学校・児童生徒数

【小学校調査】

	学校数	児童数
公立学校	174校	8,917人

【中学校調査】

	学校数	生徒数
公立学校	72校	8,700人

2 調査結果の示し方

文部科学省は、小学校調査及び中学校調査のそれぞれについて、以下の事項等を示す。

- ① 教科に関する調査の結果について、国語、算数・数学のそれぞれ、主として「知識」に関する問題と主として「活用」に関する問題に分けた四つの区分ごとの平均正答数、平均正答率、中央値、標準偏差等
- ② 都道府県・市町村・学校・児童生徒の学力に関する分布の形状等が分かるグラフ
- ③ 各教科の設問ごとの正答率等
- ④ 児童生徒質問紙調査及び学校質問紙調査の結果
 - ア 児童生徒質問紙調査及び学校質問紙調査の回答状況
 - イ 児童生徒質問紙調査の回答状況と教科に関する調査の正答率等との相関関係の分析
 - ウ 学校質問紙調査の回答状況と教科に関する調査の平均正答率等との相関関係の分析
- ⑤ その他、本調査の目的の達成に資する分析

3 調査結果の活用

各教育委員会、学校等及び文部科学省においては、本調査の目的を達成するため、以下のような調査結果を活用した取組に努めることとする。

- ① 各教育委員会、学校等においては、多面的な分析を行い、自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握・検証し、保護者や地域住民の理解と協力のもとに適切に連携を図りながら、教育及び教育施策の改善に取り組むこと。
- ② 各学校においては、調査結果を踏まえ、各児童生徒の全般的な学習状況の改善等に努めるとともに、自らの教育指導等の改善に向けて取り組むこと。
- ③ 各教育委員会においては、調査結果を踏まえ、それぞれの役割と責任に応じて、学校における取組等に対して必要な支援等を行うなど、域内の教育及び教育施策の改善に向けた取組を進めること。
- ④ 文部科学省においては、児童生徒の学力や学習状況をきめ細かく把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善に取り組むこと。また、各教育委員会、学校等における取組に対して必要な支援等を行うなど、教育及び教育施策の改善に向けた全国的な取組を進めること。

4 調査結果の取扱いに関する配慮事項

調査結果については、本調査の目的を達成するため、自らの教育及び教育施策の改善、各児童生徒の全般的な学習状況の改善等につなげることが重要であることに留意し、適切に取り扱うものとする。その際、本調査により測定できるのは学力の特定の一部であること、学校における教育活動の一側面に過ぎないことなどを踏まえるとともに、序列化や過度な競争につながらないよう十分配慮する。

追加調査

1 経年変化分析調査（抽出調査）

(1) 調査の対象

文部科学省が調査対象として抽出した、国・公・私立学校（原則として、本体調査を実施する学校）の以下の学年の原則として全児童生徒を対象とする。

ア 小学校調査－小学校第6学年，特別支援学校小学部第6学年

イ 中学校調査－中学校第3学年，中等教育学校第3学年，特別支援学校中学部第3学年

(2) 調査事項

国全体の学力の状況について、経年の変化を把握・分析し、今後の教育施策の検証・改善に役立てるために、以下の調査を実施する。

①教科に関する調査

小学校調査は、国語・算数とし、中学校調査は、国語・数学とする。

②児童生徒に対する質問紙調査

調査する学年の児童生徒を対象に、教科に関する調査の問題に関わる質問紙調査を実施する。

(3) 調査実施日等

調査の実施日は、平成25年5月13日（月）から6月28日（金）の期間中、調査の対象となった学校が実施可能な日時とする。

(4) 結果公表予定

平成25年12月頃

2 保護者に対する調査

(1) 調査の対象

文部科学省が調査対象として抽出した公立学校において、本体調査を受けた児童生徒の保護者を対象とする。

(2) 調査事項

家庭状況と児童生徒の学力等の関係について分析するために、本体調査を受けた児童生徒の保護者を対象に、児童生徒の家庭における状況、保護者の教育に関する考え方等に関する調査を実施する。

(3) 調査実施日等

調査は、平成25年4月末（本体調査実施日以降）から実施する。

(4) 結果公表予定

平成26年3月頃

3 教育委員会に対する調査

(1) 調査の対象

全都道府県教育委員会・市町村教育委員会を対象とする。

(2) 調査事項

国の教育施策の検証や、教育委員会における効果のある教育施策の把握・分析を行うため、各教育委員会に対し、教育施策の実施状況等に関する調査を実施する。

(3) 調査実施日等

調査は、平成25年4月末（本体調査実施日以降）から実施する。

(4) 結果公表予定

平成26年3月頃

Ⅱ 調査結果（概論）

- ※ 「差」を表しているグラフや表の数値は、香川県の数値から全国の数値を引いたものを表す。
- ※ 児童生徒質問紙の番号は、全質問の通し番号である「共通番号」で示している。(p74～p80 参照)
- ※ 平成 25 年度児童生徒質問紙は質問紙Ⅰ～Ⅲの冊子に分かれており、1つの冊子のみで質問している項目は、誤差±0.2%程度の精度となっていることに留意することが必要である。
- ※ 平成 22 年度、平成 24 年度調査は抽出調査であり、各都道府県（公立）の教科に関する調査については誤差±1%程度の精度となるように標本抽出が行われているため、推計値である集計値については、全国（公立）の教科に関する調査及び児童生徒に対する質問紙調査については誤差±0.2%程度、学校質問紙調査については誤差±1%程度並びに各都道府県（公立）の教科に関する調査については誤差±1%程度の精度となっていることにも留意することが必要である。

Question
1

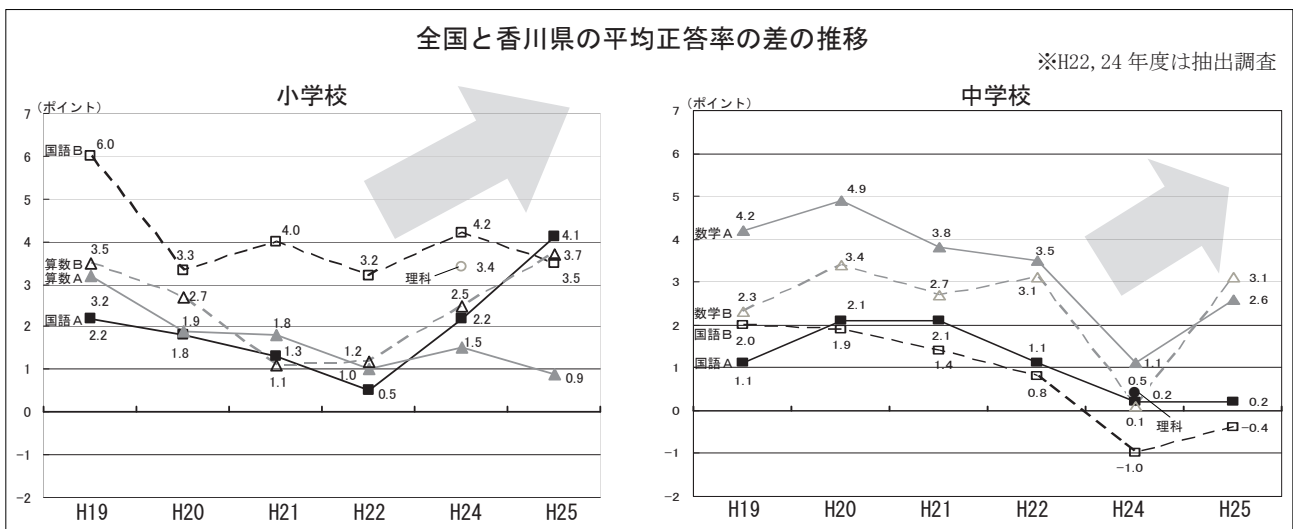
平成 25 年度全国学力・学習状況調査の全体的な状況はどうか。

Answer

- ・小学校においては、全ての調査区分で全国平均を上回った。
- ・中学校では国語B以外の調査区分で、全国平均よりも上位である。
- ・全国平均との差を見ると、昨年度に比べて改善傾向が見られる結果となった。

1 全国との比較において、改善傾向が見られる。

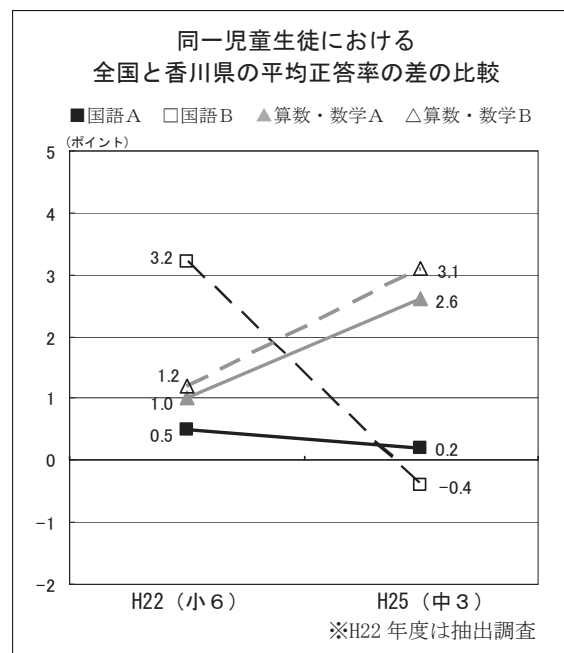
平成 19 年度から平成 22 年度の全国と香川県の平均正答率の差の推移をみると、学力の低下傾向が見受けられましたが、小学校では、昨年度から上昇に転じたことがうかがえます。中学校では、今年度、数学A, Bが全国平均を上回り、国語Aは全国平均とほぼ同等ですが、国語Bは、全国平均との差は小さくなったものの、2年連続して全国平均を下回りました。



2 同一児童生徒の比較においては、数学が上昇している。

平成 22 年度調査のとき小学校第 6 学年だった児童は、平成 25 年度調査では中学校第 3 学年になっています。平成 22 年度は抽出調査、平成 25 年度は悉皆調査という違いはありますが、算数・数学は A, B ともに全国平均との差が大きくなっています。

国語Aは大きな差は見られませんが、国語Bにおいては、平成 22 年度調査（小6）では、全国平均を上回っていましたが、平成 25 年度調査（中3）では、全国平均を下回る結果となりました。



Question
2

これまでの調査で、中学校においては無解答率が全国平均を上回る問題の割合が高いという結果でしたが、平成25年度調査ではどうなりましたか。

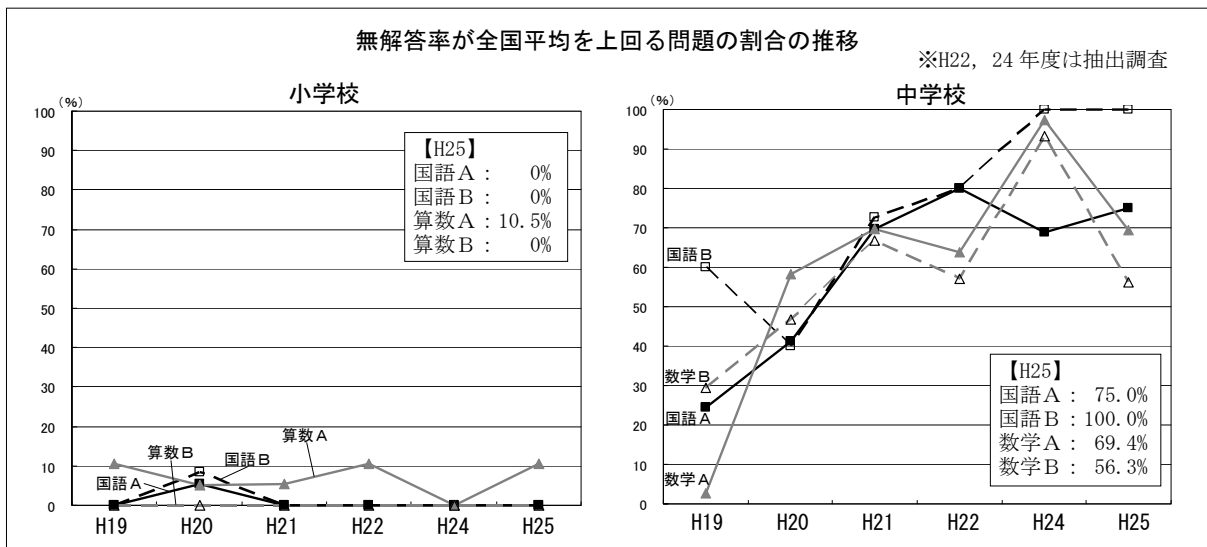
Answer

- ・小学校においては、無解答率が全国平均を上回る問題の割合は低い。
【小学校】無解答率が全国平均を上回る問題数 全60問中、2問（3.3%）
- ・中学校においては、無解答率が全国平均を上回る問題の割合は依然として高い。
【中学校】無解答率が全国平均を上回る問題数 全93問中、67問（72.0%）

1 中学校においては、無解答率が全国平均を上回る問題の割合が、依然として高い状況にある。

無解答率が全国平均を上回る問題数は、小学校においては、3.3%（全60問中、2問）と低い割合で推移しています。

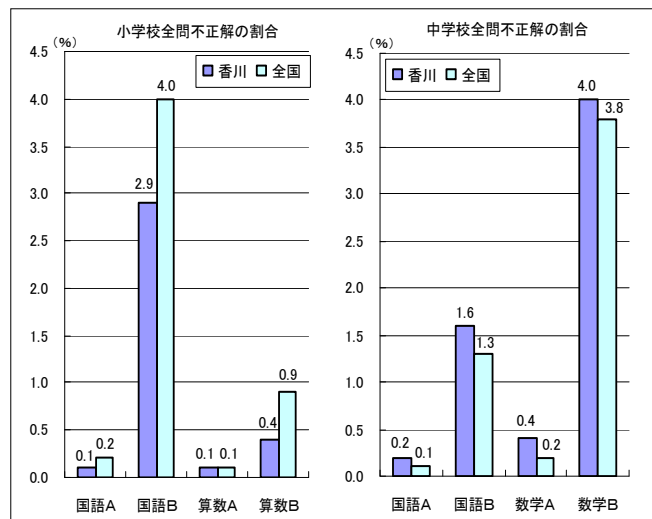
一方、中学校においては、72.0%（全93問中、67問）で、昨年度に比べて改善されましたが、多くの問題で無解答率が全国平均を上回っています。特に、国語Bでは2年連続で全問が上回っています。また、これまでの調査とは問題の難易度も異なるため、単純な比較はできませんが、平成19年度と比較すると、どの調査区分においても増加しています。



2 中学校においては、全問不正解の生徒の割合が、全国平均と比較してやや高くなっている。

中学校において、全問不正解の生徒の割合が全国平均と比較して、すべての調査区分で高くなっています。昨年度も同様の傾向がうかがえることから、今後、継続して取り組むべき課題と言えます。

また、「解答時間が余った」と回答した生徒の割合が極めて高いこと（p114）などから、必ずしも全ての生徒に言えることではありませんが、調査そのものに取り組む姿勢に課題があることがうかがえます。



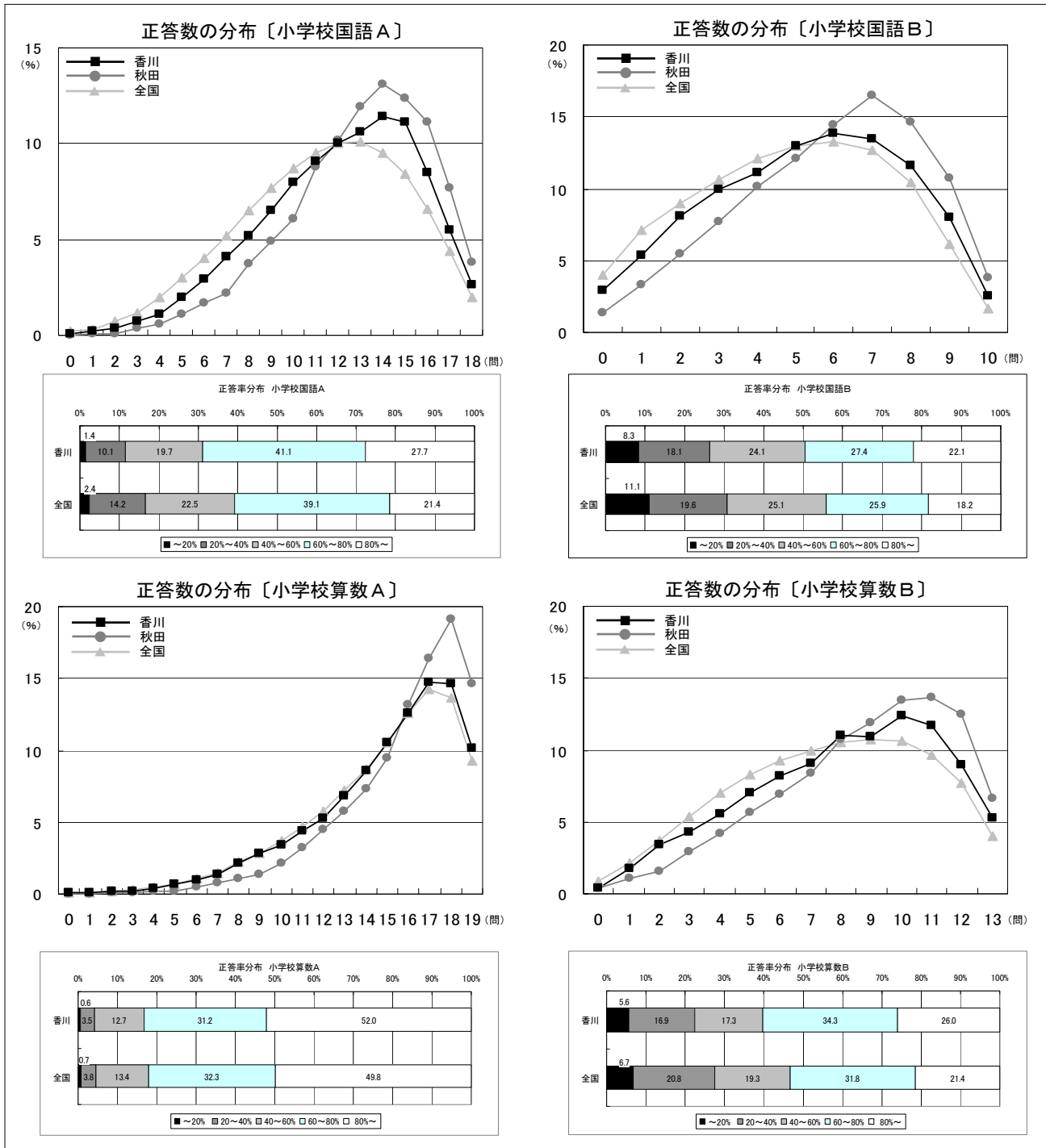
Question
3

各調査区分ごとの正答数の分布はどうなっていましたか。

- Answer
- ・小学校においては、正答数が多い層の割合が全国よりも高い。
 - ・中学校においても、正答数が多い層の割合が全国よりも高い。

1 小学校においては、正答数が多い層の割合が全国よりも高くなっている。

全ての調査区分において、正答数が多い層の割合が全国よりも高くなっています。また、正答率が20%以下の児童の割合が全国よりも低くなっています。

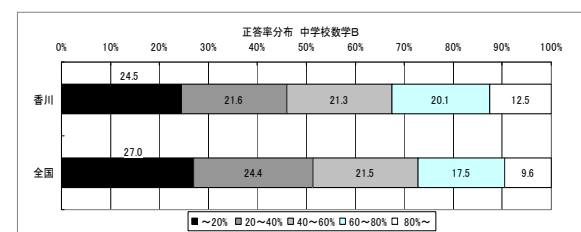
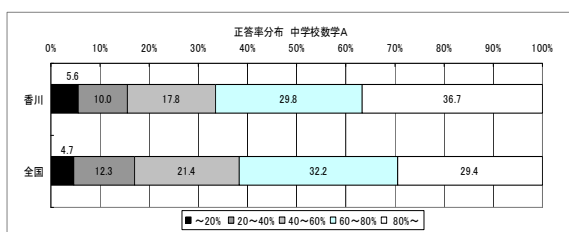
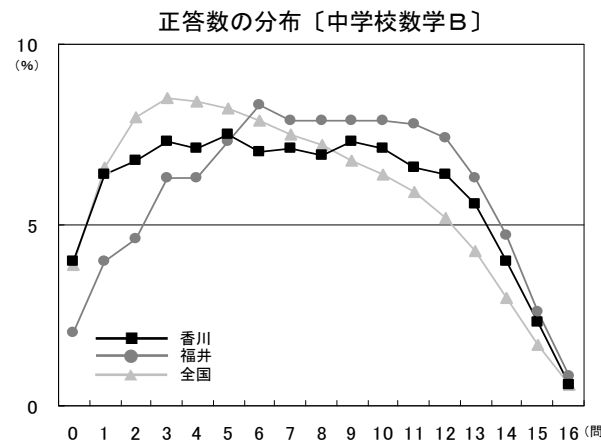
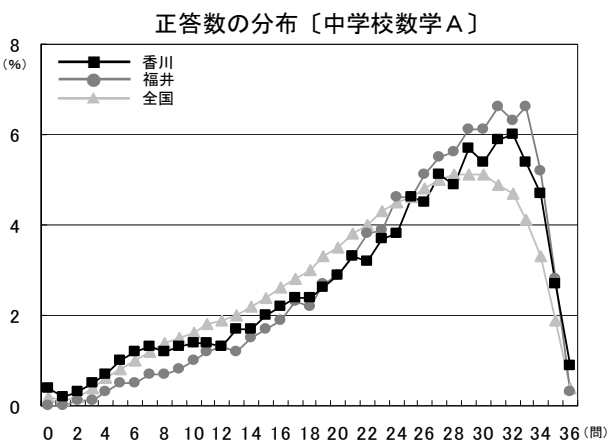
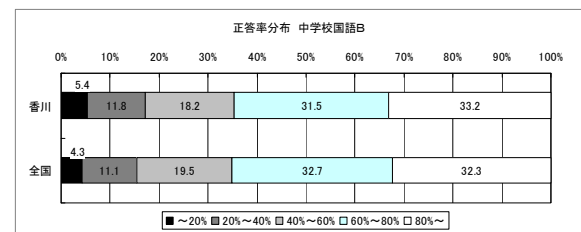
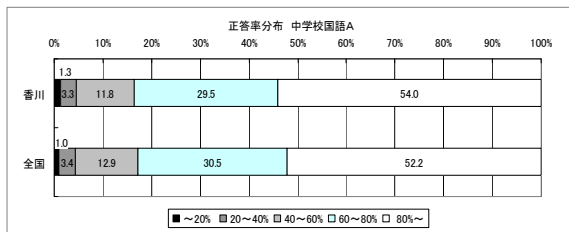
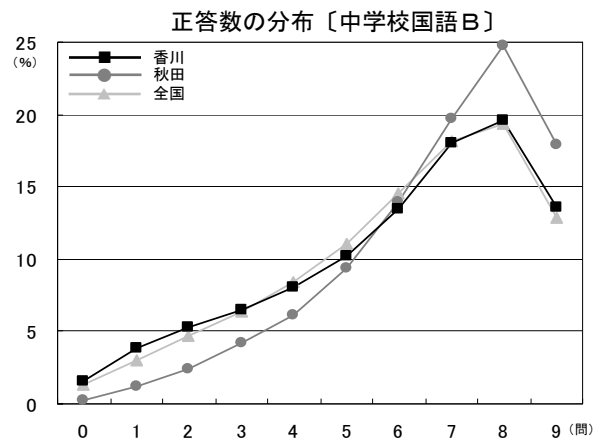
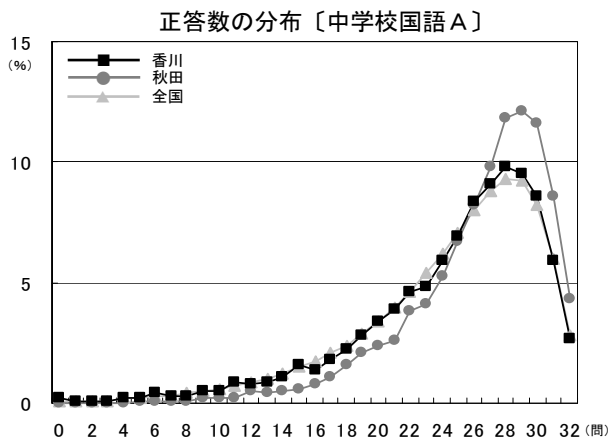


2 中学校においても、正答数が多い層の割合が全国よりも高くなっている。

国語においては、正答数の分布は全国とほぼ同等となっています。

数学においては、正答数が多い層の割合が全国より高い傾向にあります。

全体として、正答数が少ない層の割合は、わずかに全国を上回っており、今後の課題と言えます。



Question
4

正答数が少ない層の割合は、全国と比較してどのような状況ですか。

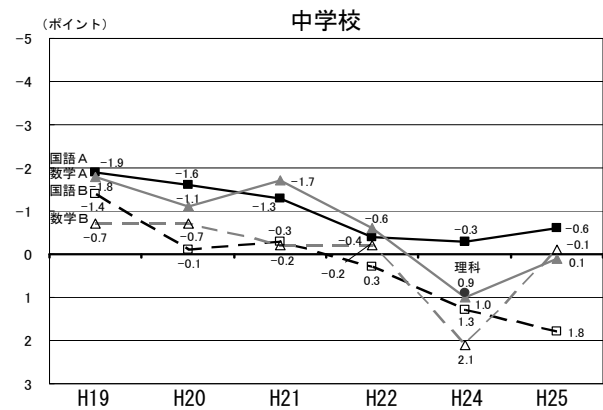
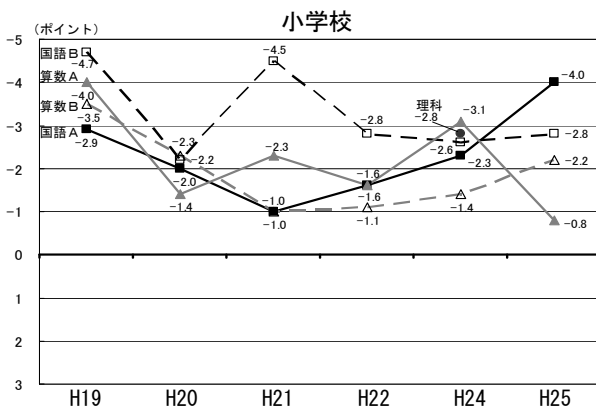
Answer ・正答数が少ない層の割合は、全国と比較して、中学校では高く、小学校では低い。

○ 中学校では、正答数が少ない層の割合は、増加傾向にある。

全国の分布において、正答数の少ない方から児童生徒数を積算し、全児童生徒数の10%を越えたときの正答数を求めます（下表）。そして、この正答数以下に含まれる児童生徒数の割合を全国と比較すると、小学校では全国を下回っていますが、中学校は全国を上回る調査区分が多くなっています。

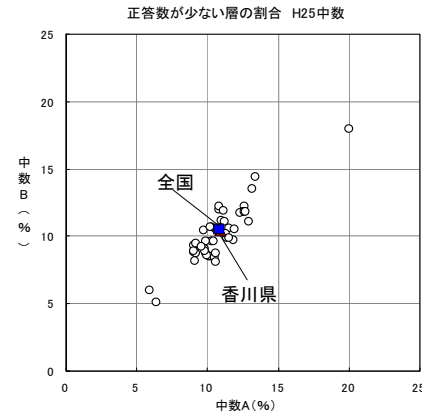
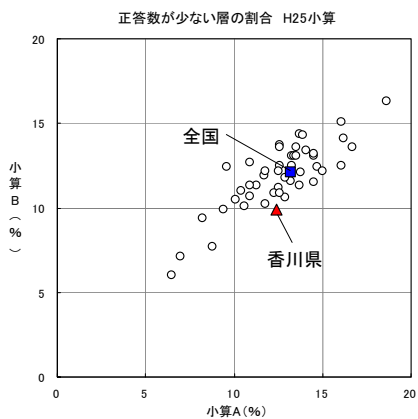
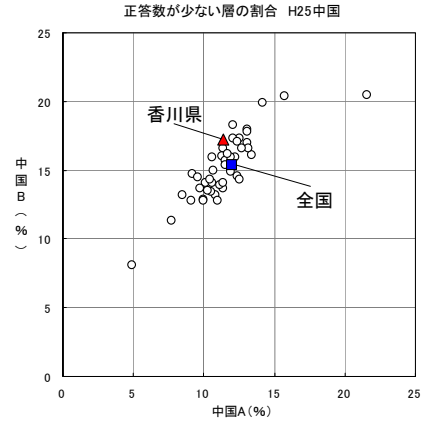
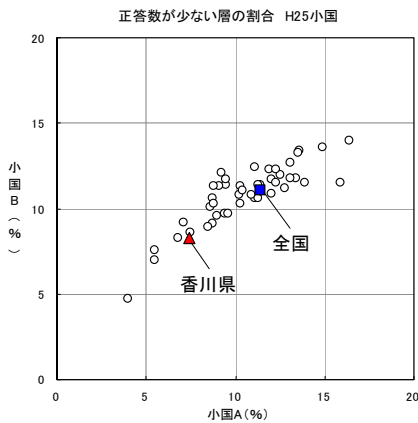
全国と香川県の正答数が少ない層の割合の差の推移

※H22, 24年度は抽出調査



H25	正答数	香川県	全国	県一国
小国A	6問以下	7.4%	11.4%	-4.0
小国B	1問以下	8.3%	11.1%	-2.8
小算A	10問以下	12.4%	13.2%	-0.8
小算B	3問以下	9.9%	12.1%	-2.2

H25	正答数	香川県	全国	県一国
中国A	17問以下	11.4%	12.0%	-0.6
中国B	3問以下	17.2%	15.4%	1.8
中数A	11問以下	10.9%	10.8%	0.1
中数B	1問以下	10.4%	10.5%	-0.1



Question
5

平成 25 年度調査では、補足的な学習サポートや校内研修など教員の取組の状況はどうか。

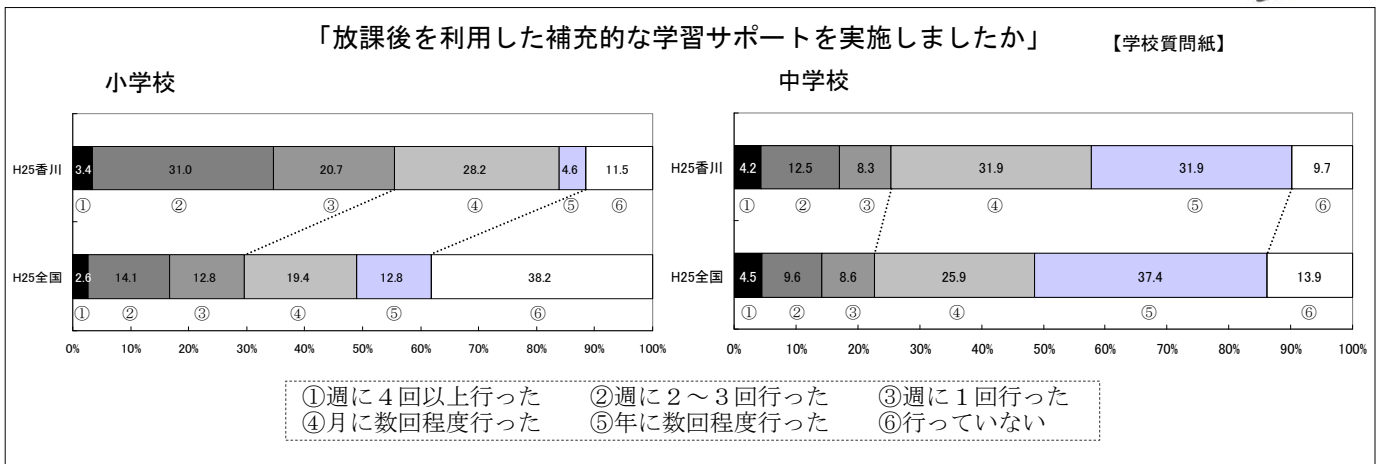
Answer

- ・放課後を利用した補足的な学習サポートが、全国よりも多く実施されている。
- ・授業研究を伴う校内研修が、全国よりも多く実施されている。

1 放課後を利用した補足的な学習サポートの実施については、小学校、中学校ともに全国よりも高い傾向にあり、特に小学校では、行っていない学校の割合がかなり低くなっている。

小学校では、週に1回以上行った学校を見ると、香川県は半数を越え（55.1%）、全国（29.5%）を大きく上回っています。中学校においても、香川県（25.0%）は、全国（22.7%）を上回っており、教員が熱心に取り組んでいることがうかがえます。

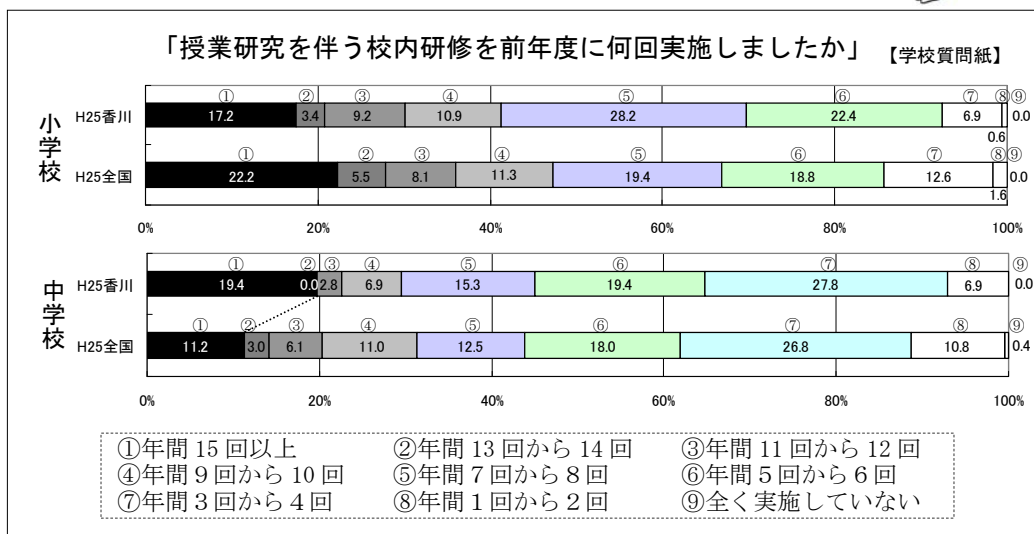
p 116



2 授業研究を伴う校内研修が、全国よりも多く実施されている。

授業研究を伴う校内研修の実施については、小学校、中学校ともに全国よりも高い傾向にあり、特に中学校では、年間15回以上行っている学校の割合が高くなっています。学校における授業改善の取組がうかがえます。

p 145



Question
6

平成 25 年度調査では、児童生徒の学習に対する関心・意欲は、どのような結果でしたか。

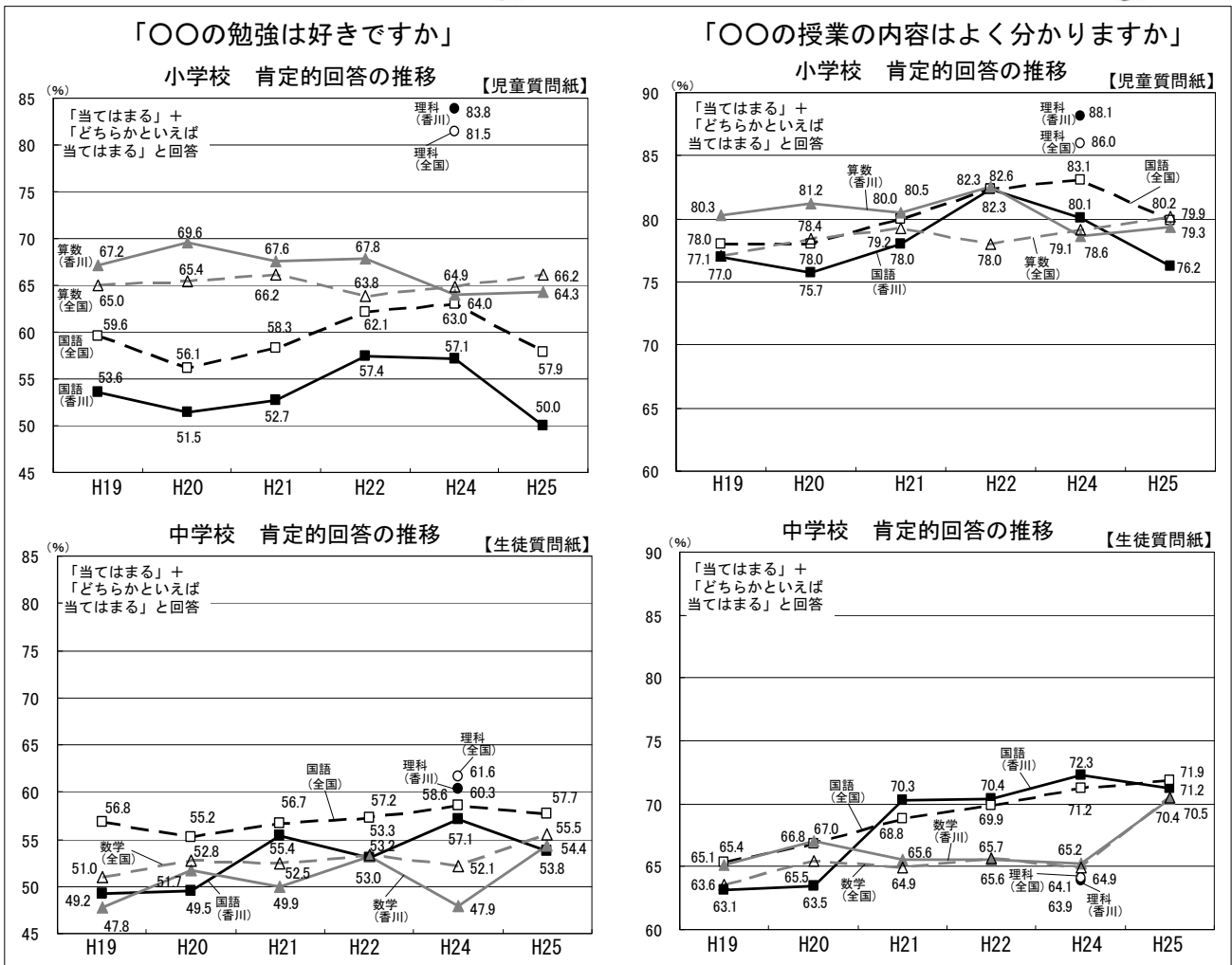
Answer

・「〇〇の勉強は好きですか」「〇〇の授業の内容はよく分かりますか」という質問に対し、肯定的に回答した児童生徒の割合は、小学校国語において全国に比べて低くなっている。

1 学習に対する関心・意欲では、小学校国語に課題が見られる。

「〇〇の勉強は好きですか」という児童生徒質問紙での質問に対して、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と肯定的に回答した児童生徒の割合は、小学校国語では 50.0% で、全国と比較すると 7.9 ポイントと大きく下回っています。

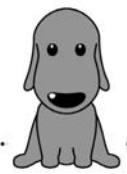
「〇〇の授業の内容はよく分かりますか」の質問に対し、小学校国語以外は、全国とほぼ同等となっています。



「さぬきの授業 基礎・基本」p19 より

「子どもを生き生きと成長させるのは教師の適切な助け！」

「学習の主体者である子どもたちは、教師の適切な助けを借りることによって、自分を生き生きと成長させ変化させていくことができるのである。」(斎藤喜博) 教師の適切な助けが、子どもの目を輝かせます。



Column


「『問題解決的な学習』の実践で、学んだことを実感する子どもへ」


小学校国語においては、A問題、B問題の平均正答率は全国平均に比べて高くなっています。しかし、下の表のように、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域に関係する内容についての学びの自覚を尋ねる質問に対し、肯定的に回答した児童の割合は、全国に比べて低くなっています。特に「話の組み立てを工夫」においては、全国を5.2ポイント下回っています。

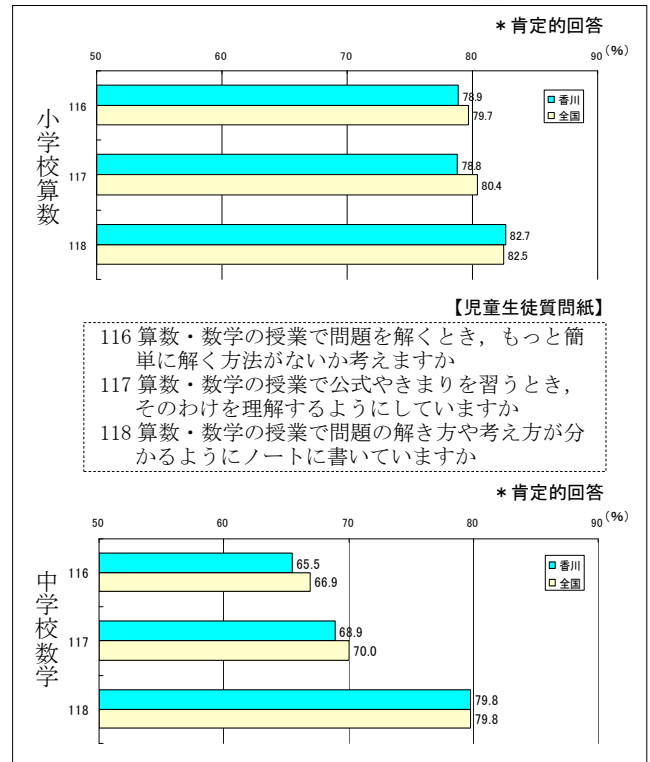
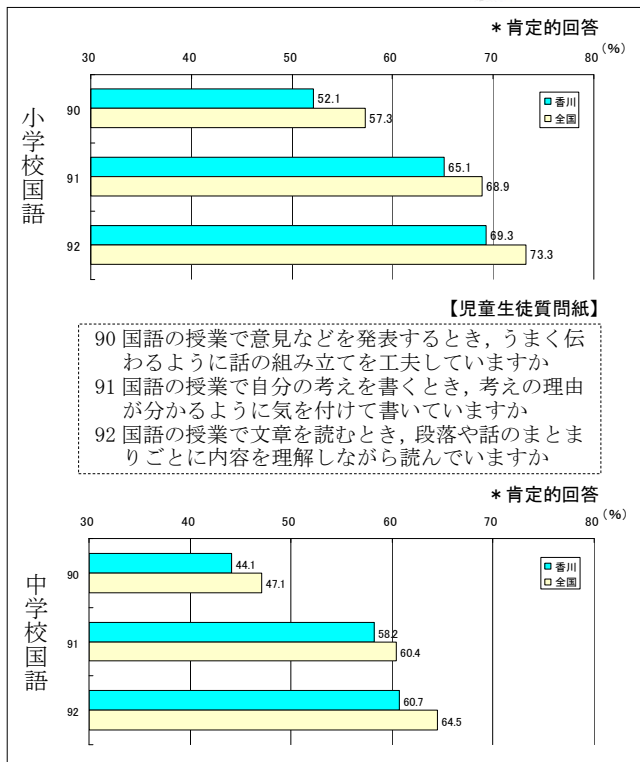
中学校国語においても、肯定的に回答した生徒の割合は、全国に比べて低くなっており、「話の組み立てを工夫」においては50%を下回り、課題がうかがえます。

小学校算数では、全国とほぼ同等で、約80%の児童が3つの質問項目に肯定的な回答をしています。

中学校数学でも、全国とほぼ同等で、「問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書く」ことは、約80%の生徒が肯定的な回答をしています。

 p 102, 103

 p 106, 107



子どもが身に付けた力を自覚することで、学習への意欲も増し、主体的な学習が行えるようになります。また、身に付けた力をさまざまな場面で活用することも増えてきます。

そのためには、問題解決的な学習を各教科で行うことが大切です。例えば、国語では、単元を貫く言語活動を位置付け、問題解決の過程の中で子どもが思考や判断、表現をしながら身に付けたい力を獲得していくようにします。他の教科でも、考えたい問題や、必要感がある問題になるように考えるきっかけとなる教材提示の仕方を工夫したり、問題解決のために取り組む学習課題を子どもたちとともに明確にしたりすることを大切にします。また、子どもが考えを表現する場の設定や「比較」「因果」「条件」などの「考える力」を育成するための言語活動の充実を図ります。このような学習は、子ども自身が身に付けた力を自覚しながら、考える力や表現する力も育てます。

「さぬきの授業 基礎・基本」p15 より

「考える力」を育む言語活動の充実！

ただ言語活動を設定すればよいのではなく、付けたい力は何なのかを見極めていく必要があります。そして、各教科などの特性に応じて、自ら課題を見付け、追究していく過程に、言語活動を適切に位置付けていく必要があります。

わん！ポイント！



Question
7

「さめきの授業 基礎・基本」に関連する質問内容についての結果はどうか。

p 72 参照（「さめきの授業 基礎・基本」の冊子の I-2, I-6, II-1, II-2 等に関連）

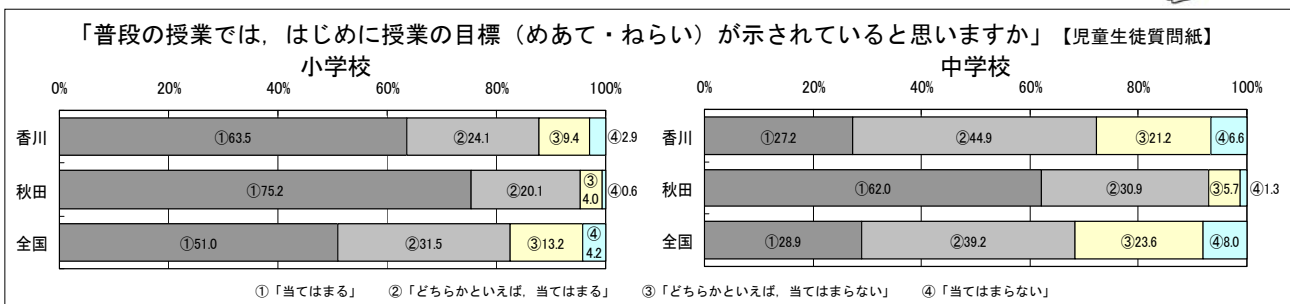
Answer

- ・授業のはじめに目標を示したり、最後に学習内容を振り返る活動を行ったたりするのは、小学校、中学校ともに全国とほぼ同等である。
- ・教員が児童生徒の考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導を行うのは、小学校、中学校ともに全国を下回っている。

1 授業のはじめに目標を示したり、最後に学習内容を振り返る活動を行ったたりするのは、小学校、中学校ともに全国とほぼ同等である。

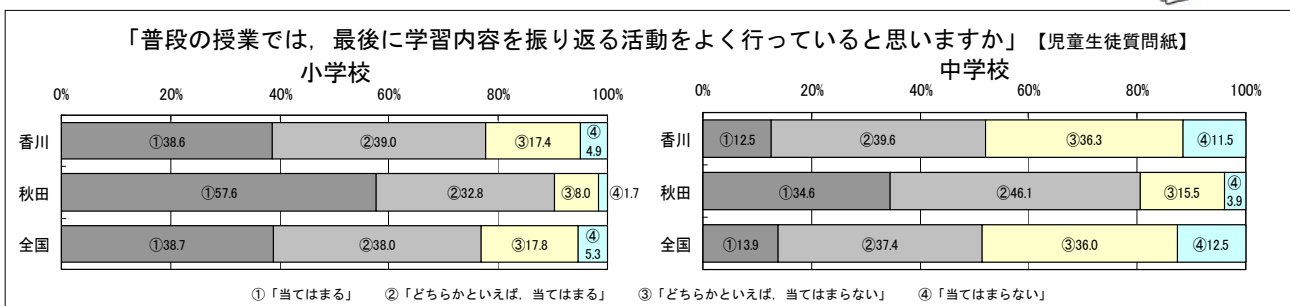
「普通の授業では、はじめに授業の目標（めあて・ねらい）が示されていると思いますか」という児童生徒質問紙での質問に対して、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と肯定的に回答した香川県の児童生徒の割合は、小学校 87.6%、中学校 72.1%で、全国と比較して高くなっていますが、大きな差はありません。「当てはまる」と回答した割合は、秋田県では中学校で 62.0%となっており、香川県より 34.8 ポイント高くなっています。

p 101



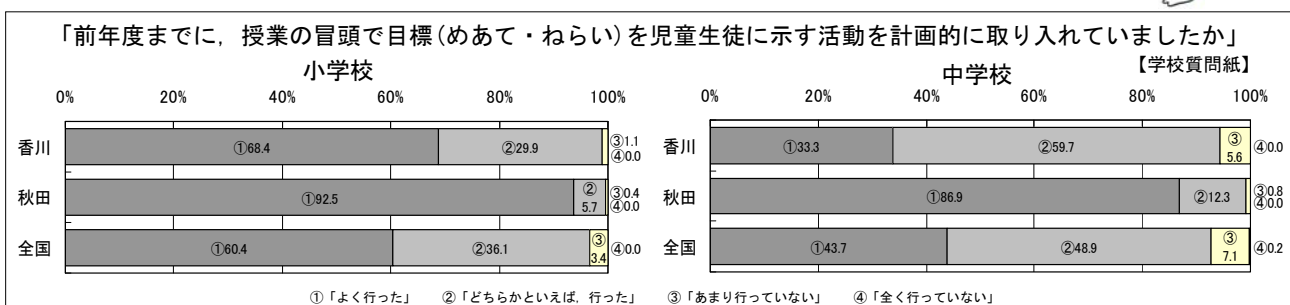
「普通の授業では、最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていると思いますか」という児童生徒質問紙での質問に対して、肯定的に回答した香川県の児童生徒の割合は、小学校 77.6%、中学校 52.1%で、全国と比較してほぼ同等となっています。秋田県の割合は、小学校 90.4%、中学校 80.7%となっています。

p 101




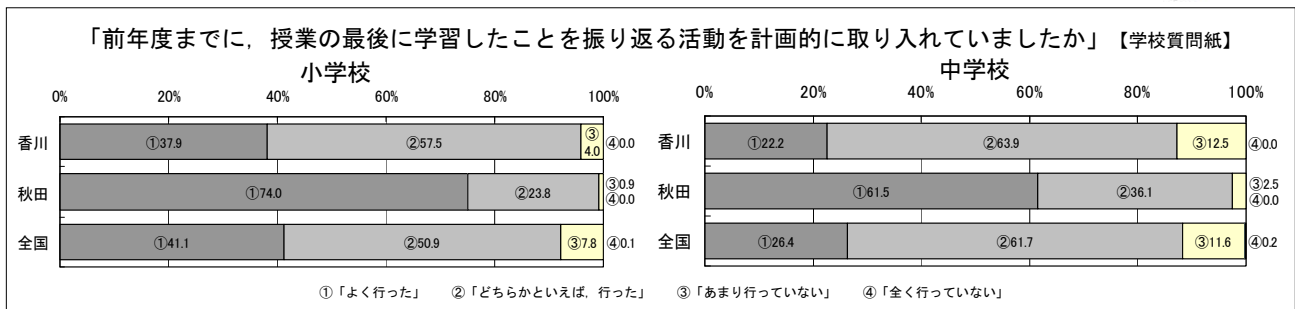
「授業の冒頭で目標（めあて・ねらい）を児童生徒に示す活動を計画的に取り入れていましたか」という学校質問紙での質問に対して、「よく行った」と回答した香川県の学校の割合は、小学校 68.4%、中学校 33.3%で、全国と比較して小学校で 8.0 ポイント高く、中学校で 10.4 ポイント低くなっています。秋田県の割合は、小学校 92.5%、中学校 86.9%となっています。

p 101



「授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れていましたか」という学校質問紙での質問に対して、「よく行った」と回答した香川県の学校の割合は、小学校 37.9%，中学校 22.2% で、全国と比較して小学校で 3.2 ポイント，中学校で 4.2 ポイント，ともに低くなっています。秋田県の割合は、小学校 74.0%，中学校 61.5% となっています。

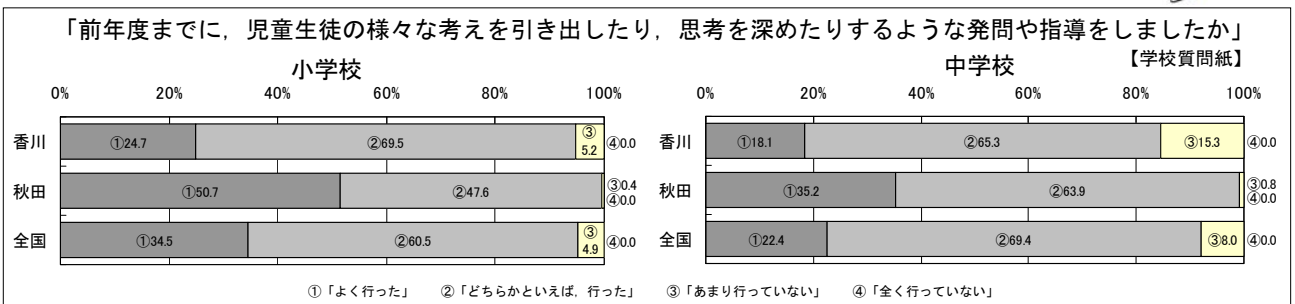
 p 101



2 教師が児童生徒の考えを引き出したり，思考を深めたりするような発問や指導を行うのは，小学校，中学校ともに全国を下回っている。

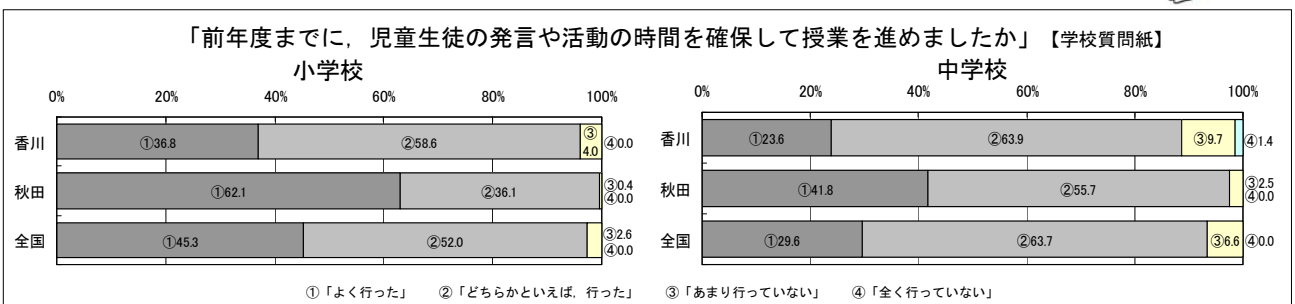
「児童生徒の様々な考えを引き出したり，思考を深めたりするような発問や指導をしましたか」という学校質問紙での質問に対して、「よく行った」と回答した香川県の学校の割合は、小学校 24.7%，中学校 18.1% で、全国と比較して小学校で 9.8 ポイント，中学校で 4.3 ポイント，ともに低くなっています。秋田県の割合は、小学校 50.7%，中学校 35.2% となっています。

 p 92



「児童生徒の発言や活動の時間を確保して授業を進めましたか」という学校質問紙での質問に対して、「よく行った」と回答した香川県の学校の割合は、小学校 36.8%，中学校 23.6% で、全国と比較して小学校で 8.5 ポイント，中学校で 6.0 ポイント，ともに低くなっています。秋田県の割合は、小学校 62.1%，中学校 41.8% となっています。

 p 91



「さめきの授業 基礎・基本」 p16 より

話し合い活動の時間の確保！

「話し合い活動をしたいけれど、授業時間が足りない。」と感じている人もいます。しかし、話し合うことの効果を考えると、ぜひ行いたい活動です。そのためには、小・中学校の学習指導要領を再確認し、既習内容の整理と時間配分の見直しなどを工夫しましょう。

わん！ポイント！



Question
8

「言語活動の充実」は、全国と比較してどうでしたか。
(4つのAction 「思考力・判断力・表現力等を伸ばす指導」関連項目)

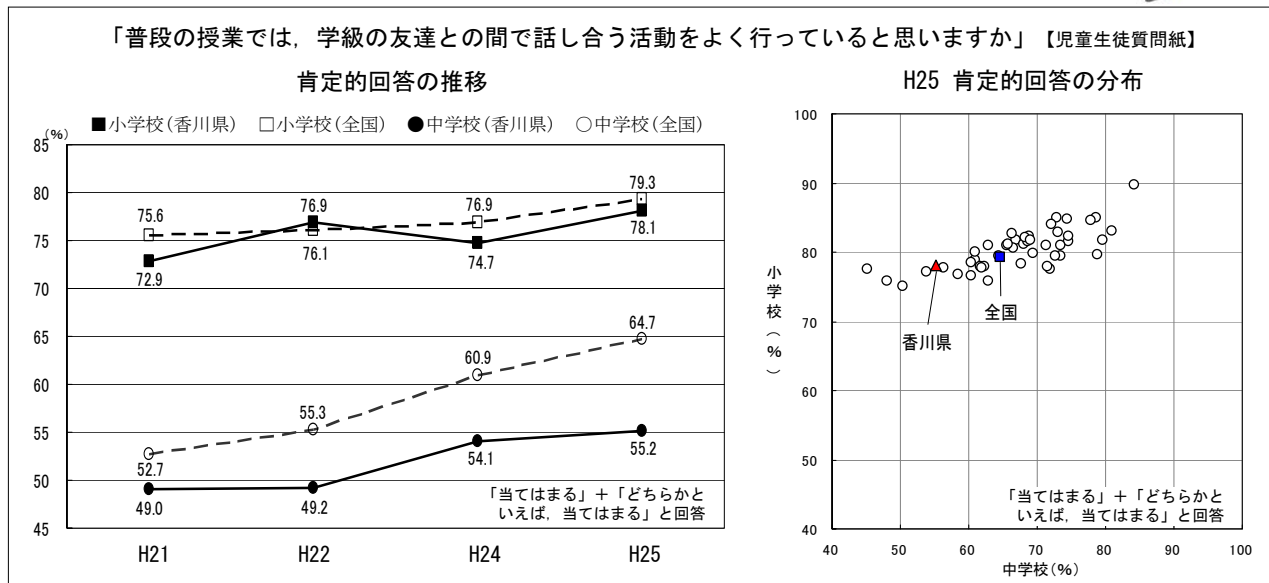
Answer

- ・授業で友達との話し合い活動を「行っている」と肯定的に回答した児童生徒の割合は、本年度も全国を下回っている。
- ・授業で「自分の考えを発表する機会が与えられている」と回答した児童生徒の割合は、小学校、中学校ともに全国を上回っている。

1 授業で友達との話し合い活動を「行っている」と肯定的に回答した児童生徒の割合は、本年度も全国を下回っている。

「普段の授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思いますか」という児童質問紙での質問に対して、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と肯定的に回答した児童生徒の割合は、本年度、小学校78.1%、中学校55.2%で、全国と比較して小学校で1.2ポイント、中学校で9.5ポイント、ともに低くなっています。小学校は全国と同じような経年変化を示していますが、中学校では全国との差が広がっています。他県との比較でも中学校は下位にあり、課題があります。

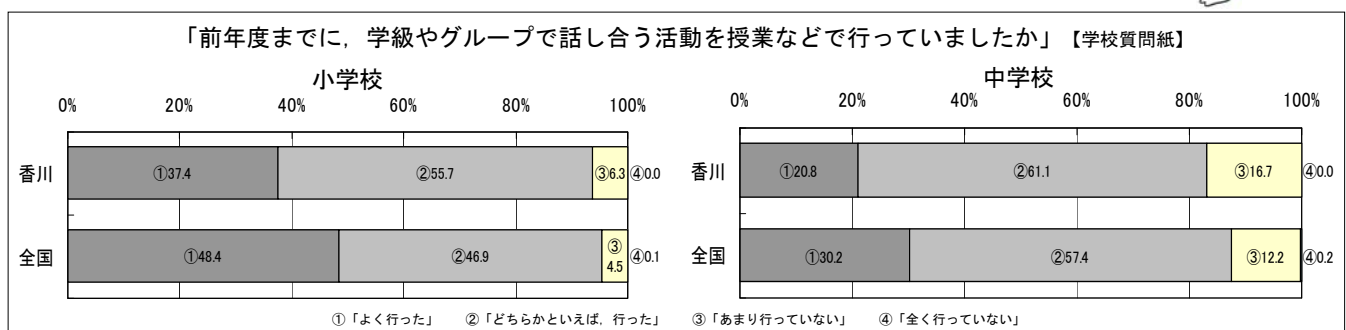
 p.93



また、「学級やグループで話し合う活動を授業などで行っていましたか」という学校質問紙での質問に対して、「よく行った」と回答した学校の割合は、小学校37.4%、中学校20.8%で、全国と比較して小学校で11.0ポイント、中学校で9.4ポイント、ともに低くなっています。さらに中学校では、16.7%が「あまり行っていない」と回答しています。

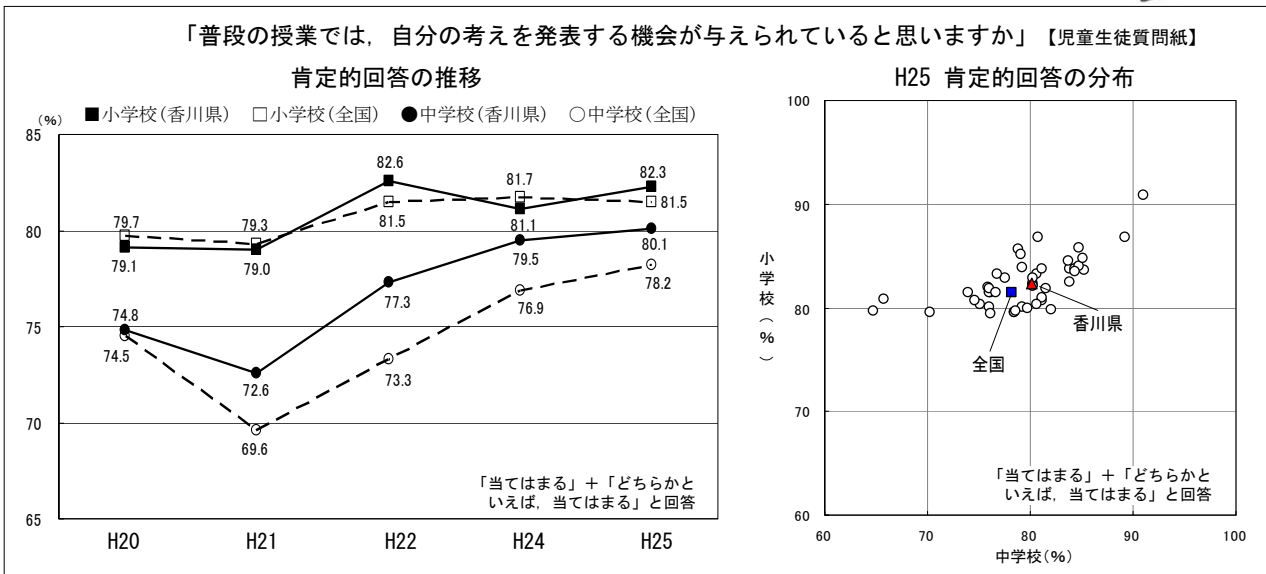
児童生徒と学校の回答から、香川県では「話し合い活動」が授業の中で十分に行われていない面がうかがえます。

 p.93



2 授業で「自分の考えを発表する機会が与えられている」と回答した児童生徒の割合は、小学校、中学校ともに全国を上回っている。

「普段の授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか」という児童生徒質問紙での質問に対して、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と肯定的に回答した児童生徒の割合は、小学校 82.3%，中学校 80.1%で、全国と比較して小学校で 0.8 ポイント、中学校では 1.9 ポイント高くなっています。小学校、中学校ともに、昨年度に比べて肯定的に回答した児童生徒の割合が高くなっており、中学校では平成 21 年度以降、増加しています。授業中、教員によって発表の機会が意識的につくられるようになってきたことがうかがえます。

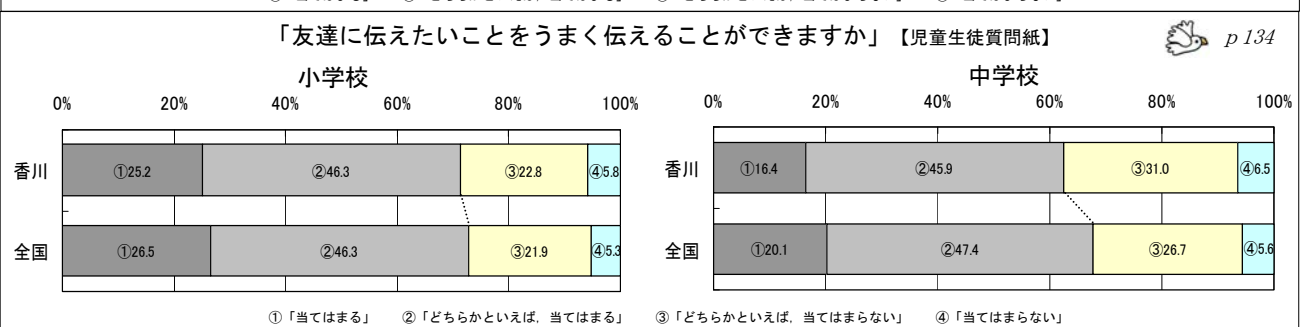
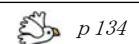
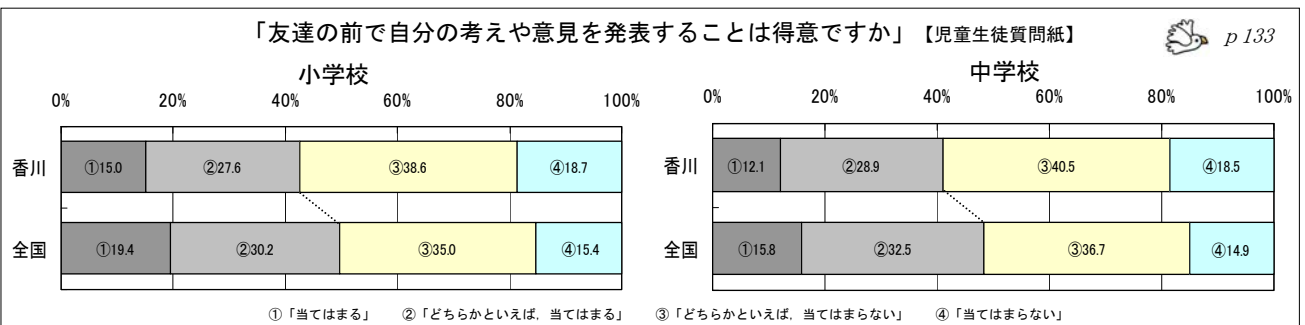
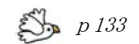


Column

「『言語活動の充実』に向けて」

「友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか」や「友達に伝えたいことをうまく伝えることができますか」という質問に対して、肯定的に回答した児童生徒の割合は、小学校、中学校ともに 2 つの質問とも全国を下回っています。特に、自分の考えや意見を述べることを苦手とする児童生徒の割合は、全国的に見ても極めて高いことがうかがえます。

言語活動の充実に向けて、この課題を改善していくことが求められます。



Question
9

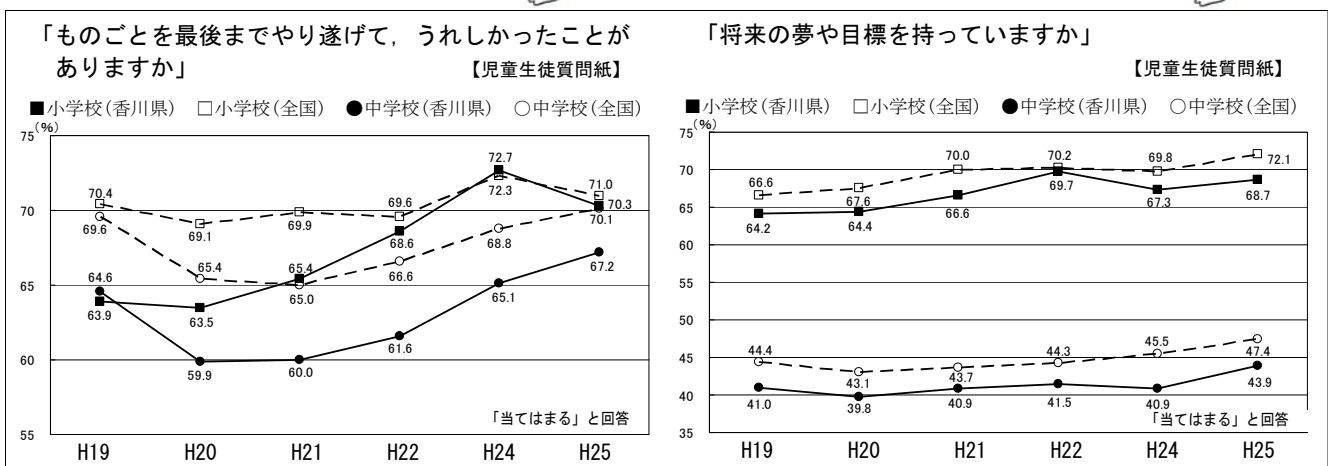
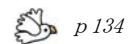
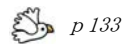
これまでの調査で自尊心や規範意識が全国より低いという結果が出ていましたが、平成25年度調査ではどうなりましたか。

Answer

- ・自尊心に関する2つの質問項目について、「当てはまる」と回答した児童生徒の割合は、小学校、中学校ともに全国を下回り、課題が残っている。
- ・規範意識に関する2つの質問項目について、「当てはまる」と回答した中学生の割合は、増加し続けている。

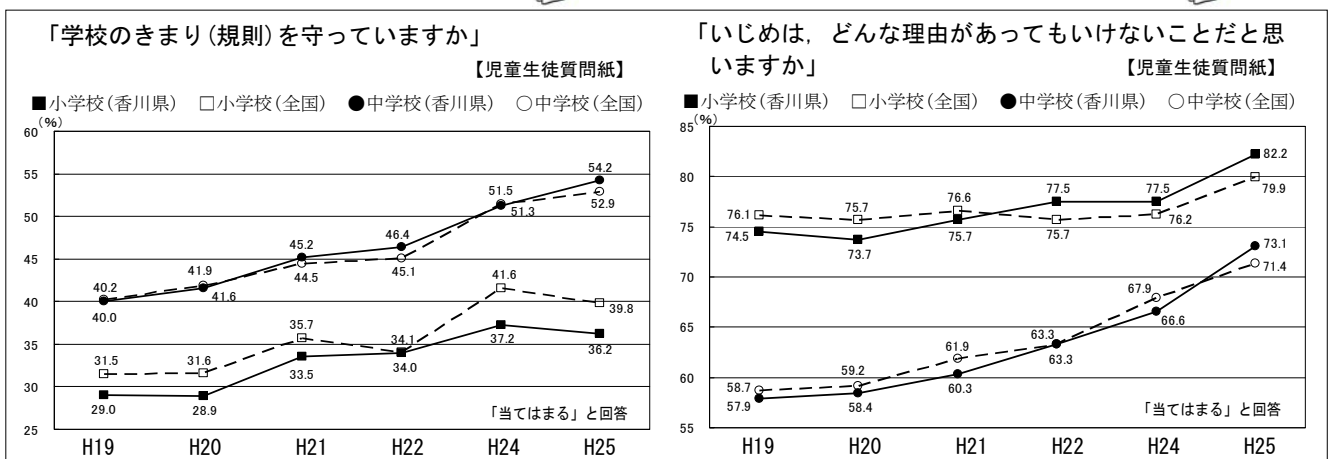
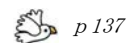
1 自尊心に関する2つの質問項目について、「当てはまる」と回答した児童生徒の割合は、小学校、中学校ともに全国を下回り、課題が残っている。

「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか」という児童生徒質問紙での質問に対して、「当てはまる」と回答した児童生徒の割合は、本年度、小学校70.3%、中学校67.2%で、ともに全国を下回っています。また、「将来の夢や目標を持っていますか」という質問に対して、小学校では68.7%、中学校では43.9%と全国を下回っており、経年変化を見ても、全国を上回ったことはありません。



2 規範意識に関する2つの質問項目について、「当てはまる」と回答した中学生の割合は、増加し続けている。

「学校のきまり(規則)を守っていますか」と「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」という児童生徒質問紙での2つの質問に対し、中学校において、「当てはまる」と回答した生徒の割合は、平成19年以降増加しており、本年度は全国を上回っています。



Question
10


土曜日の過ごし方についての状況はどうでしたか。

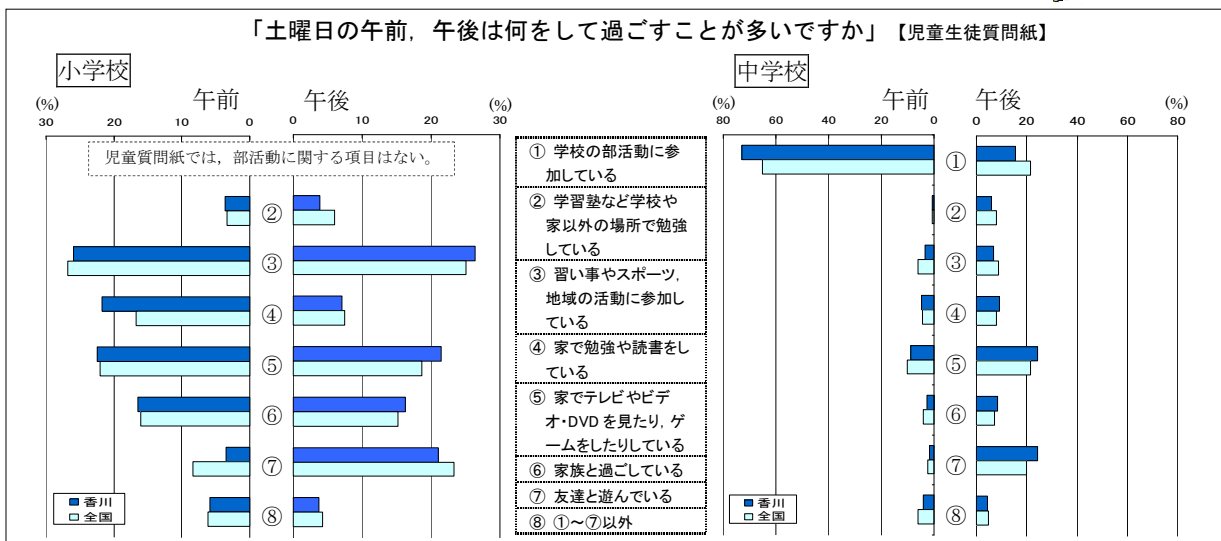
Answer

- ・土曜日の午前は、小学校では「家で勉強や読書」、中学校では「学校の部活動」をして過ごしている児童生徒の割合が、全国と比べて大きく上回っている。
- ・休日の学習時間は、全国と比較して大きな差は見られない。

1 土曜日の午前は、小学校では「家で勉強や読書」、中学校では「学校の部活動」をして過ごしている児童生徒の割合が、全国と比べて大きく上回っている。

小学校では、土曜日の午前に「習い事やスポーツ、地域の活動に参加している」と回答した児童が全国、香川県ともに多くなっています。「家で勉強や読書をしている」と回答した児童の割合は、全国を大きく上回っています。中学校では、土曜日の午前に「学校の部活動に参加している」と回答した生徒の割合は、香川県（72.9%）が全国（65.2%）を上回っています。

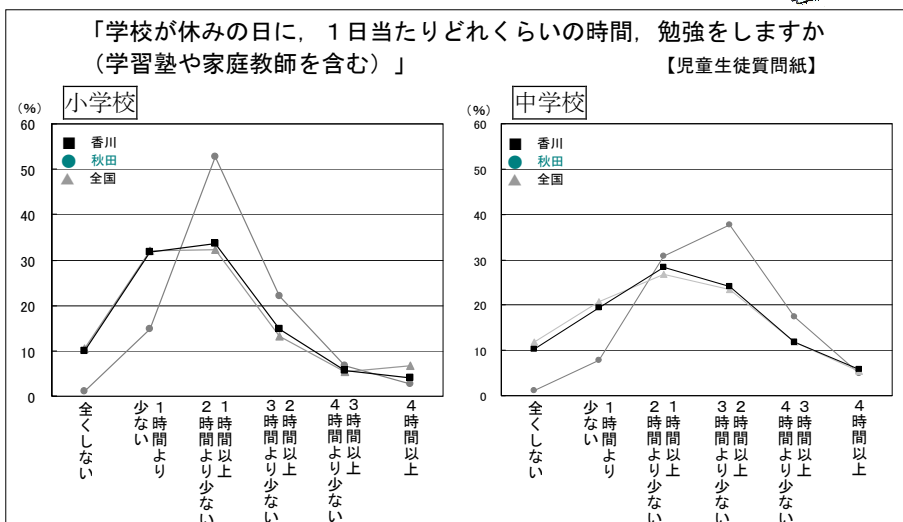
 p 124, 125



2 休日の学習時間は、全国と比較して大きな差は見られない。

小学校、中学校ともに休日の学習時間は、全国と比較してほぼ同等となっています。秋田県では、「全くしない」と回答する児童生徒の割合が極めて低く、また、小学校では「1時間以上2時間より少ない」、中学校では「2時間以上3時間より少ない」と回答した児童生徒の割合がかなり高くなっています。

 p 123



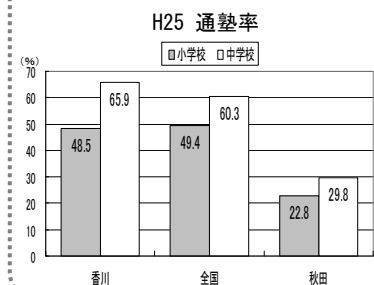
Column

「香川の子どもの通塾率」

家庭学習時間は、塾や家庭教師も含めた時間として回答されていますので、通塾率を見てみます。

中学校では、全国よりも高く、香川県より高い県は、大都市圏のみとなっています。

また、秋田県は小学校、中学校ともに極めて低く、香川県や全国の半分以下となっています。



Question
11


外国語活動について、どのような調査結果になりましたか。

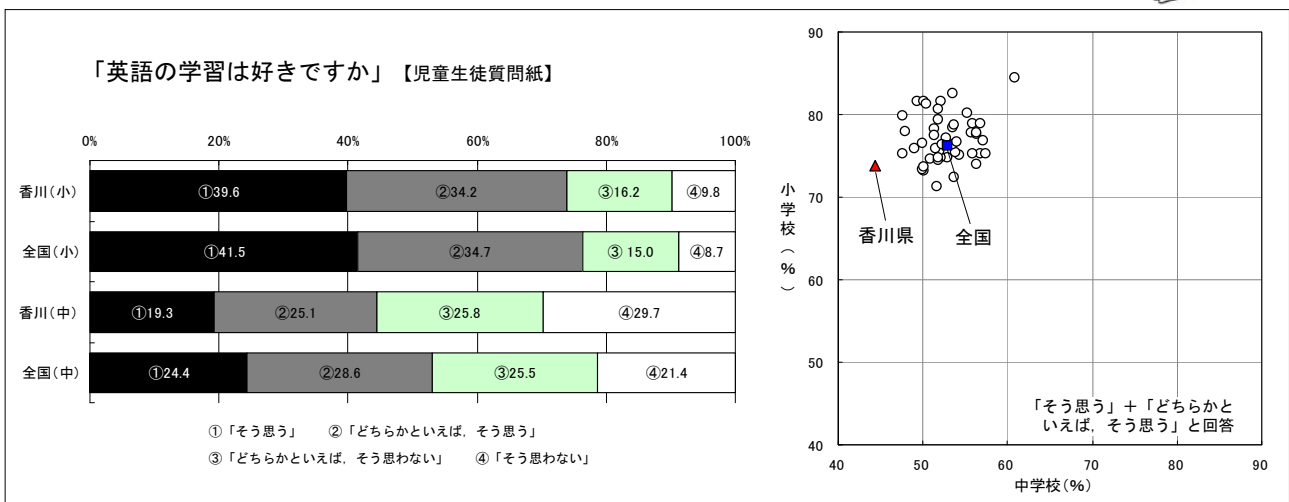
Answer

- ・「英語の学習は好きですか」という質問に対し、肯定的に回答した児童生徒の割合は、小学校、中学校ともに全国を下回っている。
- ・「外国」への興味・関心も全国より低い結果となっている。

1 「英語の学習は好きですか」という質問に対し、肯定的に回答した児童生徒の割合は、小学校、中学校ともに全国を下回っている。


「英語の学習は好きですか」という児童生徒質問紙での質問に対して、「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」と肯定的に回答した児童生徒の割合は、小学校 73.8%，中学校 44.4%で、全国と比較して小学校で2.4ポイント、中学校で8.6ポイント低くなっています。特に中学校は全国的に見ても極めて低く、課題があります。


 p 110

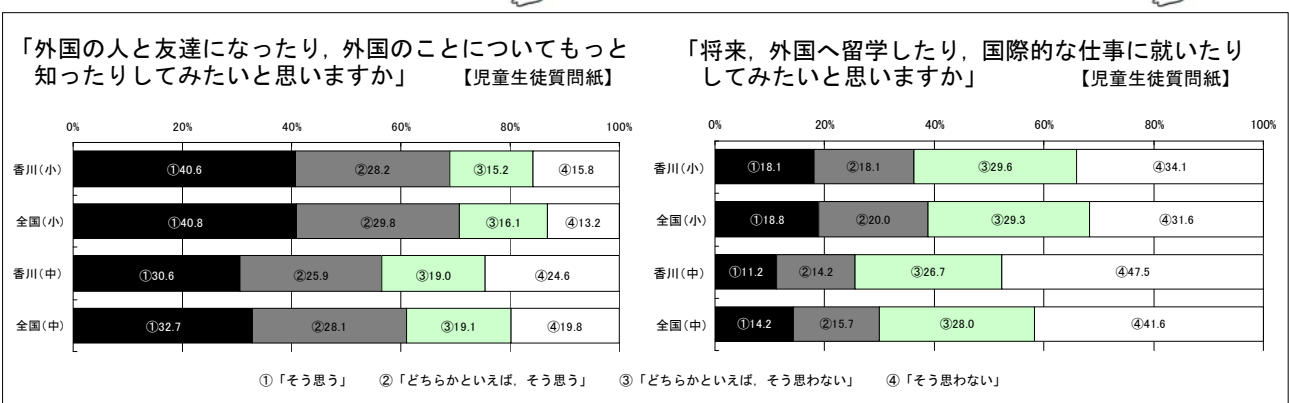


2 「外国」への興味・関心も全国より低い結果となっている。

「外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思いますか」と「将来、外国へ留学したり、国際的な仕事に就いたりしてみたいと思いますか」という児童生徒質問紙での質問に対して、肯定的に回答した児童生徒の割合は、小学校、中学校ともに、2つの質問とも全国を下回っています。

 p 110

 p 110



Ⅲ 教科に関する調査結果及び分析

1 小学校 国語 <調査区分の分析・検証>

概要

- 国語Aについて、県と全国平均正答率の比較（+4.1ポイント）等から、全国より上位の結果であることがうかがえる。
- 国語Bについて、県と全国平均正答率の比較（+3.5ポイント）等から、全国より上位の結果であることがうかがえる。

■平成 25 年度調査結果の集計値

小学校国語A	児童数	学校数	平均正答数	平均正答率 (%)	県と全国との差(ポイント)
県(公立)	8,913	174	12.0 / 18	66.8	4.1
全国(公立)	1,108,245	20,418	11.3 / 18	62.7	

小学校国語B	児童数	学校数	平均正答数	平均正答率 (%)	県と全国との差(ポイント)
県(公立)	8,910	174	5.3 / 10	52.9	3.5
全国(公立)	1,108,075	20,417	4.9 / 10	49.4	

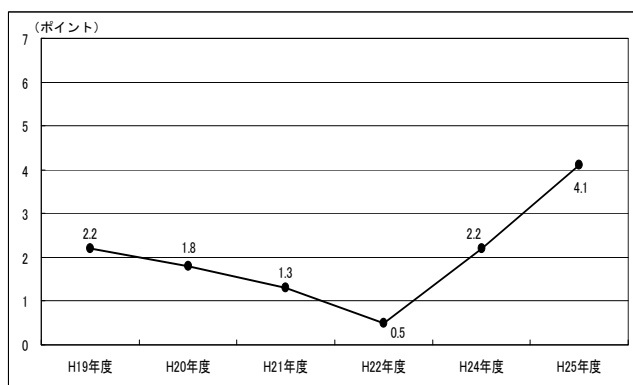
■平成 19 年度～平成 25 年度の県と全国平均正答率の差の推移

※H22・24年度は抽出調査

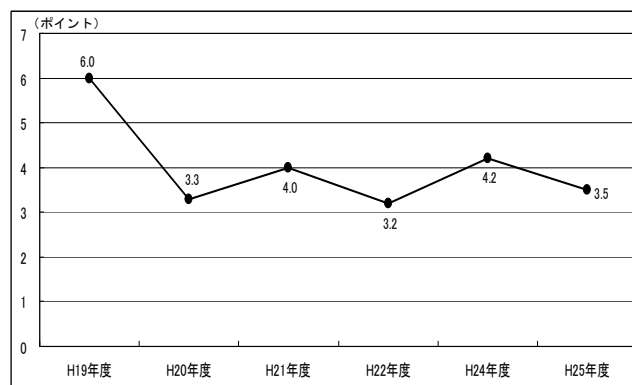
小学校国語A	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成24年度	平成25年度
県(公立)平均正答率 (%)	83.9	67.2	71.2	83.8	83.8	66.8
全国(公立)平均正答率 (%)	81.7	65.4	69.9	83.3	81.6	62.7
県と全国との差	2.2	1.8	1.3	0.5	2.2	4.1

小学校国語B	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成24年度	平成25年度
県(公立)平均正答率 (%)	68.0	53.8	54.5	81.0	59.8	52.9
全国(公立)平均正答率 (%)	62.0	50.5	50.5	77.8	55.6	49.4
県と全国との差	6.0	3.3	4.0	3.2	4.2	3.5

県と全国平均正答率の差の推移【国語A】



県と全国平均正答率の差の推移【国語B】



■平成 25 年度領域別調査結果

学習指導要領の領域等	国語A				国語B			
	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項
県(公立)平均正答率(%)	48.7	59.0	66.5	66.2	66.8	49.3	51.1	68.1
全国(公立)平均正答率(%)	43.2	53.0	60.1	62.6	64.8	43.8	47.9	63.8

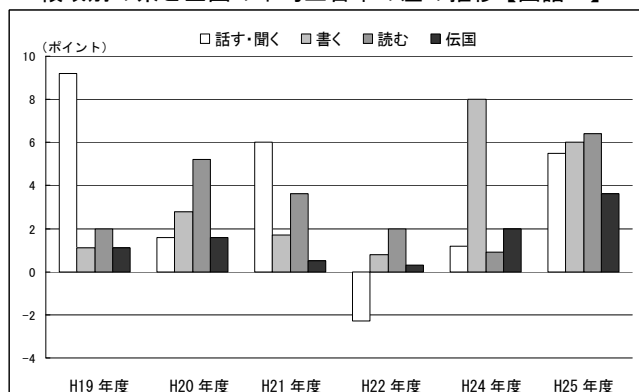
■平成 19 年度～平成 25 年度の領域別調査結果

※H22・24 年度は抽出調査

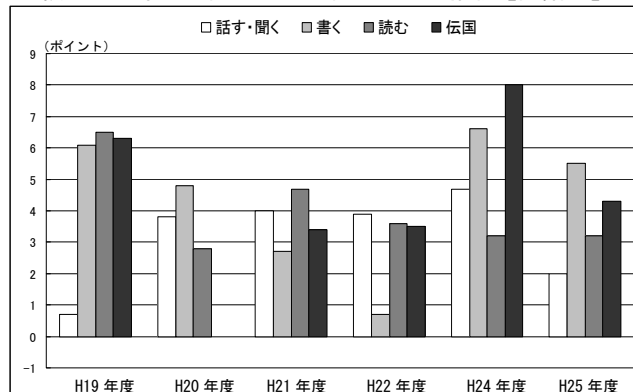
国語A				
領域	調査年度	県(公立)平均正答率(%)	全国(公立)平均正答率(%)	県と全国との差(ポイント)
話すこと・聞くこと	平成 19 年度	65.8	56.6	9.2
	平成 20 年度	77.7	76.1	1.6
	平成 21 年度	74.0	68.0	6.0
	平成 22 年度	80.9	83.2	▲2.3
	平成 24 年度	80.6	79.4	1.2
	平成 25 年度	48.7	43.2	5.5
書くこと	平成 19 年度	86.4	85.3	1.1
	平成 20 年度	56.1	53.3	2.8
	平成 21 年度	87.1	85.4	1.7
	平成 22 年度	68.5	67.7	0.8
	平成 24 年度	65.5	57.5	8.0
	平成 25 年度	59.0	53.0	6.0
読むこと	平成 19 年度	69.3	67.3	2.0
	平成 20 年度	49.7	44.5	5.2
	平成 21 年度	72.3	68.7	3.6
	平成 22 年度	76.1	74.1	2.0
	平成 24 年度	83.0	82.1	0.9
	平成 25 年度	66.5	60.1	6.4
国語の特質に関する事項	平成 19 年度	87.9	86.8	1.1
	平成 20 年度	66.8	65.2	1.6
	平成 21 年度	64.7	64.2	0.5
	平成 22 年度	86.1	85.8	0.3
	平成 24 年度	88.3	86.3	2.0
	平成 25 年度	66.2	62.6	3.6

国語B				
領域	調査年度	県(公立)平均正答率(%)	全国(公立)平均正答率(%)	県と全国との差(ポイント)
話すこと・聞くこと	平成 19 年度	71.6	70.9	0.7
	平成 20 年度	76.8	73.0	3.8
	平成 21 年度	65.3	61.3	4.0
	平成 22 年度	79.3	75.4	3.9
	平成 24 年度	67.7	63.0	4.7
	平成 25 年度	66.8	64.8	2.0
	書くこと	平成 19 年度	67.8	61.7
平成 20 年度		53.9	49.1	4.8
平成 21 年度		17.2	14.5	2.7
平成 22 年度		92.3	91.6	0.7
平成 24 年度		53.4	46.8	6.6
平成 25 年度		49.3	43.8	5.5
読むこと		平成 19 年度	64.2	57.7
	平成 20 年度	51.1	48.3	2.8
	平成 21 年度	61.2	56.5	4.7
	平成 22 年度	77.0	73.4	3.6
	平成 24 年度	58.9	55.7	3.2
	平成 25 年度	51.1	47.9	3.2
	国語の特質に関する事項	平成 19 年度	83.3	77.0
平成 20 年度		/	/	/
平成 21 年度		63.1	59.7	3.4
平成 22 年度		76.5	73.0	3.5
平成 24 年度		63.2	55.2	8.0
平成 25 年度		68.1	63.8	4.3

領域別の県と全国の平均正答率の差の推移【国語A】



領域別の県と全国の平均正答率の差の推移【国語B】



■設問別調査結果【国語A】

集計結果

	児童数	学校数	平均正答率(%)	全国との差(%)
香川県(公立)	8,913	174	66.8	4.1
全国(公立)	1,108,245	20,418	62.7	

※ひとつの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)		全国との差(%)
			香川県(公立)	全国(公立)	
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	1	48.7	43.2	5.5
	書くこと	4	59.0	53.0	6.0
	読むこと	3	66.5	60.1	6.4
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	15	66.2	62.6	3.6
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	1	56.1	44.9	11.2
	話す・聞く能力	1	48.7	43.2	5.5
	書く能力	4	59.0	53.0	6.0
	読む能力	3	66.5	60.1	6.4
	言語についての知識・理解・技能	15	66.2	62.6	3.6
問題形式	選択式	7	71.8	66.3	5.5
	短答式	10	64.4	61.9	2.5
	記述式	1	56.1	44.9	11.2

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			香川県(公立)		全国(公立)		全国との差	
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)
1- (1)	漢字を読む (乗り物の差を買う)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む			56 (1)ウ (ア)						○	○		99.0	0.4	98.9	0.5	0.1	-0.1
1- (2)	漢字を読む (子孫のためにゴミをへらす)		56 (1)ウ (ア)							○	○		73.6	1.9	79.2	2.2	-5.6	-0.3	
1- (3)	漢字を読む (めずらしい植物を採集する)		56 (1)ウ (ア)							○	○		77.0	1.3	64.9	3.1	12.1	-1.8	
1二(1)	漢字を書く (魚をやく)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く			56 (1)ウ (ア)						○	○		65.6	4.4	72.4	5.6	-6.8	-1.2
1二(2)	漢字を書く (バスがていしゃした)		56 (1)ウ (ア)							○	○		55.9	6.0	46.9	11.0	9.0	-5.0	
1二(3)	漢字を書く (委員会をもうける)		56 (1)ウ (ア)							○	○		46.9	23.1	53.5	27.4	-6.6	-4.3	
2-	ことわざの意味として適切なものを選択する (石の上にも三年)	ことわざの意味を理解する			34 (1)ア (イ)						○	○		81.4	0.7	71.1	1.2	10.3	-0.5
2二	ことわざの意味として適切なものを選択する (急がば回れ)		34 (1)ア (イ)							○	○		88.5	0.8	86.1	1.2	2.4	-0.4	
3-	文のはじめの5文字を丸で囲む	文の定義を理解する			12 (1)イ (カ)						○	○		46.7	15.5	36.5	20.2	10.2	-4.7
3二(1)	接続語を使って1文を2文に分けて書く	文と文の意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く	56 ウ		34 (1)イ (ク)					○	○	○		25.8	6.6	23.4	10.3	2.4	-3.7
3二(2)	「だから」と同じような働きをする接続語として適切なものを選択する	接続語「だから」のもつ働きを理解する			34 (1)イ (ク)					○	○			84.1	3.0	83.3	3.5	0.8	-0.5
4ア	「言葉の使い方」に関する資料を読み取り、年代ごとの割合から分かることを書く	目的に応じて資料を読み、分かったことを的確に書く	56 エ								○	○		77.6	8.5	72.4	11.9	5.2	-3.4
4イ	「言葉の使い方」に関する資料を読み取り、全体から分かることを書く		56 エ								○	○		76.3	13.0	71.3	18.1	5.0	-5.1
4ウ	「言葉の使い方」に関する資料を読み取り、全体から分かることを書く		56 エ				○	○			○			56.1	11.6	44.9	20.3	11.2	-8.7
5ア	マナーに関する広告を読み、編集の仕方の特徴をまとめたものとして適切なものを選択する	広告を読み、編集の特徴を捉える		56 ウ	56 (1)イ (キ)					○	○	○		65.6	5.1	61.1	9.2	4.5	-4.1
5イ	マナーに関する広告を読み、編集の仕方の特徴をまとめたものとして適切なものを選択する		56 ウ		56 (1)イ (キ)					○	○	○		78.5	5.8	71.7	10.3	6.8	-4.5
6アイ	焚火とその周りの景色との関係を表したものとして適切なものを選択する	俳句の情景を捉える		56 エ	34 (1)ア (ア)					○	○	○		55.5	8.8	47.5	14.4	8.0	-5.6
7	選手宣誓文の表現の工夫とその効果を説明したものと適切なものを選択する	スピーチの表現を工夫する	56 イ		56 (1)イ (ケ)					○	○	○		48.7	14.1	43.2	21.9	5.5	-7.8

■設問別調査結果【国語B】

集計結果

	児童数	学校数	平均正答率(%)	全国との差(%)
香川県(公立)	8,910	174	52.9	3.5
全国(公立)	1,108,075	20,417	49.4	

※ひとつの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)		全国との差(%)
			香川県(公立)	全国(公立)	
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	66.8	64.8	2.0
	書くこと	4	49.3	43.8	5.5
	読むこと	4	51.1	47.9	3.2
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	1	68.1	63.8	4.3
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	2	47.7	42.5	5.2
	話す・聞く能力	3	66.8	64.8	2.0
	書く能力	4	49.3	43.8	5.5
	読む能力	4	51.1	47.9	3.2
	言語についての知識・理解・技能	1	68.1	63.8	4.3
問題形式	選択式	3	60.5	59.7	0.8
	短答式	5	50.4	45.9	4.5
	記述式	2	47.7	42.5	5.2

設問別集計結果

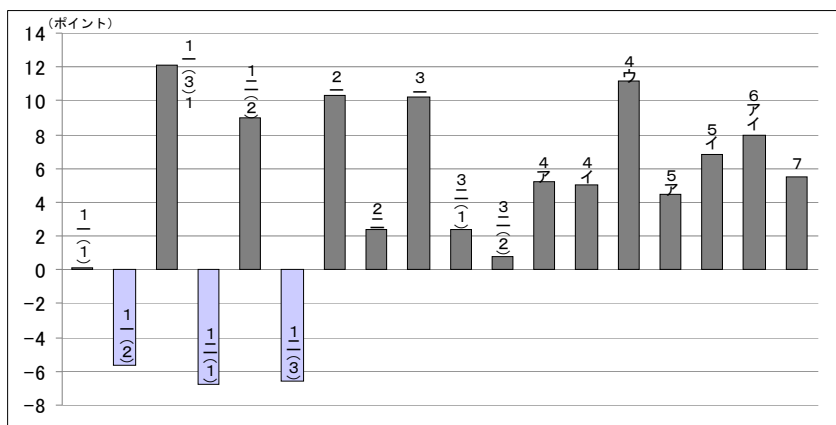
設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等			評価の観点					問題形式			香川県(公立)		全国(公立)		全国との差		
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)	
1-1	助言の際に6年生がとった対応の説明として適切なものを選択する	相手の立場や状況を感じ取って聞く	56イ												77.7	0.7	78.8	1.2	-1.1	-0.5
1-2	6年生の助言の仕方の説明として適切なものをそれぞれ選択する	話し手の意図を捉えながら聞き、適切に助言をする	56イエ												49.4	0.6	48.5	1.2	0.9	-0.6
1-3	川本さんの助言についての説明を書く	話し手の意図を捉えながら聞き、効果的に助言をする	56イエ	56ウ											73.3	5.3	67.2	9.7	6.1	-4.4
2-1	「打ち上げ花火の歴史」という見出しに合わせて必要な内容を書き加える	目的や意図に応じ、必要な内容を適切に書き加える	56ウオカ												68.1	2.2	63.8	4.4	4.3	-2.2
2-2	【ずかんの一部】の中から花火師の苦勞が具体的に書かれている内容を引用して書く	目的や意図に応じ、必要な内容を適切に引用して書く	56エオカ												33.8	7.0	26.2	13.3	7.6	-6.3
2-3	複数の内容を関係付けた上で、自分の考えを具体的に書く	目的や意図に応じ、複数の内容を関係付けながら自分の考えを具体的に書く	56エオカ												22.1	10.4	17.8	20.4	4.3	-10.0
3-ア	【本間さんが書いたすいせん文】において推薦している対象を書く	2人の推薦文を比べて読み、推薦している対象や理由を捉える													52.0	9.8	49.7	15.7	2.3	-5.9
3-イ	【花田さんが書いたすいせん文】において推薦している理由を書く														51.0	17.7	45.3	28.8	5.7	-11.1
3-ウ	【本間さんが書いたすいせん文】において推薦している理由を書く														47.0	19.0	44.6	30.6	2.4	-11.6
3-ニ	2人の推薦文を比べて読み、それぞれの読み方として適切なものを選択する	2人の推薦文を比べて読み、読み方の違いを捉える	56イカ												54.4	6.2	51.9	10.6	2.5	-4.4

調査結果に特徴のうかがえる設問

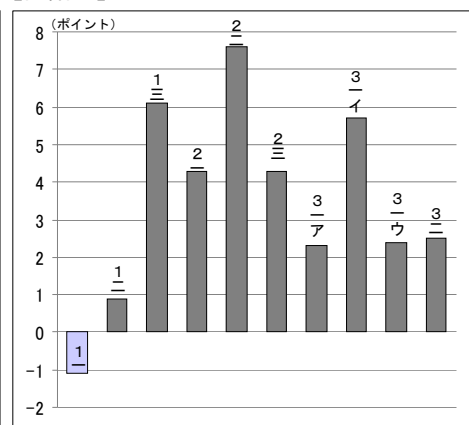
- 小学校国語の調査において、正答率が3ポイント以上全国を上回った設問は、28問中16問(57.1%)であった。
- 小学校国語の調査において、正答率が3ポイント以上全国を下回った設問は、28問中3問(10.7%)であった。
- 小学校国語の調査において、正答率が50%以下であった設問は、28問中8問(28.6%)であった。

■設問別の県と全国の正答率の差

【国語A】



【国語B】



■正答率が全国より3ポイント以上高い設問

【小学校国語A】 (全18問中11問)

設問番号	設問の概要	正答率 (%)	全国(公立)との差(ポイント)	無解答率 (%)
1一 (3)	漢字を読む (めずらしい植物を採集する)	77.0	12.1	1.3
1二 (2)	漢字を書く (バスがていしゃした)	55.9	9.0	6.0
2一	ことわざの意味として適切なものを選択する (石の上にも三年)	81.4	10.3	0.7
3一	文のはじめの5文字を丸で囲む	46.7	10.2	15.5
4ア	「言葉の使い方」に関する資料を読み取り、年代ごとの割合から分かることを書く	77.6	5.2	8.5
4イ	「言葉の使い方」に関する資料を読み取り、年代ごとの割合から分かることを書く	76.3	5.0	13.0
4ウ	「言葉の使い方」に関する資料を読み取り、全体から分かることを書く	56.1	11.2	11.6
5ア	マナーに関する広告を読み、編集の仕方の特徴をまとめたものとして適切なものを選択する	65.6	4.5	5.1
5イ	マナーに関する広告を読み、編集の仕方の特徴をまとめたものとして適切なものを選択する	78.5	6.8	5.8
6アイ	焚火とその周りの景色との関係を表したものとして適切なものを選択する	55.5	8.0	8.8
7	選手宣誓文の表現の工夫とその効果を説明したものとして適切なものを選択する	48.7	5.5	14.1

【小学校国語B】 (全10問中5問)

設問番号	設問の概要	正答率 (%)	全国(公立)との差(ポイント)	無解答率 (%)
1三	川本さんの助言についての説明を書く	73.3	6.1	5.3
2一	「打ち上げ花火の歴史」という見出しに合わせて必要な内容を書き加える	68.1	4.3	2.2
2二	【ずかんの一部】の中から花火師の苦勞が具体的に書かれている内容を引用して書く	33.8	7.6	7.0
2三	複数の内容を関係付けた上で、自分の考えを具体的に書く	22.1	4.3	10.4
3一イ	【花田さんが書いたすいせん文】において推薦している理由を書く	51.0	5.7	17.7

■正答率が全国より3ポイント以上低い設問

【小学校国語A】（全18問中3問）

設問番号	設問の概要	正答率 (%)	全国(公立)との差(ポイント)	無解答率 (%)
1一 (2)	漢字を読む (子孫のためにゴミをへらす)	73.6	▲5.6	1.9
1二 (1)	漢字を書く (魚をやく)	65.6	▲6.8	4.4
1二 (3)	漢字を書く (委員会をもうける)	46.9	▲6.6	23.1

【小学校国語B】（全10問） なし

■正答率が低い設問（50%以下）

【小学校国語A】（全18問中4問）

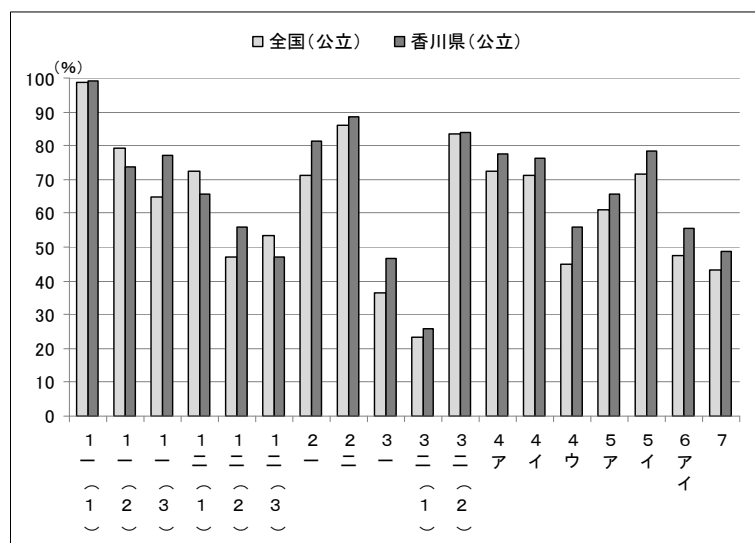
設問番号	設問の概要	正答率 (%)	全国(公立)との差(ポイント)	無解答率 (%)
1二 (3)	漢字を書く (委員会をもうける)	46.9	▲6.6	23.1
3一	文のはじめの5文字を丸で囲む	46.7	10.2	15.5
3二 (1)	接続語を使って1文を2文に分けて書く	25.8	2.4	6.6
7	選手宣誓文の表現の工夫とその効果を説明したものとして適切なものを選択する	48.7	5.5	14.1

【小学校国語B】（全10問中4問）

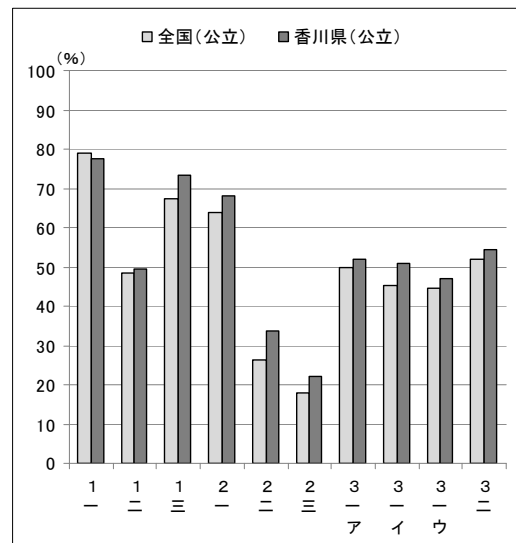
設問番号	設問の概要	正答率 (%)	全国(公立)との差(ポイント)	無解答率 (%)
1二	6年生の助言の仕方の説明として適切なものをそれぞれ選択する	49.4	0.9	0.6
2二	【ずかんの一部】の中から花火師の苦勞が具体的に書かれている内容を引用して書く	33.8	7.6	7.0
2三	複数の内容を関係付けた上で、自分の考えを具体的に書く	22.1	4.3	10.4
3一ウ	【本間さんが書いたすいせん文】において推薦している理由を書く	47.0	2.4	19.0

■全設問の県と全国の正答率の比較

【国語A】



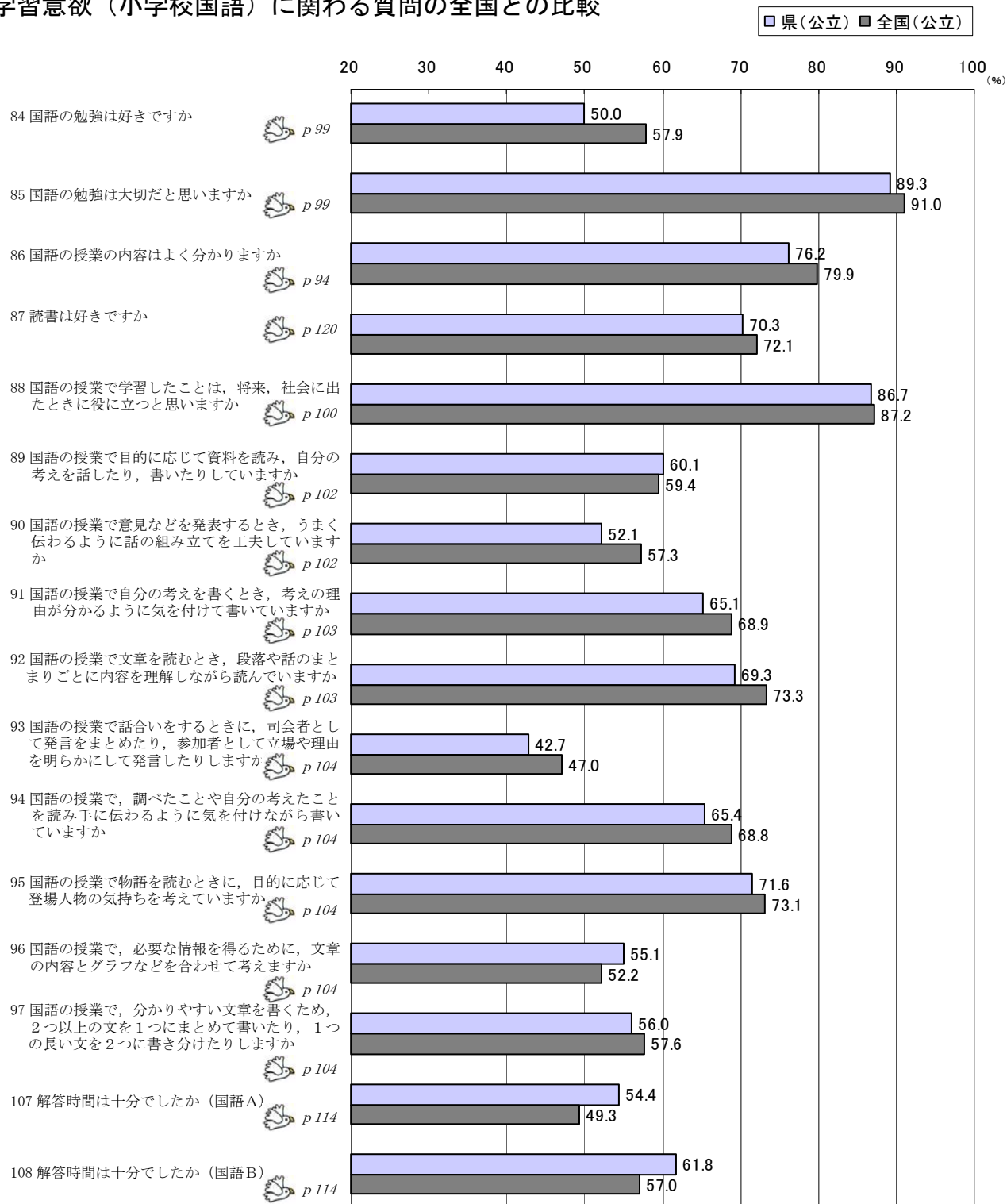
【国語B】




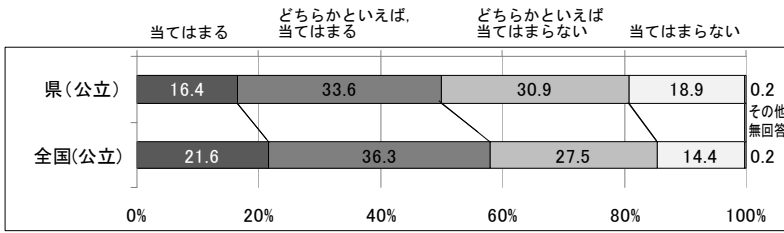
学習意欲

- 「84 国語の勉強は好きですか」の質問に対して、肯定的に回答した児童の割合は、全国と比べて低い。
- 「86 国語の授業の内容はよく分かりますか」の質問に対して、肯定的に回答した児童の割合は、全国と比べて低い。

■学習意欲（小学校国語）に関する質問の全国との比較



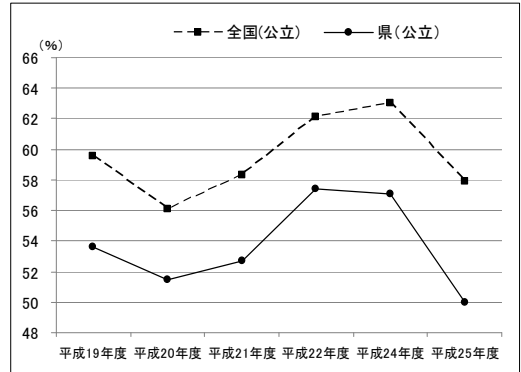
□84 国語の勉強は好きですか  p 99




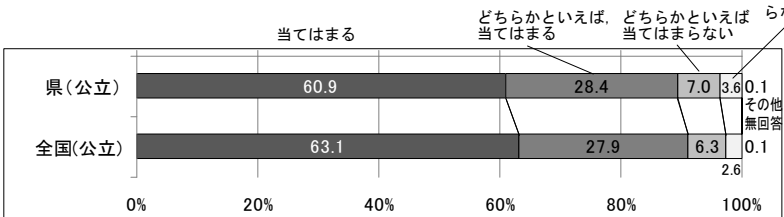
当てはまる、どちらかといえば当てはまると肯定的に回答した児童の割合

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成24年度	平成25年度
県(公立)	53.6	51.5	52.7	57.4	57.1	50.0
全国(公立)	59.6	56.1	58.3	62.1	63.0	57.9
県と全国の差	▲6.0	▲4.6	▲5.6	▲4.7	▲5.9	▲7.9

質問84に肯定的に回答した児童の
県と全国との割合の推移



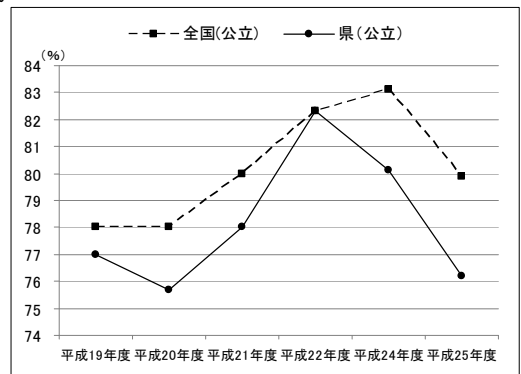
□86 国語の授業の内容はよく分かりますか  p 94




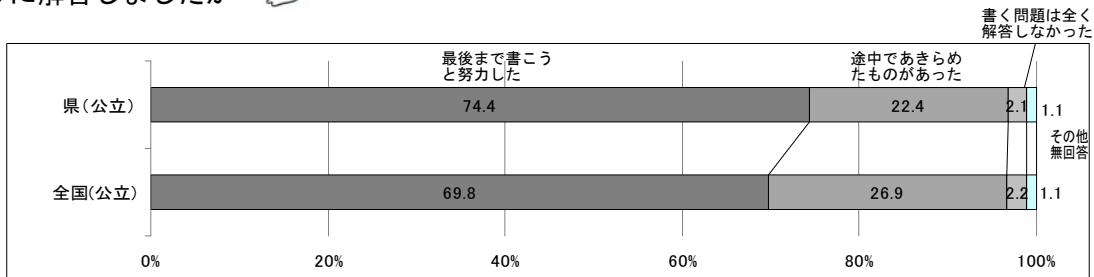
当てはまる、どちらかといえば当てはまると肯定的に回答した児童の割合


	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成24年度	平成25年度
県(公立)	77.0	75.7	78.0	82.3	80.1	76.2
全国(公立)	78.0	78.0	80.0	82.3	83.1	79.9
県と全国の差	▲1.0	▲2.3	▲2.0	0.0	▲3.0	▲3.7

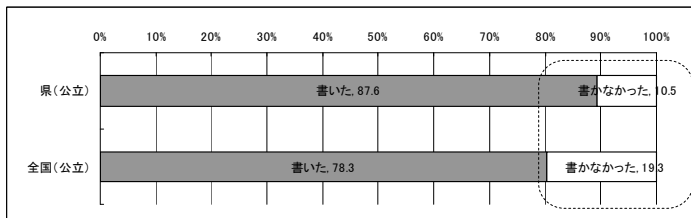
質問86に肯定的に回答した児童の
県と全国との割合の推移



□103 今回の国語の問題の中で、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか  p 111

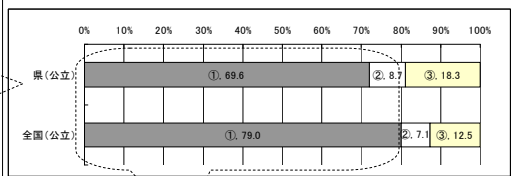


□104 国語B-2-3の解答を書きましたか  p 111, 112



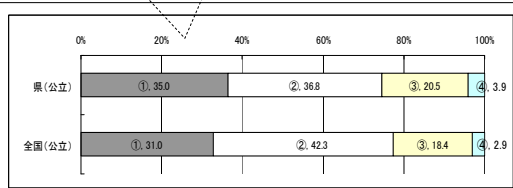
□105 解答しなかった理由は何ですか (104で解答しなかった生徒のみ)

- ①努力したが難しく書けなかった
- ②文章で書く問題だったので解答しようと思わなかった
- ③解答する時間がなかった



□106 この問題に解答しようとしたとき、あなたはどのように考えましたか (105で①と回答した児童のみ)

- ①問題文の意味が分からなかったので、何も書かなかった
- ②何を取り上げて書いたらよいか分からなかったため、何も書かなかった
- ③何を取り上げて書いたらよいかは分かったが、考えがまとまらなかったため、何も書かなかった
- ④考えはまとまったが、解答に自信がなかったため、何も書かなかった



調査結果から授業改善へ

目的や意図に応じて必要な内容を引用して書いたり、複数の内容を関連付けながら自分の考えを書いたりできるようにする。

授業改善のヒントとなる設問の概要

小学校 国語B 2二, 2三

【下書きの一部】※一人一人が分担して書いた内容を一枚に構成したものをここに読み始めよう。

1 打ち上げ花火の歴史

【1613 (慶長18)年】
中国人が打ち上げた花火を、徳川家康が見物した。

↓

【1733 (享保18)年】
東京の橋田川で、花火が打ち上げられた。

↓

A

【1879 (明治12)年ごろ】
海外から爆薬酸欠リウムなどが輸入されるようになった。

↓

【1910 (明治43)年】
事故防止のため、花火の製造と打ち上げに、めん許や許可を必要とする法りつができた。

1 ページ

2 打ち上げ花火の種類

打ち上げ花火は、「星花火」と「夜花火」に分けられる。

「星花火」は、行幸などの開始の合図として打ち上げられる。「音物」が多い。

「夜花火」は、大きく「わり物」「ボ力物」に分けられる。

「わり物」は代表的な打ち上げ花火で、破れついた時に星が球状に飛び散るものである。

「わり物」の中には、「キク物」や「ボタン物」などがある。

- 「キク物」
星がさくの花のようになり、おを引いて広がるもの。
- 「ボタン物」
星がぼたんの花のようになり、おを引かないもの。

現在における打ち上げ花火の特徴として、「型物」の開発が進んでいることが挙げられる。「型物」とは、あるもの形になって星が飛び散るもので、最近では土星や人の顔の形などになるようにくふうされている。

2 ページ

3 花火師の小野さんの声

A いろいろな苦労をこえて

小野さんは、「**B**」と話していました。花火の打ち上げのうらはは、花火師さんのいろいろな苦労があることを初めて知りました。

C

い つくり出す伝統

小野さんは、「現在、花火の色として、水色やピンク色などの中間色も使ったカラフルな花火を作っています。また、音楽に合わせて花火を打ち上げるなどの新しいことに取り組んでいます。」と話していました。

3 ページ

4 まとめ

打ち上げ花火は、およそ400年もの歴史をもった、日本のすばらしい伝統といえます。

C

あとがき

打ち上げ花火の歴史や種類、花火師さんたちの苦労を知ること、夜空にかがやく打ち上げ花火が、今以上に美しく見えるにちがひありません。打ち上げ花火のことを調べて、日本の伝統のおどろきにふれることができました。

4 ページ

【リーフレットの表紙】

2

打ち上げ花火の伝統

打ち上げ花火は、いつから人々の目を楽しませてきたのでしょうか。また、花火師たちはどのような種類の打ち上げ花火を作り出してきたのでしょうか。

そして、打ち上げ花火の伝統を守るために花火師たちはどのような苦労をしているのでしょうか。

※リーフレットとは、「一枚の紙を折りたたんだものなどに、文章と絵や写真、図表、グラフなどを貼って作られた内容を分かりやすく説明したものです。」

6年1組 ・今村 ・西村
・町田 ・山下

2 今村さんたちは、「花火師の小野さんの声」の「A いろいろな苦労をこえて」について、「編集会議」での西村さんの意見を聞き、「そのわがを」として、自分の内容を引用して書くことにしました。引用する「B」の文を探し、それぞれ別の文のほかに5文字を書きましよう。なお、「1」も字数にふくみます。

【編集会議での町田さんと山下さんの意見】

町田さん：「『まとめ』には、題名「打ち上げ花火の伝統」に合う内容を考えたほうがいいと思うわ。書き出しの文「打ち上げ花火は、一伝統といえます。」は、『歴史』に注目し、『1 打ち上げ花火の歴史』の内容をまどめてみるわね。」

山下さん：「それに続く内容は、『現在』の打ち上げ花火に注目し、『2 打ち上げ花火の種類』と『3 花火師の小野さんの声』の『い つくり出す伝統』の中に書かれている。現在における打ち上げ花火の色や、打ち上げるときのおくふうを取り上げて書いてほしいわ。そして、最後に考えたことをまどめて書いてらうかな。」

※上の意見内容は下書き用紙で、使っても使わなくても構いません。解答は、解答用紙に書きましよう。★の印から書きましよう。どこかで打ち上げ花火を打ち上げたこと、打ち上げ花火の歴史や種類、花火師さんたちの苦労を知ること、夜空にかがやく打ち上げ花火が、今以上に美しく見えるにちがひありません。打ち上げ花火のことを調べて、日本の伝統のおどろきにふれることができました。

【編集会議での西村さんの意見】

見出しの「A いろいろな苦労をこえて」の中で、小野さんの苦労が具体的に書かれている文を引用したほうがいいと思うわ。

【ずかんの一部】

～花火師の小野さんの声～

みなさんは、花火師が花火を打ち上げるまでにどのような苦労があるか知っていますか。わたしは、花火師のわがを身に付けるために、約10年もの期間をかけて修行をし、一人前になることができました。そのわがをを強く、安全に花火を打ち上げるために、毎朝、準備から後片付けまで、いっつも力をこめて取り組んできました。多くのみなさんに喜んでもらうために、わたしたち花火師はさまざまなわがをみが、細やかな心がけをしていることをぜひ知ってほしいと思います。

～ (内容が続く) ～

設問番号	解答類型	県反応率 (%)	全国反応率 (%)	正答
2	1 「わたしは、」と「そのわがを」と解答しているもの	33.8	26.2	◎
	2 「わたしは、」と解答しているが、「そのわがを」と解答していないもの	13.2	13.3	
	3 「わたしは、」と解答していないが、「そのわがを」と解答しているもの	13.2	11.0	
	9 上記以外の解答	32.9	36.3	
	0 無解答	7.0	13.3	

設問番号	解答類型
2	三 (正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 【下書きの一部】の【2 打ち上げ花火の種類】と【3 花火師の小野さんの声】の【い つくり出す伝統】の両方から内容を取り上げている。 a 「型物」についての内容を取り上げている。 b 「色 (中間色・カラフル)」についての内容を取り上げている。 c 「音楽」についての内容を取り上げている。 ② ①で取り上げた内容について、考えたことを具体的に書いている。 ③ 書き出しの文に続けて、80字以上、100字以内で書いている。 解答類型について以下の表に示す。 □…条件を満たしているもの ▲…条件を満たしていないもの (無解答を含む)

解答類型	条件					県反応率 (%)	全国反応率 (%)	正答
	条件① a	条件① b	条件① c	条件②	条件③			
1	□	□	□	□	□	4.5	4.1	◎
2	□	▲	▲	□	□	17.6	13.7	○
3	□	▲	▲	□	▲	1.4	2.0	
4	□	▲	▲	□	□	38.6	30.1	
5	□	▲	▲	□	▲	1.2	2.4	
9	▲	▲	▲	□	▲	26.4	27.2	
無解答						10.4	20.4	
						22.1	17.8	

分析・考察

②の設問は、目的や意図に応じて伝えたい内容を精選し、読み手に分かるように編集するためにはどのようにすればよいかを考える設問である。

②二の設問は、全国に比べて正答率が7.6ポイント高いが、県の正答率は33.8%である。目的や意図に応じて引用する箇所を的確に書き抜くことに課題がある。

②三の設問は、全国に比べて正答率が4.3ポイント高い。しかし、県の正答率は22.1%である。全国・県ともに正答率が最も低く、県の誤答傾向は全国と似ている。目的や意図に応じて、該当する資料に注目した上で、必要となる複数の内容を関連付けながら自分の考えを書くことに課題が見られる。

授業改善のポイント

第5・6学年の「書くこと」の指導事項に、「引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書くこと」とある。また、第3・4学年の「読むこと」の指導事項に、「目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり要約したりすること」とある。「書くこと」と「読むこと」との関連を図りながら、学年の段階に応じて意図的・計画的に指導することが重要である。

【読み手に伝えたいことが分かるようにするために具体的な事実などを引用して書くこと】

引用については、テーマや見出しなどに合わせて内容を選択したり、引用した内容が目的や意図に応じているかどうかを判断したりすることができるように指導する。例えば、それぞれの文が、読者への問いかけなのか、体験に基づく事実であるのか、感想や意見であるのかなどといった文の意味やつながりを理解した上で、適切な引用ができているかを判断できるように指導する。また、原文を正確に引用することや、引用する内容が全体の分量に比べて適切な量になるように全体とのバランスを考えることも指導する必要がある。さらに、「書くこと」の指導においては、引用した内容と自分の考えを書いた文章との関係を考えて書かせることも重要である。

【編集の目的や意図に応じ、複数の内容を関係付けながら自分の考えを書くこと】

第3・4学年では、全体を見通し、必要な事柄を整理して書く指導を行う。具体的には、該当する資料に注目させ、必要となる事実を的確に取り上げて書く指導を行う。

調査報告文を書く学習では、調査を通して分かったことと考えたこととを関係付けたり、調査してきた事柄を項目ごとに整理して全体を見通したりする指導を行う。新聞やパンフレットなど、表現するものの特徴に合わせるとともに、ポイントを踏まえて記述する指導を行う。交流も適宜行い、互いが書き上げた文章の良さを感じ取ることを大切にするとともに、相手に助言することによって、自分の考えを深めたり、自分の表現に活用したりできるように指導する。

【調査報告文の記述のポイント】

- 見出しを立てる。
- 調べた結果は、図表やグラフなどを用いて分かりやすく示す。
- 「目的・理由」と「まとめ」とを関係付けて書く。
- 接続語や文末表現に注意する。

課題について調べ、報告する文章を書く力は、社会科や理科、総合的な学習の時間などにおいても必要な能力であり、それらの学習と関連付けて指導することも大切にしたい。

提案文を書く学習では、提案の理由が調査に基づくものか、体験に基づくものなのかといった、観点を明らかにした上で理由を明確に表す際の表現について話し合ったりする指導を行ったり、自分の提案に対する他者の質問を取り入れ、相手が納得できるように書く指導を行ったりする。

第5・6学年では、事実と考えを効果的に関係付けて構成したり、考えの根拠を明確にして書いたりする指導を行う。

調査報告文を書く学習では、一つ一つの事実に対する自分の考えをもち、編集の目的や意図に応じて自分の考えの中心を明確にしながら一定の条件に合わせて書くといった、調査して分かった事実を関係付けながら、自分の考えを明確に書くことを大切に指導する。

【過程を大切に調査報告文の指導例】

- ①事実と考えを明確に区別して書くような学習シートを準備し、リーフレットの見出しに合わせて、事実と考えを書き分ける。
- ②目的や条件に合わせて上で、中心となる考えを明確にして内容をまとめる。
- ③字数などの条件に合わせて書く。

意見文を書く学習では、書く内容のまとまりを捉えてそれらを相互に関連付けることで、意見文の全体を効果的に構成したり、事実に対する自分の考えを理由や根拠を明確にしたりして書く。例えば、構成や理由、根拠の明確さについての検討や、「頭括型」「尾括型」「双括形」などの意見文の構成や、「その理由は」「～ためである」などの意見の理由や根拠を述べる表現を示して指導する。

2 小学校 算数 <調査区分の分析・検証>

概要

- 算数Aについて、県と全国平均正答率の比較（+0.9ポイント）等から、全国との差があまりないことがうかがえる。
- 算数Bについて、県と全国平均正答率の比較（+3.7ポイント）等から、全国より上位の結果であることがうかがえる。

■平成 25 年度調査結果の集計値

小学校算数A	児童数	学校数	平均正答数	平均正答率 (%)	県と全国との差(ポイント)
県(公立)	8,913	174	14.8 / 19	78.1	0.9
全国(公立)	1,108,272	20,418	14.7 / 19	77.2	

小学校算数B	児童数	学校数	平均正答数	平均正答率 (%)	県と全国との差(ポイント)
県(公立)	8,912	174	8.1 / 13	62.1	3.7
全国(公立)	1,108,107	20,417	7.6 / 13	58.4	

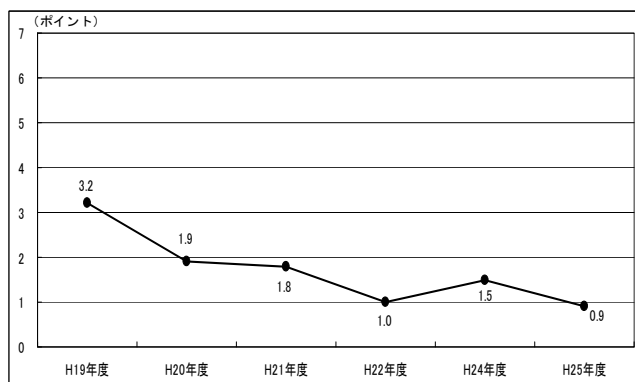
■平成 19 年度～平成 25 年度の県と全国平均正答率の差の推移

※H22・24年度は抽出調査

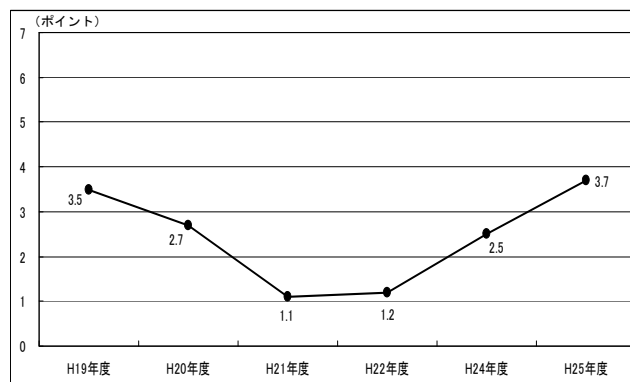
小学校算数A	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
県(公立)平均正答率 (%)	85.3	74.1	80.5	75.2	74.8	78.1
全国(公立)平均正答率 (%)	82.1	72.2	78.7	74.2	73.3	77.2
県と全国の差	3.2	1.9	1.8	1.0	1.5	0.9

小学校算数B	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
県(公立)平均正答率 (%)	67.1	54.3	55.9	50.5	61.4	62.1
全国(公立)平均正答率 (%)	63.6	51.6	54.8	49.3	58.9	58.4
県と全国の差	3.5	2.7	1.1	1.2	2.5	3.7

県と全国平均正答率の差の推移【算数A】



県と全国平均正答率の差の推移【算数B】



■平成 25 年度領域別調査結果

学習指導要領の領域等	算数A				算数B			
	数と計算	量と測定	図形	数量関係	数と計算	量と測定	図形	数量関係
県(公立) 平均正答率(%)	79.6	72.4	73.7	84.0	52.9	60.0	80.8	58.8
全国(公立) 平均正答率(%)	80.2	68.3	72.5	83.4	48.3	56.0	79.3	54.9

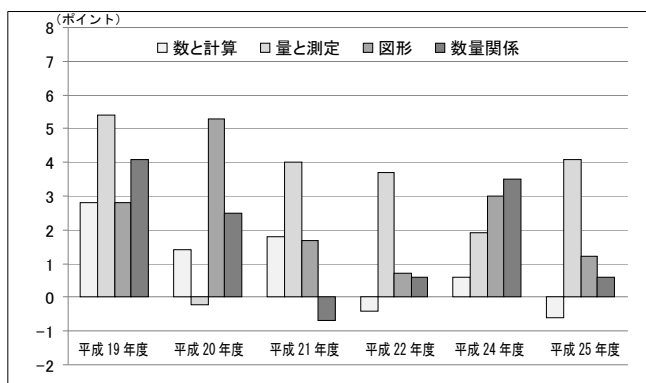
■平成 19 年度～平成 25 年度の領域別調査結果

※H22・24 年度は抽出調査

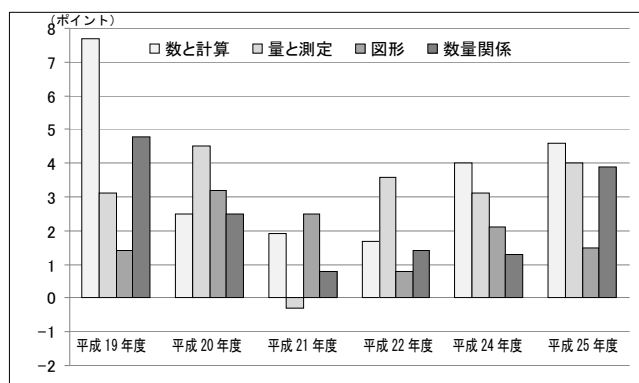
算数A				
領域	調査年度	県(公立) 平均正答率(%)	全国(公立) 平均正答率(%)	県と全国と の差(ポイント)
数と計算	平成 19 年度	84.3	81.5	2.8
	平成 20 年度	78.2	76.8	1.4
	平成 21 年度	84.6	82.8	1.8
	平成 22 年度	73.7	74.1	▲0.4
	平成 24 年度	75.6	75.0	0.6
	平成 25 年度	79.6	80.2	▲0.6
量と測定	平成 19 年度	91.5	86.1	5.4
	平成 20 年度	56.0	56.2	▲0.2
	平成 21 年度	82.5	78.5	4.0
	平成 22 年度	77.8	74.1	3.7
	平成 24 年度	73.6	71.7	1.9
	平成 25 年度	72.4	68.3	4.1
図形	平成 19 年度	88.9	86.1	2.8
	平成 20 年度	78.0	72.7	5.3
	平成 21 年度	83.0	81.3	1.7
	平成 22 年度	83.8	83.1	0.7
	平成 24 年度	75.6	72.6	3.0
	平成 25 年度	73.7	72.5	1.2
数量関係	平成 19 年度	79.5	75.4	4.1
	平成 20 年度	74.9	72.4	2.5
	平成 21 年度	63.5	64.2	▲0.7
	平成 22 年度	66.3	65.7	0.6
	平成 24 年度	77.9	74.4	3.5
	平成 25 年度	84.0	83.4	0.6

算数B				
領域	調査年度	県(公立) 平均正答率(%)	全国(公立) 平均正答率(%)	県と全国と の差(ポイント)
数と計算	平成 19 年度	66.6	58.9	7.7
	平成 20 年度	67.7	65.2	2.5
	平成 21 年度	57.7	55.8	1.9
	平成 22 年度	57.5	55.8	1.7
	平成 24 年度	58.0	54.0	4.0
	平成 25 年度	52.9	48.3	4.6
量と測定	平成 19 年度	61.1	58.0	3.1
	平成 20 年度	57.8	53.3	4.5
	平成 21 年度	59.6	59.9	▲0.3
	平成 22 年度	36.9	33.3	3.6
	平成 24 年度	63.9	60.8	3.1
	平成 25 年度	60.0	56.0	4.0
図形	平成 19 年度	73.9	72.5	1.4
	平成 20 年度	64.4	61.2	3.2
	平成 21 年度	58.9	56.4	2.5
	平成 22 年度	42.8	42.0	0.8
	平成 24 年度	65.4	63.3	2.1
	平成 25 年度	80.8	79.3	1.5
数量関係	平成 19 年度	70.3	65.5	4.8
	平成 20 年度	47.4	44.9	2.5
	平成 21 年度	57.6	56.8	0.8
	平成 22 年度	55.7	54.3	1.4
	平成 24 年度	50.8	49.5	1.3
	平成 25 年度	58.8	54.9	3.9

領域別の県と全国の平均正答率の差の推移【算数A】



領域別の県と全国の平均正答率の差の推移【算数B】



■設問別調査結果【算数A】

集計結果

	児童数	学校数	平均正答率(%)	全国との差(%)
香川県(公立)	8,913	174	78.1	0.9
全国(公立)	1,108,272	20,418	77.2	

※ひとつの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)		全国との差(%)
			香川県(公立)	全国(公立)	
学習指導要領の領域	数と計算	8	79.6	80.2	-0.6
	量と測定	4	72.4	68.3	4.1
	図形	3	73.7	72.5	1.2
	数量関係	4	84.0	83.4	0.6
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	0			
	数学的な考え方	0			
	数量や図形についての技能	8	85.0	86.2	-1.2
	数量や図形についての知識・理解	11	73.0	70.5	2.5
問題形式	選択式	8	70.2	68.2	2.0
	短答式	11	83.8	83.6	0.2
	記述式	0			

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式			香川県(公立)		全国(公立)		全国との差		
			数と計算	量と測定	図形	数量関係	算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)	
1(1)	243-65 を計算する	繰り下がりのある減法の計算をすることができる	3A(2)イ					○				○			87.6	0.2	88.2	0.2	-0.6	0.0
1(2)	0.75+0.9 を計算する	小数の加法の計算をすることができる	4A(5)イ					○				○			63.5	0.3	71.3	0.3	-7.8	0.0
1(3)	9.3×0.8 を計算する	小数の乗法の計算をすることができる	5A(3)イ					○				○			86.3	0.4	83.7	0.4	2.6	0.0
1(4)	6÷5 を計算する	商が小数になる除法の計算をすることができる	4A(5)ウ					○				○			86.0	1.5	88.3	1.4	-2.3	0.1
1(5)	16-(6+3) を計算する	() を用いた整数の計算をすることができる				4D(2)ア		○				○			94.4	0.7	94.4	0.8	0.0	-0.1
1(6)	2と5/7+1と1/7 を計算する	同分母の分数の加法の計算をすることができる	4A(6)イ					○				○			84.7	2.6	88.9	2.1	-4.2	0.5
1(7)	2/9×4 を計算する	乗数が整数である場合の分数の乗法の計算をすることができる	5A(4)カ					○				○			89.9	1.3	89.5	1.7	0.4	-0.4
2	一万の位までの概数にしたときに、2000になる数を選ぶ	示された位までの概数にする際、一つの位の数を四捨五入して処理する方法について理解している	4A(2)イ									○	○		67.3	0.9	60.2	1.9	7.1	-1.0
3	除数と商と余りから被除数を求める式を選ぶ	余りのある除法の場面において、被除数を求める式について理解している	4A(3)ウ									○	○		71.2	0.9	71.6	1.8	-0.4	-0.9
4	AとBの2つのシートの混み具合を比べる式の意味について、正しいものを選ぶ	単位量当たりの大きさを求める除法の式の意味を理解している	5B(4)ア									○	○		50.8	0.4	50.0	0.8	0.8	-0.4
5(1)	木のまわりの長さを測定する際に用いる計器を適切に選ぶ	曲線部分の長さを測定する際に用いる適切な計器を理解している	3B(2)									○	○		98.4	0.3	97.4	0.4	1.0	-0.1
5(2)	1a(1アール)と等しい面積になる正方形の辺の長さを選ぶ	1a(1アール)の面積と等しい正方形の辺の長さを理解している	4B(1)アイ									○	○		58.0	0.7	52.3	1.1	5.7	-0.4
5(3)	上底3cm、下底8cm、高さ4cm、斜辺5cmの台形の面積を求める式と答えを書く	台形の面積の求め方を理解している	5B(1)ア									○	○		82.1	1.3	73.3	2.1	8.8	-0.8
6	三角形ABCと合同な三角形をかくことができる条件を選ぶ	三角形ABCと合同な三角形をかくために必要な条件を理解している	5C(1)イ									○	○		61.5	0.4	60.7	1.0	0.8	-0.6
7(1)	展開図に示された側面の長方形の縦の辺の長さを書く	円柱について、見取図の高さと展開図の側面の辺の長さが対応していることを理解している	5C(2)ア									○	○		91.4	1.4	90.6	2.1	0.8	-0.7
7(2)	展開図に示された側面の長方形の横の辺の長さ求める式と答えを書く	円柱について、底面の円周の長さや展開図の側面の辺の長さが対応していることを理解している	5C(1)エ 5C(2)ア									○	○		68.2	3.6	66.3	5.7	1.9	-2.1
8(1)	200cmの50%に当たる長さを選ぶ	割合が50%のとき、基準量と比較量の大きさの関係を理解している				5D(3)						○	○		76.3	1.2	76.7	2.2	-0.4	-1.0
8(2)	500gの120%に当たる重さについて、適切なものを選ぶ	割合が100%を超えるとき、基準量と比較量の大きさの関係を理解している				5D(3)						○	○		78.0	1.6	76.9	2.8	1.1	-1.2
9	最小目盛りが2に当たる棒グラフから、借りた本の冊数が一番多い曜日とその曜日に借りた冊数を書く	棒の長さと最小目盛りに着目して、数値が最も大きい項目とその数値を読み取ることができる	3D(3)ア					○				○			87.5	1.5	85.7	2.8	1.8	-1.3

■設問別調査結果【算数B】

集計結果

	児童数	学校数	平均正答率(%)	全国との差(%)
香川県(公立)	8,912	174	62.1	3.7
全国(公立)	1,108,107	20,417	58.4	

※ひとつの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)		全国との差(%)
			香川県(公立)	全国(公立)	
学習指導要領の領域	数と計算	3	52.9	48.3	4.6
	量と測定	7	60.0	56.0	4.0
	図形	3	80.8	79.3	1.5
	数量関係	7	58.8	54.9	3.9
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	0			
	数学的な考え方	8	51.5	46.8	4.7
	数量や図形についての技能	1	77.9	76.1	1.8
	数量や図形についての知識・理解	4	79.3	77.2	2.1
問題形式	選択式	4	75.6	73.8	1.8
	短答式	4	64.2	61.9	2.3
	記述式	5	49.7	43.2	6.5

設問別集計結果

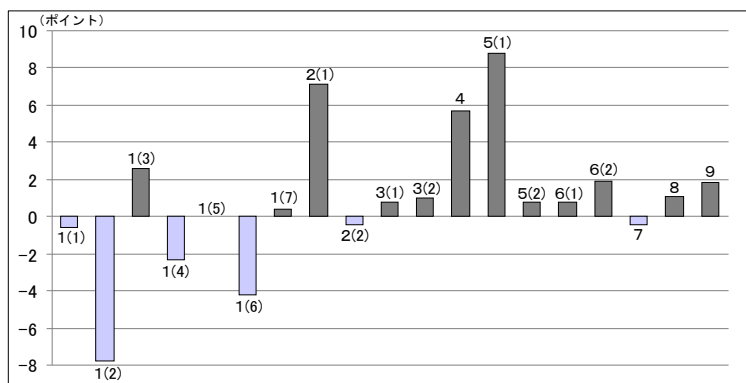
設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式			香川県(公立)		全国(公立)		全国との差		
			数と計算	量と測定	図形	数量関係	算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)	
1(1)	残りの乗り物券の枚数と乗る予定の乗り物を基に、二人がまだ乗る予定になく一緒に乗ることができる乗り物を書く	情報を整理し、筋道を立てて考え、三つの条件全てに当てはまる乗り物を判断することができる	1A (2)イ			4D (4)ア									53.0	1.7	51.0	3.1	2.0	-1.4
1(2)	三つの乗り物券の買い方を比較して、どの買い方が一番安いかを選択し、そのわけを書く	三つの買い方の中から最も安く買える買い方を選択し、その選択が正しい理由を記述できる	3A (2)イ 3A (3)イ												55.6	0.6	50.8	0.9	4.8	-0.3
2(1)	示された式の値が何を表しているのかを書く	示された平均を求める式から、その計算の結果が何を求めているのかについて理解している		5B (3)ア		4D (2)ア									56.3	1.6	51.7	3.4	4.6	-1.8
2(2)	正しく測定できなかった結果を除いて平均を求めるときの正しい式を選ぶ	飛び離れた数値を除いた場合の平均を求める式を選択することができる		5B (3)ア		4D (2)ア									77.5	0.7	75.6	1.3	1.9	-0.6
2(3)	示された実験の結果から、ふりこの長さとして10往復する時間が比例の関係になっていないことを表の数値を基に書く	表から数値を適切に取り出して、二つの数量の関係が比例の関係ではないことを記述できる		2B (1)ア 3B (3)ア		5D (1)ア									41.7	8.8	35.2	19.0	6.5	-10.2
3(1)	三人の児童の説明に対応する、長方形を4等分した図をそれぞれ選ぶ	図に示された分割の仕方とその説明とを対応させることができる		4B (1)イ 5B (1)ア		2B (1)イ 5C (1)イ									88.0	0.5	87.3	0.8	0.7	-0.3
3(2)	示された分け方が元の長方形を4等分していることの説明として、二つの三角形の面積が等しいことを書く	示された分け方で二つの三角形の面積が等しくなることを記述できる		5B (1)ア											48.0	9.2	42.7	15.6	5.3	-6.4
3(3)	4等分になるための条件の中で、台形では当てはまらないわけを選ぶ	長方形と台形の分割の仕方を比べて、台形の場合は4等分にならないわけを選択することができる		5B (1)ア		4C (1)イ									58.9	2.1	56.3	3.6	2.6	-1.5
4(1)	ワールドカップ後の1試合当たりの観客数がワールドカップ前の1試合当たりの観客数の約何倍になるのかを求めるときの答えを書く	単位量当たりの大きさに着目して、二つの数量の関係の求め方を記述できる		4A (2)ア 4A (3)イ		5B (4)ア									49.9	8.0	43.1	11.4	6.8	-3.4
4(2)	5列10番の座席の位置を基に、2列4番の座席の位置を表す	示された情報から二つの要素の意味を解釈し、ものの位置を特定することができる				4C (3)									95.5	1.6	94.2	2.6	1.3	-1.0
4(3)	示された式を基に北チームの勝ち点の合計を求める式を書き、勝ち点の合計と順位を書く	示された式に数値を当てはめて計算し、計算の結果の大小を基に判断することができる				4D (2)アイ									51.9	4.6	50.6	7.4	1.3	-2.8
5(1)	棒グラフと折れ線グラフの両方が示されたグラフの説明に対して、その説明がグラフのどの期間を示しているのか、正しいものを選ぶ	棒グラフと折れ線グラフの両方が示されたグラフから、必要な情報を読み取ることができる				3D (3)ア 4D (4)イ									77.9	3.2	76.1	5.1	1.8	-1.9
5(2)	帯グラフに示された割合と基準量の変化を読み取り、インターネットの貸出冊数の増減を判断し、そのわけを書く	割合が同じで基準量が増えているときの比較量の大小を判断し、その判断の理由を記述できる				3D (3)イ 5D (4)									53.0	4.7	44.4	7.8	8.6	-3.1

調査結果に特徴のうかがえる設問

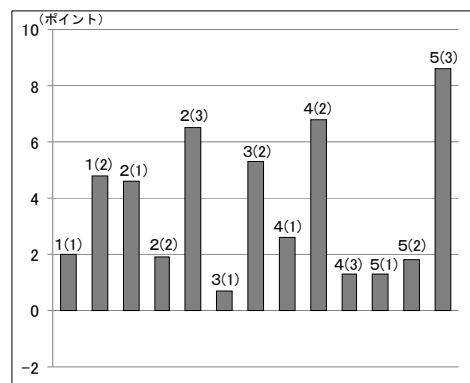
- 小学校算数の調査において、正答率が3ポイント以上全国を上回った設問は、32問中9問(28.1%)であった。
- 小学校算数の調査において、正答率が3ポイント以上全国を下回った設問は、32問中2問(6.3%)であった。
- 小学校算数の調査において、正答率が50%以下であった設問は、32問中3問(9.4%)であった。

■設問別の県と全国の正答率の差

【算数A】



【算数B】



■正答率が全国より3ポイント以上高い設問

【小学校算数A】 (全19問中3問)

設問番号	設問の概要	正答率 (%)	全国(公立)との差(ポイント)	無解答率 (%)
2	一万の位までの概数にしたときに、20000になる数を選ぶ	67.3	7.1	0.9
5(2)	1a(1アール)と等しい面積になる正方形の辺の長さを選ぶ	58.0	5.7	0.7
5(3)	上底3cm, 下底8cm, 高さ4cm, 斜辺5cmの台形の面積を求める式と答えを書く	82.1	8.8	1.3

【小学校算数B】 (全13問中6問)

設問番号	設問の概要	正答率 (%)	全国(公立)との差(ポイント)	無解答率 (%)
1(2)	三つの乗り物券の買い方を比較して、どの買い方が一番安いかを選択し、そのわけを書く	55.6	4.8	0.6
2(1)	示された式の値が何を表しているのかを書く	56.3	4.6	1.6
2(3)	示された実験の結果から、ふりこの長さで10往復する時間が比例の関係になっていないことを表の数値を基に書く	41.7	6.5	8.8
3(2)	示された分け方が元の長方形を4等分していることの説明として、二つの三角形の面積が等しいことを書く	48.0	5.3	9.2
4(1)	ワールドカップ後の1試合当たりの観客数がワールドカップ前の1試合当たりの観客数の約何倍になるのかを求める方法と答えを書く	49.9	6.8	8.0
5(2)	帯グラフに示された割合と基準量の変化を読み取り、インターネットの貸出冊数の増減を判断し、そのわけを書く	53.0	8.6	4.7

■正答率が全国より3ポイント以上低い設問

【小学校算数A】（全19問中2問）

設問番号	設問の概要	正答率 (%)	全国（公立）との差(ポイント)	無解答率 (%)
1 (2)	$0.75 + 0.9$ を計算する	63.5	▲7.8	0.3
1 (6)	2と $5/7 + 1$ と $1/7$ を計算する	84.7	▲4.2	2.6

【小学校算数B】（全13問） なし

■正答率が低い設問（50%以下）

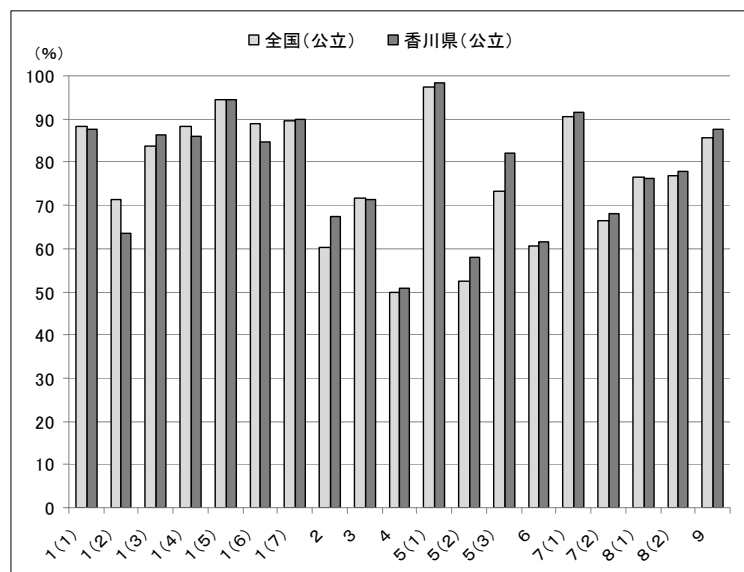
【小学校算数A】（全19問） なし

【小学校算数B】（全13問中3問）

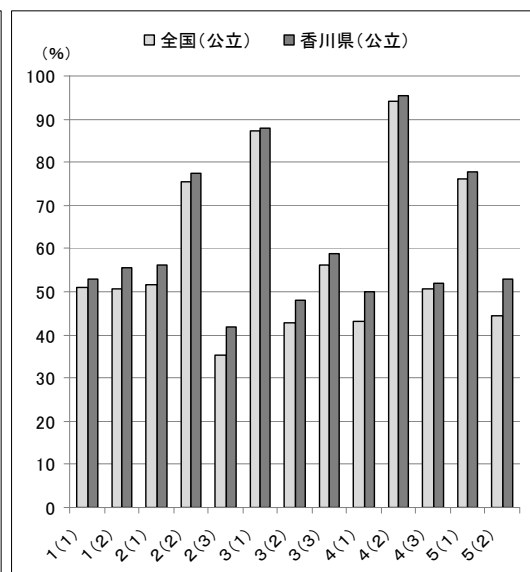
設問番号	設問の概要	正答率 (%)	全国（公立）との差(ポイント)	無解答率 (%)
2 (3)	示された実験の結果から、ふりこの長さで10往復する時間が比例の関係になっていないことを表の数値を基に書く	41.7	6.5	8.8
3 (2)	示された分け方が元の長方形を4等分していることの説明として、二つの三角形の面積が等しいことを書く	48.0	5.3	9.2
4 (1)	ワールドカップ後の1試合当たりの観客数がワールドカップ前の1試合当たりの観客数の約何倍になるのかを求める方法と答えを書く	49.9	6.8	8.0

■全設問の県と全国の正答率の比較

【算数A】



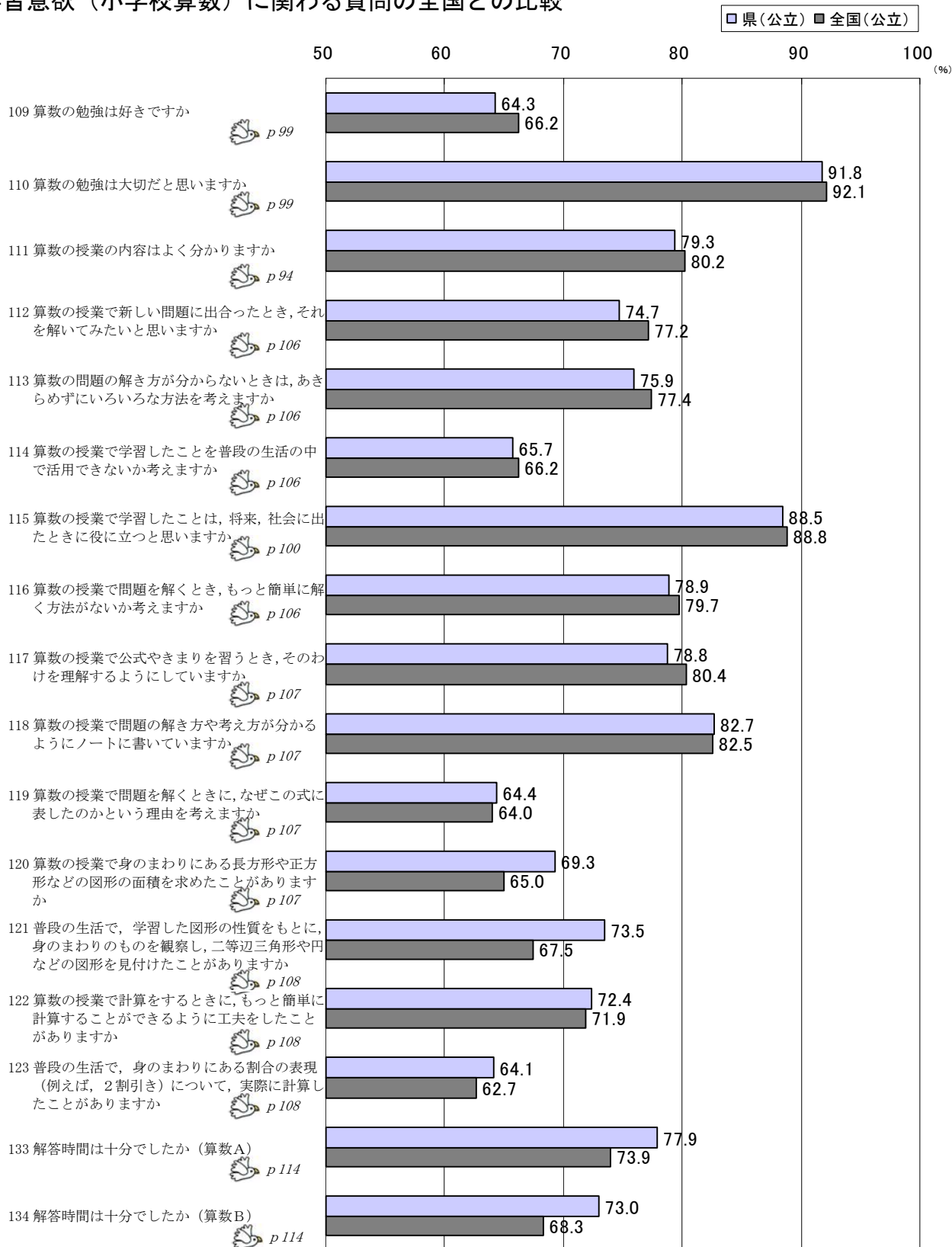
【算数B】




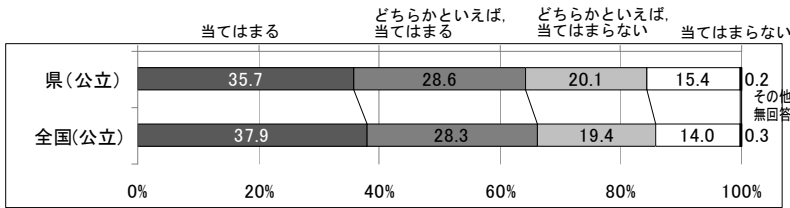
学習意欲

○ 「109 算数の勉強は好きですか」の質問と「111 算数の授業の内容はよく分かりますか」の質問に対して、肯定的に回答した児童の割合は、全国と比べて大きな差は見られないが、わずかながら全国を下回り、どちらも下降傾向にある。

■学習意欲（小学校算数）に関わる質問の全国との比較



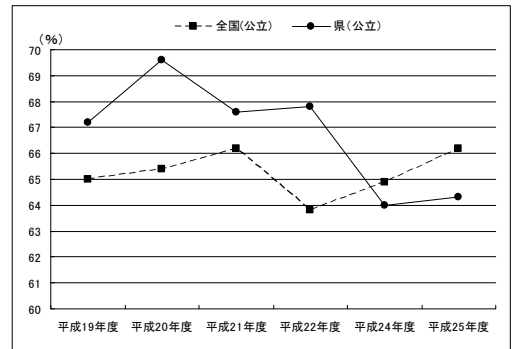
□109 算数の勉強は好きですか  p.99




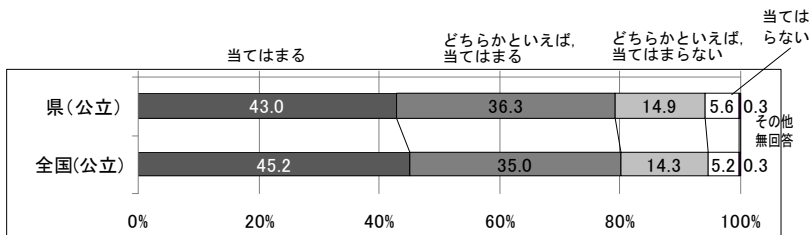
当てはまる、どちらかといえば当てはまると肯定的に回答した児童の割合

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成24年度	平成25年度
県(公立)	67.2	69.6	67.6	67.8	64.0	64.3
全国(公立)	65.0	65.4	66.2	63.8	64.9	66.2
県と全国の差	2.2	4.2	1.4	4.0	▲0.9	▲1.9

質問109に肯定的に回答した児童の県と全国との割合の推移



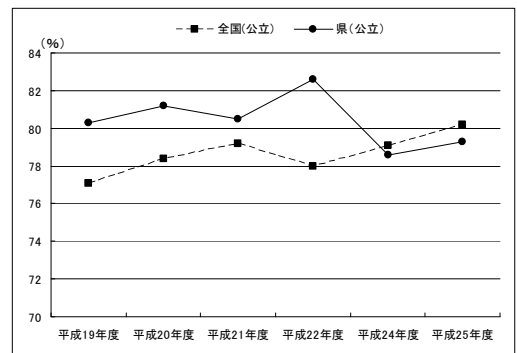
□111 算数の授業の内容はよく分かりますか  p.94




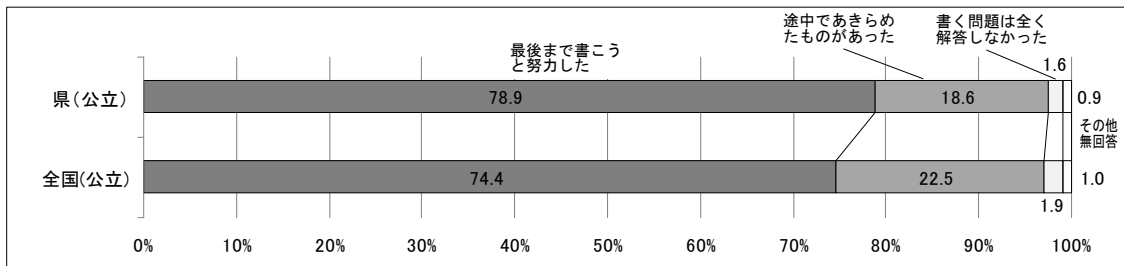
当てはまる、どちらかといえば当てはまると肯定的に回答した児童の割合

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成24年度	平成25年度
県(公立)	80.3	81.2	80.5	82.6	78.6	79.3
全国(公立)	77.1	78.4	79.2	78.0	79.1	80.2
県と全国の差	3.2	2.8	1.3	4.6	▲0.5	▲0.9

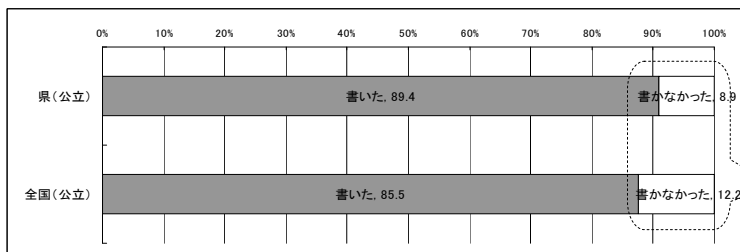
質問111に肯定的に回答した児童の県と全国との割合の推移



□129 今回の算数の問題の中で、言葉や式を使って、わけや求め方を書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか  p.111

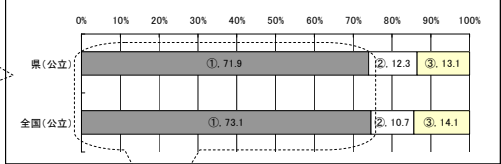


□130 算数B-4(1)の解答を書きましたか  p.113



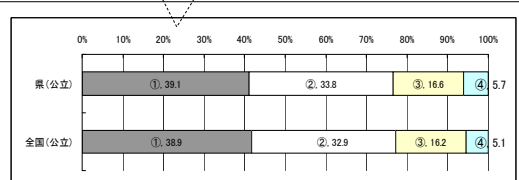
□131 解答しなかった理由は何ですか(130で解答しなかった児童のみ)

- ①努力したが難しく書けなかった
- ②書く分量が多いので解答しようと思わなかった
- ③解答する時間がなかった



□132 この問題に解答しようとしたとき、あなたはどのように考えましたか(131で①と回答した児童のみ)

- ①問題文の意味が分からなかったので、何も書かなかった
- ②約何倍になるかを求める方法が分からなかったので、何も書かなかった
- ③約何倍になるかを求める方法は分かったが、どのように書いたらよいか考えがまとまらなかったため、何も書かなかった
- ④考えはまとまったが、解答に自信がなかったため、何も書かなかった



調査結果から授業改善へ

小数第2位までの加法の計算を、小数の仕組みの理解の上に立って、小数点の位置をそろえて位ごとに計算することを確実にできるようにする。

授業改善のヒントとなる設問の概要

小学校 算数A 1 (2)

1

次の計算をしましょう。

(2) $0.75 + 0.9$

設問番号	解答類型	県反応率 (%)	全国反応率 (%)	正答
1 (2)	1 1.65 と解答しているもの	63.5	71.3	◎
	2 0.165 と解答しているもの	1.8	1.4	
	3 0.65 と解答しているもの	0.3	0.2	
	4 0.84, 8.4, 84 と解答しているもの	17.1	14.6	
	5 0.084 と解答しているもの	10.9	6.4	
	9 上記以外の解答	6.1	5.7	
0 無解答	0.3	0.3		
正答率		63.5	71.3	

分析・考察

1(2)の設問は、小数の計算において「小数第2位までの加法の計算で、小数点をそろえて位ごとに計算すること」が課題とされている。平成24年度調査問題でも小数の減法「 $4.6 - 0.21$ 」が出題されており、正答率は59.7%であった。

本県の(2)の正答率は63.5%であり、全国の正答率を7.8ポイント下回っている。解答類型4(0.84, 8.4, 84) 解答類型5(0.084)を合わせた香川県の反応率は28.0%であった。解答類型4, 5は第5学年で学習する小数の乗法の筆算と混同し、末尾をそろえて小数第2位の「5」と小数第1位の「9」をたして計算していると考えられる。第4学年の学習内容である小数の仕組みの理解の上に立って、小数点をそろえて位ごとに計算することについて、定着が不十分であることがうかがわれる。

授業改善のポイント

第4学年の小数の学習においては、「小数の加法及び減法の計算の仕方を考え、それらの計算ができること」とある。小数の加法・減法では、小数の仕組みの理解の上に立ち、小数点の位置をそろえて位ごとに計算することを確実にできるようにすることが大切である。

指導に当たっては、計算の仕方を形式的に指導するのではなく、第2学年の整数の加法・減法の筆算の学習を振り返り、「同じ位どうして計算をすること」を意識付けることが重要である。第2学年では、数え棒やお金などの具体物を用いて指導することで整数の仕組みの理解を深め、同じ位どうして計算しなければいけないことを意識付けてきた。小数の仕組みも、小数第1位、小数第2位を視覚的に理解できる具体物を工夫することで理解を深め、「同じ位どうして計算すること」を意識付けたい。位をそろえて計算させる支援の一つとして、位ごとに縦線を入れているワークシートを用いることが有効である。

また、第5学年で小数の乗法の筆算を学習した後、解答類型4, 5のような誤答例をもとに話し合う活動を取り入れ、誤りについて指摘し、正しい計算方法を説明することにより、確実な計算方法の習得につなげることもできる。ただ、誤答例を提示するだけに終わると、混乱を招くことになるので、必ずなぜ誤っているのか、どこが間違っているのかを、明らかにする活動を取り入れ、正しい計算方法を確認することが必要である。

$\begin{array}{r} 0.75 \\ + 0.9 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 0.75 \\ + 0.9 \\ \hline \end{array}$
--	--

最後に、計算結果を見積もる活動を取り入れることも大切である。 $0.75 + 0.9$ はどちらも約1の数をたしているのだから答えは約2と見積もることができる。今回の誤答をみると0.084, 0.84, 8.4, 84も2とは大きく異なることに気付けば、計算結果の修正につながるであろう。

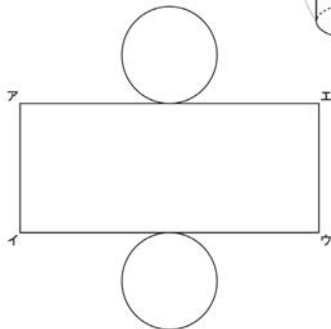
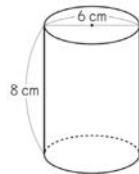
調査結果から授業改善へ

問題解決に当たって、円柱の辺や面のつながりや位置関係を想起し、見取り図と展開図を対応させながら判断できるようにする。

授業改善のヒントとなる設問の概要

小学校 算数A 7

7 右のような円柱があります。
この円柱の展開図を、下のよ
うに側面を長方形にしてみました。
次の問題に答えましょう。
ただし、円周率は3.14としま
す。



- (1) 辺アイの長さを書きましょう。
- (2) 辺アエの長さを求める式と答えを書きましょう。

設問 番号	解答類型	県 反応率 (%)	全国 反応率 (%)	正 答
7 (1)	1 8 と解答しているもの	91.4	90.6	◎
	2 6 と解答しているもの	3.3	3.2	
	3 3.14, 9.42, 12.56, 18.84, 25.12 と解答しているもの	1.2	1.4	
	9 上記以外の解答	2.7	2.7	
	0 無解答	1.4	2.1	
正答率		91.4	90.6	

設問 番号	解答類型	県 反応率 (%)	全国 反応率 (%)	正 答
7 (2)	1 6×3.14, 3×2×3.14 と解答 18.84と解答	68.2	66.3	◎
	2 直径×円周率 と解答 18.84と解答	0	0	○
	3 □÷6=3.14 と解答 □÷3.14=6 と解答 18.84と解答	0	0	○
	4 類型1から類型3以外の式 を解答 無解答 18.84と解答	0.2	0.3	
	5 類型1から類型3の式 を解答	4.3	3.2	
	6 3×3.14, 12×3.14, 6×2×3.14 と解答	0.8	1.2	
	7 8×3.14, 4×2×3.14 と解答	7.5	7.4	
	8 6×2, 8×2 と解答	2.5	1.8	
	9 上記以外の解答	12.9	14.1	
0 無解答	3.6	5.7		
正答率		68.2	66.3	

分析・考察

7の設問は、「4年間のまとめ【小学校編】」において、「図形の性質を基に事象を判断すること」が課題とされており、これに関連した問題である。

本県の(1)の正答率は91.4%であり、全国の前年を上回っている。円柱について見取り図の高さと展開図の側面の縦の長さが対応していることへの理解は、相当数の児童ができています。

本県の(2)の正答率は68.2%であり、解答類型7に見られる円柱について底面の円周の長さとの展開図の側面の縦の長さが対応していることへの理解が不十分であると考えられる児童が7.5%。また解答類型6, 8に見られる円周を求める公式を正しく立式できていないと考えられる児童が3.3%。解答類型5から小数の乗法の計算で間違えたと考えられる児童が4.3%いる。

授業改善のポイント

図形の学習においては、辺や面のつながりや位置関係の理解、空間についての感覚を豊かにすることを大切にしたい。そのためには、立体図形を見取り図や展開図で表したり、見取り図や展開図から立体図形を想像したりする活動が必要である。

(2)の指導に当たっては、どの段階でつまづいているのかを把握する必要がある。問題解決に向けて、①辺アエの長さ(展開部の側面の横の辺の長さ)が底面の円周の長さと同じことを根拠にし、②底面の円周の長さを求めるとよいと判断して、③円周の長さを求める式を用いて長さを導き出すというように、段階ごとに整理し筋道を立てて考えを進めていかなければならない。

特に、①の立体と展開図の対応を考える学習場面では算数的活動の工夫をはかることが必要とされる。円柱を転がして底面の「円周の長さ」と展開図の「側面の横の辺の長さ」とが対応していることを観察し、確かめる体験を取り入れることが有効である。その時に、底面の「円周の長さ」と展開図の「側面の横の辺の長さ」と同じであることが視覚的に明確になるように色の違うひも等で、比較できるような工夫があるとよい。

調査結果から授業改善へ

図形を観察して見つけた事実と、その図形を数学的に解釈し表現した説明とを対応できるようにする。

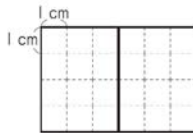
授業改善のヒントとなる設問の概要

小学校 算数B 3(1)

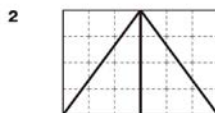
3

長方形の面積を4等分する分け方を考えました。

① 縦に線をひき、面積の均しい2つの長方形に分けました。



② ①でできた2つの長方形を、さらに2等分する分け方を考えたところ、下の1から3の分け方を見つけました。



小算B-7

はるみさん、げんたさん、あきこさんが、それぞれの分け方について、長方形の面積が4等分になる理由を、下のように説明しました。



はるみ

底辺が3 cm、高さが4 cmの合同な直角三角形4つに分けました。だから、4等分になります。



げんた

縦が2 cm、横が3 cmの合同な長方形4つに分けました。だから、4等分になります。



あきこ

縦が2 cm、横が3 cmの合同な長方形2つと、底辺が3 cm、高さが4 cmの合同な直角三角形2つに分けました。半分の半分になっているので4等分になります。

(1) 上の3人は、左の1、2、3のどの分け方の説明をしていますか。あてはまる番号を書きましょう。

設問番号	解答類型 (はるみ、げんた、あきこ)	県 反応率 (%)	全国 反応率 (%)	正 答	
3 (1)	1 (2, 1, 3)	88.0	87.3	◎	
	2 (3, 1, 2)	3.7	3.4		
	3 (1, 2, 3)	2.1	2.3		
	4 (3, 2, 1)	0.5	0.6		
	5 (1, 3, 2)	2.7	2.7		
	6 (2, 3, 1)	1.8	2.0		
	9 上記以外の解答	0.7	0.9		
	0 無解答	0.5	0.8		
	正答率		88.0	87.3	

分析・考察

3の(1)の設問は、「図形を観察し、示された図と説明とを対応させること」が課題とされている。本県の(1)の正答率は88.0%であり、全国の正答率を0.7ポイント上回っている。図に示された分割の仕方とその説明とを対応させることは相当数の児童ができています。

説明の中の出てくる「底辺が3 cm、高さが4 cmの合同な直角三角形」「縦が2 cm横が3 cmの合同な長方形」という特徴を図と対応させることができるかがポイントである。正答できなかった児童の中には、「底辺」「高さ」「縦」「横」「合同」「直角三角形」「長方形」等の用語が十分理解できていないことがうかがわれる。

授業改善のポイント

図形を観察し、示された図と説明とを対応させる問題においては、図形の観察の仕方や用語の理解が不十分であることがうかがえる。

指導にあたっては、図形学習における作業的・体験的な活動（紙を折ったり、切ったり、図形を移動させたり、切り離したり、変形したり、定規やコンパスを用いて作図したりするなど）を通して、図形の構成要素に着目させることや用語と図形（図形の構成要素）を関連させながら丁寧に指導することが大切である。また、図形に関する問題解決の際には、説明する活動の中で習得した用語を進んで使うようにすることで習熟につなげたい。

調査結果から授業改善へ

図形に示された事実を基に、言葉と数を用いて数学的に記述できるようにする。

授業改善のヒントとなる設問の概要

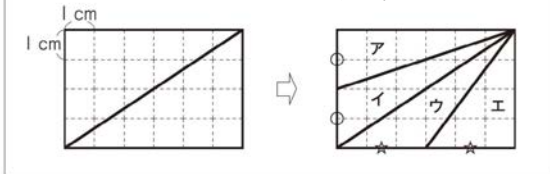
小学校 算数B 3(2)

(2) たかしさんは、下のような分け方を考えました。

たかしの分け方

① 長方形に対角線をひき、2つの直角三角形に分ける。

② 1つの頂点から、縦と横の辺のそれぞれの真ん中を通るように線をひき、4つの三角形に分ける。



三角形ア、イ、ウ、エは、もとの長方形の面積の半分になっているのかな。

たかしの分け方を見て、なおみさんが次のように言いました。

三角形ウとエは、☆の部分を底辺とすると、どちらも底辺が3cm、高さが4cmです。だから、三角形ウとエの面積は等しくなります。



たかしさんは、なおみさんの説明を聞いて、三角形アとイの面積も等しくなることに気がつきました。
三角形アとイの面積が等しいことを、言葉と数を使って書きましょう。

解答類型と反応率

設問番号	解答類型	果反応率 (%)	全国反応率 (%)	正答	
3(2)	(正答の条件) 次のAからCのいずれかで、それぞれA①、A②の全て、またはB①、B②の全て、またはC①、C②、C③の全てを書いている。 A 底辺と高さの具体的な長さを使って、面積が等しくなることを書いている。 A① 三角形アとイの底辺が、どちらも2cmであることを示す言葉と数 A② 三角形アとイの高さが、どちらも6cmであることを示す言葉と数 B 三角形アとイの面積を求めて、面積が等しくなることを書いている。 B① 三角形アとイのそれぞれの面積を求める式や言葉 B② 三角形アとイの面積が、どちらも6cm ² であることを示す言葉や数 C 長方形の半分の直角三角形の面積を基に、三角形アまたはイの面積を求めて、面積が等しくなることを書いている。 C① 三角形アとイを合わせた面積を求める式や言葉 C② 三角形アまたはイの面積を求める式や言葉 C③ 三角形アとイの面積が、どちらも6cm ² であることを示す言葉や数				
	1	A①A②の全てを書いている	43.6	39.7	◎
	2	B①B②の全てを書いている C①C②C③の全てを書いている	4.2	2.7	◎
	3	A②を書き、 三角形アとイの底辺について具体的な長さを示さずに等しいことを書いている	0.2	0.2	○
	4	三角形アとイの底辺について具体的な長さを示さずに等しいことを書いている	2.1	3.4	
	5	A①を書いている	1.5	2.1	
	6	A②を書いている	0.2	0.4	
	7	A①A②またはB①B②またはC①C②を示そうとしているが数値に誤りがある	11.7	10.5	
	8	底辺と高さについて用語を誤っているもの 三角形アとイが合同であることを書いている	7.9	6.9	
	9	上記以外の解答	19.3	18.3	
0	無解答	9.2	15.6		
正答率		48.0	42.6		

設問番号	解答類型	果反応率 (%)	全国反応率 (%)	正答	
3(2)	1	A①A②の全てを書いている	43.6	39.7	◎
	2	B①B②の全てを書いている C①C②C③の全てを書いている	4.2	2.7	◎
	3	A②を書き、 三角形アとイの底辺について具体的な長さを示さずに等しいことを書いている	0.2	0.2	○
	4	三角形アとイの底辺について具体的な長さを示さずに等しいことを書いている	2.1	3.4	
	5	A①を書いている	1.5	2.1	
	6	A②を書いている	0.2	0.4	
	7	A①A②またはB①B②またはC①C②を示そうとしているが数値に誤りがある	11.7	10.5	
	8	底辺と高さについて用語を誤っているもの 三角形アとイが合同であることを書いている	7.9	6.9	
	9	上記以外の解答	19.3	18.3	
	0	無解答	9.2	15.6	
正答率		48.0	42.6		

分析・考察

3(2)の設問は、「示された事実を基に二つの三角形の面積が等しくなることを数学的に表現すること」が課題とされている。

本県の(2)の正答率は48.0%である。(1)の図と説明を結び付ける問題の正答率と比較しても、また解答類型0(無解答)の反応率が9.2%で、小学校算数では一番高くなっていることから、言葉と数を使って数学的に説明する記述式の問題に課題があることが分かる。

解答類型7の反応率が11.7%であることは、三角形の底辺や高さの位置が変わったために、正しく底辺と高さの位置関係が捉えることができていると考えられる。ただ、無解答の反応率が全国の15.6%に比べ、本県が9.2%であることは、提示されている説明モデルを基に、粘り強く取り組もうとしている姿勢がみられる。

授業改善のポイント

言葉と数を使って数学的に説明する記述式の問題においては、正答した大多数の児童は説明モデルを基に考えることができた。また、既習事項をもとに自力で説明できた児童もいる。課題解決をするためには、説明したい事実を掴み(課題把握)、見通しを持ち、図形を観察して見つけた情報から必要な情報を選択しなければならない。

指導に当たっては、自分の考えを説明したり、友達のことを聞き、考えや表現の良さを見つけたりする活動を授業に取り入れることをこれからも大切にしたい。その時に、説明の根拠となる課題解決に必要な情報を、視覚化して提示する工夫がほしい。また、教師が説明モデルを持って指導することも重要である。無解答だった児童に対して、説明モデルの提示は支援の一つとして有効である。説明モデルを真似したり、提示された話型を基に考えたりすることを通して「書ける」という自信を持たせながら説明する力を伸ばしていきたい。

3 中学校 国語 <調査区分の分析・検証>

概要

- 国語Aについて、県と全国の平均正答率の比較（+0.2ポイント）等から、全国と同程度の結果であることがうかがえる。
- 国語Bについて、県と全国の平均正答率の比較（-0.4ポイント）等から、全国よりやや下位の結果であることがうかがえる。

■平成 25 年度調査結果の集計値

中学校国語 A	生徒数	学校数	平均正答数	平均正答率 (%)	県と全国との差(ポイント)
県(公立)	8,671	72	24.5 / 32	76.6	0.2
全国(公立)	1,026,851	9,752	24.4 / 32	76.4	

中学校国語 B	生徒数	学校数	平均正答数	平均正答率 (%)	県と全国との差(ポイント)
県(公立)	8,673	72	6.0 / 9	67.0	▲0.4
全国(公立)	1,027,087	9,750	6.1 / 9	67.4	

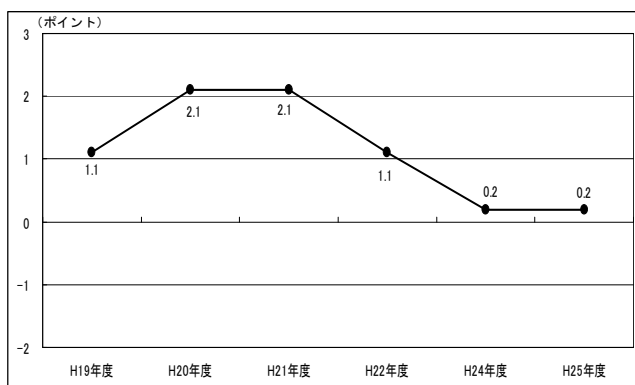
■平成 19 年度～平成 25 年度の県と全国の平均正答率の差の推移

※H22・24年度は抽出調査

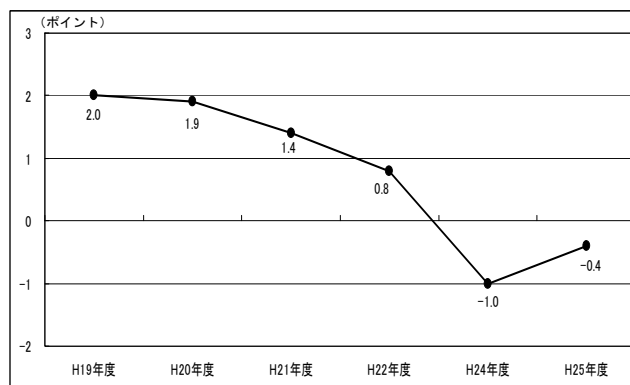
中学校国語 A	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
県(公立)平均正答率 (%)	82.7	75.7	79.1	76.2	75.3	76.6
全国(公立)平均正答率 (%)	81.6	73.6	77.0	75.1	75.1	76.4
県と全国の差	1.1	2.1	2.1	1.1	0.2	0.2

中学校国語 B	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
県(公立)平均正答率 (%)	74.0	62.7	75.9	66.1	62.3	67.0
全国(公立)平均正答率 (%)	72.0	60.9	74.5	65.3	63.3	67.4
県と全国の差	2.0	1.9	1.4	0.8	▲1.0	▲0.4

県と全国の平均正答率の差の推移【国語 A】



県と全国の平均正答率の差の推移【国語 B】



■平成 25 年度領域別調査結果

学習指導要領の領域等	国語A				国語B			
	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項
県(公立)平均正答率(%)	77.2	64.5	79.9	78.1		61.0	67.4	63.8
全国(公立)平均正答率(%)	77.6	64.5	80.0	77.5		62.7	67.8	64.6

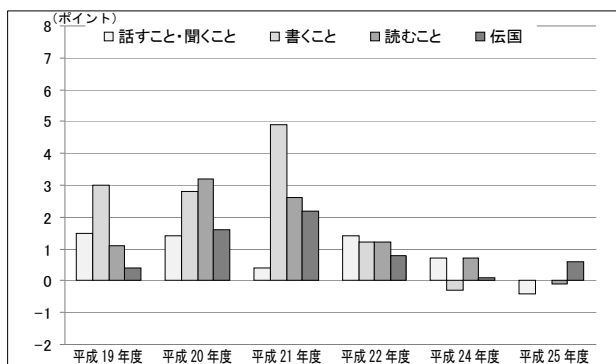
■平成 19 年度～平成 25 年度の領域別調査結果

※H22・24 年度は抽出調査

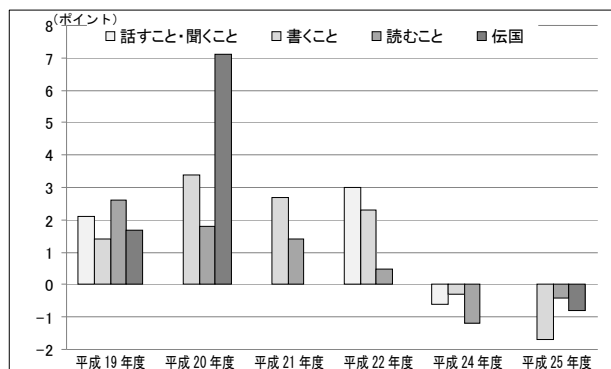
国語A				
領域	調査年度	県(公立)平均正答率(%)	全国(公立)平均正答率(%)	県と全国との差(ポイント)
話すこと・聞くこと	平成 19 年度	91.6	90.1	1.5
	平成 20 年度	81.5	80.1	1.4
	平成 21 年度	87.2	86.8	0.4
	平成 22 年度	75.6	74.2	1.4
	平成 24 年度	88.4	87.7	0.7
	平成 25 年度	77.2	77.6	▲0.4
書くこと	平成 19 年度	76.4	73.4	3.0
	平成 20 年度	58.0	55.2	2.8
	平成 21 年度	69.5	64.6	4.9
	平成 22 年度	72.3	71.1	1.2
	平成 24 年度	87.8	88.1	▲0.3
	平成 25 年度	64.5	64.5	0.0
読むこと	平成 19 年度	81.7	80.6	1.1
	平成 20 年度	74.2	71.0	3.2
	平成 21 年度	78.3	75.7	2.6
	平成 22 年度	77.8	76.6	1.2
	平成 24 年度	66.1	65.4	0.7
	平成 25 年度	79.9	80.0	▲0.1
国語の特質に関する事項 (伝統的な言語文化と)	平成 19 年度	80.7	80.3	0.4
	平成 20 年度	76.8	75.2	1.6
	平成 21 年度	78.2	76.0	2.2
	平成 22 年度	76.6	75.8	0.8
	平成 24 年度	73.8	73.7	0.1
	平成 25 年度	78.1	77.5	0.6

国語B				
領域	調査年度	県(公立)平均正答率(%)	全国(公立)平均正答率(%)	県と全国との差(ポイント)
話すこと・聞くこと	平成 19 年度	83.4	81.3	2.1
	平成 20 年度			
	平成 21 年度			
	平成 22 年度	48.6	45.6	3.0
	平成 24 年度	59.3	59.9	▲0.6
	平成 25 年度			
書くこと	平成 19 年度	65.8	64.4	1.4
	平成 20 年度	50.1	46.7	3.4
	平成 21 年度	75.2	72.5	2.7
	平成 22 年度	62.5	60.2	2.3
	平成 24 年度	57.1	57.4	▲0.3
	平成 25 年度	61.0	62.7	▲1.7
読むこと	平成 19 年度	73.2	70.6	2.6
	平成 20 年度	62.7	60.9	1.8
	平成 21 年度	75.9	74.5	1.4
	平成 22 年度	68.0	67.5	0.5
	平成 24 年度	60.3	61.5	▲1.2
	平成 25 年度	67.4	67.8	▲0.4
国語の特質に関する事項 (伝統的な言語文化と)	平成 19 年度	70.2	68.5	1.7
	平成 20 年度	67.7	60.6	7.1
	平成 21 年度			
	平成 22 年度			
	平成 24 年度			
	平成 25 年度	63.8	64.6	▲0.8

領域別の県と全国の平均正答率の差の推移【国語A】



領域別の県と全国の平均正答率の差の推移【国語B】



■設問別調査結果【国語A】

集計結果

	生徒数	学校数	平均正答率(%)	全国との差(%)
香川県(公立)	8,671	72	76.6	0.2
全国(公立)	1,026,851	9,752	76.4	

※ひとつの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)		全国との差(%)
			香川県(公立)	全国(公立)	
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	4	77.2	77.6	-0.4
	書くこと	4	64.5	64.5	0.0
	読むこと	6	79.9	80.0	-0.1
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	18	78.1	77.5	0.6
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	0			
	話す・聞く能力	4	77.2	77.6	-0.4
	書く能力	4	64.5	64.5	0.0
	読む能力	6	79.9	80.0	-0.1
	言語についての知識・理解・技能	18	78.1	77.5	0.6
問題形式	選択式	21	76.9	77.3	-0.4
	短答式	11	76.1	74.7	1.4
	記述式	0			

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			香川県(公立)		全国(公立)		全国との差		
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)
1一	話し合いでの司会の発言の役割について説明したのとして適切なものを選択する	話し合いの方向を捉えて司会の役割を果たす	1オ												91.1	0.3	90.5	0.2	0.6	0.1
1二	話し合いの方向を捉えた司会の発言として適切なものを選択する		1オ												54.2	0.3	54.7	0.2	-0.5	0.1
2一	「おかしいようでもあり、又それがおもしろくもおもしろ」と筆者が述べたものとして適切なものを選択する	描写に注意して読み、内容を理解する			1ウ										76.6	0.5	76.0	0.3	0.6	0.2
2二	「あの枯れ枝の梢を……うれしげであることだろう。」と筆者が感じた理由を説明したものとして適切なものを選択する	描写の効果を考え、内容を理解する			2イ										85.4	0.8	86.7	0.5	-1.3	0.3
3一	見出しを変更した理由として適切なものを選択する	書いた文章を読み返し、目的に応じた表現に直す		2エ											58.5	0.8	58.1	0.8	0.4	0.0
3二	出された意見を整理して、決定の理由を適切に書く	文の接続に注意し、伝えたい事柄を明確にして書く		2ウ											48.9	5.9	48.8	6.0	0.1	-0.1
4一	「内容」の欄に共通する表現の仕方の説明として適切なものを選択する	文章の表現の特徴を捉える			1エ										85.9	0.5	84.8	0.3	1.1	0.2
4二	前日までに申込みをしなくても中学生が参加できる講座番号を選択する	目的に応じて必要な情報を読み取る			1カ										70.7	0.5	70.1	0.4	0.6	0.1
5一	米の断面図に入る言葉として適切なものを選択する	文脈の中における語句の意味を理解する			1ア										86.2	0.6	86.8	0.4	-0.6	0.2
5二	「小表はそういうわけにはいきません」と述べている理由として適切なものを選択する	文章の展開に即して内容を捉える			1イ										74.5	0.7	75.6	0.4	-1.1	0.3
6一	取材の仕方の説明として適切なものを選択する	話すための材料を多様な方法で集める			2ア										82.7	1.0	84.6	0.7	-1.9	0.3
6二	カードを使って話す際に使用する言葉の組合せとして適切なものを選択する	論理的な構成や展開を考えて話す			2イ										80.7	1.2	80.7	0.9	0.0	0.3
7一	比較の対象が明確に分かるように書く	伝えたい事柄を明確にして書く			2エ										75.0	4.9	73.6	4.4	1.4	0.5
7二	内容に応じて第二段落を二つに分ける	段落の役割を考えて文章を構成する			1イ										75.5	1.3	77.5	1.1	-2.0	0.2
8一1	漢字を書く(大きなキボウをもつ)	文脈に即して漢字を正しく書く			2(1)ウ(4)										86.0	3.4	87.5	3.0	-1.5	0.4
8一2	漢字を書く(おやつをキントウに分け合う)		2(1)ウ(4)												59.9	11.0	59.3	11.9	0.6	-0.9
8一3	漢字を書く(着物に合わせてオビを選ぶ)		2(1)ウ(4)												76.1	7.6	66.7	15.2	9.4	-7.6
8二1	漢字を読む(異論を唱える)	文脈に即して漢字を正しく読む			2(1)ウ(7)										92.2	3.3	93.2	2.7	-1.0	0.6
8二2	漢字を読む(社会を風刺する)		2(1)ウ(7)												70.9	4.9	70.6	4.9	0.3	0.0
8二3	漢字を読む(山々が連なる)		2(1)ウ(7)												94.3	2.0	89.4	2.7	4.9	-0.7

8三ア	適切な語句を選択する（今年の夏の暑さには閉口した）					2 イ(1)											44.6	1.7	46.6	1.7	-2.0	0.0	
8三イ	適切な語句を選択する（友達に将来の抱負を話す）					1 イ(1)												59.1	1.0	62.7	0.8	-3.6	0.2
8三ウ	適切な語句を選択する（あこがれの仕事に就く）					2 イ(1)												96.2	0.9	96.3	0.7	-0.1	0.2
8三エ	適切な語句を選択する（直前になって、二の足を踏む）					1 イ(1)												83.7	1.0	84.8	0.9	-1.1	0.1
8三オ	適切な語句を選択する（にわか強い雨が降り出し、人々はあわてた）					1 イ(1)												81.1	1.1	81.3	0.9	-0.2	0.2
8三カ	適切な語句を選択する（彼には、いくら言っても「馬の耳に念仏」で効果がない）					1 イ(1)												90.7	1.2	90.2	1.1	0.5	0.1
8四	行書を楷書で書く					1 イ(2)												96.2	1.9	96.4	1.4	-0.2	0.5
8五1	「母がイギリスに帰りました。」という言い方が正しい理由として適切なものを選択する					2 イ(1)												70.8	1.3	69.8	1.0	1.0	0.3
8五2	適切な敬語を選択する					2 イ(1)												90.3	1.2	91.3	1.0	-1.0	0.2
8六	「すさまじい」と修飾・被修飾の関係にあるものを選択する					2 イ(1)												75.7	1.7	73.4	1.5	2.3	0.2
8七1	「かすみ」や「霞」のように見えたものを本文中から抜き出す					1 イ(1)												52.9	4.0	52.4	3.7	0.5	0.3
8七2	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す（にほふ）					1 ア(1)												84.8	5.0	83.4	5.5	1.4	-0.5

■設問別調査結果【国語B】

集計結果

	生徒数	学校数	平均正答率(%)	全国との差(%)
香川県(公立)	8,673	72	67.0	
全国(公立)	1,027,087	9,750	67.4	-0.4

※ひとつの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)		全国との差(%)
			香川県(公立)	全国(公立)	
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	0			
	書くこと	3	61.0	62.7	-1.7
	読むこと	8	67.4	67.8	-0.4
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	1	63.8	64.6	-0.8
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	3	61.0	62.7	-1.7
	話す・聞く能力	0			
	書く能力	3	61.0	62.7	-1.7
	読む能力	8	67.4	67.8	-0.4
問題形式	言語についての知識・理解・技能	1	63.8	64.6	-0.8
	選択式	5	68.3	68.2	0.1
	短答式	1	78.2	77.5	0.7
	記述式	3	61.0	62.7	-1.7

設問別集計結果

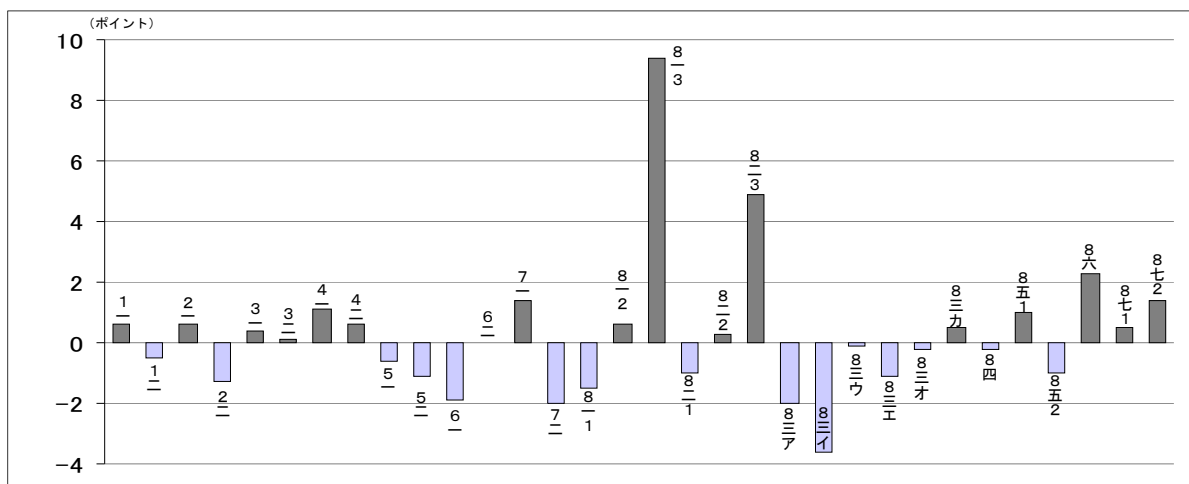
設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			香川県(公立)		全国(公立)		全国との差					
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)			
1一	段落相互の関係について説明したものとして適切なものを選択する	段落相互の関係を理解し、文章の展開を捉える			1 エ													71.3	0.6	71.7	0.4	-0.4	0.2
1二	図が示す内容を説明したものとして適切なものを選択する	図と文章との関係を捉える			2 イ													63.9	0.7	62.7	0.4	1.2	0.3
1三	「かるた」について分かったことを基に、さらに調べたいことと調べる方法を具体的に書く	課題を決め、それに応じた情報の収集方法を考える	1 ア	1 カ														61.6	3.5	57.9	2.8	3.7	0.7
2一	エヌ氏の生活について説明した言葉を本文中から抜き出す	文章の展開に即して内容を捉える			1 ウ													78.2	3.3	77.5	2.6	0.7	0.7
2二	表現の効果を説明したものとして適切なものを選択する	表現の仕方に注意して読み、その効果を考える			1 エ													75.4	1.0	75.6	0.5	-0.2	0.5
2三	文章を読んで感じたことや考えたことを具体的に書く	文章の内容について、根拠を明確にして自分の考えを書く	1 ウ	1 オ														57.6	11.7	65.7	11.3	-8.1	0.4
3一	新聞記事の書き方の特徴を説明したものとして適切なものを選択する	文章の構成や表現の特徴を捉える			1 エ													60.2	1.5	61.0	0.9	-0.8	0.6
3二	資料がどのような疑問を解決するための参考になるのかを説明したものとして適切なものを選択する	情報を関連させて読む			1 カ													70.6	1.7	70.2	1.2	0.4	0.5
3三	間違えやすい漢字を学習する際の注意点やコツを、漢字の特徴を取り上げて説明する	漢字の特徴を捉えて、自分の考えを具体的に書く	2 ウ	2 ウ(1)														63.8	6.3	64.6	5.4	-0.8	0.9

調査結果に特徴のうかがえる設問

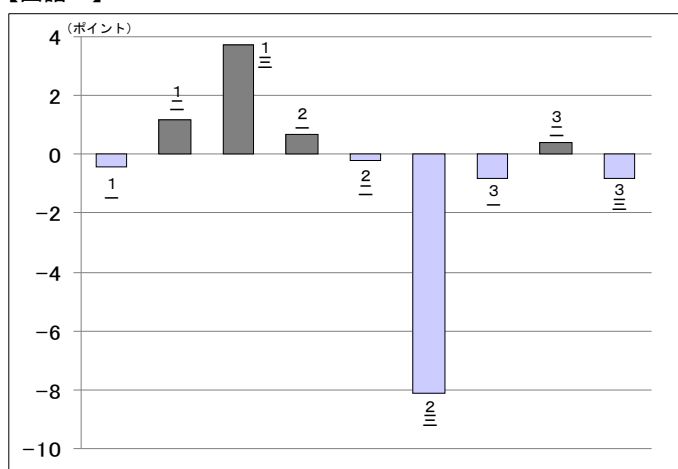
- 中学校国語の調査において、正答率が3ポイント以上全国を上回った設問は、41問中3問(7.3%)であった。
- 中学校国語の調査において、正答率が3ポイント以上全国を下回った設問は、41問中2問(4.9%)であった。
- 中学校国語の調査において、正答率が50%以下であった設問は、41問中2問(4.9%)であった。

■設問別の県と全国の正答率の差

【国語A】



【国語B】



■正答率が全国より3ポイント以上高い設問

【中学校国語A】 (全32問中2問)

設問番号	設問の概要	正答率 (%)	全国 (公立) との差 (ポイント)	無解答率 (%)
8-13	漢字を書く (着物に合わせてオビを選ぶ)	76.1	9.4	7.6
8-23	漢字を読む (山々が連なる)	94.3	4.9	2.0

【中学校国語B】 (全9問中1問)

設問番号	設問の概要	正答率 (%)	全国 (公立) との差 (ポイント)	無解答率 (%)
1-3	「かるた」について分かったことを基に、さらに調べたいことと調べる方法を具体的に書く	61.6	3.7	3.5

■正答率が全国より3ポイント以上低い設問

【中学校国語A】（全32問中1問）

設問番号	設問の概要	正答率 (%)	全国(公立)との差(ポイント)	無解答率 (%)
8三イ	適切な語句を選択する(友達に将来の抱負を話す)	59.1	▲3.6	1.0

【中学校国語B】（全9問中1問）

設問番号	設問の概要	正答率 (%)	全国(公立)との差(ポイント)	無解答率 (%)
2三	文章を読んで感じたことや考えたことを具体的に書く	57.6	▲8.1	11.7

■正答率が低い設問（50%以下）

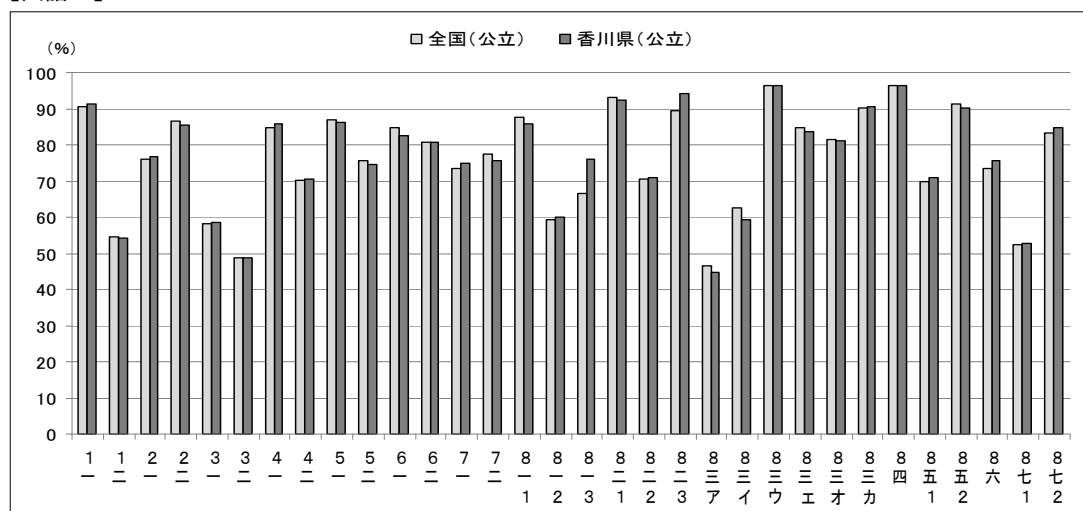
【中学校国語A】（全32問中2問）

設問番号	設問の概要	正答率 (%)	全国(公立)との差(ポイント)	無解答率 (%)
3二	出された意見を整理して、決定の理由を適切に書く	48.9	0.1	5.9
8三ア	適切な語句を選択する(今年の夏の暑さには閉口した)	44.6	▲2.0	1.7

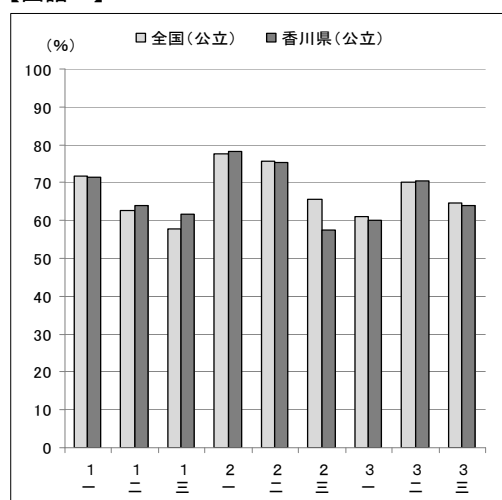
【中学校国語B】（全9問） なし

■全設問の県と全国の正答率の比較

【国語A】



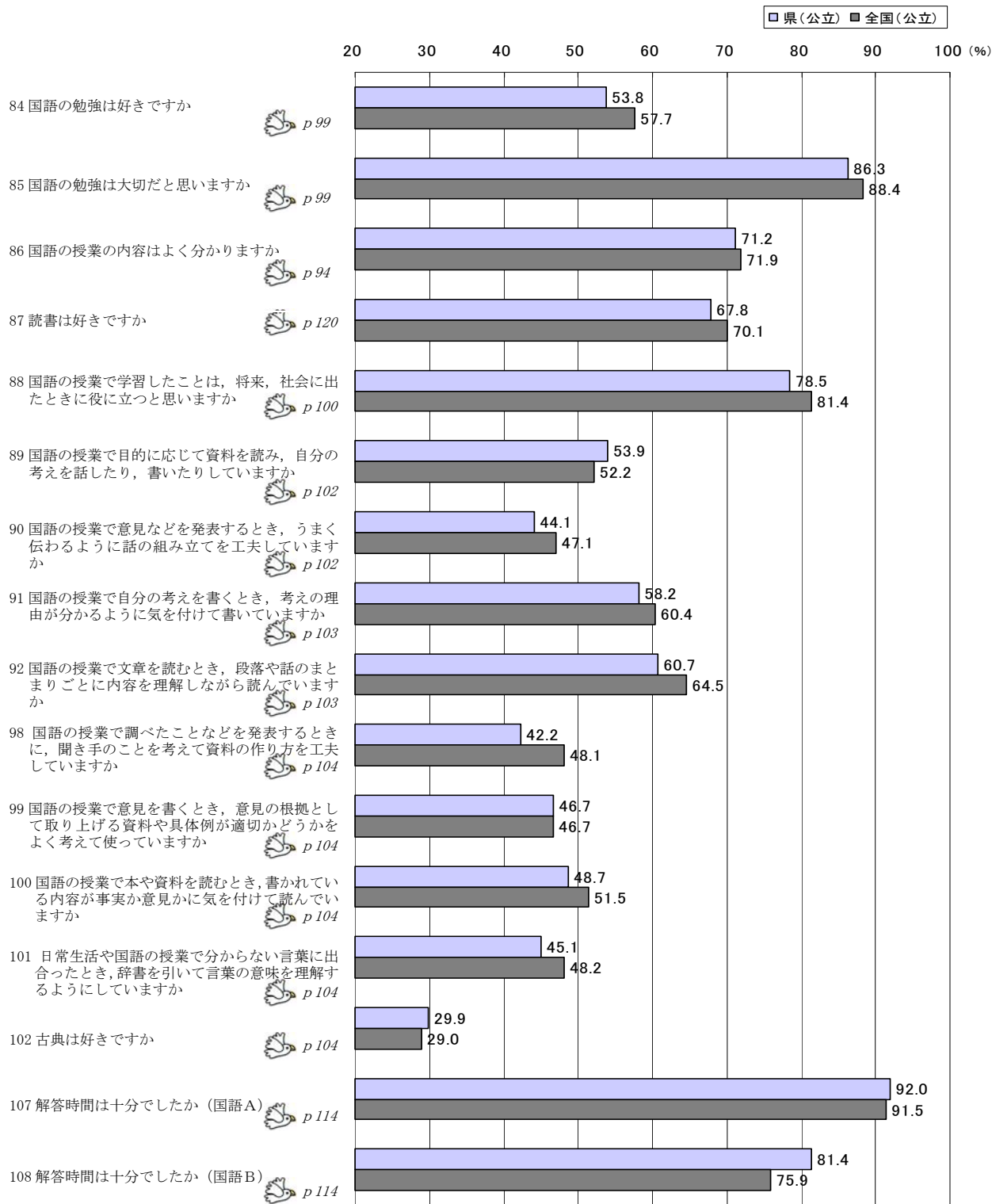
【国語B】




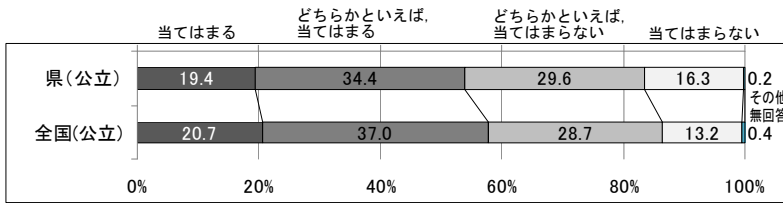
学習意欲

- 「84 国語の勉強は好きですか」の質問に対して、肯定的に回答した生徒の割合は、全国と比べて低い。
- 「86 国語の授業の内容はよく分かりますか」の質問に対して、肯定的に回答した生徒の割合は、全国と比べて大きな差は見られない。

■学習意欲（中学校国語）に関わる質問の全国との比較



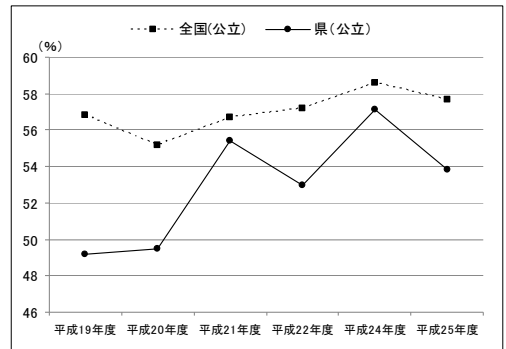
□84 国語の勉強は好きですか  p.99




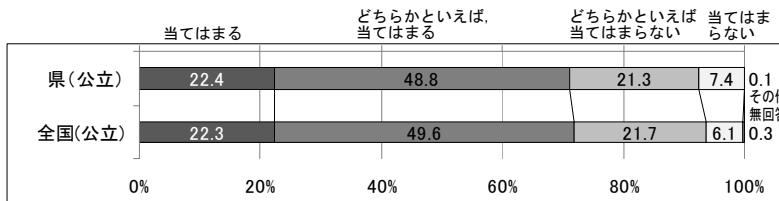
当てはまる、どちらかといえば当てはまると肯定的に回答した生徒の割合

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成24年度	平成25年度
県(公立)	49.2	49.5	55.4	53.0	57.1	53.8
全国(公立)	56.8	55.2	56.7	57.2	58.6	57.7
県と全国の差	▲7.6	▲5.7	▲1.3	▲4.2	▲1.5	▲3.9

質問84に肯定的に回答した生徒の県と全国との割合の推移



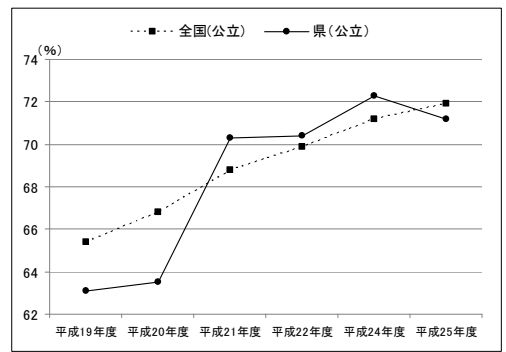
□86 国語の授業の内容はよく分かりますか  p.94




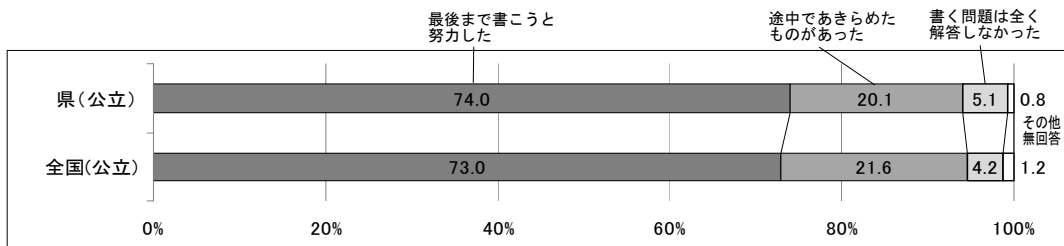
当てはまる、どちらかといえば当てはまると肯定的に回答した生徒の割合


	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成24年度	平成25年度
県(公立)	63.1	63.5	70.3	70.4	72.3	71.2
全国(公立)	65.4	66.8	68.8	69.9	71.2	71.9
県と全国の差	▲2.3	▲3.3	1.5	0.5	1.1	▲0.7

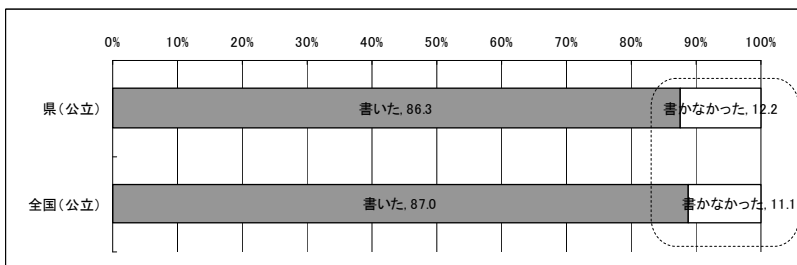
質問86に肯定的に回答した生徒の県と全国との割合の推移



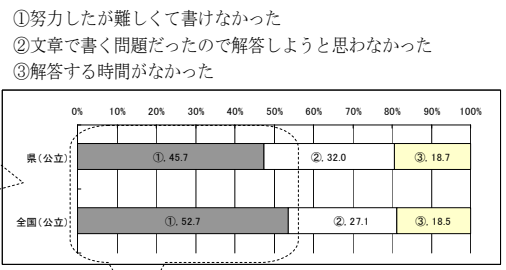
□103 今回の国語の問題の中で、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題で最後まで解答を書こうと努力しましたか  p.111



□104 国語B-3-3の解答を書きましたか  p.111, 112

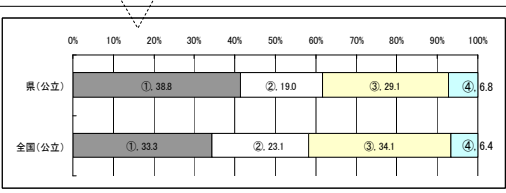


□105 解答しなかった理由は何ですか (104で解答しなかった生徒のみ)



□106 この問題に解答しようとしたとき、あなたはどのように考えましたか (105で①と回答した生徒のみ)

- ①問題文の意味が分からなかったので、何も書かなかった
- ②漢字の特徴が分からなかったので、何も書かなかった
- ③漢字の特徴は分かったが、注意点やコツについての考えがまとまらなかったため、何も書かなかった
- ④考えはまとまったが、解答に自信がなかったため、何も書かなかった



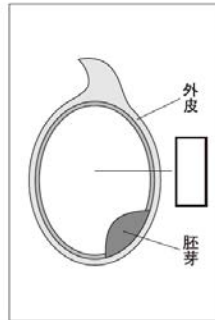
調査結果から授業改善へ

説明的な文章を用いた「読むこと」の学習では、目的に応じて、段落と段落、文と文などの関係や文脈の中における語句の意味を考えながら丁寧に読み、必要に応じて文章を要約したり、表や図などの様々な形でまとめたりする活動を積極的に行うようにする。

授業改善のヒントとなる設問の概要

中学校 国語 A 5

- 二 線部「小麦はそういうわけにはいきません」とありますが、その理由として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。
- 1 小麦の粒は、米の粒と比べて外皮（ふすま）が柔らかいので、外皮（ふすま）だけを取り除くことが難しいから。
 - 2 小麦の粒は、米の粒と比べて外皮（ふすま）が柔らかいので、外皮（ふすま）を取り除くと栄養素が失われるから。
 - 3 小麦の粒は、米の粒とは形や構造に違いがあるので、外皮（ふすま）だけを取り除くことが難しいから。
 - 4 小麦の粒は、米の粒とは形や構造に違いがあるので、外皮（ふすま）を取り除くと栄養素が失われるから。



【米の断面図】

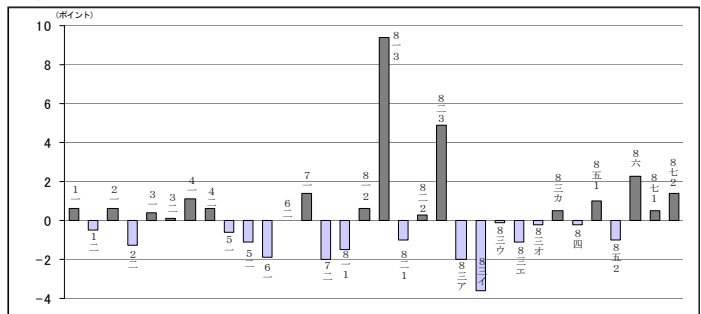
一 次は、「米の断面図」です。□に入るものとして最も適切なものを、本文中の——線部①から④までのの中から一つ選びなさい。

（古田ゆかり「膨らむ粉、小麦粉の内部では何が起きている？」による）

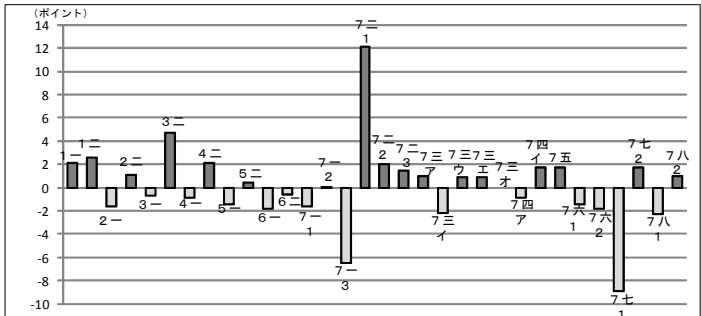
（古田ゆかり「膨らむ粉、小麦粉の内部では何が起きている？」による）

5 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

平成 25 年度 A 設問別の県と全国の正答率の差



平成 24 年度 A 設問別の県と全国の正答率の差



設問番号	解答類型	県 反応率 (%)	全国 反応率 (%)	正答
5-1	1 ① と解答しているもの	1.6	1.7	
	2 ② と解答しているもの	8.4	8.0	
	3 ③ と解答しているもの	3.0	3.1	
	4 ④ と解答しているもの	86.2	86.8	◎
	9 上記以外の解答	0.1	0.1	
0 無解答	0.6	0.4		

設問番号	解答類型	県 反応率 (%)	全国 反応率 (%)	正答
5-2	1 1 と解答しているもの	17.6	17.3	
	2 2 と解答しているもの	4.3	4.0	
	3 3 と解答しているもの	74.5	75.6	◎
	4 4 と解答しているもの	2.8	2.5	
	9 上記以外の解答	0.1	0.1	
0 無解答	0.7	0.4		

分析・考察

この設問は「説明的な文章を読む」ことについての設問で、出題の趣旨は、一は「文脈の中における語句の意味を理解しているかどうかをみる。」、二は「文章の展開に即して内容を捉えることができるかどうかをみる。」である。ともに正答率は70%を超えているものの、2問ずつある①～⑦のうち、2問とも全国を下回っているのは、⑤だけである。

一についての反応率を見ると、②が誤答の中では最も高い。正答の④は①～③とは別の段落に書かれている語であることから、①～③が書かれている段落のみが米の構造について説明している部分とみなしており、文章全体を見通して段落相互の関係をつかむことができているといえる。

二についての反応率を見ると、1を選んだものが20%近くいる。傍線部と同じ段落の中にある「柔らかい」というキーワードに引きずられ、離れた段落にある「形や構造の違い」という正答につながるキーワードを押さえられていないため、三つの段落で米と小麦の形や構造の違いを説明していることが読み取れていないと考えられる。

「説明的な文章を読む」ことについての設問は、平成24年度にも⑥で2問あったが、ともに全国を下回っていた。このときも、言語事項等以外の①～⑥の中で、2問とも全国を下回ったのは⑥だけだった。このときの出題の趣旨は、一が「文章の展開に即して内容を捉えることができるかどうかをみる。」、二は「目的に応じて必要な情報を読み取ることができるかどうかをみる。」である。

2年連続で「説明的な文章を読む」ことについての設問のみが、すべての設問において全国を下回る結果となっており、その差は大きくはないものの、語句の意味を文脈の中で捉えたり、段落(文・語句)と段落(文・語句)の関係をつかみながら読みだすことに課題が見られる。

また、Aにおける「読むこと」領域の全国との差は、平成21年度から毎年1ポイント前後縮まってきたが、25年度はついに-0.1ポイントとなった。この傾向はBの「読むこと」やA・Bの「書くこと」にも見られるが、「読むこと」、とりわけ「説明的な文章を読む」ことについての知識・技能における課題が明らかになっている。

授業改善のポイント

説明的な文章の内容を正確に捉えるためには、問題提起(話題提示)とそれについての説明(具体例などの事実・実験・解説など)とまとめ(考察・意見など)がどう書かれているのかを意識しながら読んでいくことが大切である。

その際の読み方としては、速読による大まかな内容や構造の把握と精読による大まかな読みの確かめや深い理解の両方の読み方がある。「大まかな読み→確かめる読み」の中で、要約をしながら内容のつながりを論理的に理解していくようにすることが必要である。

授業を行うに当たっては、一つ一つの記述の意味を確かめながら読み進めるのではなく、まとめて読む活動の中で読みの技術を用い、定着させるようにする。読みの技術としては「文脈の中での語句の定義づけや意味の理解」「まとまりごとの内容の読み分け」「まとまりごとの要約と関係付け」「因果関係の理解」「文脈に基づいた類推」「内容の統合と分割」など多くのものが考えられるが、指導事項に示された力を身に付けさせるために必要な読みの技術は何かを分析し、学習活動に位置づける。

例えば、筆者が話題に対してどのように説明しているかを確かめる学習の場合、段落ごとの見出しを用意し何種類かに構造化して提示し、適切なものを予想させた上で一つ一つの段落の内容を要約させたり、段落と段落の関係を考えさせて言葉や記号で記入させたりするなどが考えられる。あるいは、キーワードを抽出して生徒に与え、それらを構造的に配置してつながりを説明させることなども考えられる。要約の力を高めるために、要約自体を目的とし、表にして部分的に要約をさせたり穴埋め式のワークシートを用いたりすることで終わるような授業からの脱却が求められる。

調査結果から授業改善へ

根拠を明確にして自分の感じたことや考えたことを書く際には、根拠の妥当性を確かめ、引用など根拠の示し方の技術を習得できるようにする。

授業改善のヒントとなる設問の概要

中学校 国語B 2

2 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

【最新】「読書の時代」による

(注1) ヘアトニックは頭髪用の化粧品。
(注2) マイクロフィルムは本や書類、図面などを写して保存しておく小さなフィルム。

1 この文章には、エヌ氏のどのような生活が書かれていますか。次の□に当てはまる言葉を本文中から探し、漢字二文字で抜き出しなさい。



2 この文章では、――線部①「たしかに便利だ。こんなものができる」とは、むかしの人は考えもしなかったらう。」と同じような表現が繰り返されますが、――線部②では「なにが便利だ、こんなことにならう」とは、むかしの人は考えもしなかったらう。」になっています。これらの表現の効果を説明したものととして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 現実のことではなく架空の話であることを明確にする。
- 2 これまでに描かれた全ての場面の出来事を正確に思い起こさせる。
- 3 最初に提示された疑問に対する答えを最後に明らかにする。
- 4 ものの見方や考え方が結末で大きく変わること印象付ける。

3 この文章を読んで、あなたが感じたことや考えたことを、次の条件1から条件3にしたがって書きなさい。
なお、読み返して文章を直したいときは、二本線が消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

- 条件1 本文を引用して書くこと。引用する部分は、かぎかっこ「 」でくくること。
- 条件2 この文章について、あなたが感じたことや考えたことを具体的に書くこと。
- 条件3 八十字以上、百字以内で書くこと。

■設問別の県と全国の正答率の差

設問	県の正答率	全国の正答率	全国との差
B 1一	71.3	71.7	▲0.4
B 1二	63.9	62.7	1.2
B 1三	61.6	57.9	3.7
B 2一	78.2	77.5	0.7
B 2二	75.4	75.6	▲0.2
B 2三	57.6	65.7	▲8.1
B 3一	60.2	61.0	▲0.8
B 3二	70.6	70.2	0.4
B 3三	63.8	64.6	▲0.8

(正答の条件)

- 次の条件を満たして解答している。
- ① 引用する部分をかぎかっこ「 」でくくり、文章を書いている。
- ② 文章の内容を正しく理解した上で、感じたことや考えたことを具体的に書いている。
- ③ 八十字以上、百字以内で書いている。

設問番号	解答類型	県反応率 (%)	全国反応率 (%)	正答
2 3	1 条件①, ②, ③を満たして解答しているもの	57.6	65.7	◎
	2 条件①, ②を満たし、条件③を満たさないで解答しているもの	0.8	0.6	
	3 条件①, ③を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの	1.3	1.5	
	4 条件②, ③を満たし、条件①を満たさないで解答しているもの	24.9	17.3	
	9 上記以外の解答	3.7	3.6	
	0 無解答	11.7	11.3	

分析・考察

B 1～3は、それぞれ三つの設問で構成されており、B 1三・B 2三・B 3三は、いずれも二つの領域の指導事項に対応している(B 1三は「書くこと」と「読むこと」、B 2三は「書くこと」と「読むこと」、B 3三は「書くこと」と「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」)。平成24年度同様、全国と比較して「活用」に大きな課題があるとは言いきれない。しかし、B 2三は全国より8.1ポイント下回っており、ABを合わせた全設問中、全国と比べて最も大きく下回っている設問である。

解答類型では4が全国より7.6ポイント上回っており、条件①である「引用の(「 」)を使って文章を書く」ことができている生徒が全国と比べて著しく多く、根拠の示し方に課題がある。

授業改善のポイント

文章を読んで、感じたことや考えたことを書く際には、「なぜ」そのように感じたのか、文章の「どの部分」からそのように考えたのかなど、根拠を明確にして書くことが大切である。根拠を本文に求める場合、まず、その部分が自分の考えの根拠として妥当かどうかという内容面での確認が必要である。また、その部分がどこにあるかを明確にするための引用の仕方を身に付けておくことも必要である。

指導に当たっては、根拠の明確さとは何かを指導するために、具体例を用いて指導するとともに、調べ学習やレポート作成などの活動を充実させることが大切である。

調査結果から授業改善へ

文章の内容と構成や展開、表現の特徴を関連付けて捉えることができるようにする。

授業改善のヒントとなる設問の概要

中学校 国語B 1一・B 2二・B 3一

■設問別の県と全国の正答率の差

設問	県の正答率	全国の正答率	全国との差
B 1一	71.3	71.7	▲0.4
B 1二	63.9	62.7	1.2
B 2一	78.2	77.5	0.7
B 2二	75.4	75.6	▲0.2
B 3一	60.2	61.0	▲0.8
B 3二	70.6	70.2	0.4

	出題の趣旨	領域 指導事項
1一	段落相互の関係を理解し、文章の展開を捉える	読むこと 第1学年エ
2二	表現の仕方に注意して読み、その効果を考える	読むこと 第1学年エ
3一	文章の構成や表現の特徴を捉える	読むこと 第1学年エ

- 1 この文章の段落相互の関係について説明したものと最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。
- 2 ①段落は、①段落の内容と対立する事実を紹介している。
②段落は、②段落で示された意見に対する反論を述べている。
③段落は、③段落までの内容を踏まえて語気を広げている。
④段落は、④段落で示された疑問に対する答えを述べている。
- 2 この文章では、――線部①「たしかに便利だ。こんなものができるとは、むかしの人には考えもしなかったらう。」と同じような表現が繰り返されますが、――線部②では「なにが便利だ。こんなことになるううとは、むかしの人には考えもしなかったらう。」になっています。これらの表現の効果を説明したものと最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。
- 3 ① 現実のことではなく架空の話であることを明確にする。
② これまでに描かれた全ての場面の出来事を正確に思い起こさせる。
③ 最初に提示された疑問に対する答えを最後に明らかにする。
④ ものの見方や考え方が結末で大きく変わることを印象付ける。
- 3 「新聞記事」の書き方の特徴を説明したものと最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。
- 4 ① 始めに要点をまとめて述べた上で、具体的な数値を取り上げて詳しく書いている。
② 始めに書き手の意見を述べた上で、複数の見方を取り上げて多面的に書いている。
③ 問題の解決方法を見出しで示した上で、グラフを用いて分かりやすく書いている。
④ 最新の情報を見出しで示した上で、出来事の流れを時間の経過に沿って書いている。

分析・考察

一つの領域に対応している六つの設問の中で、全国より下回っているのは3問であるが、その3問はいずれも「読むこと 第1学年エ」に対応した設問である。この指導事項は、「文章の構成や展開、表現の特徴について、自分の考えをもつこと。」である。設問は「文章の構成や展開、表現の特徴を捉える」ものであり、このような文章の形式についての理解に課題があるが、これは文章の解釈とも関係が深いものであり、内容理解に見られる課題と合わせて「読むこと」に関する特徴的な結果となっている。

授業改善のポイント

「読むこと」の指導においては、文章の解釈と構成や展開、表現の特徴とを関連付けて考えさせることが大切である。文章の内容と、それを効果的に表現したり分かりやすく表現したりするための筆者の意図や工夫について、読み手として分析するだけでなく、書き手の意識で考える活動も取り入れることが求められる。例えば、同じ意図を伝えるために別の表現方法を考えたり、意図が変わるとどのような表現方法が効果的かを考えたりするような学習を、話し合いなどを効果的に取り入れて充実させていくことが望まれる。

4 中学校 数学 <調査区分の分析・検証>

概要

- 数学Aについて、県と全国の平均正答率の比較（+2.6ポイント）等から、全国より上位の結果であることがうかがえる。
- 数学Bについて、県と全国の平均正答率の比較（+3.1ポイント）等から、全国より上位の結果であることがうかがえる。

■平成 25 年度調査結果の集計値

中学校数学A	生徒数	学校数	平均正答数	平均正答率 (%)	県と全国との差(ポイント)
県(公立)	8,684	72	23.9 / 36	66.3	2.6
全国(公立)	1,027,458	9,751	22.9 / 36	63.7	

中学校数学B	生徒数	学校数	平均正答数	平均正答率 (%)	県と全国との差(ポイント)
県(公立)	8,682	72	7.1 / 16	44.6	3.1
全国(公立)	1,027,411	9,748	6.6 / 16	41.5	

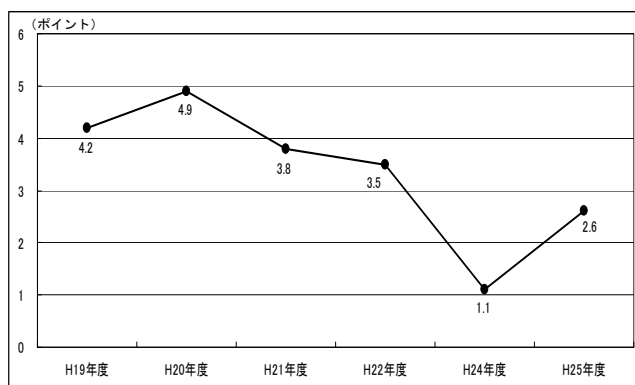
■平成 19 年度～平成 25 年度の県と全国の平均正答率の差の推移

※H22・24年度は抽出調査

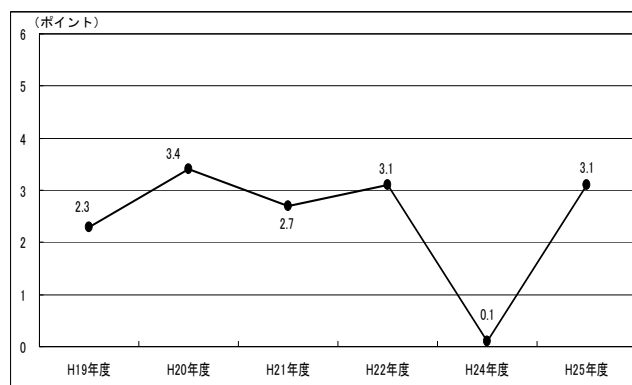
中学校数学A	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
県(公立)平均正答率 (%)	76.1	68.0	66.5	68.1	63.2	66.3
全国(公立)平均正答率 (%)	71.9	63.1	62.7	64.6	62.1	63.7
県と全国の差	4.2	4.9	3.8	3.5	1.1	2.6

中学校数学B	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
県(公立)平均正答率 (%)	62.9	52.6	59.6	46.4	49.4	44.6
全国(公立)平均正答率 (%)	60.6	49.2	56.9	43.3	49.3	41.5
県と全国の差	2.3	3.4	2.7	3.1	0.1	3.1

県と全国の平均正答率の差の推移【数学A】



県と全国の平均正答率の差の推移【数学B】



■平成 25 年度領域別調査結果

学習指導要領の領域等	数学A				数学B			
	数と式	図形	関数	資料の活用	数と式	図形	関数	資料の活用
県(公立) 平均正答率(%)	74.4	67.5	61.8	50.6	48.6	46.5	41.4	43.1
全国(公立) 平均正答率(%)	72.7	64.6	58.7	46.8	41.7	44.8	40.0	42.2

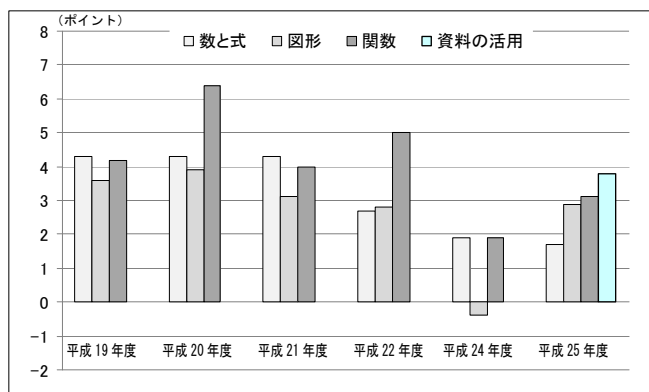
■平成 19 年度～平成 25 年度の領域別調査結果

※H22・24 年度は抽出調査

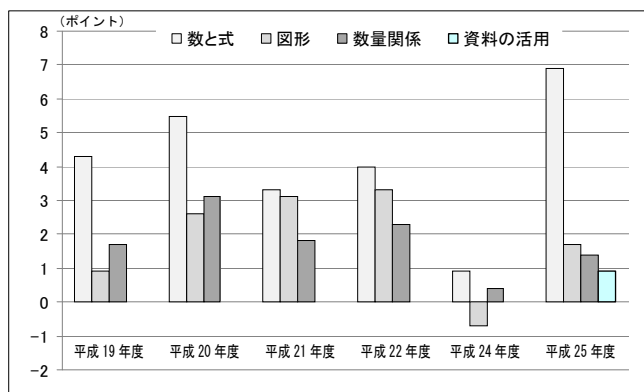
数学A				
領域	調査年度	県(公立) 平均正答率(%)	全国(公立) 平均正答率(%)	県と全国と の差(ポイント)
数と式	平成 19 年度	78.7	74.4	4.3
	平成 20 年度	72.3	68.0	4.3
	平成 21 年度	71.6	67.3	4.3
	平成 22 年度	77.9	75.2	2.7
	平成 24 年度	69.4	67.5	1.9
	平成 25 年度	74.4	72.7	1.7
図形	平成 19 年度	79.1	75.5	3.6
	平成 20 年度	66.6	62.7	3.9
	平成 21 年度	67.7	64.6	3.1
	平成 22 年度	67.1	64.3	2.8
	平成 24 年度	66.3	66.7	▲0.4
	平成 25 年度	67.5	64.6	2.9
関数	平成 19 年度	70.1	65.9	4.2
	平成 20 年度	65.0	58.6	6.4
	平成 21 年度	60.2	56.2	4.0
	平成 22 年度	59.3	54.3	5.0
	平成 24 年度	54.0	52.1	1.9
	平成 25 年度	61.8	58.7	3.1
資料の活用	平成 25 年度	50.6	46.8	3.8

数学B				
領域	調査年度	県(公立) 平均正答率(%)	全国(公立) 平均正答率(%)	県と全国と の差(ポイント)
数と式	平成 19 年度	52.5	48.2	4.3
	平成 20 年度	59.7	54.3	5.4
	平成 21 年度	64.7	61.4	3.3
	平成 22 年度	47.2	43.2	4.0
	平成 24 年度	41.8	40.9	0.9
	平成 25 年度	48.6	41.7	6.9
図形	平成 19 年度	54.0	53.1	0.9
	平成 20 年度	60.2	57.6	2.6
	平成 21 年度	60.6	57.5	3.1
	平成 22 年度	43.5	40.2	3.3
	平成 24 年度	59.0	59.7	▲0.7
	平成 25 年度	46.5	44.8	1.7
関数	平成 19 年度	69.6	67.9	1.7
	平成 20 年度	47.8	44.7	3.1
	平成 21 年度	55.9	54.1	1.8
	平成 22 年度	47.8	45.5	2.3
	平成 24 年度	40.2	39.8	0.4
	平成 25 年度	41.4	40.0	1.4
資料の活用	平成 25 年度	43.1	42.2	0.9

領域別の県と全国の平均正答率の差の推移【数学A】



領域別の県と全国の平均正答率の差の推移【数学B】



■設問別調査結果【数学A】

集計結果

	生徒数	学校数	平均正答率(%)	全国との差(%)
香川県(公立)	8,684	72	66.3	2.6
全国(公立)	1,027,458	9,751	63.7	

※ひとつの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

分類・区別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)		全国との差(%)
			香川県(公立)	全国(公立)	
学習指導要領の領域	数と式	11	74.4	72.7	1.7
	図形	12	67.5	64.6	2.9
	関数	9	61.8	58.7	3.1
	資料の活用	4	50.6	46.8	3.8
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0			
	数学的な見方や考え方	0			
	数学的な技能	17	70.5	67.9	2.6
問題形式	数量や図形などについての知識・理解	19	62.6	59.8	2.8
	選択式	18	64.4	61.8	2.6
	短答式	18	68.3	65.5	2.8
	記述式	0			

設問別集計結果

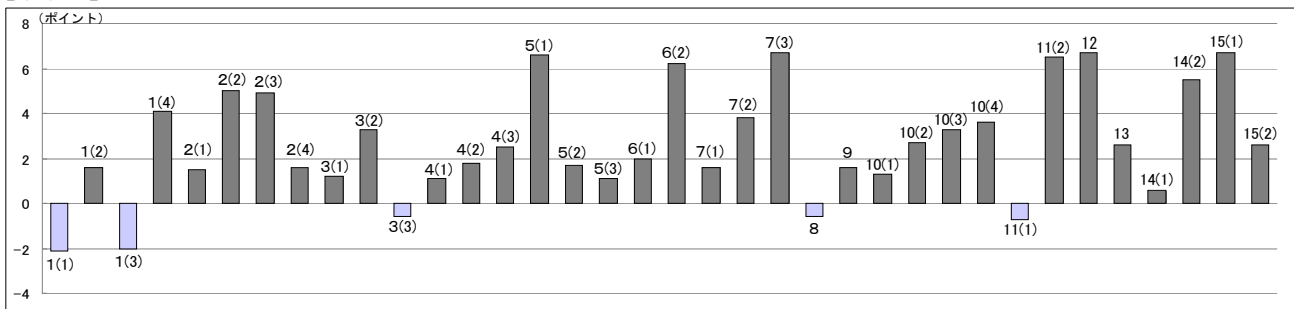
設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式			香川県(公立)		全国(公立)		全国との差		
			数と式	図形	関数	資料の活用	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)	
1(1)	$5/8 \times 3/4$ を計算する	分数の乗法の計算ができる	小6(1)イ												81.1	3.1	83.2	2.3	-2.1	0.8
1(2)	$5 \times (4-7)$ を計算する	() を含む正の数と負の数の計算ができる	1(1)ウ												89.1	2.1	87.5	1.2	1.6	0.9
1(3)	四則計算のうち、整数の範囲で閉じていない計算を選ぶ	数の集合と四則計算の可能性について理解している	1(1)ア												73.8	0.7	75.8	0.4	-2.0	0.3
1(4)	東京の時刻を基準にして、東京とカイロの時差を表す	正の数と負の数の意味を、実生活の場面に結び付けて理解している	1(1)ア,エ												68.9	5.1	64.8	5.3	4.1	-0.2
2(1)	$2(5x+9y)-5(2x+3y)$ を計算する	整式の加法と減法の計算ができる	2(1)ア												83.2	3.3	81.7	2.3	1.5	1.0
2(2)	縦 a 、横 b の長方形において、 $2(a+b)$ が表す量を選ぶ	与えられた文字式の意味を、具体的な事象の中で読み取ることができる	1(2)エ												71.9	0.7	66.9	0.4	5.0	0.3
2(3)	a mの重さが b gの針金の1mの重さを、 a 、 b を用いた式で表す	数量の関係や法則などを文字式で表すことができる	2(1)イ												37.2	15.2	32.3	18.4	4.9	-3.2
2(4)	等式 $2x+3y=9$ を y について解く際に用いられている等式の性質を選ぶ	等式をある文字について解く際に用いられている等式の性質を理解している	2(1)ウ												75.6	1.1	74.0	0.8	1.6	0.3
3(1)	$3x+7=9$ を解く	簡単な一元一次方程式を解くことができる	1(3)ウ												74.9	6.8	73.7	6.4	1.2	0.4
3(2)	$2x+y=6$ の解となる x 、 y の値の組を選ぶ	二元一次方程式の解の意味を理解している	2(2)ア												80.8	1.3	77.5	1.2	3.3	0.1
3(3)	数量の関係を連立二元一次方程式で表す	具体的な事象における数量の関係を捉え、連立二元一次方程式をつくることができる	2(2)ウ												82.1	9.2	82.7	9.2	-0.6	0.0
4(1)	長方形の2倍の拡大図をかく	与えられた図形の拡大図をかくことができる	小6(1)ア												89.5	2.8	88.4	1.8	1.1	1.0
4(2)	角の二等分線の作図の根拠となる対称な図形を選ぶ	角の二等分線の作図の方法を、図形の対称性に着目して見直すことができる	1(1)ア												50.7	1.4	48.9	1.0	1.8	0.4
4(3)	$\triangle ABC$ を、点Cを回転の中心として時計回りに回転移動して $\triangle DEC$ にぴったり重なったとき、回転角の大きさを求める	回転移動の意味を理解している	1(1)イ												58.5	4.0	56.0	3.5	2.5	0.5
5(1)	立体の辺を含む直線について、正しい記述を選ぶ	空間における2直線の位置関係を理解している	1(2)ア												63.3	1.3	56.7	1.1	6.6	0.2
5(2)	与えられた見取図から、その立体の投影図を選ぶ	見取図、投影図から空間図形を読み取ることができる	1(2)イ												86.7	1.0	85.0	0.6	1.7	0.4
5(3)	球と円柱の体積を比較し、正しいものを選ぶ	球の体積を、球がぴったり入る円柱の体積との関係から理解している	1(2)ウ												48.2	1.3	47.1	0.9	1.1	0.4
6(1)	平行線の間の三角形について、その内角 x 、 y の和の値を選ぶ	1組の平行線に直線が交わってできる角の性質を理解している	2(1)ア												80.8	1.2	78.8	1.0	2.0	0.2
6(2)	五角形のある頂点における外角の大きさを求める	多角形の外角の意味を理解している	2(1)イ												61.6	6.0	55.4	6.0	6.2	0.0
7(1)	証明で用いられている三角形の合同条件を選ぶ	証明を読み、根拠として用いられている三角形の合同条件を理解している	2(2)ア												80.8	1.2	79.2	0.7	1.6	0.5
7(2)	長方形の対角線の長さが等しいことを、記号を用いて表す	図形の性質や条件を、記号を用いて表すことができる	2(2)イ,ウ												72.3	11.8	68.5	14.1	3.8	-2.3
7(3)	与えられた方法で作図された四角形が、いつでも平行四辺形になることの根拠となる事柄を選ぶ	平行四辺形になるための条件を理解している	2(2)ウ												54.4	1.6	47.7	1.1	6.7	0.5
8	証明で用いられている図が考察対象の図形の代表であることについての正しい記述を選ぶ	証明の必要性和意味を理解している	2(2)イ,ウ												63.5	1.6	64.1	1.0	-0.6	0.6
9	y が x の関数である事象を選ぶ	関数の意味を理解している	1(1)ア												15.4	1.8	13.8	1.6	1.6	0.2
10(1)	座標平面上の点の座標を求める	座標平面上にある点の位置を、2つの数の組で表すことができる	1(1)ウ												80.2	4.9	78.9	4.4	1.3	0.5
10(2)	比例定数が3である比例の式を選ぶ	比例定数が a である比例の式は $y=ax$ で表されることを理解している	1(1)エ												67.4	1.7	64.7	1.3	2.7	0.4

調査結果に特徴のうかがえる設問

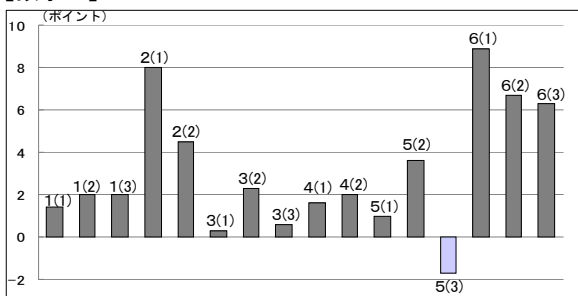
- 中学校数学の調査において、正答率が3ポイント以上全国を上回った設問は、52問中20問(38.5%)であった。
- 中学校数学の調査において、正答率が3ポイント以上全国を下回った設問は、52問中0問(0.0%)であった。
- 中学校数学の調査において、正答率が50%以下であった設問は、52問中16問(30.8%)であった。

■設問別の県と全国との正答率の差

【数学A】



【数学B】



■正答率が全国より3ポイント以上高い設問

【中学校数学A】 (全36問中14問)

設問番号	設問の概要	正答率 (%)	全国(公立)との差(ポイント)	無解答率 (%)
1(4)	東京の時刻を基準にして、東京とカイロの時差を表す	68.9	4.1	5.1
2(2)	縦 a 、横 b の長方形において、 $2(a+b)$ が表す量を選ぶ	71.9	5.0	0.7
2(3)	am の重さが bg の針金の1mの重さを、 a 、 b を用いた式で表す	37.2	4.9	15.2
3(2)	$2x+y=6$ の解となる x 、 y の値の組を選ぶ	80.8	3.3	1.3
5(1)	立体の辺を含む直線について、正しい記述を選ぶ	63.3	6.6	1.3
6(2)	五角形のある頂点における外角の大きさを求める	61.6	6.2	6.0
7(2)	長方形の対角線の長さが等しいことを、記号を用いて表す	72.3	3.8	11.8
7(3)	与えられた方法で作図された四角形が、いつでも平行四辺形になることの根拠となる事柄を選ぶ	54.4	6.7	1.6
10(3)	比例の表からグラフを選ぶ	55.8	3.3	2.0
10(4)	反比例 $y=6/x$ のグラフを完成する	74.6	3.6	6.6
11(2)	一次関数の表から変化の割合を求める	48.9	6.5	18.9
12	一次関数の事象を式で表す	61.0	6.7	15.4
14(2)	6月の日ごとの最高気温の分布を表したヒストグラムから、ある階級の相対度数を求める	28.3	5.5	20.6
15(1)	1枚の硬貨を多数回投げたときの表が出る相対度数の変化の様子について、正しい記述を選ぶ	39.8	6.7	2.9

【中学校数学B】 (全16問中6問)

設問番号	設問の概要	正答率 (%)	全国(公立)との差(ポイント)	無解答率 (%)
2(1)	2けたの自然数と、その数の十の位の数と一の位の数を入れかえた数の差が9の倍数になる説明を完成する	45.3	8.0	20.4
2(2)	2けたの自然数と、その数の十の位の数と一の位の数を入れかえた数との和について予想した事柄を表現する	42.5	4.5	30.6
5(2)	まとめ直したヒストグラムの特徴を基に、学級の生徒が美しいと思う長方形について新たにわかることを説明する	28.4	3.6	37.0

6 (1)	1 辺に 5 個ずつ基石を並べて正三角形の形をつくったときの、基石全部の個数を求める	61.4	8.9	7.5
6 (2)	基石全部の個数を求める式 $3(n-1)$ に対応する囲み方を選ぶ	63.3	6.7	2.4
6 (3)	基石全部の個数を、 $3(n-2)+3$ という式で求めることができる理由を説明する	30.4	6.3	37.3

■正答率が全国より 3 ポイント以上低い設問

【中学校数学 A】 (全 36 問) なし

【中学校数学 B】 (全 16 問) なし

■正答率が低い設問 (50%以下)

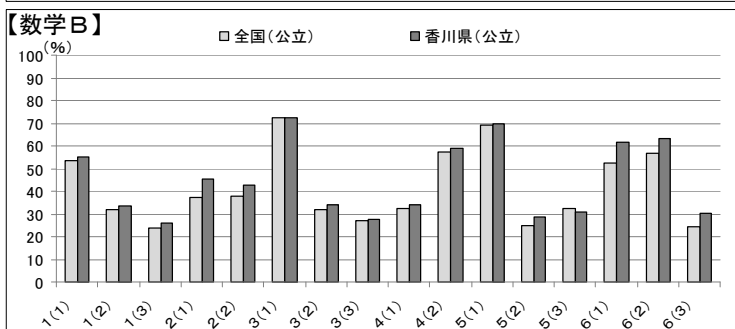
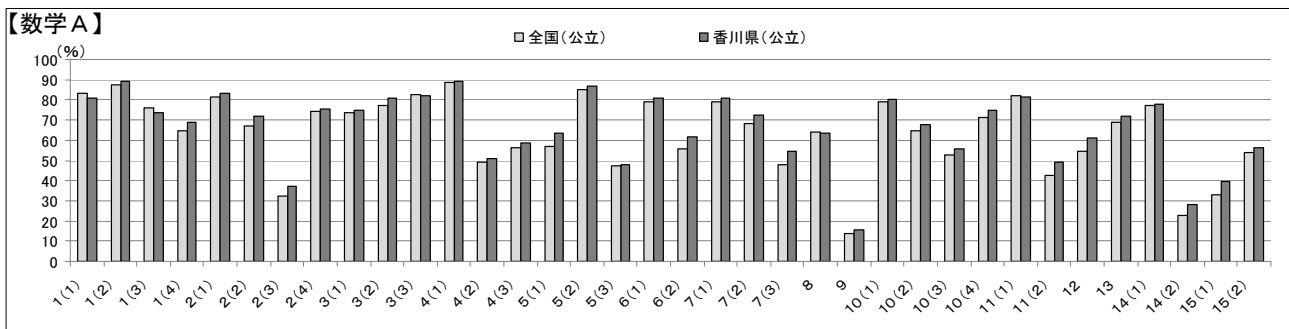
【中学校数学 A】 (全 36 問中 6 問)

設問番号	設問の概要	正答率 (%)	全国 (公立) との差 (ポイント)	無解答率 (%)
2 (3)	amの重さが bgの針金の 1 mの重さを、a, bを用いた式で表す	37.2	4.9	15.2
5 (3)	球と円柱の体積を比較し、正しいものを選ぶ	48.2	1.1	1.3
9	y が x の関数である事象を選ぶ	15.4	1.6	1.8
1 1 (2)	一次関数の表から変化の割合を求める	48.9	6.5	18.9
1 4 (2)	6 月の日ごとの最高気温の分布を表したヒストグラムから、ある階級の相対度数を求める	28.3	5.5	20.6
1 5 (1)	1 枚の硬貨を多数回投げたときの表が出る相対度数の変化の様子について、正しい記述を選ぶ	39.8	6.7	2.9

【中学校数学 B】 (全 16 問中 10 問)

設問番号	設問の概要	正答率 (%)	全国 (公立) との差 (ポイント)	無解答率 (%)
1 (2)	45 歳の優子さんのお父さんとお母さんの安静時心拍数の差が 10 のときの、二人の目標心拍数の差を求める	33.7	2.0	19.0
1 (3)	安静時心拍数が年齢によらず一定であるとするときの目標心拍数の変わり方を選び、その理由を説明する	25.7	2.0	4.9
2 (1)	2けたの自然数と、その数の十の位の数と一の位の数を入れかえた数の差が 9 の倍数になる説明を完成する	45.3	8.0	20.4
2 (2)	2けたの自然数と、その数の十の位の数と一の位の数を入れかえた数との和について予想した事柄を表現する	42.5	4.5	30.6
3 (2)	与えられた表やグラフを用いて、水温が 80℃になるまでにかかる時間を求める方法を説明する	34.0	2.3	30.6
3 (3)	水を熱した時間と水温と同じように考えて求められる事象を選ぶ	27.5	0.6	2.4
4 (1)	2つの辺の長さが等しいことを、三角形の合同を利用して証明する	34.0	1.6	24.6
5 (2)	まとめ直したヒストグラムの特徴を基に、学級の生徒が美しいと思う長方形について新たにわかることを説明する	28.4	3.6	37.0
5 (3)	図 2 のヒストグラムで最も度数の大きい階級に含まれることになるものを選ぶ	31.0	▲1.7	2.6
6 (3)	基石全部の個数を、 $3(n-2)+3$ という式で求めることができる理由を説明する	30.4	6.3	37.3

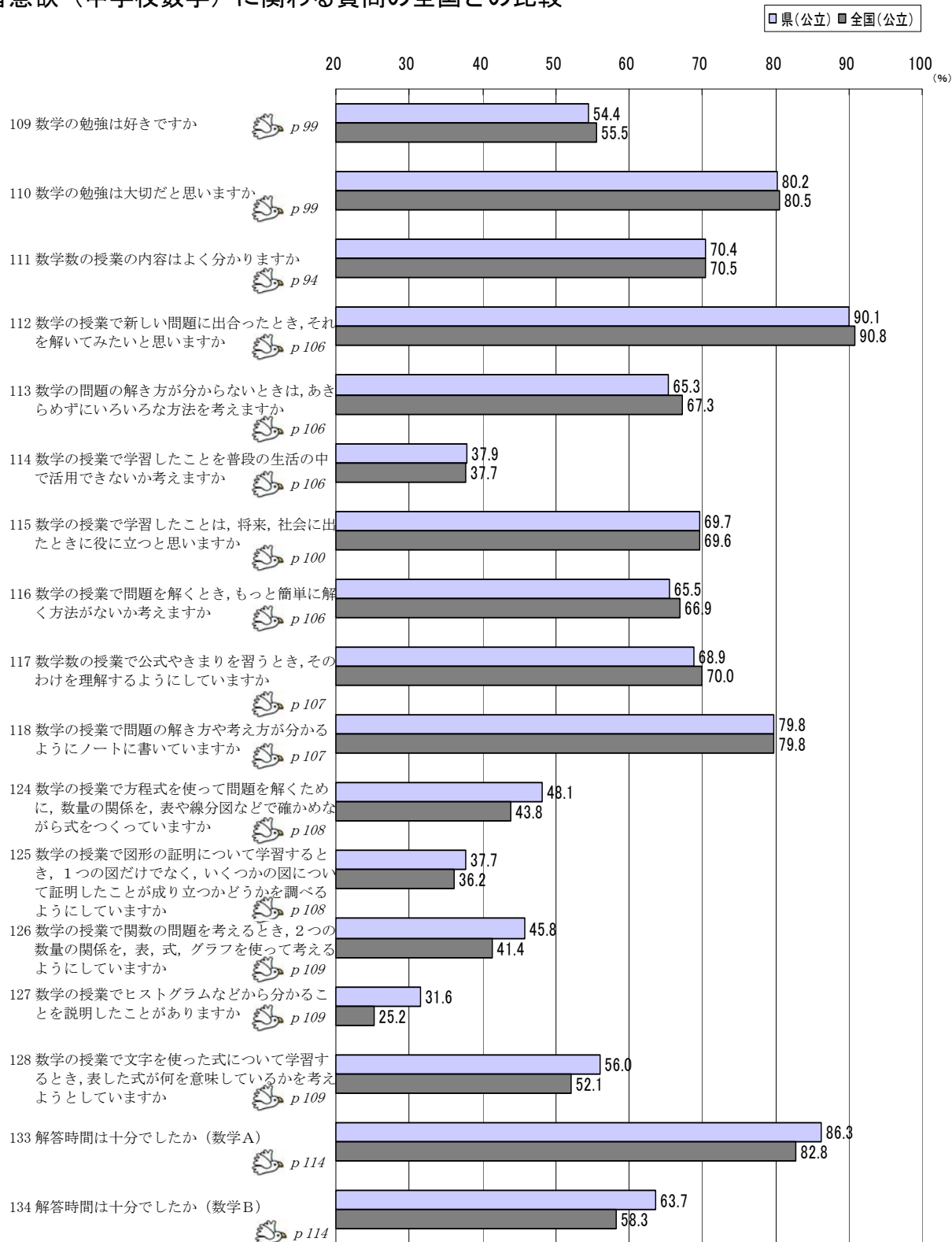
■全設問の県と全国の正答率の比較




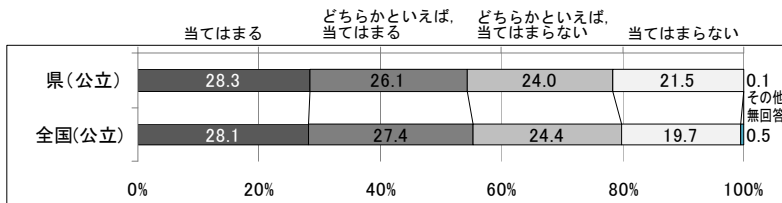
学習意欲

- 「109 数学の勉強は好きですか」の質問に対して、肯定的に回答した生徒の割合は、全国と比べて大きな差は見られない。
- 「111 数学の授業の内容はよく分かりますか」の質問に対して、肯定的に回答した生徒の割合は、全国と比べて大きな差は見られない。

■学習意欲（中学校数学）に関わる質問の全国との比較



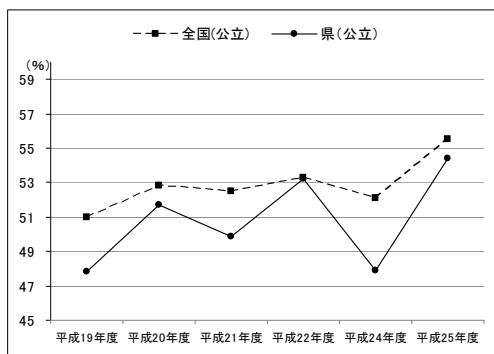
□109 数学の勉強は好きですか  p.99




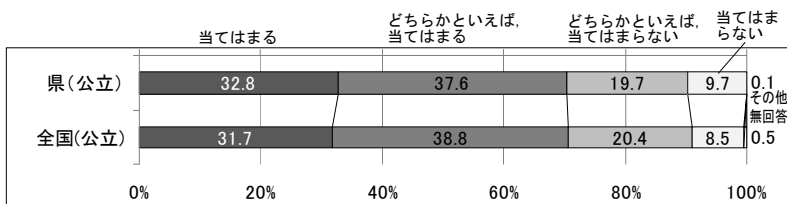
当てはまる、どちらかといえば当てはまると肯定的に回答した生徒の割合

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成24年度	平成25年度
県(公立)	47.8	51.7	49.9	53.2	47.9	54.4
全国(公立)	51.0	52.8	52.5	53.3	52.1	55.5
県と全国の差	▲3.2	▲1.1	▲2.6	▲0.1	▲4.2	▲1.1

質問 109 に肯定的に回答した生徒の県と全国との割合の推移



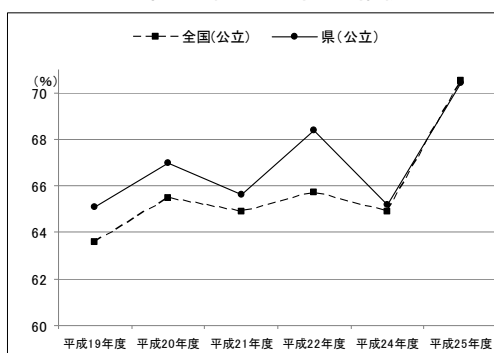
□111 数学の授業の内容はよくわかりますか  p.94




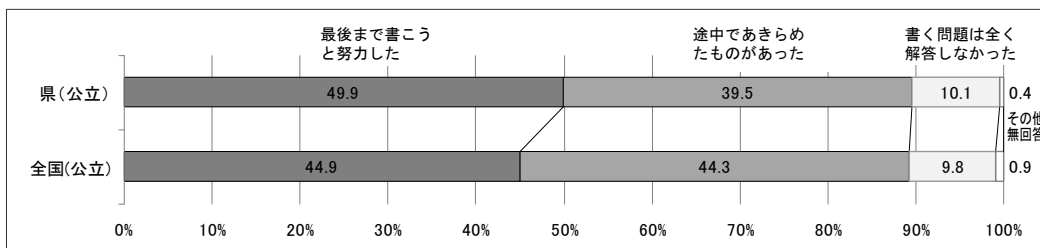
当てはまる、どちらかといえば当てはまると肯定的に回答した生徒の割合

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成24年度	平成25年度
県(公立)	65.1	67.0	65.6	68.4	65.2	70.4
全国(公立)	63.6	65.5	64.9	65.7	64.9	70.5
県と全国の差	1.5	1.5	0.7	2.7	0.3	▲0.1

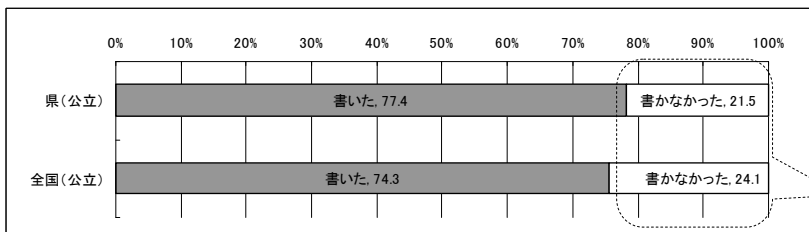
質問 111 に肯定的に回答した生徒の県と全国との割合の推移



□129 今回の数学の問題の中で、解答を言葉や式を使って説明する問題がありましたが、それらの問題で最後まで解答を書こうと努力しましたか  p.111

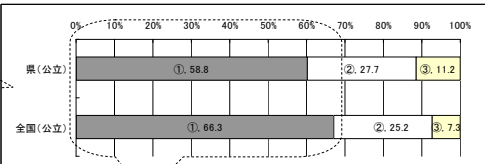


□130 数学B-4-(1)の解答を書きましたか  p.113



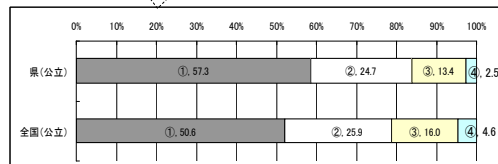
□131 解答しなかった理由は何ですか (130で解答しなかった生徒のみ)

- ①努力したが難しくて書けなかった
- ②書く分量が多いので解答しようと思わなかった
- ③解答する時間がなかった



□132 この問題に解答しようとしたとき、あなたはどのように考えましたか (131で①と回答した生徒のみ)

- ①問題文の意味が分からなかったので、何も書かなかった
- ②どの条件を使えばよいか分からなかったので、何も書かなかった
- ③どの条件を使えばよいかは分かったが、どのように書いたらよいか考えがまとまらなかったため、何も書かなかった
- ④考えはまとまったが、解答に自信がなかったため、何も書かなかった



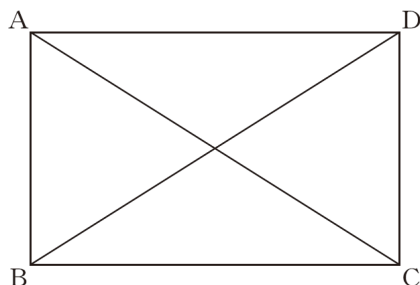
調査結果から授業改善へ

数や図形の性質や関係について数学的に表現したり、数学的に表現されたものの意味を読み取ったりすることができるようにする。

授業改善のヒントとなる設問の概要

中学校 数学A 7(2)

(2) 下の図で、四角形ABCDは長方形です。



長方形の対角線の長さは等しいといえます。
下線部を、上の図の頂点を表す記号と、記号＝
を使って表しなさい。

設問番号	解答類型	県反応率 (%)	全国反応率 (%)	正答
7(2)	1 AC=BD と解答しているもの。(記号の順序は不問。以下同様。)	72.3	68.5	◎
	2 上記1について、等号(=)がないもの。例 AC と BD は等しい。	0.0	0.0	
	3 AB=CD または AD=BC と解答しているもの。	2.8	3.7	
	4 上記3について、等号(=)がないもの。	0.0	0.0	
	5 上記1～4以外で、辺について解答しているもの。	1.2	1.3	
	6 角の相等関係について正しく解答しているもの。	1.2	1.8	
	7 上記6以外で、角について解答しているもの。	0.1	0.2	
	9 上記以外の解答	10.5	10.4	
	0 無解答	11.8	14.1	

分析・考察

7(2)の設問は、「4年間のまとめ【中学校編】」において取り上げられている「関係や法則などを式に表現したり、式の意味を読み取ったりすること」についての課題に関連した問題である。

本県の正答率は72.3%であり、全国の正答率を3.8ポイント上回っている。一方で、解答類型9、0の反応率を合わせると22.3%であり、誤答のほとんどはこの2つの類型に集まっている。

過去の同趣旨の設問における本県の(正答率/無解答率)をみると、平成20年度A7(65.6%/12.3%)、平成21年度A7(2)(71.9%/14.7%)、平成22年度A7(3)(67.8%/13.8%)であり、いずれの調査でも解答類型9、0の反応率を合わせると20～25%程度であった。

これらの結果から、証明以前の「図形の性質を記号で表す」という図形領域の基本的な読み書きの技能について、指導する側が、生徒は当然できるだろうと考えていたところで多くの生徒がつまづいていたといえる。

授業改善のポイント

図形の証明に至るまでには、図形の性質を関係式で表したり、関係式の意味を読み取ったりすることが必要になってくるが、本設問で出題されている基本的なところで多くの生徒がつまづいている。本来ならば、ほぼ全ての生徒に正しく答えてほしい基本的な問題である。

指導に当たっては、辺や角などについての関係を考察し、それを言葉と記号の双方で表すことができるように指導することが大切である。例えば、二等辺三角形や平行四辺形などの基本的な図形の定義や性質について、言葉による表現を記号や式を用いて表現したり、記号や式を用いた表現を言葉で表現したりするなど、双方向から言葉の表現と記号の表現を関連付ける活動を取り入れることが考えられる。その際、言葉と記号による表現を図と対応させて読み取れるようにすることが大切である。また、本設問において、対角線の交点に記号「O」を付加しても長方形の対角線の長さが等しいことを、記号や式を用いて正しく表現できるかどうかみること大切である。

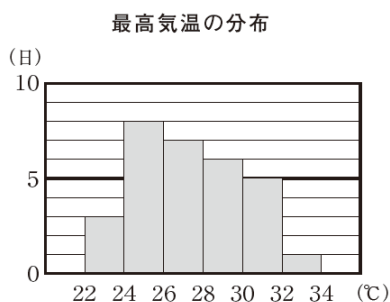
調査結果から授業改善へ

ヒストグラムや代表値，相対度数などの必要性和意味について理解できるようにする。

授業改善のヒントとなる設問の概要

中学校 数学 A 14(2)

(2) 下の図は，ある市の平成24年6月1日から30日までについて，日ごとの最高気温の記録をヒストグラムに表したものです。このヒストグラムから，例えば，最高気温が30℃以上32℃未満の日は5日あったことがわかります。



22℃以上24℃未満の階級の相対度数を求めなさい。

設問番号	解答類型	県反応率 (%)	全国反応率 (%)	正答
14(2)	1 0.1 と解答しているもの。(数学的に同値と判断できるものを含む。以下同様。)	28.3	22.8	◎
	2 3 と解答しているもの。	23.5	23.6	
	3 2 と解答しているもの。	1.5	2.0	
	4 30 と解答しているもの。	0.2	0.2	
	9 上記以外の解答	25.9	26.3	
	0 無解答	20.6	25.1	

分析・考察

14(2)の設問は，与えられたヒストグラムについて，ある階級の相対度数を求めることができるかどうかをみるものである。

本県の正答率は28.3%であり，全国の正答率を5.5ポイント上回っているが，低い状況にある。誤答については，「3」と解答した解答類型2の反応率は23.5%であり，この中には，22℃以上24℃未満の階級には着目できているが，ヒストグラムから読み取った度数をそのまま解答した生徒がいると考えられる。無解答率は20.6%と高く，これに解答類型9の反応率を合わせると46.5%になる。

平成24年度調査A15(1)の相対度数の意味の理解をみる問題，(2)の最頻値の意味の理解をみる問題において，本県の正答率は，(1)が50.7%，(2)が44.5%であった。

これらの結果から，相対度数だけでなく，第1学年「D資料の活用」の領域で学習する用語全般について，意味理解に課題があるといえる。

授業改善のポイント

資料の傾向を読み取るために，目的に応じて資料を整理し，資料から代表値や相対度数などを求める活動を通して，代表値や相対度数などの必要性和意味を理解できるように指導することが大切である。

例えば，相対度数の必要性和意味についての理解を深められるようにするために，ある階級の度数が総度数に占める割合を求めて，資料の傾向を読み取る活動を取り入れることが考えられる。本設問を使って授業を行う際には，「6月における真夏の全日数に占める割合」が30℃以上32℃未満と32℃以上34℃未満の2つの階級の相対度数の和であることを確認する場面を設定することが考えられる。さらに，平成24年度調査A15(1)など，総度数の異なる2つ以上の資料を比較する場面を意図的に取り上げ，階級の度数をそのまま比較することが適切でないことを実感できるようにすることで，相対度数の必要性和意味について理解できるように指導することが考えられる。

また，上学年において，長期休業中の課題等で振り返りの場面を設定することも考えられる。

調査結果から授業改善へ

予想した事柄を数学的な表現を用いて説明できるようにする。(事実・事柄の説明)

授業改善のヒントとなる設問の概要

中学校 数学B 2(2)

2 大輝さんは、2けたの自然数と、その数の十の位の数と一の位の数を入れかえた数の差がどんな数になるかを調べています。

調べたこと

41 のとき $41 - 14 = 27 = 9 \times 3$
 53 のとき $53 - 35 = 18 = 9 \times 2$
 28 のとき $28 - 82 = -54 = 9 \times (-6)$

上の調べたことで、2つの数の差が9と整数の積になっていることから、大輝さんは、次のことを予想しました。

予想

2けたの自然数と、その数の十の位の数と一の位の数を入れかえた数の差は、9の倍数になる。

(2) 大輝さんは、2けたの自然数と、その数の十の位の数と一の位の数を入れかえた数の和は、どんな数になるかを考えてみたいと思い、いくつかの場合を調べました。

21 のとき $21 + 12 = 33$
 35 のとき $35 + 53 = 88$
 48 のとき $48 + 84 = 132$
 ∴ ∴

これらのことから、2けたの自然数と、その数の十の位の数と一の位の数を入れかえた数の和について、どのようなことが予想できますか。前ページの予想のように、「～は……になる。」という形で書きなさい。

設問番号	解答類型	県反応率 (%)	全国反応率 (%)
2(2)	(正答の条件) 「○○は、◇◇になる。」という形で、次の(a), (b)または、(a), (c)の条件を満たし、成り立つ事柄を記述している。 (a) ○○が、「2けたの自然数と、その数の十の位の数と一の位の数を入れかえた数の和」である。 (b) ◇◇が、「11の倍数」である。 (c) ◇◇が、次のいずれかである。 ・もとの2けたの自然数の、十の位の数と一の位の数の和の11倍 ・もとの2けたの自然数の、十の位の数と一の位の数の和の倍数 ・百の位の数と一の位の数の和が十の位の数		
	(正答例) 例 2けたの自然数と、その数の十の位の数と一の位の数の和は、11の倍数になる。(解答類型1)		
9	上記以外の解答	19.9	20.4
0	無解答	30.6	34.9
	正答率	42.5	38.0

分析・考察

2(2)の設問は、「4年間のまとめ【中学校編】」において取り上げられている「予想した事柄を数学的な表現を用いて説明すること」についての課題に関連した問題である。

本県の正答率は42.5%であり、全国の正答率を4.5ポイント上回っているが、低い状況にある。また、無解答率は30.6%と高く、これに解答類型9の反応率を合わせると50.5%になる。

過去の同趣旨の設問における本県の(正答率/無解答率)をみると、平成20年度B2(3)(54.5%/32.5%)、平成24年度B2(2)(56.8%/25.7%)であった。これらの結果から、見いだした事柄を数学的に表現することについて、継続的に課題があるといえる。

授業改善のポイント

数や図形に関する性質を考察する場面では、生徒自らが事柄を予想することができるよう指導することや、帰納したり類推したりして予想を立て、その予想を前提と結論を明確にして表現できるように指導することが大切である。また、問題を解決した後、その条件を変える視点などを示し、生徒自らが新たな事柄を見いだすことができるよう指導することも必要である。

指導に当たっては、文字式を用いて説明を行う際、まず、生徒が具体例を考える場面を設定した上で、どのようなことが予想できるかを議論する場面を設定し、生徒と共に前提と結論を確認し、それをノート等に「～は……である。」と命題の形で記述することを求めたい。また、予想する際には、正しい予想だけでなく、誤った予想も取り上げ、全体でそれらが正しいかどうかを説明する活動を取り入れることが大切である。

調査結果から授業改善へ

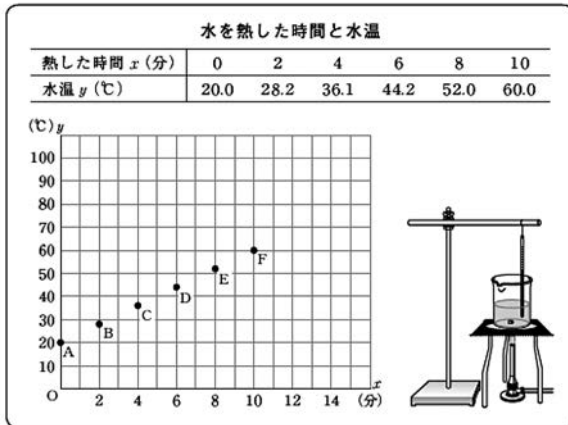
問題解決の方法を数学的な表現を用いて説明できるようにする。(方法の説明)

授業改善のヒントとなる設問の概要

中学校 数学B 3(2)

3 太一さんは、水を熱したときの水温の変化を調べました。そして、水を熱した時間と水温について下の表のようにまとめ、 x 分後の水温を y ℃として、グラフに表しました。

調べた結果



(2) 太一さんは、水温が80℃になるまでにかかる時間を求めるために、調べた結果のグラフにおいて、水を熱した時間と水温の関係を表す点Aから点Fまでのすべての点が一直線上にあると考えることにしました。

このとき、水温が80℃になるまでにかかる時間を求める方法を説明しなさい。ただし、実際に時間を求める必要はありません。

設問番号	解答類型	県反応率 (%)	全国反応率 (%)
3 (2)	(正答の条件) 次のことについて記述しているもの。 <グラフを用いることについて記述している場合> 次の(a), (b)について記述している。 (a) 直線のグラフをかいて利用すること。 (b) y 座標が80のときの x 座標を読むこと。 <式を用いることについて記述している場合> 次の(c), (d)について記述している。 (c) 一次関数の式を求めて利用すること。 (d) 一次関数の式に $y=80$ を代入して、 x の値を求めること。	30.6	34.1
	<表や数値を用いることについて記述している場合> 次の(e), (f)について記述している。 (e) 表や数値を用いて変化の割合を求めて利用すること。 (f) 水温が80℃になるまでの、水を熱し始めてからの時間を算出すること。		
	(正答例) 例1 直線のグラフをかき、 $y=80$ のときの x 座標を読む。(解答類型1)		
	0 無解答		
	正答率	34.0	31.7

分析・考察

3(2)の設問は、「4年間まとめ【中学校編】」において取り上げられている「問題解決の方法を数学的な表現を用いて説明すること」についての課題に関連した問題である。

本県の正答率は34.0%であり、全国正答率を2.3ポイント上回っているが、低い状況にある。また、無解答率は30.6%であり、過去の同趣旨の設問における本県の無解答率をみると、平成19年度B 5(3)が32.8%、平成20年度B 5(3)が54.0%、平成21年度B 3(3)が44.7%と、いずれの調査においても高い傾向を示している。これらの結果から、問題解決の方法をどのように説明すればよいか分からない生徒が、毎年、多数存在していると考えられる。

授業改善のポイント

問題解決のために数学を活用する方法を考え、表・式・グラフや図形の性質などの「用いるもの」とその「使い方」を明らかにして説明できるように指導することが大切である。このことは、自分の考えを記述できるようになるという言語活動の充実の観点からも大切である。

指導に当たっては、どのように問題を解決していくか、その方針を話し合ったり、解決へのプロセスをノート等に記述したりする活動が必要であると考えられる。その際、方法の説明として「用いるもの」とその「使い方」の両方を明記することを求めたい。例えば、グラフを用いて解決する方法を取り上げるのであれば、どのようなグラフか、そのグラフの何を読みとればよいかを確認する中で説明を洗練していくことが考えられる。また、「用いるもの」として表・式・グラフ等を示し、いずれかを選択させた上で、その「使い方」について口述したり記述したりして説明し伝え合う活動を取り入れることも考えられる。

さぬきの授業 基礎・基本

香川県教育委員会 平成25年3月



目 次

教師の心構え	1
◆ 教師の最も重要な仕事は授業です	
I	
1 教師の表情、話し方	2
◆ 先生、いつも明るく楽しそう！	
2 発問・助言	
◆ 先生、その一言で「ハッ」と気付いた！	
3 指名の仕方	
◆ 先生、みんなの前で発言すると楽しい！	
4 発言（考え）の取り上げ方	
◆ 先生、つなげて考えていくことが大事なんだ！	
5 机間指導	
◆ 先生、○を付けてくれたので、自信をもって発表できた！	
6 板書	
◆ 先生、黒板を見ると、今日の授業が振り返れる！	
7 ノート指導	
◆ 先生、励ましのコメントがうれしい！	
8 グループ学習	
◆ 先生、これはグループだからできるんだ！	
II	
1 「考える力」を育てる指導	
◆ 先生、そう考えるといいんだ！	
2 「話し合う力」を育てる指導	
◆ 先生、話し合うと考えが深まった！	
3 個に応じた指導	
◆ 先生、その方法、私にぴったり！	
授業づくりを支える学級経営チェックリスト	
発刊に寄せて	

「発刊に寄せて」より抜粋

…略…

しかし、改めて言うまでもなく、学校の日々の授業は、教師の創意と工夫による非常に創造的な営みです。また、授業は教師と子どもたちがともに創り上げるものであることから、教師は同じ授業を人生で二度と行い得ないものです。

そのような観点からは、授業について、こうでなければならないという固定した考え方や必ず正しいという方法があるとは限りません。言い換えれば、授業のあり方は日々進歩発展すべきものであると同時に、本県の教師一人一人が自己の授業の改善を通じて本県の教育向上の担い手となってほしいと考えます。

…略…

平成25年3月
香川県教育委員会事務局義務教育課長
鈴木文孝

IV 質問紙調査結果

(児童生徒質問紙・学校質問紙)

目 次

1	児童生徒質問紙 調査結果一覧	74
2	学校質問紙 調査結果一覧	81
3	調査結果に見る全国と本県の状況(散布図の見方)	88
(1)	4つのアクションで示された手立てと関連する内容	90
①	「Action1 思考力・判断力・表現力等を伸ばす指導」に関する内容	90
②	「Action2 学習意欲向上のための指導」に関する内容	94
③	「Action3 学習方法を身に付けるための指導」に関する内容	95
④	「Action4 学習習慣形成のための指導」に関する内容	96
(2)	学習に対する関心・意欲・態度や各教科の指導方法等	99
(3)	学力向上に向けた取組(補足的な学習サポート, 少人数指導等)	116
(4)	コンピュータなどを活用した教育 / 読書の状況	119
(5)	家庭学習 / 家庭との連携	123
(6)	基本的な生活習慣 / 家庭でのコミュニケーション / ゲーム等	126
(7)	社会に対する興味・関心	131
(8)	自尊感情・規範意識等	133
(9)	地域の人材・施設等の活用 / 開かれた学校	140
(10)	全国学力・学習状況調査等の活用 / 異校種間の連携 / 教員研修	143
4	結果に特徴の見られる質問 【児童生徒質問紙】	147
5	結果に特徴の見られる質問 【学校質問紙】	149

1 児童生徒質問紙 調査結果一覧

共通 番号	小学校 質問番号			中学校 質問番号			掲載P	H24 番号	質問事項	1段目：都道府県（公立）の割合（％）								2段目：全国（公立）の割合（％）			
	I	II	III	I	II	III				選 択 肢								その他 *	無回答	10の差 1+2の差	
										1	2	3	4	5	6	7	8				
【家庭生活】																					
1	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	126	(1)	朝食を毎日食べていますか	小	87.1	8.6	3.5	0.8					0.0	0.0	-1.6
										中	88.7	7.6	3.0	0.7							
2	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	126	(2)	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	小	83.6	9.8	4.8	1.8					0.0	0.0	-0.7
										中	84.3	9.5	4.5	1.7							
3	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	126	(3)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	小	35.8	41.9	18.1	4.1					0.1	0.0	-1.4
										中	37.2	41.7	17.3	3.8							
4	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	133	(4)	ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがありますか	小	29.5	44.1	20.8	5.5					0.0	0.0	0.2
										中	29.3	45.0	20.5	5.2							
5	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	133	再	難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか	小	57.6	33.0	7.7	1.6					0.1	0.0	-0.9
										中	58.5	32.4	7.3	1.8							
6	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	133	(5)	自分には、よいところがあると思いますか	小	56.6	35.3	6.4	1.6					0.0	0.1	0.2
										中	56.4	35.9	6.1	1.4							
7	(7)	(7)	(7)	(7)	(7)	(7)	133	新	友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか	小	70.3	23.6	4.7	1.4					0.1	0.0	-0.7
										中	71.0	23.3	4.4	1.2							
8	(8)	(8)	(8)	(8)	(8)	(8)	134	新	自分の行動や発言に自信をもっていますか	小	67.2	25.9	5.4	1.5					0.0	0.0	-2.9
										中	70.1	23.6	4.8	1.5							
9	(9)	(9)	(9)	(9)	(9)	(9)	134	新	友達に伝えたいことをうまく伝えることができますか	小	20.4	52.4	23.4	3.7					0.1	0.0	-3.4
										中	23.8	51.2	21.6	3.3							
10	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	134	新	友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか	小	15.2	49.0	31.2	4.5					0.0	0.1	-1.0
										中	16.2	50.6	28.9	4.3							
11	(11)	(11)	(11)	(11)	(11)	(11)	134	新	一人一人の人間には考えや性格などに違いがあるということを大切にしていますか	小	32.9	39.7	18.3	9.0					0.1	0.0	-1.6
										中	34.5	41.2	16.9	7.3							
12	(12)	(12)	(12)	(12)	(12)	(12)	134	(6)	将来の夢や目標を持っていますか	小	21.5	42.5	24.7	11.3					0.0	0.1	-1.9
										中	23.4	43.0	23.8	9.6							
13	(13)	(13)	(13)	(13)	(13)	(13)	134	新	将来の夢や目標を実現するために努力していますか	小	15.0	27.6	38.6	18.7					0.0	0.0	-4.4
										中	19.4	30.2	35.0	15.4							
14	(14)	(14)	(14)	(14)	(14)	(14)	135	新	将来何かの職業や仕事に就いて働きたいと思いますか	小	15.8	32.5	36.7	14.9					0.0	0.1	-7.3
										中	13.5	38.4	36.3	11.7							
15	(15)	(15)	(15)	(15)	(15)	(15)	135	新	あなたには「あのような人になりたい」と思う人はいますか	小	16.3	39.9	33.8	10.0					0.0	0.0	-4.3
										中	10.7	34.8	43.0	11.4							
16	(16)	(16)	(16)	(16)	(16)	(16)	135	新	家の人と将来のことについて話すことがありますか	小	11.9	37.9	39.5	10.7					0.0	0.1	-4.3
										中	25.2	46.3	22.8	5.8							
17	(17)	(17)	(17)	(17)	(17)	(17)	135	新	家の人と将来のことについて話すことがありますか	小	16.4	45.9	31.0	6.5					0.0	0.1	-3.7
										中	20.1	47.4	26.7	5.6							
18	(18)	(18)	(18)	(18)	(18)	(18)	126	(7)	普段（月～金曜日）、何時ごろに起きますか	小	50.4	40.0	8.1	1.5					0.0	0.0	-3.4
										中	53.8	37.5	7.4	1.3							
19	(19)	(19)	(19)	(19)	(19)	(19)	126	(8)	普段（月～金曜日）、何時ごろに寝ますか	小	42.6	47.1	8.9	1.3					0.0	0.1	-5.6
										中	48.2	42.7	7.7	1.2							
20	(20)	(20)	(20)	(20)	(20)	(20)	127	(9)	普段（月～金曜日）、1日にどれくらいの時間、睡眠をとることが最も多いですか	小	53.9	38.0	6.5	1.4					0.2	0.0	-2.2
										中	56.1	34.7	7.4	1.7							
21	(21)	(21)	(21)	(21)	(21)	(21)	129	(10)	普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか	小	50.0	42.2	6.4	1.3					0.0	0.0	-3.4
										中	53.4	38.8	6.4	1.2							
22	(22)	(22)	(22)	(22)	(22)	(22)	129	(11)	普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか	小	68.7	17.5	8.2	5.6					0.1	0.0	-3.4
										中	72.1	15.6	7.1	5.1							
23	(23)	(23)	(23)	(23)	(23)	(23)	134	新	将来の夢や目標を持っていますか	小	43.9	27.4	18.5	10.1					0.0	0.1	-3.5
										中	47.4	26.1	17.0	9.4							
24	(24)	(24)	(24)	(24)	(24)	(24)	134	新	将来の夢や目標を実現するために努力していますか	小	43.6	33.8	15.6	6.9					0.0	0.1	-6.3
										中	49.9	30.4	13.8	5.8							
25	(25)	(25)	(25)	(25)	(25)	(25)	135	新	将来なりたい職業はありますか	小	22.6	37.5	30.1	9.7					0.0	0.1	-5.1
										中	27.7	37.1	25.7	9.3							
26	(26)	(26)	(26)	(26)	(26)	(26)	135	新	あなたには「あのような人になりたい」と思う人はいますか	小	75.8	16.2	5.4	2.5					0.1	0.0	-0.6
										中	76.4	15.7	4.9	2.9							
27	(27)	(27)	(27)	(27)	(27)	(27)	135	新	家の人と将来のことについて話すことがありますか	小	80.7	13.9	3.5	1.9					0.0	0.1	-0.1
										中	84.8	14.9									
28	(28)	(28)	(28)	(28)	(28)	(28)	126	(7)	普段（月～金曜日）、何時ごろに起きますか	小	84.9	14.8							0.3	0.0	0.0
										中	68.7	31.2									
29	(29)	(29)	(29)	(29)	(29)	(29)	126	(8)	普段（月～金曜日）、何時ごろに寝ますか	小	69.5	30.4							0.0	0.1	0.0
										中	77.3	22.3									
30	(30)	(30)	(30)	(30)	(30)	(30)	127	(9)	普段（月～金曜日）、1日にどれくらいの時間、睡眠をとることが最も多いですか	小	75.6	24.0							0.4	0.0	0.0
										中	70.2	29.7									
31	(31)	(31)	(31)	(31)	(31)	(31)	129	(10)	普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか	小	69.0	30.9							0.0	0.1	0.0
										中	15.9	39.8	31.1	12.9							
32	(32)	(32)	(32)	(32)	(32)	(32)	129	(11)	普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか	小	16.6	43.1	28.3	11.8					0.1	0.1	-4.0
										中	14.6	44.7	29.6	11.1							

共通 番号	小学校 質問番号			中学校 質問番号			掲載P	H24 番号	質問事項	選 択 肢								その他 *	無回答	1の差 1+2の差		
	I	II	III	I	II	III				1	2	3	4	5	6	7	8					
23	(13)			(13)			129	(12)	普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、インターネットをしますか	小	2.8	2.9	5.1	11.6	38.2	39.2				0.1	0.0	-0.2
										中	8.9	7.4	12.7	19.7	30.9	20.3						0.1
24	(14)			(14)			130	(13)	携帯電話やスマートフォンで通話やメールをしていますか	小	11.1	19.0	11.0	58.4						0.5	0.0	-2.0
										中	36.0	21.1	7.0	35.9								0.0
25	(15)	(13)	(23)	(15)	(13)	(23)	123	(14)	学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾や家庭教師含む)	小	7.7	16.3	38.0	24.6	10.0	3.4				0.1	0.0	-3.8
										中	10.5	26.0	32.1	16.6	8.8	5.9						0.0
26	(16)	(14)	(24)	(16)	(14)	(24)	123	(15)	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾や家庭教師含む)	小	4.0	5.7	14.9	33.6	31.7	9.9				0.0	0.0	-2.6
										中	5.8	11.9	24.2	28.4	19.4	10.2						0.0
27	(17)	(15)	(25)	(17)	(15)	(25)	123	(16)	学習塾(家庭教師を含む)で勉強をしていますか	小	51.3	20.4	10.0	10.3	7.8				0.2	0.0	1.0	
										中	39.9	17.1	12.9	30.3	5.6							0.1
28	(18)	(16)	(26)	(18)	(16)	(26)	124	新	土曜日の午前は、何をしておこなうことが多いですか	小	3.6	26.0	21.7	22.5	16.5	3.5	5.9			0.3	0.0	
										中	72.9	0.7	3.4	4.7	8.9	2.8	1.6	4.0	0.9	0.1		
29	(19)	(17)	(27)	(19)	(17)	(27)	125	新	土曜日の午後は、何をしておこなうことが多いですか	小	3.8	26.4	7.0	21.5	16.3	21.0	3.7			0.3	0.0	
										中	21.5	6.0	6.8	9.1	24.3	8.5	24.1	4.3	1.5	0.1		
30	(20)	(18)	(28)	(20)	(18)	(28)	120	(17)	家や図書館で、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書(教科書や参考書、漫画や雑誌除く)をしますか	小	6.8	10.9	22.8	28.3	14.4	16.6				0.2	0.0	0.7
										中	6.2	9.4	15.8	18.1	12.1	38.2						0.0
31	(21)	(19)	(29)	(21)	(19)	(29)	121	(18)	昼休みや放課後、学校が休みの日に、本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか(教科書や参考書、漫画や雑誌除く)	小	3.3	20.8	31.8	23.1	20.6					0.4	0.0	-0.4
										中	2.1	6.5	12.6	22.3	56.3							0.0
32	(22)			(22)			121	新	1か月に、何冊くらい本を読みますか(教科書や参考書、漫画や雑誌除く)	小	7.1	27.3	27.8	21.1	16.4					0.1	0.1	-4.4
										中	35.0	39.5	13.2	5.9	6.1							0.0
33	(23)	(20)	(30)	(23)	(20)	(30)	127	(19)	家の人(兄弟姉妹除く)と普段(月～金曜日)、夕食を一緒に食べていますか	小	70.9	18.1	8.5	2.4						0.1	0.1	1.4
										中	59.6	23.2	12.4	4.6								0.0
34	(24)	(21)	(31)	(24)	(21)	(31)	127	(20)	家の人(兄弟姉妹除く)と学校での出来事について話をしていますか	小	47.2	29.3	17.6	5.9						0.1	0.1	-1.5
										中	36.2	31.9	22.5	9.4								0.0
35	(25)	(22)	(32)	(25)	(22)	(32)	128	(21)	家の手伝いをしていますか	小	32.8	47.7	15.8	3.6						0.1	0.0	-2.1
										中	20.8	43.7	26.7	8.7								0.0
36	(26)	(23)	(33)	(26)	(23)	(33)	130	(22)	携帯電話やスマートフォンの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか	小	28.1	11.7	1.4	4.8	53.9					0.2	0.0	-3.3
										中	23.3	23.9	4.8	12.1	35.3							0.0
37	(27)			(27)			128	新	家の人(兄弟姉妹除く)に「勉強しなさい」と言われますか	小	24.4	35.6	26.9	13.1						0.1	0.0	-2.6
										中	33.6	33.0	21.7	11.2								0.0
38	(28)			(28)			128	新	家の人(兄弟姉妹除く)は、授業参観や運動会などの学校の行事に来ますか	小	81.4	15.2	2.8	0.5						0.1	0.0	1.8
										中	53.8	31.4	11.3	3.3								0.0
【家庭学習】																						
39	(29)	(24)	(34)	(29)	(24)	(34)	98	(23)	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	小	23.4	32.5	31.1	12.9						0.1	0.0	-2.2
										中	13.4	29.9	37.5	19.0								0.0
40	(30)	(25)	(35)	(30)	(25)	(35)	123	(24)	家で、学校の宿題をしていますか	小	85.6	10.7	2.8	0.8						0.1	0.0	-0.9
										中	65.2	23.3	7.9	3.4								0.1
41	(31)	(26)	(36)	(31)	(26)	(36)	124	(25)	家で、学校の授業の予習をしていますか	小	15.4	24.4	37.7	22.4						0.1	0.0	-0.7
										中	10.9	24.2	36.8	28.0								0.0
42	(32)	(27)	(37)	(32)	(27)	(37)	124	(26)	家で、学校の授業の復習をしていますか	小	24.8	32.5	28.7	13.8						0.1	0.0	3.8
										中	21.0	30.4	31.6	16.9								0.0
43	(33)			(33)			123	再	家で、苦手の教科の勉強をしていますか	小	17.9	32.2	31.0	18.8						0.0	0.1	0.7
										中	17.2	31.4	31.7	19.6								0.0
44	(34)			(34)			123	再	家で、テストで間違えた問題について勉強していますか	小	20.4	31.4	32.1	15.9						0.1	0.0	-1.0
										中	21.4	29.7	31.7	17.2								0.1
【学校生活・社会への関心等】																						
45	(35)	(28)	(38)	(35)	(28)	(38)	138	新	学校に行くのは楽しいと思いますか	小	49.4	34.2	10.5	5.7						0.1	0.1	-2.7
										中	45.9	34.9	12.4	6.7								0.0
46	(36)	(29)	(39)	(36)	(29)	(39)	138	(27)	学校で友達に会うのは楽しいと思いますか	小	81.5	14.3	3.0	1.1						0.1	0.1	-0.5
										中	74.0	20.6	3.6	1.7								0.0

共通 番号	小学校 質問番号			中学校 質問番号			掲載P	H24 番号	質問事項	選 択 肢								その他 *	無回答	10の差 1+2の差				
	I	II	III	I	II	III				1	2	3	4	5	6	7	8							
71			(50)			(51)	138	新	自分の考えや気持ちを理解してくれる友達 いますか	小	60.8	27.4	8.2	3.5						0.0	0.0	-0.8		
										中	61.6	26.4	8.3	3.6								0.1	0.1	0.2
										中	52.0	34.0	9.9	4.0									0.0	0.1
72			(51)			(52)	138	新	友達が悪いことをしたときは注意しますか	小	27.3	47.7	19.6	5.3						0.1	0.0	-3.9		
										中	31.2	46.9	17.4	4.4								0.1	0.1	-3.1
										中	19.5	47.2	25.8	7.4									0.0	0.2
【総合的な学習の時間】																								
73			(52)			(53)	100	(39)	「総合的な学習の時間」の授業で学習したこ とは、普段の生活や社会に出たときに役に立 つと思いますか	小	37.3	45.3	13.4	3.9						0.1	0.0	-0.3		
										中	37.6	44.1	14.0	3.9								0.1	0.2	0.9
										中	23.2	46.3	21.8	8.5									0.0	0.1
74			(53)			(54)	109	新	「総合的な学習の時間」では、自分で課題を 立てて情報を集め整理して、調べたことを発 表するなどの学習活動に取り組んでいますか	小	21.2	39.9	29.8	9.0						0.1	0.0	-0.9		
										中	22.1	38.0	29.9	9.6								0.1	0.3	1.0
										中	10.9	35.5	36.2	17.3									0.0	0.1
【授業について】																								
75	(48)	(46)	(54)	(48)	(46)	(55)	90	(40)	普段の授業では、本やインターネットを使っ て、グループで調べる活動をよく行ってい ると思いますか	小	14.7	37.4	35.5	12.2						0.2	0.0	-0.8		
										中	15.5	41.1	33.1	10.1								0.1	0.1	-4.5
										中	4.9	18.3	42.9	33.9								0.0	0.0	-2.1
76	(49)	(47)	(55)	(49)	(47)	(56)	91	(41)	普段の授業では、自分の考えを発表する機会 が与えられていると思いますか	小	46.5	35.8	13.0	4.6						0.0	0.0	0.5		
										中	46.0	35.5	13.9	4.4								0.1	0.1	0.8
										中	34.9	45.2	15.0	4.7								0.0	0.1	1.5
77	(50)	(48)	(56)	(50)	(48)	(57)	93	(42)	普段の授業では、生徒の間で話し合う活動を よく行っていると思いますか	小	35.6	42.5	17.7	4.0						0.1	0.0	-2.0		
										中	37.6	41.7	17.0	3.6								0.1	0.1	-1.2
										中	15.5	39.7	33.1	11.6								0.0	0.1	-6.2
78		(49)			(49)		119	新	コンピュータや電子黒板を使った授業は分か りやすいと思いますか	小	46.9	29.0	8.0	4.7	11.2					0.1	0.0	5.9		
										中	41.0	30.8	8.4	4.8	14.8							0.1	0.1	4.1
										中	24.7	30.7	9.2	5.0	30.0							0.2	0.2	-1.5
79			(57)			(58)	101	新	普段の授業では、はじめに授業の目標（めあ て・ねらい）が示されていると思いますか	小	63.5	24.1	9.4	2.9						0.0	0.0	12.5		
										中	51.0	31.5	13.2	4.2								0.0	0.1	5.1
										中	27.2	44.9	21.2	6.6								0.0	0.1	-1.7
80			(58)			(59)	101	新	普段の授業では、最後に学習内容を振り返 る活動をよく行っていると思いますか	小	38.6	39.0	17.4	4.9						0.1	0.0	-0.1		
										中	38.7	38.0	17.8	5.3								0.1	0.1	0.9
										中	12.5	39.6	36.3	11.5								0.0	0.2	-1.4
81	(51)	(50)	(59)	(51)	(50)	(60)	101	(43)	400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説 明文を書くことは難しいと思いますか	小	46.5	26.7	17.1	9.4						0.2	0.1	9.7		
										中	36.8	28.8	20.7	13.4								0.1	0.2	7.6
										中	44.7	26.2	16.6	12.0								0.0	0.4	5.0
82	(52)	(51)	(60)	(52)	(51)	(61)	102	(44)	学校の授業などで、自分の考えを他の人に説 明したり、文章に書いたりすることは難し いと思いますか	小	30.3	33.0	23.0	13.4						0.1	0.2	4.4		
										中	25.9	33.4	25.0	15.2								0.1	0.3	4.0
										中	40.2	30.4	18.9	10.0								0.0	0.5	5.7
83			(61)			(62)	94	新	授業の中で分からないことがあったら、どう することが多いですか	小	12.9	8.3	35.1	24.4	11.2	7.1				0.2	0.8	-3.1		
										中	16.0	9.8	31.8	23.9	11.8	5.4					0.3	1.0	-4.6	
										中	8.9	12.5	37.6	7.7	18.8	13.7					0.4	0.5	-3.2	
【国語への関心等】																								
84	(53)	(52)	(62)	(53)	(52)	(63)	99	(45)	国語の勉強は好きですか	小	16.4	33.6	30.9	18.9						0.2	0.0	-5.2		
										中	21.6	36.3	27.5	14.4								0.1	0.1	-7.9
										中	19.4	34.4	29.6	16.3								0.0	0.2	-1.3
85	(54)	(53)	(63)	(54)	(53)	(64)	99	(46)	国語の勉強は大切だと思いますか	小	60.9	28.4	7.0	3.6						0.1	0.0	-2.2		
										中	63.1	27.9	6.3	2.6								0.0	0.1	-1.7
										中	52.1	34.2	8.7	4.8								0.0	0.2	-1.1
86	(55)	(54)	(64)	(55)	(54)	(65)	94	(47)	国語の授業の内容はよく分かりますか	小	28.2	48.0	18.1	5.5						0.1	0.0	-5.1		
										中	33.3	46.6	15.4	4.5								0.0	0.1	-3.7
										中	22.4	48.8	21.3	7.4								0.0	0.1	0.1
87	(56)	(55)	(65)	(56)	(55)	(66)	120	(48)	読書は好きですか	小	46.5	23.8	17.2	12.3						0.1	0.0	-1.3		
										中	47.8	24.3	16.2	11.5								0.1	0.1	-1.8
										中	45.6	22.2	16.0	16.0								0.1	0.1	-0.6
88	(57)	(56)	(66)	(57)	(56)	(67)	100	(49)	国語の授業で学習したことは、将来、社会に 出たときに役に立つと思いますか	小	46.2	23.9	16.6	13.0						0.1	0.3	-2.3		
										中	53.8	32.9	9.6	3.5								0.1	0.0	-0.1
										中	53.9	33.3	9.4	3.2								0.1	0.1	-0.5
89	(58)	(57)	(67)	(58)	(57)	(68)	102	(50)	国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分 の考えを話したり、書いたりしていますか	小	40.7	37.8	15.1	6.3						0.0	0.1	-0.7		
										中	41.4	40.0	13.5	4.8								0.0	0.3	-2.9
										中	17.3	42.8	31.8	7.9								0.1	0.0	-0.7
90	(59)	(58)	(68)	(59)	(58)	(69)	102	(51)	国語の授業で意見などを発表するとき、うまく 伝えるように話の組み立てを工夫してい ますか	小	18.0	41.4	32.0	8.4						0.0	0.1	0.7		
										中	13.8	40.1	34.2	11.8								0.0	0.1	0.0
										中	14.2	37.9	35.8	12.0								0.0	0.0	-3.8
91	(60)	(59)	(69)	(60)	(59)	(70)	103	(52)	国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの 理由が分かるように気を付けて書いていま すか	小	18.0	39.3	32.3	10.3						0.0	0.1	-5.2		
										中	9.4	34.7	40.9	14.8								0.0	0.2	-1.6
										中	11.0	36.1	39.6	13.0								0.0	0.3	-3.0
92	(61)	(60)	(70)	(61)	(60)	(71)	103	(53)	国語の授業で文章を読むとき、段落や話のま とまりごとに内容を理解しながら読んでいま すか	小	23.9	41.2	27.4	7.4						0.1	0.1	-3.1		
										中	27.0	41.9	24.2	6.6								0.0	0.1	-3.8
										中	16.6	41.6	30.9	10.8								0.0	0.1	-1.6
93	(62)						104	新	国語の授業で話し合いをするときに、司会者 として発言をまとめたり、参加者として立場 や理由を明らかにして発言したりしますか	小	18.2	42.2	30.2	9.1						0.0	0.3	-2.2		
										中	28.0	41.3	23.1	7.4								0.1	0.1	-3.5
										中	31.5	41.8	20.5	6.0								0.1	0.1	-4.0

共通 番号	小学校 質問番号			中学校 質問番号			掲載P	H24 番号	質問事項	選 択 肢								その他 *	無回答	1の差 1+2の差	
	I	II	III	I	II	III				1	2	3	4	5	6	7	8				
116	(80)	(69)	(79)	(80)	(69)	(80)	106	(63)	算数・数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	小	45.3	33.6	15.5	5.4					0.1	0.2	-1.7
										中	33.3	32.2	23.4	10.9							
117	(81)	(70)	(80)	(81)	(70)	(81)	107	(64)	算数・数学の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	小	43.2	35.6	15.8	5.1					0.1	0.2	-2.3
										中	32.1	36.8	21.8	9.2							
118	(82)	(71)	(81)	(82)	(71)	(82)	107	(65)	算数・数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	小	53.2	29.5	12.9	4.2					0.1	0.2	1.0
										中	46.4	33.4	13.8	6.1							
119	(72)						107	新	算数・数学の授業で問題を解くときに、なぜこの式に表したのかという理由を考えますか	小	24.9	39.5	26.3	9.2					0.1	0.0	-1.2
										中	26.1	37.9	26.4	9.3							
120	(73)						107	新	算数・数学の授業で身のまわりにある長方形や正方形などの図形の面積を求めたことがありますか	小	43.8	25.5	19.0	11.6					0.0	0.0	2.9
										中	40.9	24.1	20.8	13.7							
121	(74)						108	新	普段の生活で、学習した図形の性質をもとに、身のまわりのものを観察し、二等辺三角形や円などの図形を見つけたことがありますか	小	43.7	29.8	17.6	8.7					0.1	0.0	5.2
										中	38.5	29.0	21.1	11.0							
122	(75)						108	新	算数の授業で計算をするときに、もっと簡単に計算することができるように工夫をしたことがありますか	小	36.5	35.9	19.8	7.6					0.1	0.0	-2.5
										中	39.0	32.9	20.2	7.5							
123	(76)						108	新	普段の生活で、身のまわりにある割合の表現(例えば、2割引き)について、実際に計算したことがありますか	小	42.7	21.4	18.7	17.1					0.1	0.0	2.1
										中	40.6	22.1	19.5	17.3							
124				(72)			108	新	数学の授業で方程式を使って問題を解くために、数量の関係を、表や線分図などで確かめながら式をつくっていますか	小											
										中	16.1	32.0	34.0	17.8							
125				(73)			108	新	数学の授業で図形の証明について学習するとき、1つの図だけでなく、いくつかの図について証明したことが成り立つかどうかを調べるようにしていますか	小											
										中	12.4	25.3	39.5	22.7							
126				(74)			109	新	数学の授業で関数の問題を考えるとき、2つの数量の関係を、表、式、グラフを使って考えるようにしていますか	小											
										中	14.3	31.5	36.3	17.9							
127				(75)			109	新	数学の授業でヒストグラムなどから分かることを説明したことがありますか	小											
										中	12.6	19.0	35.0	33.2							
128				(76)			109	新	数学の授業で文字を使った式について学習するとき、表した式が何を意味しているかを考えようとしていますか	小											
										中	8.3	16.9	36.9	37.1							
【算数・数学の調査問題について】																					
129	(83)	(77)	(82)				111	(66)	今回の算数の問題について、言葉や式を使ってわけや求め方を書く問題がありました、どのように解答しましたか	小	78.9	18.6	1.6						0.6	0.3	4.5
										中	74.4	22.5	1.9								
130	(78)			(83)	(77)	(83)	113	新	算数・数学B-4-(1)の問題の解答を書きましたか	小	49.9	39.5	10.1						0.0	0.4	5.0
										中	44.9	44.3	9.8								
131	(79)			(79)			113	新	算数・数学B-4-(1)の問題について解答しなかった理由は何ですか(解答しなかった児童のみ)	小	89.4	8.9							0.3	1.4	3.9
										中	85.5	12.2						0.2	2.1		
132	(80)			(80)			113 114	新	算数・数学B-4-(1)の問題に解答しようとしたとき、あなたはどのように考えましたか(難しくて解答できなかった児童のみ)	小	74.3	24.1							0.0	1.6	
										中	71.9	12.3	13.1					0.7	2.0	-1.2	
133	(81)			(81)			114	(84)	解答時間は十分でしたか(算数A・数学A)	小	73.1	10.7	14.1						0.3	1.8	
										中	58.8	27.7	11.2					0.0	2.3	-7.5	
134	(82)			(82)			114	(85)	解答時間は十分でしたか(算数B・数学B)	小	66.3	25.2	7.3						0.0	1.2	
										中	39.1	33.8	16.6	5.7				0.0	4.8	0.2	
134	(82)			(82)			114	(85)	解答時間は十分でしたか(算数B・数学B)	小	38.9	32.9	16.2	5.1					0.3	6.6	
										中	57.3	24.7	13.4	2.5				0.3	1.9	6.7	
134	(82)			(82)			114	(85)	解答時間は十分でしたか(算数B・数学B)	小	50.6	25.9	16.0	4.6					0.1	2.9	
										中	41.9	36.0	17.2	3.2				0.1	1.5	-0.1	
134	(82)			(82)			114	(85)	解答時間は十分でしたか(算数B・数学B)	小	42.0	31.9	19.8	3.9					0.1	2.4	
										中	64.5	21.8	5.4	1.7				0.0	6.6	10.9	
134	(82)			(82)			114	(85)	解答時間は十分でしたか(算数B・数学B)	小	53.6	29.2	7.9	1.9					0.0	7.4	
										中	39.8	33.2	19.1	4.9				0.3	2.8	1.9	
134	(82)			(82)			114	(85)	解答時間は十分でしたか(算数B・数学B)	小	37.9	30.4	22.6	5.3					0.1	3.7	
										中	35.0	28.7	22.5	7.1				0.0	6.7	3.2	
134	(82)			(82)			114	(85)	解答時間は十分でしたか(算数B・数学B)	小	31.8	26.5	25.8	8.4					0.0	7.5	
										中											

※【その他】とは、『選択肢以外の回答や複数回答』されたものである。 ※各質問の選択項目は、p80を参照。

児童生徒質問紙 選択項目一覧

(1) (2) (3) (33) (34) (39) (40) (41) (42) (43) (44)	1 している 2 どちらかといえばしている 3 あまりしていない 4 全くしていない
(4) (5) (6) (7) (8) (9) (10) (11) (12) (13) (14) (47) (50) (51) (52) (64) (65) (66) (67) (68) (69) (70) (71) (72) (73) (74) (75) (76) (77) (79) (80) (84) (85) (86) (87) (88) (89) (90) (91) (92) (93) (94) (95) (96) (97) (98) (99) (100) (101) (102) (109) (110) (111) (112) (113) (114) (115) (116) (117) (118) (119) (120) (121) (122) (123) (124) (125) (126) (127) (128)	1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない
(15)	1 ある 2 ない
(16)	1 いる 2 いない
(17)	1 よく話す 2 時々話す 3 あまり話さない 4 全く話さない
(18)	1 午前6時より前 2 午前6時以降、午前6時30分より前 3 午前6時30分以降、午前7時より前 4 午前7時以降、午前7時30分より前 5 午前7時30分以降、午前8時より前 6 午前8時以降
(19)	1 午後9時より前 2 午後9時以降、午後11時より前 3 午後10時以降、午後11時より前 4 午後11時以降、午前0時より前 5 午前0時以降
(20)	1 10時間以上 2 9時間以上、10時間より少ない 3 8時間以上、9時間より少ない 4 7時間以上、8時間より少ない 5 6時間以上、7時間より少ない 6 6時間より少ない
(21)	1 4時間以上 2 3時間以上、4時間より少ない 3 2時間以上、3時間より少ない 4 1時間以上、2時間より少ない 5 1時間より少ない 6 全く見たり、聞いたりしない
(22) (23)	1 4時間以上 2 3時間以上、4時間より少ない 3 2時間以上、3時間より少ない 4 1時間以上、2時間より少ない 5 1時間より少ない 6 全くしない
(24)	1 ほぼ毎日している 2 時々している 3 全く、または、ほとんどしていない 4 携帯電話やスマートフォンをもっていない
(25)	1 3時間以上 2 2時間以上、3時間より少ない 3 1時間以上、2時間より少ない 4 30分以上、1時間より少ない 5 30分より少ない 6 全くしない
(26)	1 4時間以上 2 3時間以上、4時間より少ない 3 2時間以上、3時間より少ない 4 1時間以上、2時間より少ない 5 1時間より少ない 6 全くしない
(27)	1 学習塾に通っていない 2 学校の勉強より進んだ内容や、難しい内容を勉強している 3 学校の勉強でよく分からなかった内容を勉強している 4 上記2、3の両方の内容を勉強している 5 上記2、3の内容のどちらともいえない
(28) (29)	1 学校の部活動に参加している 2 (1) 学習塾など学校や家以外の場所で勉強している 3 (2) 習い事やスポーツ、地域の活動に参加している 4 (3) 家や勉強や読書をしている 5 (4) 家でテレビやビデオ・DVDを見たり、ゲームをしたりしている 6 (5) 家族と過ごしている 7 (6) 友達と遊んでいる 8 (7) 1~6以外 ※ () 内は、小学校における質問番号
(30)	1 2時間以上 2 1時間以上、2時間より少ない 3 30分以上、1時間より少ない 4 10分以上、30分より少ない 5 10分より少ない 6 全くしない
(31)	1 だいたい週に4回以上行く 2 週に1~3回程行く 3 月に1~3回程行く 4 年に数回程度行く 5 ほとんど、または、全く行かない
(32)	1 1冊も読まない 2 1~2冊 3 3~4冊 4 5~10冊 5 11冊以上
(35)	1 よくしている 2 時々している 3 あまりしていない 4 全くしていない
(36)	1 きちんと守っている 2 だいたい守っている 3 あまり守っていない 4 守っていない、または、約束はない 5 携帯電話やスマートフォンを持っていない
(37)	1 よく言われる 2 時々言われる 3 あまり言われない 4 全く言われない
(38)	1 よく来る 2 時々来る 3 あまり来ない 4 全く来ない
(45) (46)	1 そう思う 2 どちらかといえば、そう思う 3 どちらかといえば、そう思わない 4 そう思わない
(48)	1 よくある 2 時々ある 3 あまりない 4 全くない
(49)	1 運動部にだけ参加している 2 文化部にだけ参加している 3 運動部と文化部の両方に参加している 4 運動部、文化部のどちらにも参加していない
(53)	1 参加したことがある 2 参加したことがない 3 分からない
(54)	1 ほぼ毎日読んでいる 2 週に1~3回程読んでいる 3 月に1~3回程読んでいる 4 ほとんど、または、全く読まない
(55)	1 よく見る 2 時々見る 3 あまり見ない 4 ほとんど、または、全く見ない
(56) (57) (58) (59)	1 よくある 2 時々ある 3 あまりない 4 全くない
(60) (62) (63)	1 そう思う 2 どちらかといえば、そう思う 3 どちらかといえば、そう思わない 4 そう思わない
(61)	1 小学校に入学する前から 2 小学校1年生または2年生から 3 小学校3年生または4年生から 4 小学校5年生または6年生から
(78)	1 そう思う 2 どちらかといえば、そう思う 3 どちらかといえば、そう思わない 4 そう思わない 5 コンピュータや電子黒板を使った授業を受けたことがない
(81) (82) (83)	1 難しいと思う 2 どちらかといえば、難しいと思う 3 どちらかといえば、難しいと思わない 4 難しいと思わない
(103) (129)	1 全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した 2 書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中で諦めたりしたものがあった 3 書く問題は全く解答しなかった
(104) (130)	1 解答を書いた(1文字でも書いた) 2 解答を書かなかった(1文字も書かなかった)
(105)	1 解答しようとして努力したが、問題が難しくて解答できなかった 2 解答を文章で書く問題だったので、解答しようと思わなかった 3 他の問題に解答していたら、この問題に解答する時間が足りなくなった
(106)	1 問題の意味が分からなかったため、何も書かなかった 2 何をとり上げて書いたらよいか分からなかったため、何も書かなかった(二つの漢字の共通点や相違点など漢字の特徴が分からなかったため、何も書かなかった) 3 何をとり上げて書いたらよいかは分かったが、考えがまとまらなかったため、何も書かなかった(二つの漢字の共通点や相違点など漢字の特徴は分かったが、注意点やコツについての考えがまとまらなかったため、何も書かなかった) 4 考えはまとましたが、解答に自信がなかったため、何も書かなかった ※ () 内は、中学校における質問
(107) (108)	1 時間が余った 2 ちょうどよかった 3 やや足りなかった 4 全く足りなかった
(131)	1 解答しようとして努力したが、問題が難しくて解答できなかった 2 書く分量が多い問題だったので、解答しようと思わなかった 3 他の問題で解答していたら、この問題に解答する時間が足りなくなった
(132)	1 問題文の意味が分からなかったため、何も書かなかった 2 約何倍になるかを求める方法が分からなかったため、何も書かなかった(AP=CQを証明するために、どの条件を使えばよいか分からなかったため、何も書かなかった) 3 約何倍になるかを求める方法は分かったが、どのように書いたらよいか考えがまとまらなかったため、何も書かなかった(AP=CQを証明するために、どの条件を使えばよいかは分かったが、どのように書いたらよいか考えがまとまらなかったため、何も書かなかった) 4 考えはまとましたが、解答に自信がなかったため、何も書かなかった ※ () 内は、中学校における質問
(133)	1 時間が余った 2 ちょうどよかった 3 やや足りなかった 4 全く足りなかった
(134)	1 時間が余った 2 ちょうどよかった 3 やや足りなかった 4 全く足りなかった

2 学校質問紙 調査結果一覧

小学校 質問番号	中学校 質問番号	掲載P	H24 番号	質問事項		1段目：都道府県（公立）の割合（％） 2段目：全国（公立）の割合（％）									その他* ・無回答	1の差 1+2の差
						選 択 肢										
						1	2	3	4	5	6	7	8	9		
【児童生徒の状況】																
21	15	115	10	対象児童生徒は、熱意をもって勉強していると思いますか	小	19.5	74.1	6.3	0.0						0.0	-3.1
					中	22.6	69.8	7.4	0.1						0.1	1.2
22	16	115	11	対象児童生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか	小	9.7	72.2	18.1	0.0						0.0	-10.0
					中	19.7	68.8	11.1	0.3						0.1	-6.6
23	17	137	12	対象児童生徒は、礼儀正しいと思いますか	小	33.3	55.2	9.8	1.7						0.0	-3.4
					中	36.7	53.7	8.9	0.7						0.0	-1.9
24	18	115	新	対象児童生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか	小	30.6	62.5	5.6	1.4						0.0	-15.5
					中	46.1	46.6	6.7	0.5						0.1	0.4
25	19	115	新	対象児童生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、相手の考えを最後まで聞くことができていると思いますか	小	16.1	67.2	16.1	0.0						0.6	-10.2
					中	26.3	61.6	11.6	0.4						0.1	-4.6
26	20	*	13	対象児童生徒のうち、就学援助を受けている児童の割合	小	19.4	70.8	8.3	1.4						0.0	-16.2
					中	35.6	54.3	9.4	0.5						0.1	0.3
27	21	*	14	対象児童生徒のうち、日本語指導が必要な児童の割合	小	5.2	59.8	32.8	2.3						0.0	-3.3
					中	8.5	59.3	31.3	0.8						0.1	-2.8
28	22	122	15	司書教諭が置かれていますか	小	6.9	52.8	40.3	0.0						0.0	-0.5
					中	7.4	56.2	35.0	1.2						0.2	-3.9
29	23	122	16	対象児童生徒のうち、就学援助を受けている児童の割合	小	15.5	63.2	19.5	1.7						0.0	-2.7
					中	18.2	64.8	16.3	0.6						0.1	-4.3
30	24	121	17	対象児童生徒のうち、日本語指導が必要な児童の割合	小	9.7	62.5	27.8	0.0						0.0	-8.1
					中	17.8	64.8	16.4	0.8						0.2	-10.4
31	25	121	18	対象児童生徒のうち、就学援助を受けている児童の割合	小	14.9	10.9	20.7	36.8	10.3	3.4	1.1			1.7	
					中	14.9	14.8	19.0	27.1	12.9	7.3	2.5			1.4	
32	26	116	19	対象児童生徒のうち、日本語指導が必要な児童の割合	小	9.7	4.2	13.9	58.3	8.3	1.4	4.2			0.0	
					中	7.1	11.0	20.2	32.1	15.3	9.6	3.1			1.7	
33	27	116	20	対象児童生徒のうち、日本語指導が必要な児童の割合	小	95.4	4.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0			0.0	
					中	90.9	5.3	1.3	0.6	0.2	0.3	0.2			1.2	
34	28	116	21	対象児童生徒のうち、日本語指導が必要な児童の割合	小	94.4	4.2	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0			0.0	
					中	88.0	7.6	2.2	0.8	0.4	0.6	0.4			0.1	
【施設・設備】																
35	29	101	新	対象児童生徒のうち、日本語指導が必要な児童の割合	小	55.2	44.8								0.0	-4.8
					中	60.0	39.6								0.4	
36	30	101	新	対象児童生徒のうち、日本語指導が必要な児童の割合	小	65.3	34.7								0.0	6.9
					中	58.4	41.4								0.2	
37	31	92	22	対象児童生徒のうち、日本語指導が必要な児童の割合	小	1.1	21.3	23.6	54.0						0.0	0.0
					中	1.1	12.8	35.4	50.5						0.2	
【学力向上に向けた取組】																
38	32	116	22	対象児童生徒のうち、日本語指導が必要な児童の割合	小	0.0	12.5	38.9	48.6						0.0	
					中	0.0	12.5	38.9	48.6						0.0	
39	33	116	23	対象児童生徒のうち、日本語指導が必要な児童の割合	小	1.2	14.3	32.7	51.6						0.2	
					中	1.2	14.3	32.7	51.6						0.2	
40	34	116	24	対象児童生徒に対して、前年度に、「朝の読書」などの一斉読書の時間を設けましたか	小	13.2	30.5	55.2	0.6	0.0	0.0				0.6	-6.1
					中	19.3	42.6	28.7	3.1	4.5	1.5				0.2	-18.2
41	35	121	18	対象児童生徒に対して、前年度に、学校図書館を活用した授業を計画的に行いましたか	小	36.1	30.6	8.3	5.6	9.7	8.3				1.4	-28.7
					中	64.8	14.6	2.4	2.9	8.0	7.2				0.1	-12.7
42	36	116	19	対象児童生徒に対して、前年度に、放課後を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか	小	10.9	27.0	38.5	19.0	4.0					0.6	-5.2
					中	16.1	30.0	32.5	17.6	3.5					0.2	-8.2
43	37	116	20	対象児童生徒に対して、前年度に、土曜日を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか	小	0.0	8.3	26.4	41.7	22.2					1.4	-1.1
					中	1.1	8.8	31.7	42.4	15.8					0.2	-1.6
44	38	116	21	対象児童生徒に対して、前年度に、長期休業日を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか	小	3.4	31.0	20.7	28.2	4.6	11.5				0.6	0.8
					中	2.6	14.1	12.8	19.4	12.8	38.2				0.2	17.7
45	39	116	22	対象児童生徒に対して、前年度に、長期休業日を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか	小	4.2	12.5	8.3	31.9	31.9	9.7				1.4	-0.3
					中	4.5	9.6	8.6	25.9	37.4	13.9				0.2	2.6
46	40	116	23	対象児童生徒に対して、前年度に、長期休業日を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか	小	0.0	1.1	0.6	0.6	97.1					0.6	-0.2
					中	0.2	1.0	1.1	1.3	96.0					0.4	-0.1
47	41	116	24	対象児童生徒に対して、前年度に、長期休業日を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか	小	0.0	5.6	0.0	1.4	91.7					1.4	-0.6
					中	0.6	1.8	2.5	4.0	91.0					0.1	3.2
48	42	116	25	対象児童生徒に対して、前年度に、長期休業日を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか	小	2.3	2.3	17.2	44.8	32.8					0.6	0.5
					中	1.8	4.3	22.5	36.4	34.7					0.3	-1.5
49	43	92	26	対象児童生徒に対して、前年度に、長期休業日を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか	小	6.9	15.3	44.4	25.0	6.9					1.4	-4.3
					中	11.2	14.1	36.5	22.3	15.6					0.2	-3.1
【指導方法・学習規律】																
50	44	101	新	授業の冒頭で目標を児童に示す活動を計画的に取り入れていましたか	小	68.4	29.9	1.1	0.0						0.6	8.0
					中	60.4	36.1	3.4	0.0						0.1	1.8
51	45	101	新	授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れていましたか	小	33.3	59.7	5.6	0.0						1.4	-10.4
					中	43.7	48.9	7.1	0.2						0.1	0.4
52	46	92	27	対象児童生徒に対して、前年度に、長期休業日を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか	小	37.9	57.5	4.0	0.0						0.6	-3.2
					中	41.1	50.9	7.8	0.1						0.1	3.4
53	47	92	28	対象児童生徒に対して、前年度に、長期休業日を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか	小	22.2	63.9	12.5	0.0						1.4	-4.2
					中	26.4	61.7	11.6	0.2						0.1	-2.0
54	48	92	29	対象児童生徒に対して、前年度に、長期休業日を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか	小	24.7	69.5	5.2	0.0						0.6	-9.8
					中	34.5	60.5	4.9	0.0						0.1	-0.8
55	49	92	30	対象児童生徒に対して、前年度に、長期休業日を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか	小	18.1	65.3	15.3	0.0						1.4	-4.3
					中	22.4	69.4	8.0	0.0						0.1	-8.4

小学校 質問番号	中学校 質問番号	掲載P	H24 番号	質問事項	選 択 肢									その他* ・無回答	1+2の差			
					1	2	3	4	5	6	7	8	9					
38	32	91	23	対象児童生徒に対して、前年度までに、児童の発言や活動の時間を確保して授業を進めましたか	小	36.8	58.6	4.0	0.0							0.6	-8.5	
					中	45.3	52.0	2.6	0.0								0.1	-1.9
					小	23.6	63.9	9.7	1.4									1.4
39	33	137	24	対象児童生徒に対して、前年度までに、児童に将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか	中	29.6	63.7	6.6	0.0							0.1	-5.8	
					小	15.5	56.9	27.0	0.0								0.6	-0.2
					中	15.7	55.8	27.9	0.5								0.1	0.9
40	34	114	25	対象児童生徒に対して、前年度までに、学習規律（私語をしない、聞き手に向かって話をするなど）の維持を徹底しましたか	小	33.3	58.3	6.9	0.0							1.4	-1.8	
					中	35.1	59.4	5.3	0.1								0.1	-2.9
					小	57.5	39.1	2.9	0.0								0.6	-4.1
41	35	95	26	対象児童生徒に対して、前年度までに、学習方法（適切にノートをとるなど）に関する指導をしましたか	中	61.6	35.5	2.7	0.0							0.1	-0.5	
					小	54.2	41.7	2.8	0.0								1.4	-8.6
					中	62.8	34.9	2.2	0.0								0.1	-1.8
42	36	138	27	対象児童生徒に対して、前年度までに、児童に対して、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか	小	59.8	37.9	1.7	0.0							0.6	3.5	
					中	56.3	41.4	2.1	0.0								0.1	0.0
					小	38.9	56.9	2.8	0.0								1.4	-9.5
43	37	93	新	対象児童生徒に対して、前年度までに、学級やグループで話し合う活動を授業などで行いましたか	中	48.4	49.1	2.4	0.0							0.1	-1.7	
					小	35.6	57.5	6.3	0.0								0.6	-3.2
					中	38.8	52.5	8.4	0.1								0.1	1.8
44	38	90	28	対象児童生徒に対して、前年度までに、本やインターネットなどの資料の調べ方が身に付くよう指導しましたか	小	29.2	58.3	11.1	0.0							1.4	4.4	
					中	24.8	56.3	18.5	0.2								0.1	6.4
					小	37.4	55.7	6.3	0.0								0.6	-11.0
45	39	92	29	対象児童生徒に対して、前年度までに、資料を使って発表ができるよう指導しましたか	中	48.4	46.9	4.5	0.1							0.1	-2.2	
					小	20.8	61.1	16.7	0.0								1.4	-9.4
					中	30.2	57.4	12.2	0.2								0.1	-5.7
46	40	102	30	対象児童生徒に対して、前年度までに、児童が自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をしましたか	小	11.5	66.7	20.7	0.6							0.6	-17.8	
					中	29.3	62.0	8.5	0.1								0.1	-13.1
					小	4.2	52.8	38.9	2.8								1.4	-12.7
47	41	109	新	対象児童生徒に対して、前年度までに、総合的な学習の時間で、課題の設定から始まる探究の過程を意識した指導をしましたか	中	16.9	59.4	23.3	0.3							0.1	-19.3	
					小	16.7	64.4	18.4	0.0								0.6	-6.4
					中	23.1	63.1	13.6	0.1								0.1	-5.1
48	42	136	31	対象児童生徒に対して、前年度までに、学校や地域で挨拶をするよう指導しましたか	小	12.5	52.8	33.3	0.0							1.4	-3.1	
					中	15.6	61.2	22.8	0.3								0.1	-11.5
					小	20.1	71.3	8.0	0.0								0.6	-7.5
49	*	110	新	対象児童に対して、いつから英語に関する指導を始めましたか	中	27.6	63.3	9.0	0.0							0.1	0.5	
					小	11.1	68.1	19.4	0.0								1.4	-8.3
					中	19.4	66.3	14.2	0.1								0.1	-6.5
50	43	110	新	対象児童生徒に対して前年度に、授業以外で国際交流や外国語のコミュニケーション能力育成のための取組を実施しましたか	小	17.2	59.8	22.4	0.0							0.6	-7.0	
					中	24.2	56.7	18.7	0.2								0.2	-3.9
					小	20.8	48.6	27.8	1.4								1.4	-7.7
51	44	119	新	対象児童生徒に対して、前年度までに、コンピュータ等の基本的な操作を身に付ける指導を行いましたか	中	28.5	52.0	18.9	0.5							0.1	-11.1	
					小	83.9	15.5	0.0	0.0								0.6	2.4
					中	81.5	17.8	0.5	0.0								0.1	0.1
52	45	119	新	対象児童生徒に対して、前年度までに、情報通信技術を活用し、協働学習や課題発見・解決型の指導を行いましたか	小	69.4	29.2	0.0	0.0							1.4	-9.1	
					中	78.5	20.7	0.7	0.0								0.1	-0.6
					小	21.3	12.6	65.5									0.6	
53	46	119	32	対象児童生徒に対して、前年度に、国語の授業において、普通教室でのインターネットを活用した授業を行いましたか	中	28.1	13.0	58.6								0.3		
					小	2.3	14.4	30.5	52.3								0.6	-1.8
					中	4.1	11.0	26.4	58.3								0.2	1.6
54	47	120	新	対象児童生徒に対して、前年度に、国語の授業において、発表などする際に児童がコンピュータを使う活動を行いましたか	小	1.4	11.1	26.4	59.7							1.4	-2.9	
					中	4.3	11.5	31.0	52.9								0.4	-3.3
					小	10.9	61.5	23.0	4.0								0.6	-20.2
55	48	119	33	対象児童生徒に対して、前年度に、算数の授業において、普通教室でのインターネットを活用した授業を行いましたか	中	31.1	58.7	9.8	0.3							0.1	-17.4	
					小	0.6	30.5	55.7	12.6								0.6	-6.9
					中	20.8	69.4	5.6	2.8								1.4	-17.2
56	49	120	新	対象児童生徒に対して、前年度に、算数の授業において、発表などする際に児童がコンピュータを使う活動を行いましたか	小	38.0	54.1	7.2	0.6							0.1	-1.9	
					中	0.6	30.5	55.7	12.6								0.6	-6.9
					小	7.5	39.1	46.4	6.9								0.1	-15.5
57	45	119	新	対象児童生徒に対して、前年度までに、情報通信技術を活用し、協働学習や課題発見・解決型の指導を行いましたか	中	2.8	20.8	65.3	9.7							1.4	-4.8	
					小	7.6	37.3	47.9	7.1								0.1	-21.3
					中	1.1	5.7	29.9	62.6								0.6	-1.3
58	46	119	32	対象児童生徒に対して、前年度に、国語の授業において、普通教室でのインターネットを活用した授業を行いましたか	小	2.4	13.9	30.4	53.1							0.2	-9.5	
					中	0.0	5.6	6.9	86.1								1.4	-0.7
					小	0.7	3.9	17.6	77.6								0.3	1.0
59	47	120	新	対象児童生徒に対して、前年度に、国語の授業において、発表などする際に児童がコンピュータを使う活動を行いましたか	中	1.1	7.5	37.4	53.4							0.6	-0.7	
					小	1.8	13.0	41.3	43.8								0.2	-6.2
					中	0.0	1.4	16.7	80.6								1.4	-0.6
60	48	119	33	対象児童生徒に対して、前年度に、算数の授業において、普通教室でのインターネットを活用した授業を行いましたか	小	0.6	3.8	25.6	69.7							0.2	-3.0	
					中	2.3	6.3	18.4	72.4								0.6	-0.2
					小	2.5	8.7	23.6	65.0								0.2	-2.6
61	49	120	新	対象児童生徒に対して、前年度に、算数の授業において、発表などする際に児童がコンピュータを使う活動を行いましたか	中	0.0	6.9	2.8	87.5							2.8	-0.8	
					小	0.8	3.0	14.0	81.7								0.5	3.1
					中	1.7	4.6	23.6	69.5								0.6	-0.5
62	49	120	新	対象児童生徒に対して、前年度に、算数の授業において、発表などする際に児童がコンピュータを使う活動を行いましたか	小	2.2	9.4	28.1	60.1							0.2	-5.3	
					中	0.0	4.2	12.5	80.6								2.8	-1.0
					小	1.0	3.3	18.6	76.6								0.5	-0.1

小学校 質問番号	中学校 質問番号	掲載P	H24 番号	質問事項	選 択 肢									その他* ・無回答	1の差 1+2の差		
					1	2	3	4	5	6	7	8	9				
【調査結果の活用】																	
57	50	143	37	平成24年度全国学力・学習状況調査や独自の調査等の結果を利用し、具体的な教育指導の改善等を行いましたか	小	31.0	68.4	0.0							0.6	7.2	
					中	23.8	68.3	7.7							0.2	7.3	
58	51	143	38	平成24年度全国学力・学習状況調査や独自の調査等の結果を、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか	小	18.1	75.0	5.6							1.4	-0.5	
					中	18.6	70.1	11.0						0.2	4.4		
59	52	143	39	平成24年度全国学力・学習状況調査や独自の調査等の結果について、保護者や地域の人たちに公表や説明をしましたか	小	26.4	71.3	1.7							0.6	4.7	
					中	21.7	67.0	11.1						0.2	9.0		
60	53	143	40	平成24年度全国学力・学習状況調査、独自調査や学校評価の結果等を踏まえた学力向上の取組を保護者等に働きかけましたか	小	19.4	73.6	5.6							1.4	2.4	
					中	17.0	67.9	14.9						0.2	8.1		
61	54	117	41	対象児童生徒に対して、前年度に、算数（数学）の授業において、習熟の遅いグループに少人数指導を行い、習得できるようにしましたか	小	20.7	69.0	9.8							0.6	4.7	
					中	16.0	57.1	26.7						0.2	16.6		
62	55	117	42	対象児童生徒に対して、前年度に、算数（数学）の授業において、習熟の早いグループに発展的な内容について少人数指導を行いましたか	小	13.9	70.8	13.9							1.4	-0.3	
					中	14.2	54.4	31.2						0.2	16.1		
63	56	117	43	対象児童生徒に対して、前年度に、算数（数学）の授業において、習熟度別の少人数指導を行うにあたって、学習集団をどう編制しましたか	小	11.5	78.7	9.2							0.6	-0.8	
					中	12.3	66.6	20.9						0.2	11.3		
64	57	117	44	対象児童生徒に対して、前年度に、算数（数学）の授業において、習熟度別の少人数指導を行うにあたって、どのような教材を用いましたか	小	9.7	62.5	26.4							1.4	0.2	
					中	9.5	61.8	28.4						0.3	0.9		
65	58	106	45	対象児童生徒に対して、第4学年（第1学年）のときに、算数（数学）の授業において習熟の遅いグループに少人数指導で習得できるようにしましたか	小	23.6	25.9	8.6	8.6	32.8						0.6	3.9
					中	19.7	10.0	11.4	12.6	46.1					0.2	19.8	
66	59	106	46	対象児童生徒に対して、第4学年（第1学年）のときに、算数（数学）の授業において、習熟の早いグループに発展的な内容の少人数指導を行いましたか	小	8.3	4.2	16.7	8.3	61.1						1.4	-9.3
					中	17.6	6.1	8.2	8.7	59.3					0.1	-11.2	
67	60	117	新	対象児童生徒に対して、前年度に、国語の授業において、チームティーチングによる指導を行いましたか	小	14.4	19.0	14.4	16.1	35.6						0.6	1.4
					中	13.0	8.7	11.7	16.0	50.4					0.2	11.7	
68	61	118	新	対象児童生徒に対して、前年度に、算数（数学）の授業において、チームティーチングによる指導を行いましたか	小	6.9	2.8	15.3	12.5	61.1						1.4	-6.9
					中	13.8	5.7	8.1	10.1	62.1					0.2	-9.8	
69	62	117	新	対象児童生徒に対して、前年度に、算数（数学）の授業において、チームティーチングによる指導を行いましたか	小	51.1	13.2	33.9							1.7	14.6	
					中	36.5	13.7	47.9						1.9	14.1		
70	63	118	新	対象児童生徒に対して、第4学年（第1学年）のときに、算数（数学）の授業において、チームティーチングによる指導を行いましたか	小	34.7	1.4	59.7							4.2	2.2	
					中	32.5	5.9	60.7						0.9	-2.3		
71	64	116	47	対象児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか	小	13.2	39.1	14.4	0.6	31.6						1.1	0.7
					中	12.5	32.3	7.7	1.9	44.9					0.7	7.5	
72	65	116	48	対象児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	小	8.3	18.1	11.1	1.4	56.9						4.2	-2.6
					中	10.9	16.8	10.8	1.9	58.8					0.8	-1.3	
73	66	103	49	対象児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行いましたか	小	16.7	15.5	19.0	12.1	36.2						0.6	1.5
					中	15.2	8.7	10.6	12.5	52.6					0.4	8.3	
74	67	103	50	対象児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、書く習慣を付ける授業を行いましたか	小	4.2	4.2	6.9	8.3	73.6						2.8	-8.5
					中	12.7	5.2	6.8	8.7	66.4					0.2	-9.5	
75	68	106	46	対象児童生徒に対して、第4学年（第1学年）のときに、算数（数学）の授業において、習熟の早いグループに発展的な内容の少人数指導を行いましたか	小	9.2	10.9	19.5	19.0	40.8						0.6	-1.2
					中	10.4	7.2	10.2	15.2	56.6					0.4	2.5	
76	69	117	新	対象児童生徒に対して、前年度に、算数（数学）の授業において、チームティーチングによる指導を行いましたか	小	4.2	2.8	8.3	8.3	73.6						2.8	-5.9
					中	10.1	4.6	6.8	9.5	68.7					0.2	-7.7	
77	70	117	新	対象児童生徒に対して、前年度に、国語の授業において、チームティーチングによる指導を行いましたか	小	9.8	6.3	5.2	6.3	71.8						0.6	7.4
					中	2.4	1.9	3.6	9.8	82.2					0.2	11.8	
78	71	118	新	対象児童生徒に対して、第4学年（第1学年）のときに、国語の授業において、チームティーチングによる指導を行いましたか	小	1.4	0.0	4.2	0.0	93.1						1.4	-2.6
					中	4.0	1.8	3.5	6.1	84.4					0.2	-4.4	
79	72	116	48	対象児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	小	8.6	5.2	7.5	5.7	72.4						0.6	6.3
					中	2.3	1.6	3.6	9.1	83.1					0.3	9.9	
80	73	103	49	対象児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行いましたか	小	1.4	1.4	4.2	0.0	91.7						1.4	-2.0
					中	3.4	1.6	3.0	5.8	85.9					0.3	-2.2	
81	74	103	50	対象児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、書く習慣を付ける授業を行いましたか	小	17.8	9.8	14.9	27.0	29.9						0.6	-1.5
					中	19.3	8.8	12.0	18.4	41.2					0.2	-0.5	
82	75	118	新	対象児童生徒に対して、第4学年（第1学年）のときに、算数（数学）の授業において、チームティーチングによる指導を行いましたか	小	12.5	9.7	12.5	15.3	47.2						2.8	-7.8
					中	20.3	7.4	10.7	11.2	50.2					0.2	-5.5	
83	76	118	新	対象児童生徒に対して、第4学年（第1学年）のときに、算数（数学）の授業において、チームティーチングによる指導を行いましたか	小	20.1	9.8	17.2	22.4	29.9						0.6	2.4
					中	17.7	8.2	11.8	17.0	45.0					0.3	4.0	
84	77	103	49	対象児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行いましたか	小	13.9	6.9	12.5	6.9	56.9						2.8	-6.1
					中	20.0	7.5	9.8	10.7	51.8					0.2	-6.7	
85	78	116	47	対象児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか	小	10.3	63.8	24.7	0.6							0.6	-2.1
					中	12.4	55.4	28.6	3.5						0.1	6.3	
86	79	116	48	対象児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	小	11.1	61.1	22.2	4.2							1.4	-3.5
					中	14.6	58.8	23.5	3.0						0.1	-1.2	
87	80	103	49	対象児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行いましたか	小	1.1	24.1	69.5	4.6							0.6	-2.3
					中	3.4	34.2	56.0	6.2						0.1	-12.4	
88	81	103	50	対象児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、書く習慣を付ける授業を行いましたか	小	9.7	34.7	48.6	5.6							1.4	2.5
					中	7.2	46.5	41.8	4.4						0.1	-9.3	
89	82	103	49	対象児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行いましたか	小	16.7	71.8	10.9	0.0							0.6	-3.9
					中	20.6	67.3	11.6	0.3						0.1	0.6	
90	83	103	50	対象児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、書く習慣を付ける授業を行いましたか	小	12.5	58.3	27.8	0.0							1.4	-5.8
					中	18.3	61.7	19.2	0.6						0.2	-9.2	
91	84	103	50	対象児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、書く習慣を付ける授業を行いましたか	小	23.6	67.2	8.6	0.0							0.6	-4.0
					中	27.6	62.3	9.8	0.2						0.1	0.9	
92	85	103	50	対象児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、書く習慣を付ける授業を行いましたか	小	23.6	66.7	8.3	0.0							1.4	-10.0
					中	33.6	58.6	7.5	0.2						0.1	-1.9	

小学校 質問番号	中学校 質問番号	掲載P	H24 番号	質問事項	選 択 肢									その他* ・無回答	1の差 1+2の差			
					1	2	3	4	5	6	7	8	9					
75	68	103	51	対象児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、様々な文章を読む習慣を付ける授業を行いましたか	小	12.1	67.8	19.5	0.0							0.6	-8.0	
					中	20.1	63.6	15.9	0.3								0.1	-3.8
						20.8	59.7	18.1	0.0								1.4	-2.2
76	69	103	52	対象児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行いましたか	小	52.3	44.3	2.9	0.0							0.6	1.9	
					中	50.4	47.3	2.1	0.1							0.1	-1.1	
						48.6	45.8	4.2	0.0							1.4	-9.1	
77	*	118	新	対象児童生徒に対する国語の授業では、前年度までに、教科担任制を実施していましたか	小	2.3	97.1									0.6	-0.7	
					中	3.0	96.8									0.2	-0.4	
【算数・数学の指導方法】																		
78	70	117	53	対象児童生徒に対する算数（数学）の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか	小	33.9	58.0	6.9	0.6							0.6	2.9	
					中	31.0	56.3	11.0	1.5							0.1	4.6	
						16.7	73.6	6.9	1.4							1.4	-9.3	
79	71	117	54	対象児童生徒に対する算数（数学）の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	小	5.7	44.3	46.6	2.9							0.6	-3.3	
					中	9.0	45.4	42.0	3.5							0.1	-4.4	
						5.6	38.9	51.4	2.8							1.4	-4.1	
80	72	107	55	対象児童生徒に対する算数（数学）の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか	小	5.7	55.7	37.9	0.0							0.6	-2.4	
					中	8.1	54.9	35.7	1.1							0.1	-1.6	
						5.6	51.4	41.7	0.0							1.4	-1.9	
81	73	107	56	対象児童生徒に対する算数（数学）の指導として、前年度までに、計算問題などの反復練習をする授業を行いましたか	小	48.9	47.7	2.9	0.0							0.6	-5.3	
					中	54.2	42.9	2.7	0.1							0.1	-0.5	
						41.7	52.8	4.2	0.0							1.4	-8.5	
82	*	118	新	対象児童生徒に対する算数の授業では、前年度までに、教科担任制を実施していましたか	小	2.3	97.1									0.6	-3.2	
					中	5.5	94.1									0.3	-0.2	
【特別支援教育】																		
83	74	118	66 65	教員は特別支援教育を理解し、前年度までに、第6学年の児童に対する授業の中で、児童の特性に応じた指導上の工夫を行いましたか	小	19.0	64.4	14.9	1.1							0.6	-6.7	
					中	25.7	57.1	14.3	2.3							0.7	0.6	
						30.6	50.0	16.7	1.4							1.4	2.5	
【幼児教育と小学校教育の連携】																		
84	*	144	67	保育所（保育園）や幼稚園との連携（保育所・幼稚園との合同研修、保育士・教師の交流、幼児と児童の交流など）を行っていますか	小	29.3	59.2	10.3	1.1							0.0	6.2	
					中	23.1	50.0	22.4	4.4							0.1	15.4	
【小学校教育と中学校教育の連携】																		
85	75	144	68 66	教科の指導内容や指導方法について近隣の中学校と連携（教師の合同研修、教師の交流、教育課程の接続など）を行っていますか	小	19.0	47.1	31.6	2.3							0.0	-3.7	
					中	22.7	46.5	26.8	3.9							0.1	-3.1	
						25.0	58.3	12.5	2.8							1.4	-1.9	
【地域の人材・施設の活用】																		
86	76	140	69 67	対象児童生徒に対して、前年度までに、地域の人材を外部講師として招聘した授業を行いましたか	小	19.5	48.9	29.3	1.7							0.6	-8.1	
					中	27.6	51.7	17.9	2.6							0.2	-10.9	
						13.9	38.9	33.3	12.5							1.4	-1.7	
87	77	140	70 68	対象児童生徒に対して、前年度までに、ボランティア等による授業サポート（補助）を行いましたか	小	3.4	18.4	37.4	40.2							0.6	-10.0	
					中	13.4	29.0	31.1	26.4							0.2	-20.6	
						2.8	12.5	23.6	59.7							1.4	-4.6	
88	78	140	71 69	対象児童生徒に対して、前年度までに、博物館や科学館、図書館を利用した授業を行いましたか	小	2.3	14.4	63.2	19.5							0.6	-2.9	
					中	5.2	32.3	47.6	14.7							0.2	-20.8	
						0.0	11.1	41.7	45.8							1.4	-2.0	
89	*	140	75	対象児童生徒に対して、第5学年までの間に自然の中での集団宿泊活動を行いましたか	小	2.0	12.6	40.9	44.4							0.1	-3.5	
					中	0.0	0.0	1.7	86.2	11.5						0.6		
						5.1	2.4	31.1	54.9	6.4						0.1		
90	79	140	72 70	職場見学や職場体験活動を行っていますか	小	35.1	64.4									0.6	-6.8	
					中	41.9	57.9									0.2		
						100.0	0.0									0.0	1.6	
91	80	141	73 71	PTAや地域の人が学校の諸活動にボランティアとして参加してくれますか	小	98.4	1.4								0.3			
					中	42.5	54.0	2.9	0.0							0.6	-14.7	
						57.2	39.9	2.7	0.1							0.1	-0.6	
92	81	141	74 72	学校支援ボランティアの仕組みにより、保護者等が様々な活動に参加してくれますか	小	44.4	51.4	4.2	0.0						0.0	-7.6		
					中	52.0	42.7	4.6	0.6							0.1	1.1	
						29.3	44.3	5.7	20.1							0.6	-8.4	
	37.7	43.2	4.0	15.0							0.1	-7.3						
	19.4	44.4	5.6	30.6							0.0	-5.5						
	24.9	40.7	6.7	27.5							0.2	-1.8						

小学校 質問番号	中学校 質問番号	掲載P	H24 番号	質問事項	選 択 肢									その他* ・無回答	1の差 1+2の差		
					1	2	3	4	5	6	7	8	9				
93	82	141	新	保護者や地域の人の学校支援ボランティア活動は、学校の教育水準の向上に効果がありましたか	小	34.5	57.5	4.6	2.3							1.1	-11.0
					中	45.5	49.4	3.1	1.1							0.9	-2.9
					小	20.8	63.9	12.5	1.4							1.4	-12.2
					中	33.0	54.3	6.7	4.0							1.9	-2.6
94	83	141	新	教職員は、勤務している学校の地域や住んでいる地域の活動や行事に参加していますか	小	17.8	63.8	17.2	0.6							0.6	-2.5
					中	20.3	59.1	20.1	0.4							0.2	2.2
					小	22.2	52.8	25.0	0.0							0.0	3.2
					中	19.0	58.4	21.7	0.8							0.1	-2.4
【家庭学習】																	
95	84	125	76 73	対象児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、家庭学習の課題（宿題）を与えましたか	小	79.3	20.1	0.0	0.0							0.6	-3.3
					中	82.6	16.8	0.4	0.0							0.1	0.0
					小	54.2	41.7	2.8	0.0							1.4	7.5
					中	46.7	42.9	10.0	0.3							0.1	6.3
96	85	98	77 74	対象児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、保護者に対して児童の家庭学習を促すような働きかけを行いましたか	小	45.4	51.1	2.9	0.0							0.6	-7.7
					中	53.1	42.5	4.1	0.1							0.1	0.9
					小	13.9	43.1	37.5	4.2							1.4	-9.7
					中	23.6	48.4	24.2	3.7							0.1	-15.0
97	86	96	78 75	対象児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、教職員で共通理解を図りましたか	小	50.0	46.6	2.9	0.0							0.6	8.0
					中	42.0	45.7	11.3	0.8							0.1	8.9
					小	29.2	38.9	27.8	2.8							1.4	-1.6
					中	30.8	47.3	19.4	2.4							0.1	-10.0
98	87	97	79 76	対象児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、家庭学習の課題（長期休業の課題除く）について、評価・指導しましたか	小	64.4	32.8	2.3	0.0							0.6	3.2
					中	61.2	35.6	2.9	0.1							0.1	0.4
					小	59.7	33.3	5.6	0.0							1.4	3.8
					中	55.9	40.0	3.7	0.3							0.1	-2.9
99	88	125	80 77	対象児童生徒に対する算数（数学）の指導として、前年度までに、家庭学習の課題（宿題）を与えましたか	小	82.8	16.7	0.0	0.0							0.6	-1.5
					中	84.3	15.3	0.2	0.0							0.1	-0.1
					小	50.0	38.9	9.7	0.0							1.4	-1.5
					中	51.5	41.2	7.0	0.2							0.2	-3.8
100	89	98	81 78	対象児童生徒に対する算数（数学）の指導として、前年度までに、保護者に対して児童の家庭学習を促すような働きかけを行いましたか	小	44.8	52.3	2.3	0.0							0.6	-8.6
					中	53.4	42.2	4.1	0.1							0.1	1.5
					小	19.4	43.1	33.3	2.8							1.4	-4.2
					中	23.6	49.1	23.7	3.4							0.1	-10.2
101	90	96	82 79	対象児童生徒に対する算数（数学）の指導として、前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、教職員で共通理解を図りましたか	小	48.3	48.9	2.3	0.0							0.6	6.0
					中	42.3	45.4	11.3	0.8							0.1	9.5
					小	30.6	40.3	23.6	4.2							1.4	-0.9
					中	31.5	46.9	18.9	2.5							0.1	-7.5
102	91	97	83 80	対象児童生徒に対する算数（数学）の指導として、前年度までに、家庭学習の課題（長期休業の課題除く）について、評価・指導しましたか	小	61.5	36.2	1.7	0.0							0.6	0.1
					中	61.4	35.6	2.8	0.1							0.1	0.7
					小	58.3	37.5	2.8	0.0							1.4	3.3
					中	55.0	40.2	4.3	0.3							0.1	0.6
103	92	125	84 81	対象児童生徒に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりする宿題を出しましたか（国・算共通）	小	13.2	63.2	23.0	0.0							0.6	-4.9
					中	18.1	57.0	24.5	0.2							0.2	1.3
					小	8.3	52.8	37.5	0.0							1.4	-2.1
					中	10.4	48.9	38.5	1.7							0.5	1.8
104	93	95	85 82	対象児童生徒に対して、前年度までに、家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えましたか（国・算共通）	小	33.9	61.5	3.4	0.6							0.6	0.6
					中	33.3	57.6	8.7	0.1							0.2	4.5
					小	20.8	61.1	16.7	0.0							1.4	-6.0
					中	26.8	60.3	12.1	0.3							0.5	-5.2
【開かれた学校・学校評価】																	
105	94	142	90 87	学校の教育活動の情報について、前年度にどれくらいの頻度でホームページを更新し、情報提供を行いましたか	小	23.0	37.4	14.4	11.5	13.2						0.6	-5.1
					中	28.1	36.9	12.9	10.6	11.2						0.2	-4.6
					小	25.0	50.0	8.3	11.1	4.2						1.4	1.0
					中	24.0	38.2	13.7	11.5	12.5						0.1	12.8
106	95	142	91 88	保護者からの意見や要望を聞くために、学校として懇談会の開催やアンケート調査を前年度にどれくらい実施しましたか	小	44.8	26.4	24.7	3.4	0.0						0.6	-5.7
					中	50.5	19.6	17.8	11.8	0.2						0.1	1.1
					小	45.8	31.9	18.1	2.8	0.0						1.4	-1.5
					中	47.3	26.3	17.8	8.2	0.3						0.1	4.1
107	96	142	新	学校評価を教育活動その他の学校運営の改善に結び付けることができているか	小	46.0	54.0	0.0	0.0							0.0	-5.3
					中	51.3	47.3	1.3	0.0							0.1	1.4
					小	36.1	62.5	0.0	0.0							1.4	-11.7
					中	47.8	50.3	1.7	0.1							0.1	0.5
【教員研修】																	
108	97	144	92 89	学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っていますか	小	45.4	46.0	8.6	0.0							0.0	-15.5
					中	60.9	31.8	6.4	0.9							0.0	-1.3
					小	26.4	56.9	16.7	0.0							0.0	-13.2
					中	39.6	44.8	13.5	2.0							0.0	-1.1
109	98	144	93 90	模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っていますか	小	61.5	36.2	2.3	0.0							0.0	1.2
					中	60.3	34.5	5.0	0.1							0.0	2.9
					小	30.6	50.0	19.4	0.0							0.0	-8.8
					中	39.4	47.0	12.9	0.6							0.0	-5.8
110	99	144	94 91	教員が、他校や外部の研修機関などの学校外での研修に積極的に参加できるようにしていますか	小	47.7	46.6	5.7	0.0							0.0	-4.5
					中	52.2	44.2	3.4	0.1							0.1	-2.1
					小	29.2	65.3	5.6	0.0							0.0	-8.9
					中	38.1	54.1	7.7	0.1							0.1	2.3
111	100	145	95 92	授業研究を伴う校内研修を前年度に何回実施しましたか	小	17.2	3.4	9.2	10.9	28.2	22.4	6.9	0.6	0.0		1.1	-5.0
					中	22.2	5.5	8.1	11.3	19.4	18.8	12.6	1.6	0.0		0.4	-7.1
					小	19.4	0.0	2.8	6.9	15.3	19.4	27.8	6.9	0.0		1.4	8.2
					中	11.2	3.0	6.1	11.0	12.5	18.0	26.8	10.8	0.4		0.2	5.2

小学校 質問番号	中学校 質問番号	掲載P	H24 番号	質問事項	選 択 肢									その他* ・無回答	1の差 1+2の差	
					1	2	3	4	5	6	7	8	9			
教職員の取組																
112	101	145	96 93	教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させていますか	小	27.0	68.4	4.6	0.0						0.0	-4.9
					中	31.9	62.9	5.0	0.0						0.1	0.6
113	102	145	97 94	学習指導と学習評価の計画の作成にあたっては、教職員同士が協力し合っていますか	小	22.2	63.9	13.9	0.0						0.0	0.4
					中	21.8	67.6	10.5	0.0						0.0	-3.3
114	103	145	新	知識・技能の活用に重点を置いた指導計画を作成していますか	小	44.8	52.9	2.3	0.0						0.0	4.5
					中	40.3	54.7	5.0	0.0						0.0	2.7
115	104	145	新	言語活動に重点を置いた指導計画を作成していますか	小	30.6	63.9	5.6	0.0						0.0	-2.1
					中	32.7	59.9	7.3	0.1						0.1	1.9
116	105	146	98 95	学校の教育目標やその達成に向けた方策について、全教職員の間で共有し、取組にあたっていますか	小	10.3	73.0	16.1	0.6						0.0	-5.5
					中	15.8	66.5	17.1	0.6						0.0	1.0
117	106	146	新	学校全体の学力傾向や課題について、全教職員の間で共有していますか	小	11.1	75.0	12.5	1.4						0.0	-3.2
					中	14.3	67.9	17.4	0.3						0.1	3.9
118	107	146	新	教科内にとどまらず学校として組織的に、指導力向上のための研修や取組を行っていますか	小	25.3	64.4	9.8	0.6						0.0	-3.1
					中	28.4	58.7	12.4	0.5						0.0	2.6
*	107	146	新	教科内にとどまらず学校として組織的に、指導力向上のための研修や取組を行っていますか	小	18.1	56.9	23.6	1.4						0.0	-4.7
					中	22.8	60.1	16.8	0.2						0.1	-7.9
119	108	146	99 96	校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか	小	64.4	35.1	0.6	0.0						0.0	2.9
					中	61.5	37.5	0.9	0.0						0.2	0.5
120	108	146	99 96	校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか	小	44.4	54.2	1.4	0.0						0.0	-7.8
					中	52.2	45.8	1.7	0.0						0.2	0.6
121	108	146	99 96	校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか	小	63.2	36.2	0.6	0.0						0.0	5.3
					中	57.9	40.0	1.9	0.0						0.2	1.5
122	108	146	99 96	校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか	小	45.8	51.4	2.8	0.0						0.0	-4.0
					中	49.8	47.3	2.7	0.0						0.2	0.1
123	108	146	99 96	校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか	小											
					中	36.1	55.6	8.3	0.0						0.0	-5.0
124	108	146	99 96	校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか	小	41.1	50.9	7.7	0.0						0.2	-0.3
					中	66.7	28.2	4.6	0.0						0.6	8.7
125	108	146	99 96	校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか	小	58.0	32.3	9.1	0.2						0.4	4.6
					中	55.6	36.1	8.3	0.0						0.0	17.0
126	108	146	99 96	校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか	小	38.6	38.6	21.6	0.8						0.4	14.5
					中											

※【その他】とは、『選択肢以外の回答や複数回答』されたものである。 ※各質問の選択項目は、p 87を参照。

学校質問紙 選択項目一覧

※ () 内の番号は左側が小学校, 右側が中学校

(21/15) (22/16) (23/17) (24/18) (25/19)	1 その通りだと思う 2 どちらかといえば、そう思う 3 どちらかといえば、そう思わない 4 そう思わない
(26/20)	1 在籍していない 2 5%未満 3 5%以上、10%未満 4 10%以上、20%未満 5 20%以上、30%未満 6 30%以上、50%未満 7 50%以上
(27/21)	1 在籍していない 2 1人 3 2人 4 3人 5 4人 6 5人～7人 7 8人以上
(28/22)	1 はい 2 いいえ
(29/23)	1 常勤の職員と非常勤の職員が置かれている 2 常勤の職員のみが置かれている 3 非常勤の職員のみが置かれている 4 置かれていない
(30/24)	1 基本的に毎日行った 2 週に複数回、定期的に行った 3 週に1回、定期的に行った 4 月に数回程度、定期的に行った 5 非定期的に行った 6 行っていない
(31/25)	1 週に1回程度、またはそれ言おう行った 2 月に数回程度行った 3 学期に数回程度行った 4 年に数回程度行った 5 行っていない
(32/26)	1 週に4回以上行った 2 週に2～3回行った 3 週に1回行った 4 月に数回程度行った 5 年に数回程度行った 6 行っていない
(33/27)	1 基本的にを行った 2 月に数回程度行った 3 学期に数回程度行った 4 年に数回程度行った 5 行っていない
(34/28)	1 延べ13日以上 2 延べ9日から12日 3 延べ5日から8日 4 1日から延べ4日 5 行っていない
(35/29) (36/30) (37/31) (38/32) (39/33) (40/34) (41/35) (42/36) (43/37) (44/38) (45/39) (46/40) (47/41) (48/42) (50/43) (51/44) (52/45) (57/50) (58/51) (59/52) (60/53) (71/64) (72/65) (73/66) (74/67) (75/68) (76/69) (78/70) (79/71) (80/72) (81/73) (83/74) (86/76) (87/77) (88/78) (95/84) (96/85) (98/87) (99/88) (100/89) (102/91) (103/92) (104/93)	1 よく行った 2 どちらかといえば、行った 3 あまり行っていない 4 全く行っていない
(49/*)	1 小学校1年生または2年生から 2 小学校3年生または4年生から 3 小学校5年生から
(53/46) (54/47) (55/48) (56/49)	1 週1回以上 2 月1回以上 3 学期に1回以上 4 ほとんど、または、全く行っていない
(61/54) (62/55) (65/58) (66/59) (67/60) (68/61) (69/62) (70/63)	1 年間の授業のうち、おおよそ3/4以上で行った 2 年間の授業のうち、おおよそ1/2以上、3/4未満で行った 3 年間の授業のうち、おおよそ1/4以上、1/2未満で行った 4 年間の授業のうち、おおよそ1/4未満で行った 5 習熟度別での少人数指導は行っていない
(63/56)	1 1つの学級を2つ以上の学習集団に分けた 2 複数の学級から学級とは別の2つ以上の学習集団に分けた 3 習熟度別での少人数による指導を行っていない
(64/57)	1 全ての学習集団で同一の教材 2 各学習集団の習熟度に合わせて既存の教材を組み合わせたもの 3 各学習集団の習熟度に合わせて独自に作成した教材 4 個々の児童の個人差に合わせて作成した教材 5 行っていない
(77/*) (82/*)	1 実施していた 2 実施していなかった
(84/*) (85/75)	1 よく行っている 2 どちらかといえば、行っている 3 あまり行っていない 4 全く行っていない
(89/*)	1 4泊5日以上自然の中での集団宿泊活動を行った 2 3泊4日の自然の中での集団宿泊活動を行った 3 2泊3日の自然の中での集団宿泊活動を行った 4 1泊2日の自然の中での集団宿泊活動を行った 5 自然の中での集団宿泊活動は行っていない
(90/79)	1 行っている 2 行っていない
(91/80) (92/81) (94/83)	1 よく参加してくれる 2 参加してくれる 3 あまり参加してくれない 4 全く参加してくれない
(93/82) (107/96)	1 そう思う 2 どちらかといえば、そう思う 3 どちらかといえば、そう思わない 4 そう思わない
(97/86) (101/90)	1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない
(105/94)	1 週に1回以上更新した 2 月に1回程度更新した 3 学期に1回程度更新した 4 1年に1回か、それより少ない頻度で更新した 5 ホームページを開設していない
(106/95)	1 年間に4回以上実施した 2 年間に3回以上実施した 3 年間に2回以上実施した 4 年間に1回以上実施した 5 実施していない
(108/97) (109/98) (110/99) (112/101) (113/102) (114/103) (115/104) (116/105) (117/106) (*107)	1 よくしている 2 どちらかといえば、している 3 あまりしていない 4 全くしていない
(111/100)	1 年間15回以上 2 年間13回から14回 3 年間11回から12回 4 年間10回から9回 5 年間7回から8回 6 年間5回から6回 7 年間3回から4回 8 年間1回から2回 9 全く実施していない
(118/108)	1 ほぼ毎日 2 週に2～3回程度 3 月に数日程度 4 ほとんど行っていない

3 調査結果に見る全国と本県の状況

※ 本文中では、原則として調査結果の内容が肯定的なものに○（より肯定的なものには◎），肯定的でないものに△（より肯定的でないものには▲）をつけて解説しています（どちらともいえないものは「・」で示しています）。また、●印では、本県の成果や課題、上位県との比較等について記載しています。

※ 本文中の散布図は、各都道府県の回答状況について、小学校を縦軸、中学校を横軸に対応させ、全国と各都道府県のデータをプロットしたものです（以下参照）。

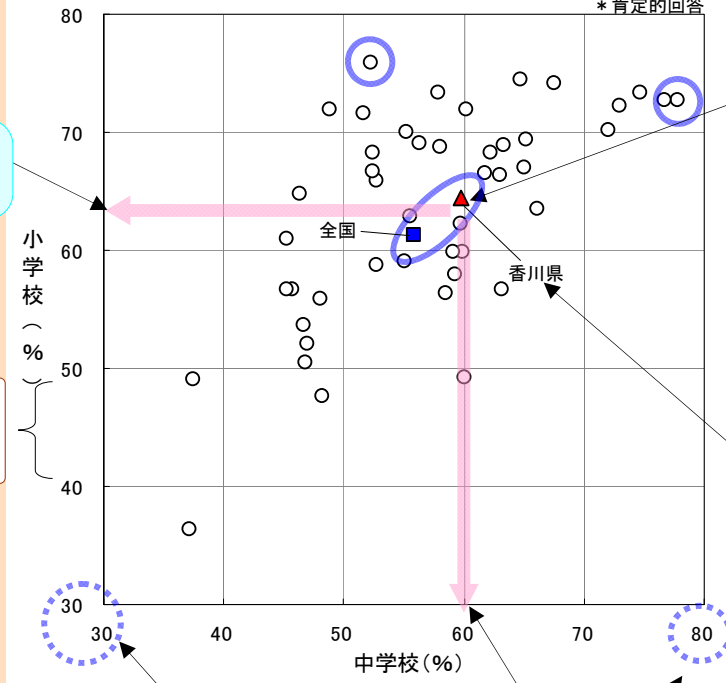
【散布図の見方】

- ・□は、児童生徒質問紙の共通番号を示す
共通番号はP.74～P.79 参照
- ・■は学校質問紙を示す
- ・学校質問紙は、（小学校の番号） / （中学校の番号）で示している

- ・質問内容を簡潔にした見出しでは、児童生徒質問紙と学校質問紙を次のように文字の背景色で区別している
児童生徒質問紙 → ○○○○
学校質問紙 → □□□□
- ・見出しの後に質問紙の種別を記載（[児童生徒質問紙]，[学校質問紙]）

家庭学習の課題の与え方についての共通理解 [学校質問紙]

■98/87 調査対象児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、家庭学習の課題（長期休業中は除く）について評価・指導しましたか
*肯定的回答



・縦軸が小学校の割合

・補助線は10%きざみとなっている

・横軸が中学校の割合

- この質問における本県の小中学校の結果は、全国と比較すると、それぞれ3.2%、3.8%上回っているが、順位では、それぞれ26位、20位程度であることがわかる。
- 一方、小中学校の最上位県は、全国と比較して、それぞれ14.7%、21.9%も高くなっている。

・香川県の結果は▲で、全国は■でプロットされている

※結果によって目盛りの最小値・最大値が異なっていることに留意する必要がある

全国平均より上回っているから課題がなく、下回っているから課題があると判断するのではなく、全国的に見た本県の位置や取組の進んでいる都道府県との比較により、本県の状況をより正確に捉えることが大切だと考えます。
散布図にすると、全国的な状況がよくわかります。
各学校においても、自校の結果を全国との関係の中で捉えてみてはどうでしょう。



責任感と危機感を持って取り組む4つのAction

「子どもに確かな学力を！」

Action1 思考力・判断力・表現力等を伸ばす指導

- 調べる時間や考える時間を確保した授業をする。
- 子どもが自分の考えを発表できる授業をする。
- 交流活動を通して互いに高めあう授業をする。

※次の4つのアクションの中で示された手立てのうち、■は、本調査の質問内容と関連する項目。

Action2 学習意欲向上のための指導

- 授業を振り返ることのできるわかりやすい板書を工夫する。
- 子どもの実態に応じて、できる喜びや分かる楽しさを味わえる授業を工夫する。
- 子どもの良い点を褒める、励ますなどの声かけを工夫する。

Action1 思考力・判断力・表現力等を伸ばす指導

思考力・判断力・表現力等を伸ばすには、**調べる時間や考える時間を確保した授業をする。**

子どもが自分の考えを発表できる授業をする。

交流活動を通して互いに高めあう授業をする。

Action2 学習意欲向上のための指導

授業を振り返ることのできるわかりやすい板書を工夫する。

子どもの実態に応じて、できる喜びや分かる楽しさを味わえる授業を工夫する。

子どもの良い点を褒める、励ますなどの声かけを工夫する。

Action3 学習方法を身に付けるための指導

授業がわかるための家庭での学習方法（予習や復習の仕方）を教える。

家庭での学習に生かせるノートの書き方、まとめ方を教える。

テストなどで間違えた問題は、必ずやり直しをさせる。

Action4 学習習慣形成のための指導

宿題は、内容（授業との関連）や量を考えて出し、提出させた宿題は必ず点検する。

学習計画を立てさせ、後で振り返りをさせる。

学習内容が定着するように、繰り返し学習させる。

Action3 学習方法を身に付けるための指導

- 授業がわかるための家庭での学習方法（予習や復習の仕方）を教える。
- 家庭での学習に生かせるノートの書き方、まとめ方を教える。
- テストなどで間違えた問題は、必ずやり直しをさせる。

Action4 学習習慣形成のための指導

- 宿題は、内容（授業との関連）や量を考えて出し、提出させた宿題は必ず点検する。
- 学習計画を立てさせ、後で振り返りをさせる。
- 学習内容が定着するように、繰り返し学習させる。

責任感と危機感を持って取り組む4つのAction

子どもに確かな学力を！

～平成23年度 香川県立小中学校調査、教員意識調査の結果から～

香川県立小中学校調査の結果から

生徒学習状況調査の結果から

あなたの学校の子どもの状況はどうか？
「分かる授業」に向けた授業改善を！

香川県教育委員会事務局 義務教育課 (H24.3)

*H24.3 に、県内全ての小中学校教員に配付されています。



(1) 4つのアクションで示された手立てと関連する内容

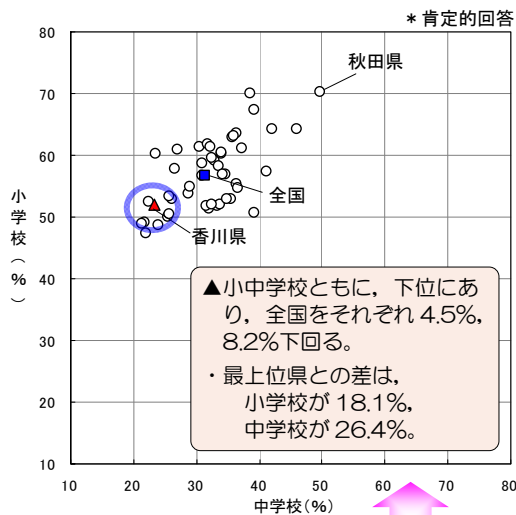
① 「Action1 思考力・判断力・表現力等を伸ばす指導」に関する内容 ※●はAction1で示された手立て

● 「調べる時間や考える時間を確保した授業をする」ことについて

- ▲「普通の授業において、本やインターネットを使って、グループで調べる活動をよく行っている」と回答している児童生徒の割合は、全国的に見て下位にある。
- ▲「児童生徒に対して、本やインターネットなどの資料の調べ方を身に付ける指導をよく行った」と回答している小中学校の割合も、全国的に見て極めて下位にあり、小中学校とともに経年変化を見ると減少傾向にある。
- 最上位県と本県の差が、いずれの質問とも大きくなっている。特にグループで調べる活動をよく行っていると回答している児童生徒の割合は、秋田県では極めて高い割合を示している。

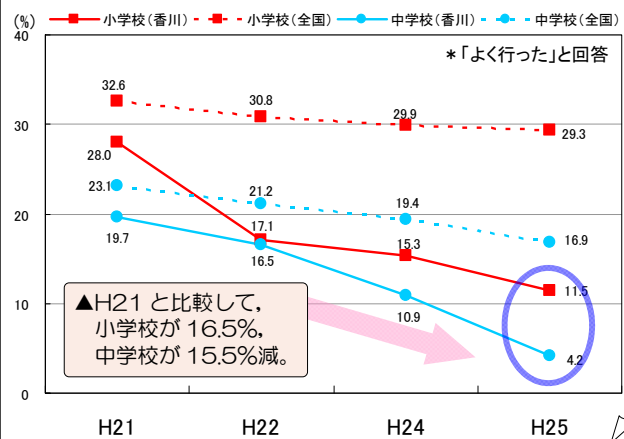
グループで調べる活動 [児童生徒質問紙]

□75 普通の授業では、本やインターネットを使って、グループで調べる活動をよく行っていると思いますか



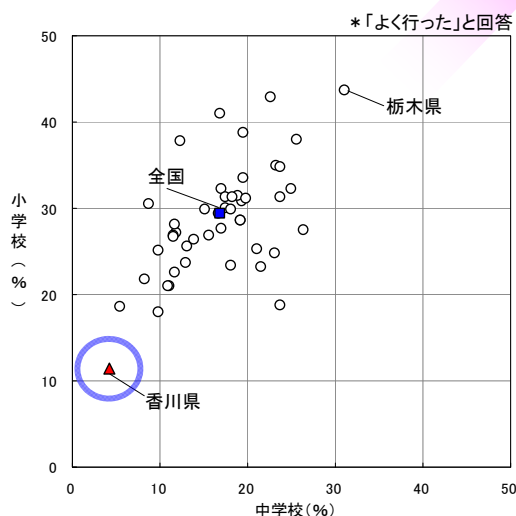
【経年変化】

■44/38 調査対象児童生徒に対して、前年度までに、児童生徒に対して、本やインターネットなどの資料の調べ方を身に付けるよう指導しましたか

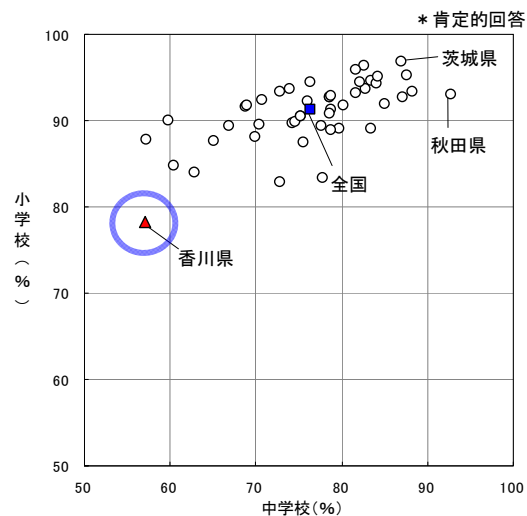


資料の調べ方を身に付ける指導 [学校質問紙]

■44/38 調査対象児童生徒に対して、前年度までに、児童生徒に対して、本やインターネットなどの資料の調べ方を身に付けるよう指導しましたか



- ▲小中学校ともに極めて下位にあり、全国をそれぞれ17.8%、12.7%下回る。
・最上位県との差は、小学校が32.2%、中学校が26.9%。



- ▲小中学校ともに極めて下位にあり、全国をそれぞれ13.1%、19.3%下回る。
・最上位県との差は、小学校が18.6%、中学校が35.7%。

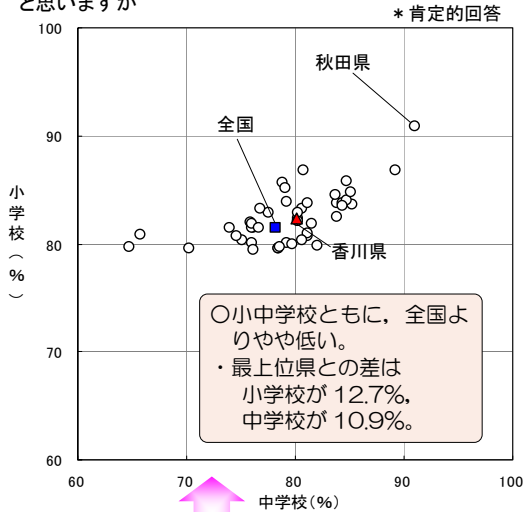
●「子どもが自分の考えを発表できる授業をする」ことについて

- △「普通の授業で自分の考えを発表する機会が与えられていると思う」と回答している児童生徒の割合は、小中学校ともに、全国と比較してやや低い。
- 「児童生徒の発言や活動の時間を確保した授業をよく行った」と回答している学校の割合は、小中学校ともに全国的に見て下位にあるが、H24と比較して小中ともに増加している。
- △「児童生徒に対して、資料を使って発表ができるようよく指導を行った」と回答している学校の割合は、小中学校ともに全国的に見て下位にあるが、小中学校ともに増加傾向にある。
- △児童生徒の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をよく行った小学校の割合は、全国的に見て下位にあるが、H24と比較して増加している。
- 発言や活動の時間の確保、資料を使って発表できるように指導を積極的に行っている最上位県との差は、いずれも大きい。**

発表する機会

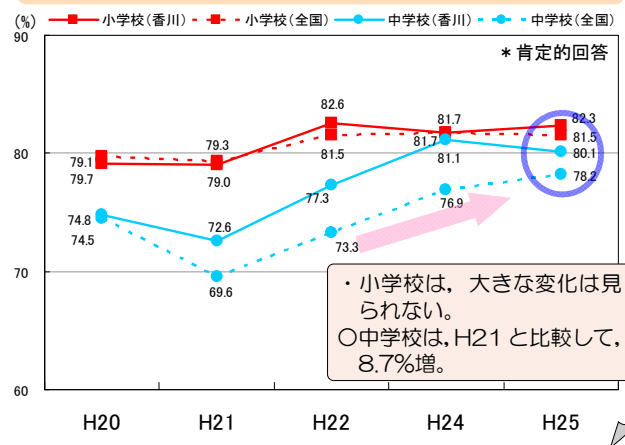
[児童生徒質問紙]

□76 普通の授業で自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか



【経年変化】

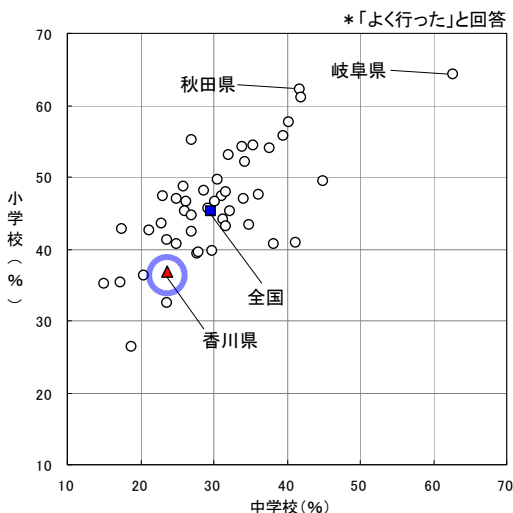
□76 普通の授業で自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか



発言や活動の時間を確保した授業

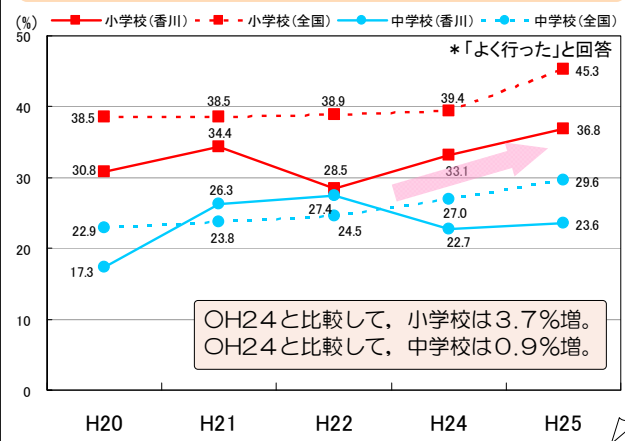
[学校質問紙]

■38/32 調査対象児童生徒に対して、前年度までに、児童生徒の発言や活動の時間を確保して授業を進めましたか



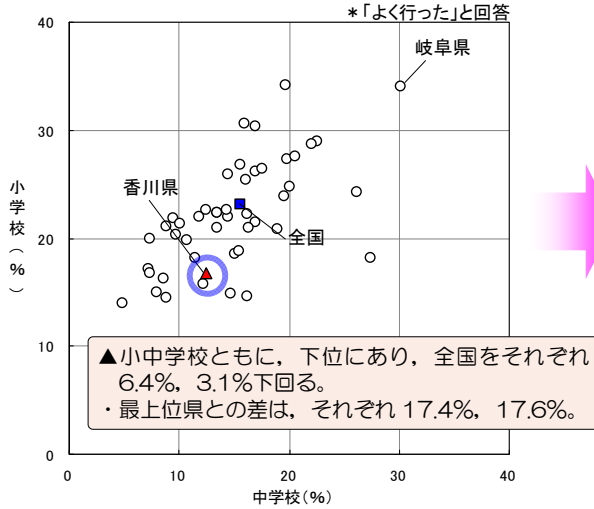
【経年変化】

■38/32 調査対象児童生徒に対して、前年度までに、児童生徒の発言や活動の時間を確保して授業を進めましたか



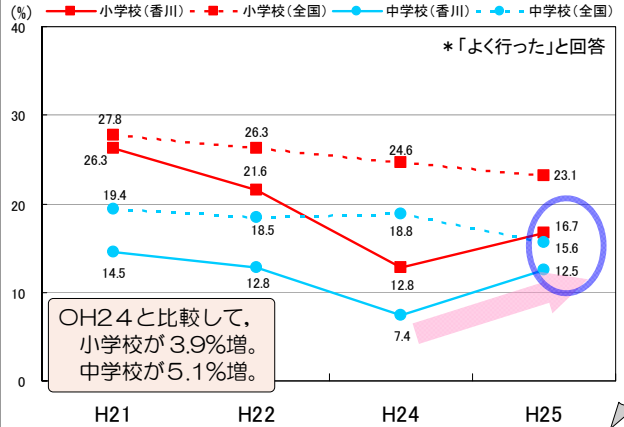
資料を使って発表ができるための指導 [学校質問紙]

■45/39 調査対象児童生徒に対して、前年度までに、児童生徒に対して、資料を使って発表ができるよう指導しましたか



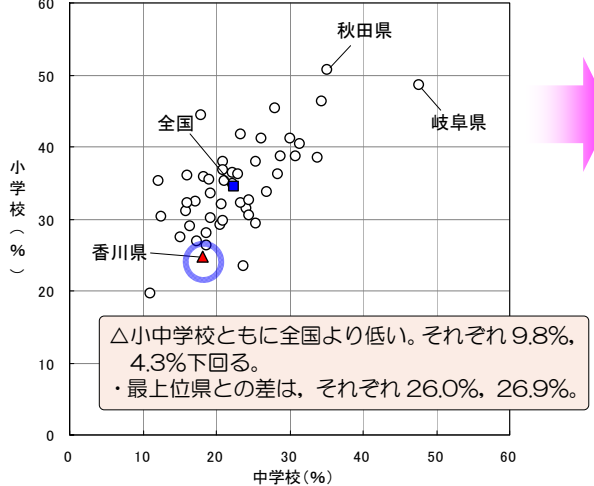
【経年変化】

■45/39 調査対象児童生徒に対して、前年度までに、児童生徒に対して、資料を使って発表ができるよう指導しましたか



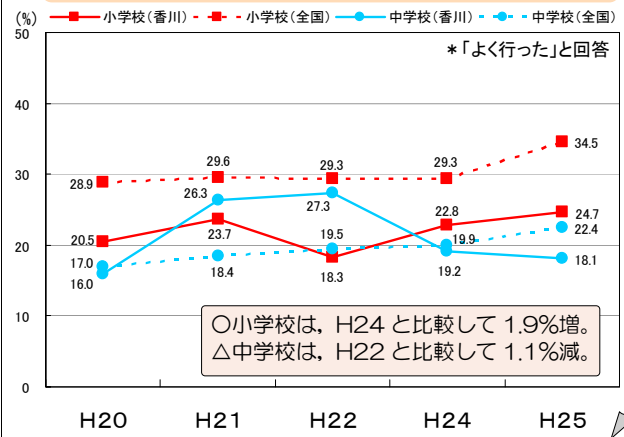
思考を深める発問・指導 [学校質問紙]

■37/31 調査対象児童生徒に対して、前年度までに、児童生徒の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか



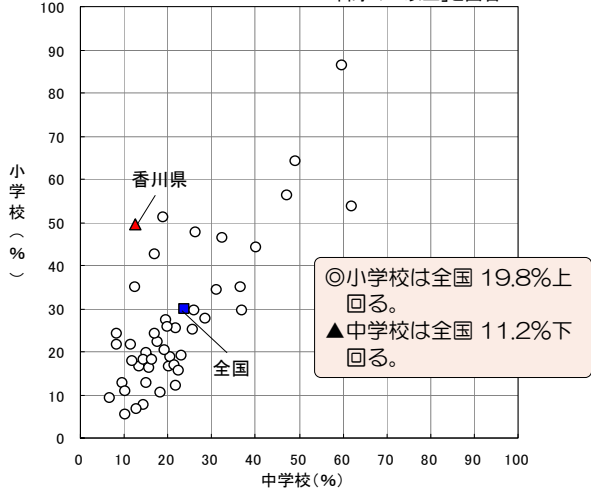
【経年変化】

■37/31 調査対象児童生徒に対して、前年度までに、児童生徒の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか



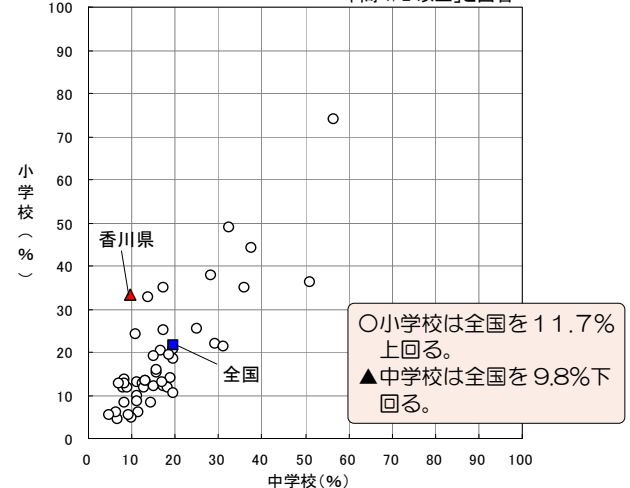
習熟の遅いグループへの少人数指導 [学校質問紙]

■61/54 習熟の遅いグループに少人数指導を行い、習得できるようにしましたか



習熟の早いグループへの少人数指導 [学校質問紙]

■62/55 習熟の早いグループに少人数指導を行い、習得できるようにしましたか



「交流活動を通して互いに高めあう授業をする」ことについて

△普段の授業において、友達と（生徒）の間で話し合う活動をよく行っていると回答している児童生徒の割合は、全国と比較して小学校はやや低く、中学校は下位にあるが、H24と比較して増加傾向にある。

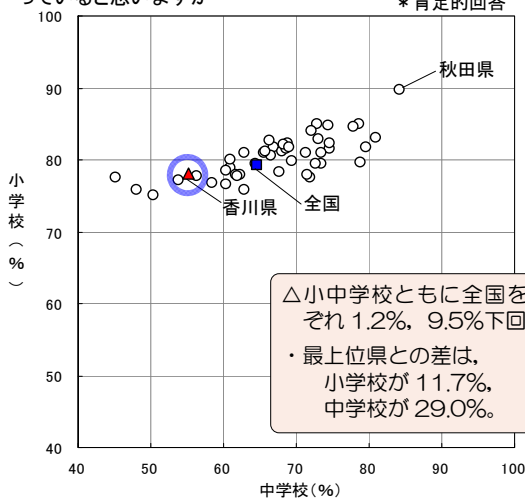
●全国的に中学校の取組にばらつきが見られるが、特に秋田県においては、中学校においても、話し合う活動がよく行われていることがうかがえる。

△普段の授業において、学級やグループで話し合う活動をよく行っていると回答している児童生徒の割合は、全国的に見て小中学校ともに下位にある。

話し合う活動

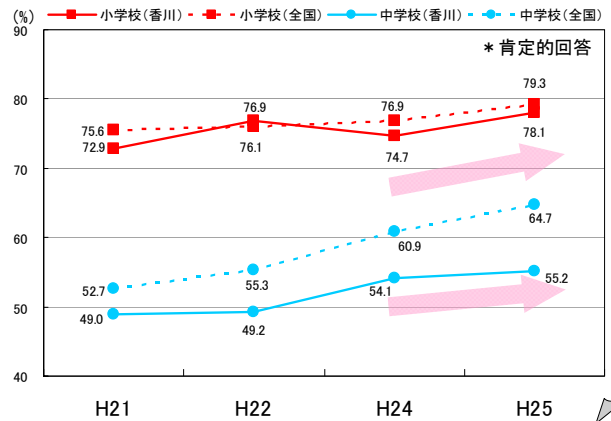
[児童生徒質問紙]

□77 普段の授業では、友達と（生徒）の間で話し合う活動をよく行っていると思いますか



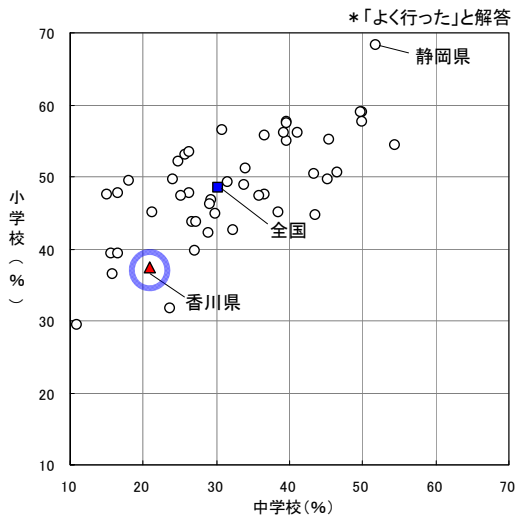
【経年変化】

□77 普段の授業では、友達と（生徒）の間で話し合う活動をよく行っていると思いますか

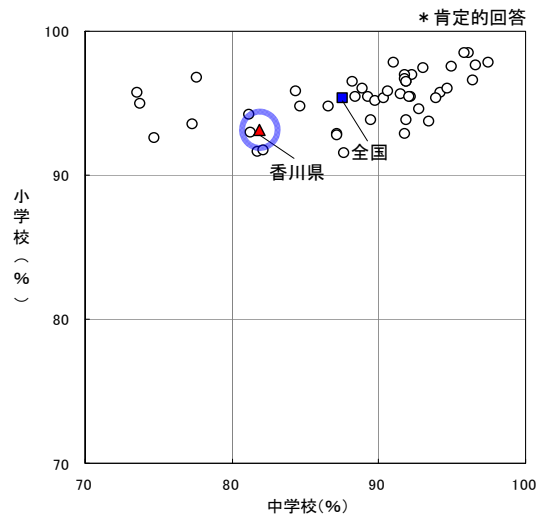


○小学校は、H24と比較して4.6%増。
○中学校は、1.1%増。

■43/37 学級やグループで話し合う活動を授業などで行っていましたが



△小中学校とも全国をそれぞれ11.0%、9.4%下回る。
・最上位県との差は、
小学校が9.3%、
中学校が8.5%。



△小中学校ともに、全国をそれぞれ2.2%、5.7%下回る。
・最上位県との差は、
小学校が0.7%、
中学校が7.6%。



② 「Action2 学習意欲向上のための指導」に関する内容

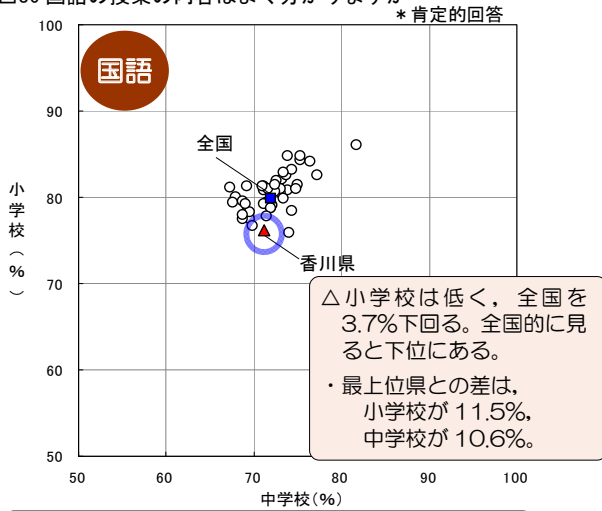
※ ●は Action2 で示された手立て

● 「子どもの実態に応じて、できる喜びやわかる楽しさを味わえる授業を工夫する」ことについて

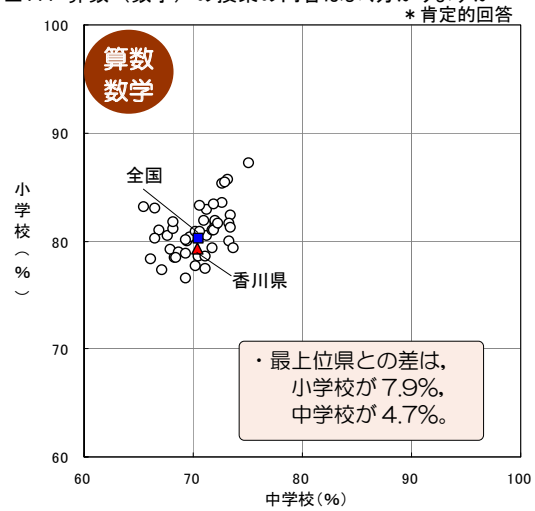
□□の授業の内容はよく分かる

[児童生徒質問紙]

□86 国語の授業の内容はよく分かりますか



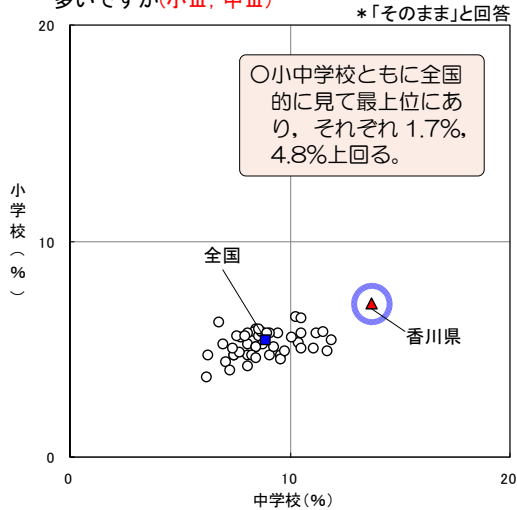
□111 算数（数学）の授業の内容はよく分かりますか



授業の中で分からないことがあったとき

[児童生徒質問紙]

□83 授業の中で分からないことがあったら、どうすることが多いですか(小Ⅲ, 中Ⅲ)



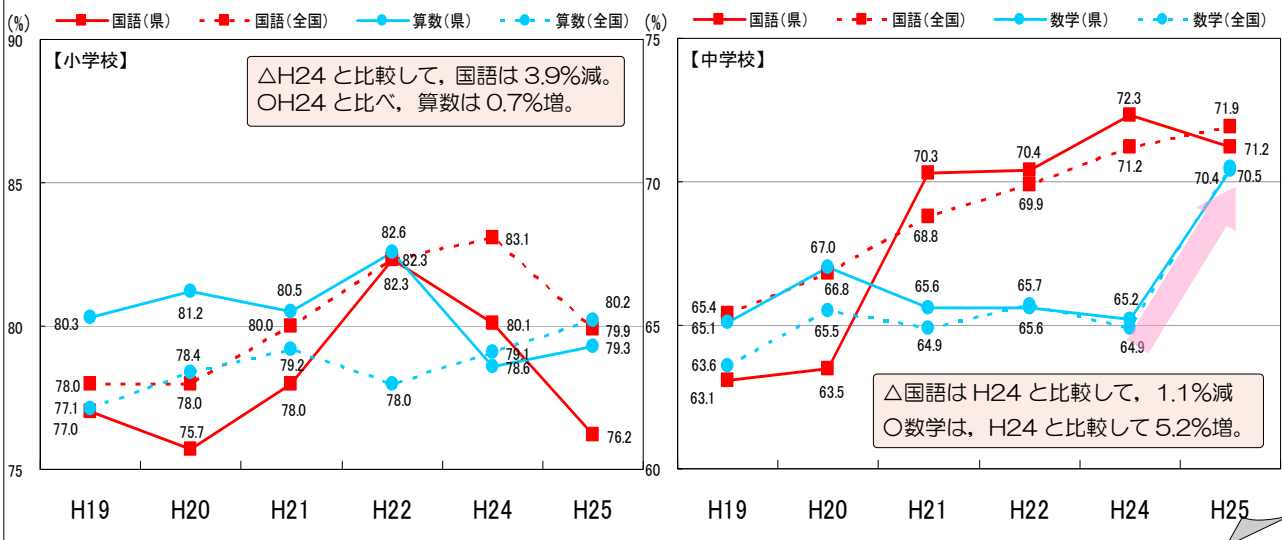
△ 小学校国語において、授業の内容がよく分かると回答している児童の割合が、全国的に見て下位にある。

- ・ 中学校国語、小学校算数、中学校数学において、授業の内容がよく分かると回答している児童生徒の割合は全国とほぼ同等である。
- ・ 経年変化を見ると、中学校数学において、授業の内容がよく分かると回答している生徒が増加している。

▲ 授業の中で分からないことがあった時、「そのままにする」と回答した児童生徒の割合が、全国的に見て極めて高い。

【経年変化】

□86,111 授業の内容がよく分かりますか (肯定的回答)



③ 「Action3 学習方法を身に付けるための指導」に関する内容

※ ●はAction3で示された手立て

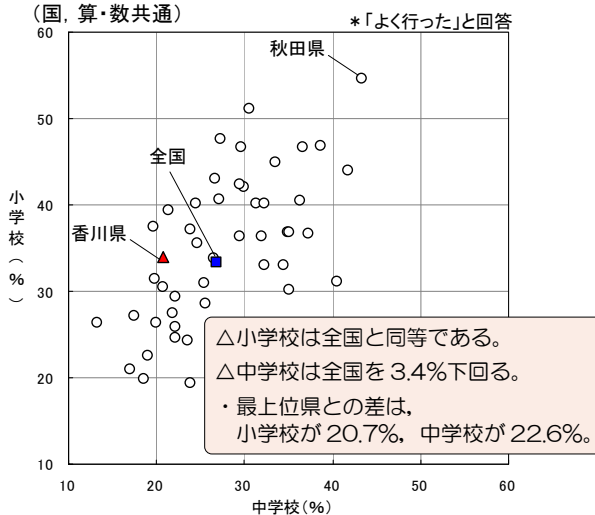
● 「授業がわかるための家庭での学習方法（予習や復習の仕方）を教える」ことについて

・「家庭での学習方法等を具体例を挙げながらよく教えた」と回答している学校の割合は、全国と比較して中学校が低くなっている。

●最上位県との隔たりは大きく、中学校は本県の約2倍となっている。最上位県においては、各学校において、家庭での学習方法を具体的に指導していることがうかがえる。

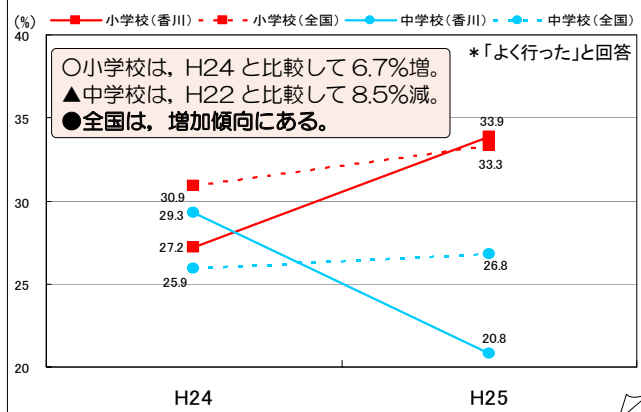
家庭での学習方法等に関する指導 [学校質問紙]

■104/93 調査対象児童生徒に対して、前年度までに、家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えましたか
(国、算・数共通)



【経年変化】

■104/93 調査対象児童生徒に対して、前年度までに、家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えましたか
(国、算・数共通 ※H22～)



● 「家庭での学習に生かせるノートの書き方、まとめ方を教える」ことについて

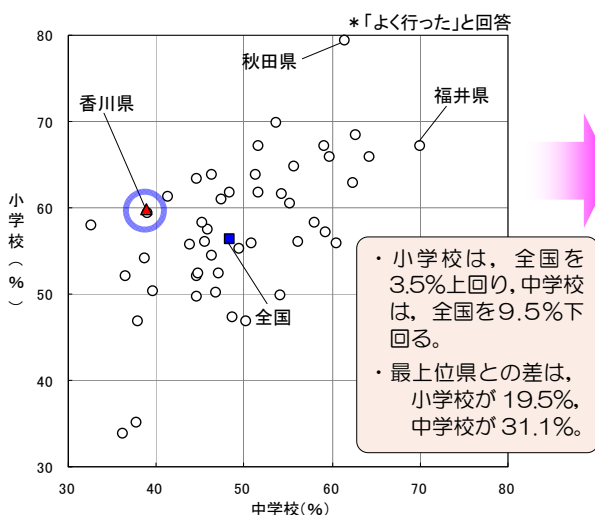
△学習方法（適切にノートをとるなど）に関する指導をよく行ったと回答している中学校の割合は、全国と比較して低くなっている。

・経年変化を見ると、H24と比較して小中学校ともに高くなっている。

●最上位県と本県の差は、小中学校ともに極めて大きい。最上位県においては、適切にノートをとるなど、学習方法に関する指導の充実がうかがえる。

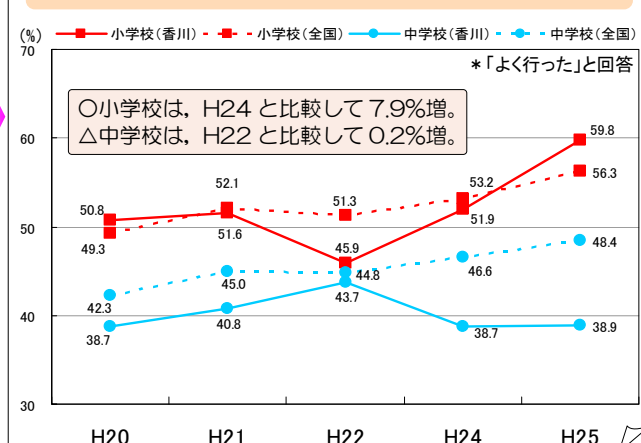
学習方法（適切にノートをとるなど）に関する指導 [学校質問紙]

■41/35 調査対象児童生徒に対して、前年度までに、学習方法（適切にノートをとるなど）に関する指導をしましたか



【経年変化】

■41/35 調査対象児童生徒に対して、前年度までに、学習方法（適切にノートをとるなど）に関する指導をしましたか



④ 「Action4 学習習慣形成のための指導」に関する内容

※●はAction4で示された手立て

●「宿題は、内容（授業との関連）や量を考えて出し、提出させた宿題は必ず点検する」ことについて

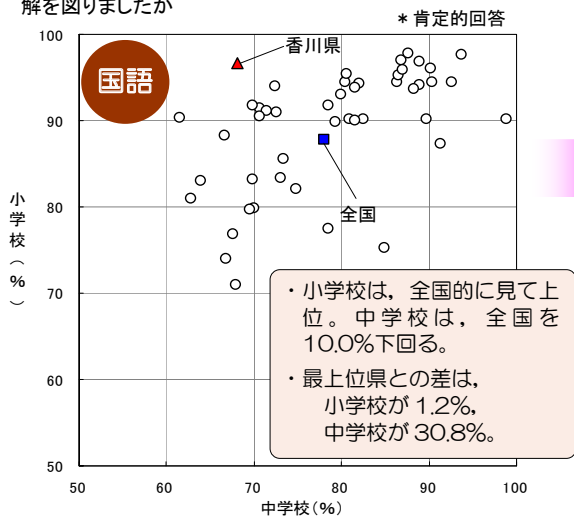
○「家庭学習の課題の与え方について、教職員で共通理解を図った」と回答している学校の割合は、小学校で国語、算数ともに全国的に見て上位である。中学校では、国語、数学ともに全国を大きく下回る。

●全国は国語、算数・数学ともに増加傾向にあり、全国的に家庭学習の課題の与え方について、教職員で共通理解を図る学校が増加していることがうかがえる。また、上位県の中には、100%に近い結果となっている県もある。

家庭学習の課題の与え方についての共通理解

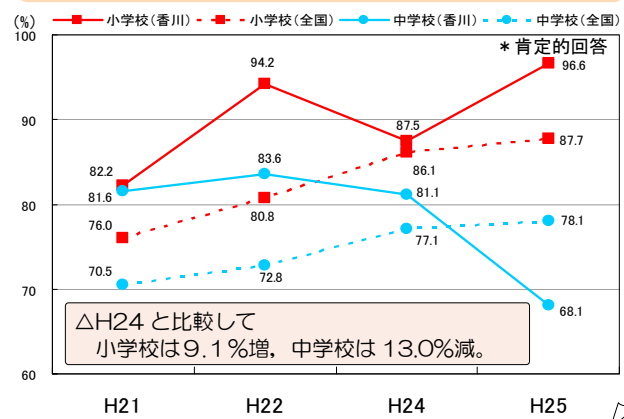
[学校質問紙]

■97/86 調査対象児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、教職員で共通理解を図りましたか

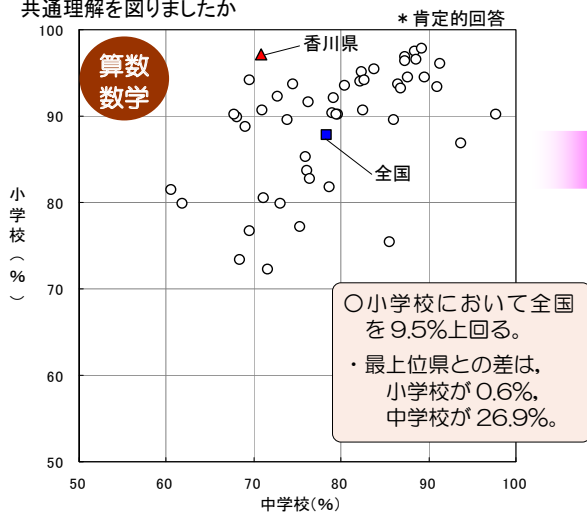


【経年変化】

■97/86 調査対象児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、教職員で共通理解を図りましたか

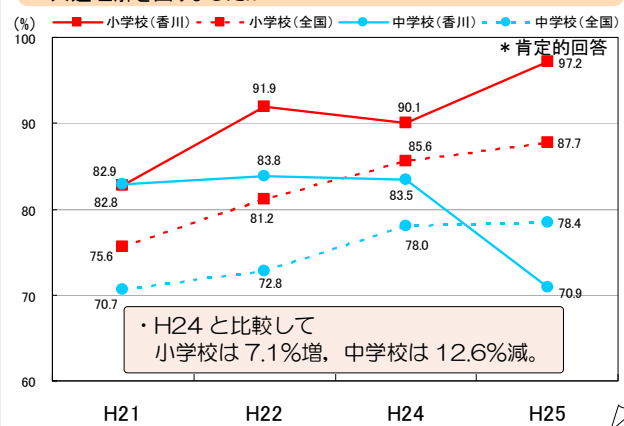


■101/90 調査対象児童生徒に対する算数(数学)の指導として、前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、教職員で共通理解を図りましたか



【経年変化】

■101/90 調査対象児童生徒に対する算数(数学)の指導として、前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、教職員で共通理解を図りましたか



○「家庭学習の課題（長期休業の課題除く）について、評価・指導をよく行った」と回答している学校の割合は、小学校算数は全国と同等となっているが、小学校国語と中学校はいずれも全国を上回っている。

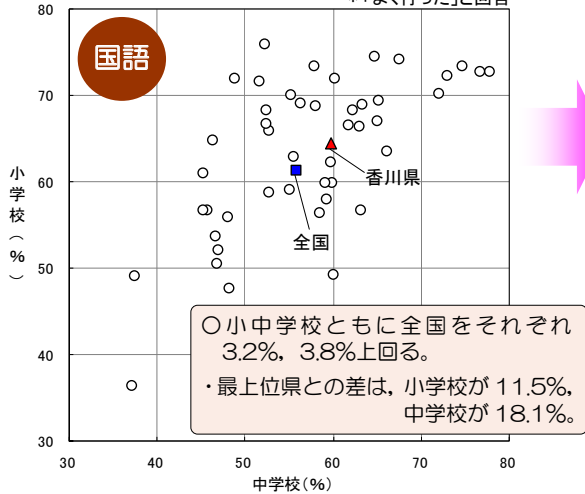
●小中学校、各教科ともに、最上位県との差は、大きい。

- ・小学校国語及び中学校数学で減少したものの、全国的に増加傾向にあり、家庭学習の課題について、評価・指導をよく行う学校が増加していることがうかがえる。

家庭学習の課題についての評価・指導

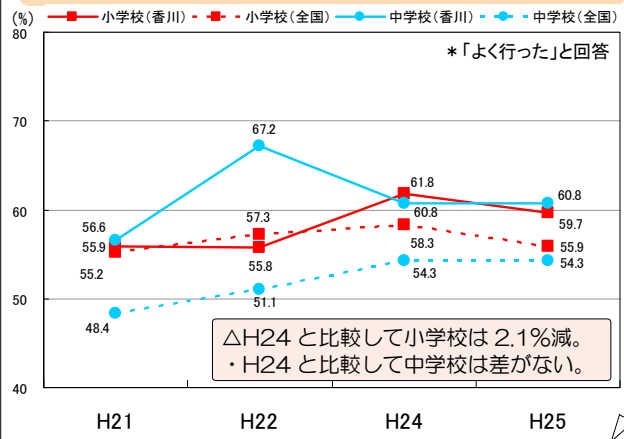
[学校質問紙]

■98/87 調査対象児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、家庭学習の課題（長期休業の課題除く）について、評価・指導しましたか

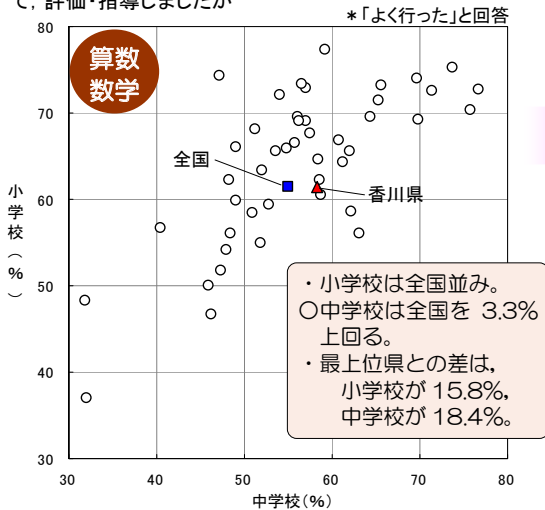


【経年変化】

■98/87 調査対象児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、家庭学習の課題（長期休業の課題除く）について、評価・指導しましたか

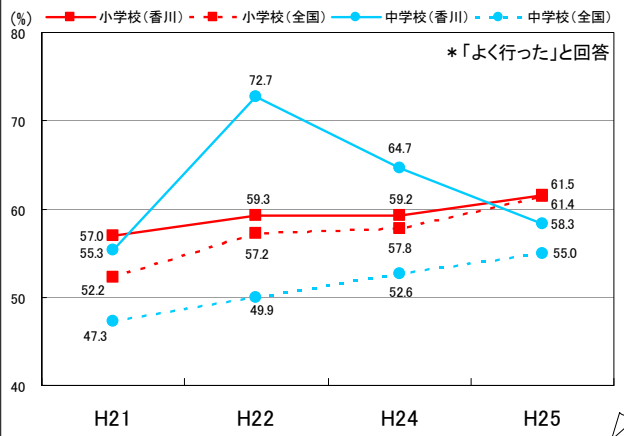


■102/91 調査対象児童生徒に対する算数(数学)の指導として、前年度までに、家庭学習の課題（長期休業の課題除く）について、評価・指導しましたか



【経年変化】

■102/91 調査対象児童生徒に対する算数(数学)の指導として、前年度までに、家庭学習の課題（長期休業の課題除く）について、評価・指導しましたか



「学習計画を立てさせ、後で振り返りをさせる」ことについて

・「家で自分で計画を立てて勉強している」と回答している児童生徒の割合は、全国と比較して、小中学校ともに、やや低くなっている。小中学校ともにH24と比較してやや増加している。

▲「保護者に対して家庭学習を促すような働きかけをよく行った」と回答している割合は、小中学校ともに全国を下回っている。

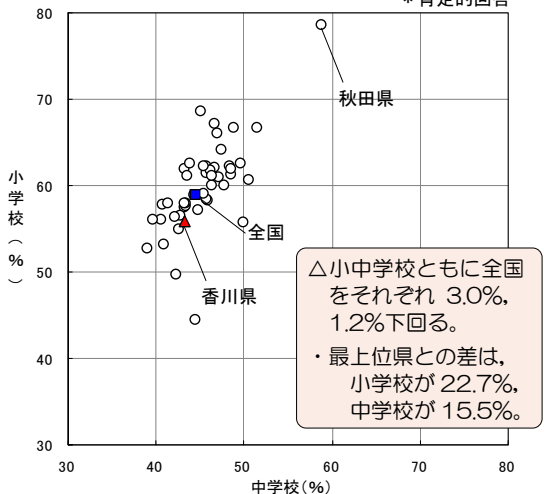
●最上位県の増加の様子から、学校における継続的な取組がうかがえる。本県においても、保護者と連携し、教職員で共通理解を図り、児童生徒が自分で計画を立てて主体的に学習に取り組む態度を育成するための継続的な取組が求められる。

計画的な勉強

[児童生徒質問紙]

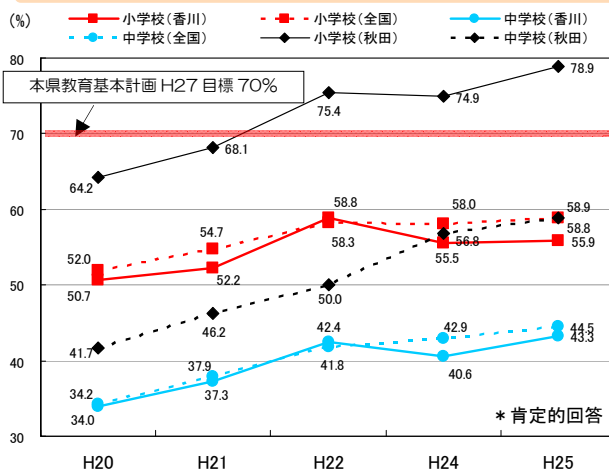
□39家で自分で計画を立てて勉強をしていますか

*肯定的回答



【経年変化】

□39家で自分で計画を立てて勉強をしていますか



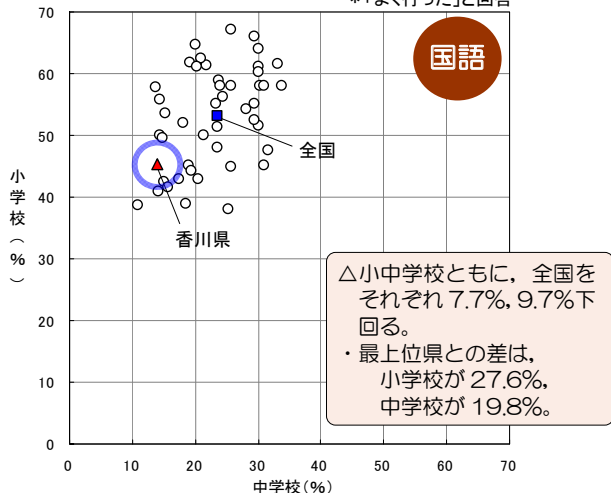
△H24と比較して、小中学校ともにそれぞれ、0.4%、2.7%増加。
・最上位県の中学校は、H20の調査開始から17.2%増加している。

保護者への家庭学習を促す働きかけ

[学校質問紙]

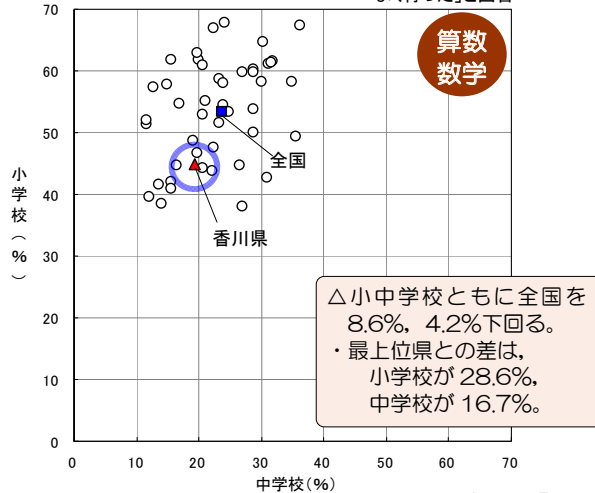
■96/85調査対象児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、保護者に対して児童(生徒)の家庭学習を促すような働きかけを行いましたか

*「よく行った」と回答



■100/89調査対象児童生徒に対する算数(数学)の指導として、前年度までに、保護者に対して児童(生徒)の家庭学習を促すような働きかけを行いましたか

*「よく行った」と回答



(2) 学習に対する関心・意欲・態度や各教科の指導方法等

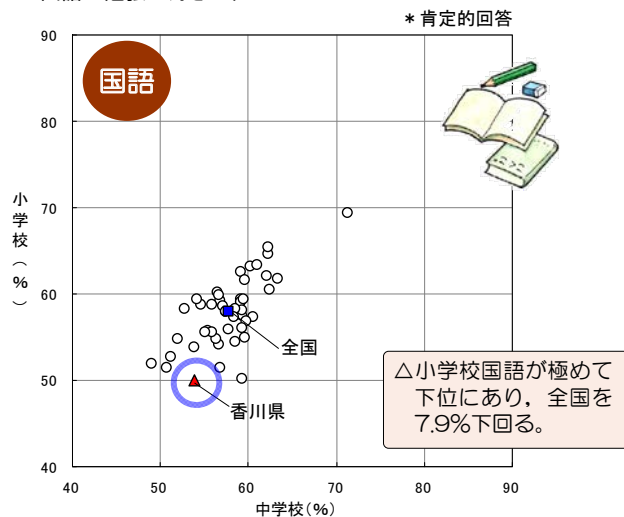
① 教科等についての関心

▲調査対象教科の勉強は好きと回答している児童生徒の割合は、全ての調査区分で全国を下回る。小学校国語は、全国的に見ても下位にある。

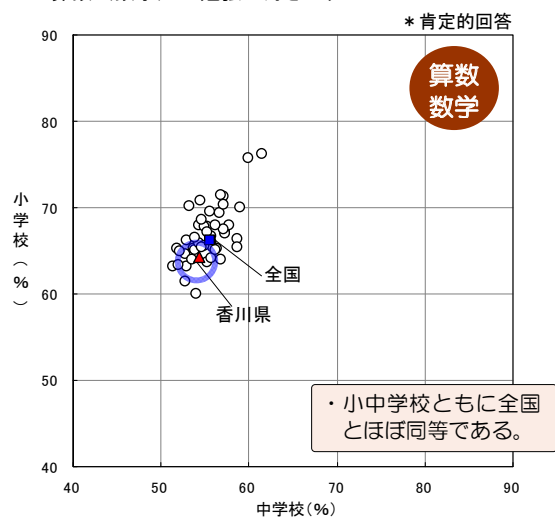
□□の勉強は好き

[児童生徒質問紙]

□84 国語の勉強は好きですか



□109 算数（数学）の勉強は好きですか

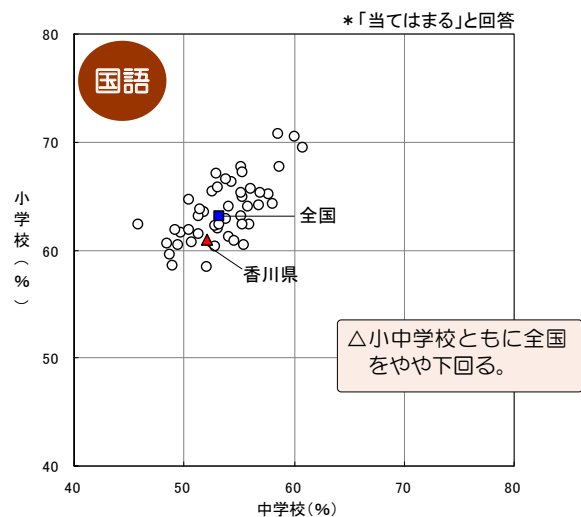


▲「調査対象教科の勉強は大切」と回答している児童生徒の割合は、全国と比較して、やや下回る。全国的に大きな差は見られない。

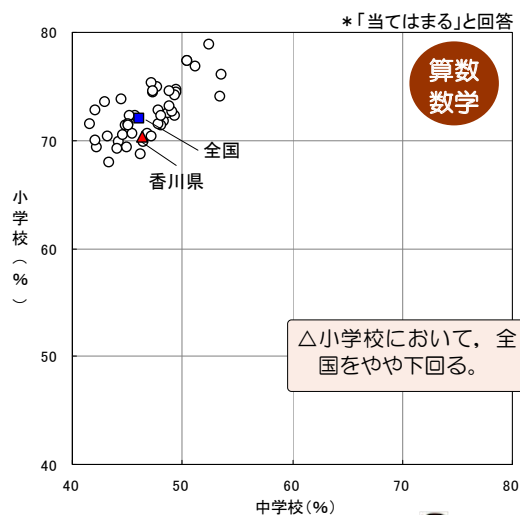
□□の勉強は大切

[児童生徒質問紙]

□85 国語の勉強は大切だと思いますか

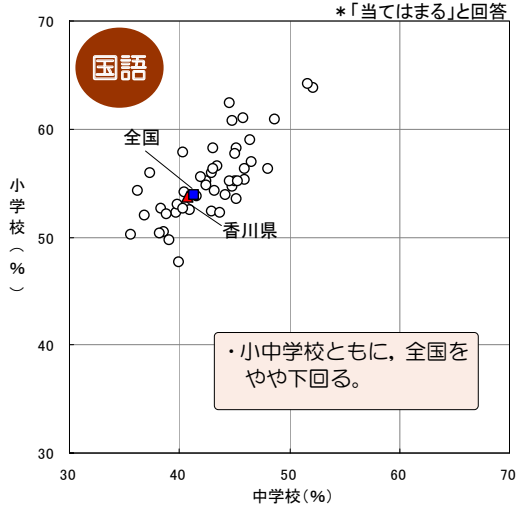


□110 算数（数学）の勉強は大切だと思いますか

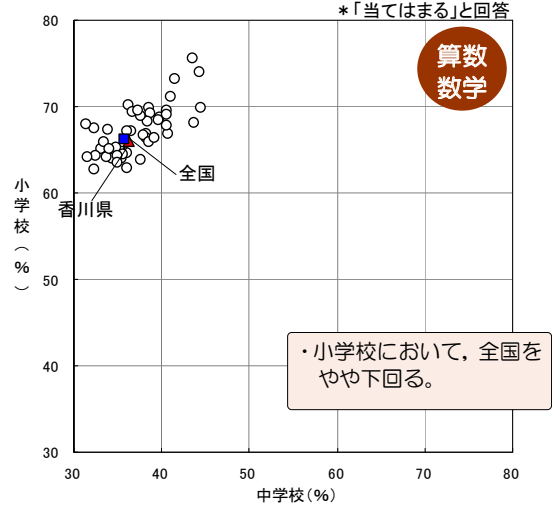


・「調査対象教科等の授業で学習したことは、将来、社会に出たとき（総合：普段の生活や社会に出たとき）に役立つと思う」と回答している児童生徒の割合は、全国をやや下回る、もしくは、ほぼ同等である。

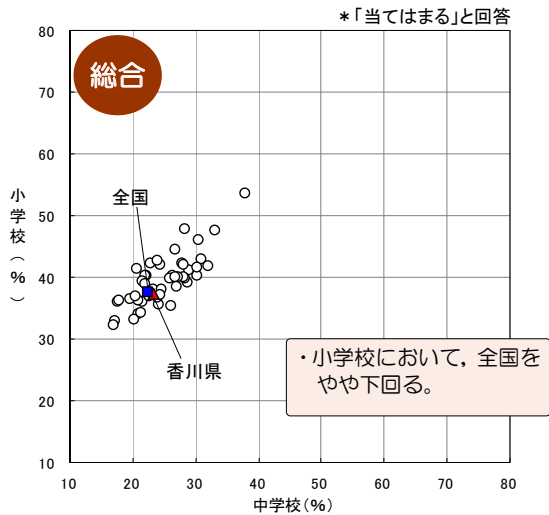
□88 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思いますか



□115 算数（数学）の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思いますか

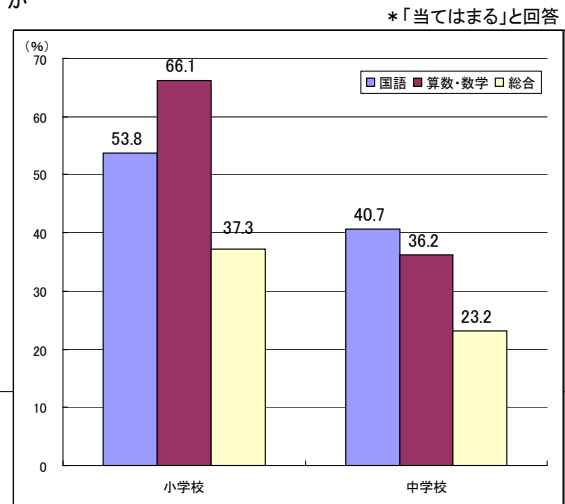


□73「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つと思いますか(小Ⅲ, 中Ⅲ)



・総合的な学習の時間は国語、算数・数学よりも、「普段の生活や社会に出たときに役に立つと思いますか」について、当てはまると回答した児童生徒の割合が低い。

「国語」「算数・数学」「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つと思いますか



[参考] 「総合的な学習の時間の目標」

中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編(平成 20 年9月より)

総合的な学習の時間の目標は、

- (1) 横断的・総合的な学習や探究的な学習を通すこと
- (2) 自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成すること
- (3) 学び方やものの考え方を身に付けること
- (4) 問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育てること
- (5) 自己の生き方を考えることができるようにすること

という五つの要素から構成されている。

この五つの要素のうち、(1)は、総合的な学習の時間に特有な学習の在り方を示している。すなわち、総合的な学習の時間においては、横断的・総合的な学習や探究的な学習を通すことが目標であり、これを前提にして、(2)(3)(4)に示された資質や能力及び態度を育成していくことを求めている。総合的な学習の時間では、これらの資質や能力及び態度を育成しつつ、(5)に示された自己の生き方を考えることができるようにすることを目指している。これらは、総合的な学習の時間を通して育成したい生徒の姿でもある。

各学校においては、(1)～(5)の目標の構成について十分に理解し、各学校において定める目標及び内容に反映させ、創意工夫して実践していくことが求められる。

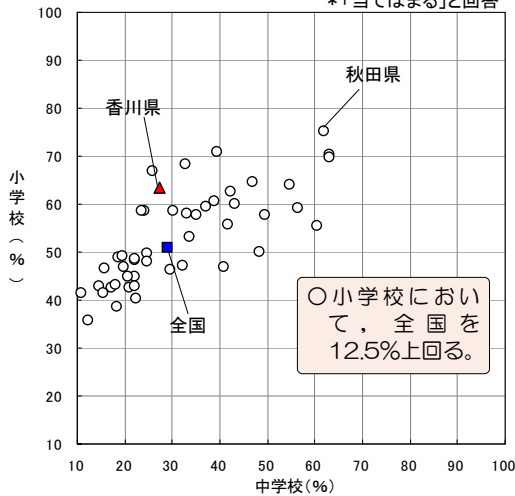
② 目標の提示や振り返る活動

はじめに目標が示されている

[児童生徒質問紙]

□79 普段の授業では、はじめに授業の目標が示されていると思いますか(小Ⅲ, 中Ⅲ)

*「当てはまる」と回答

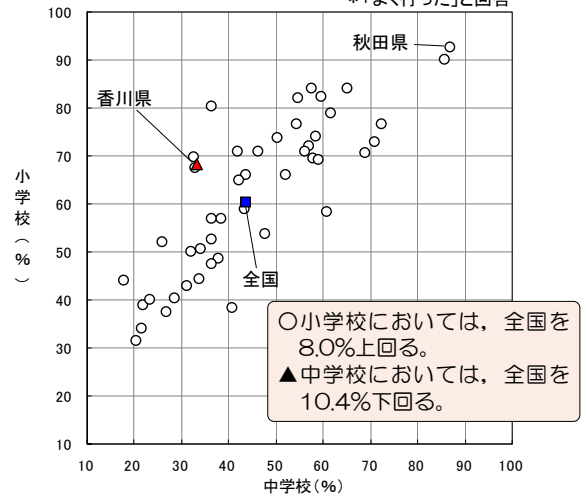


授業の冒頭で目標を示している

[学校質問紙]

■35/29 授業の冒頭で目標を児童生徒に示す活動を計画的に取り入れていましたか

*「よく行った」と回答

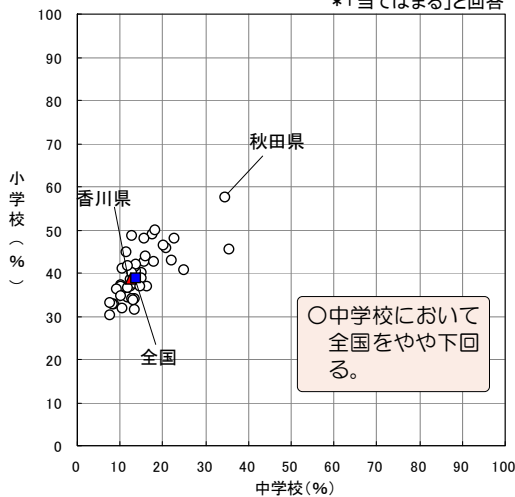


振り返る活動を行っている

[児童生徒質問紙]

□80 普段の授業では、最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていると思いますか(小Ⅲ, 中Ⅲ)

*「当てはまる」と回答

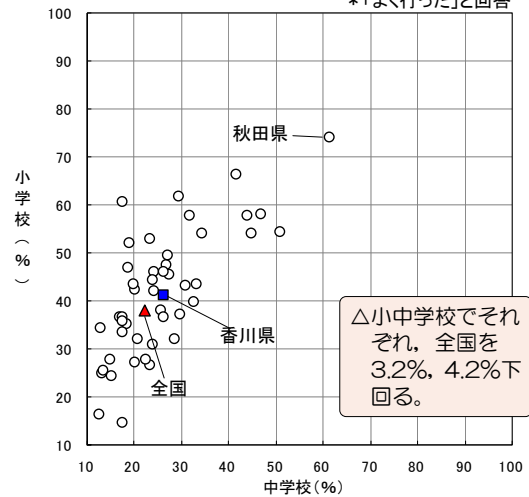


振り返る活動を取り入れた

[学校質問紙]

■36/30 授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れていましたか

*「よく行った」と回答



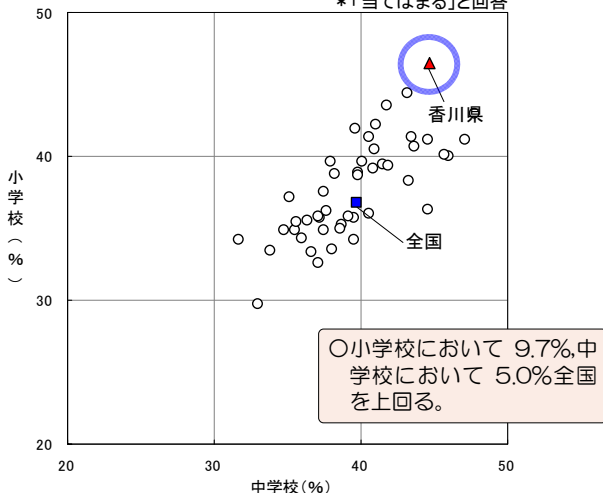
③ 書くことや読むこと / 文章を書かせる指導

感想文や説明文を書くのは難しい

[児童生徒質問紙]

□81 400字詰め原稿用紙2~3枚の感想文や説明文を書くのは難しいと思いますか

*「当てはまる」と回答



▲「400字詰め原稿用紙2~3枚の感想文や説明文を書くのは難しい」と回答している児童生徒は、全国的に見て上位にある。

▲小中学校ともに「説明したり、文章を書いたりすること、長い文章を読むことが難しい」と回答している児童生徒の割合は、全国と比較して高い。

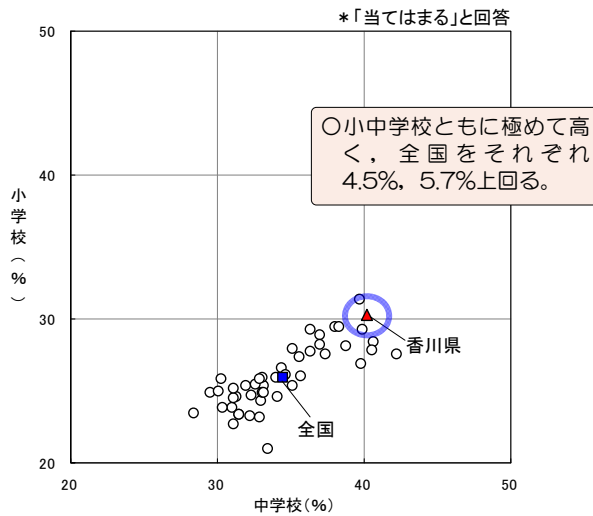
▲「生徒が調べたことを分かりやすく文章に書かせる指導をした」と回答している中学校の割合は、全国的に見て下位にある。



説明したり、文章を書いたりするのは難しい

[児童生徒質問紙]

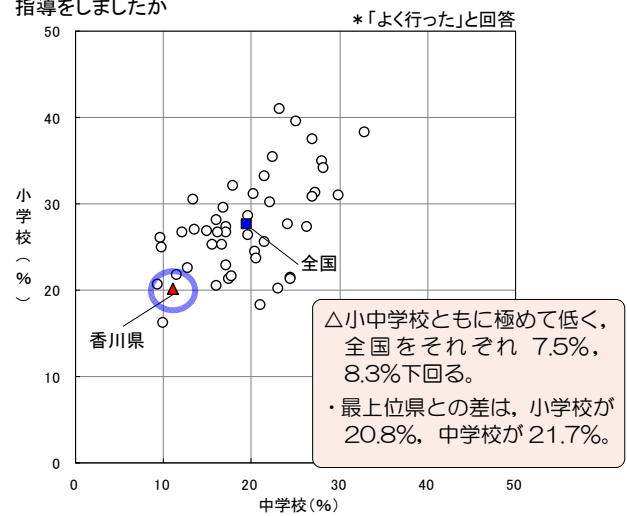
□82 学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章を書いたりするのは難しいと思いますか



分かりやすく文章に書かせる指導

[学校質問紙]

■46/40 調査対象児童生徒に対して、前年度までに、児童生徒が自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をしましたか



④ 国語の授業・指導について

△「話の組み立てを工夫していますか」「理由が分かるように書いていますか」「段落やまとまりごとに内容を理解しながら読んでいますか」という質問に肯定的に回答している児童生徒の割合は、全国と比較して低くなっている。

●学心上位県は、全国的に見て極めて上位にあり、全国と比較しても大きな隔りがある。

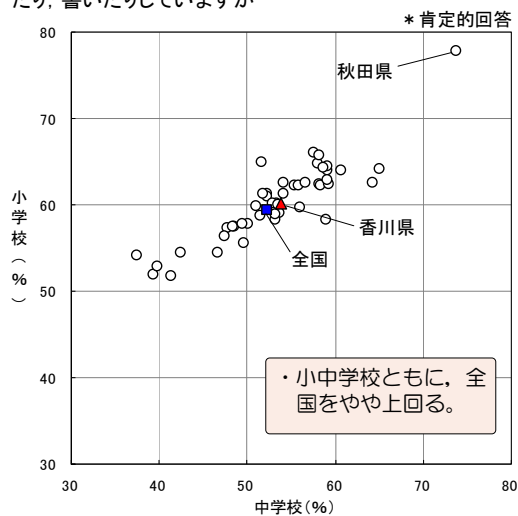
▲「目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業」を行っている学校は、中学校において下位にある。

▲「様々な文章を読む習慣を付ける授業」を行っている学校は、小学校において下位にある。

目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている

[児童生徒質問紙]

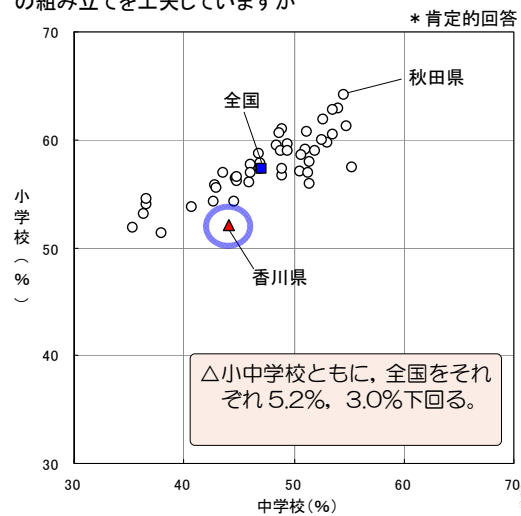
□89 国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか



話の組み立てを工夫している

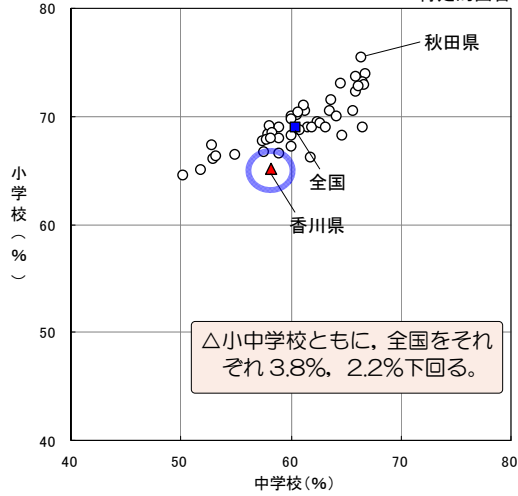
[児童生徒質問紙]

□90 国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝えるように話の組み立てを工夫していますか



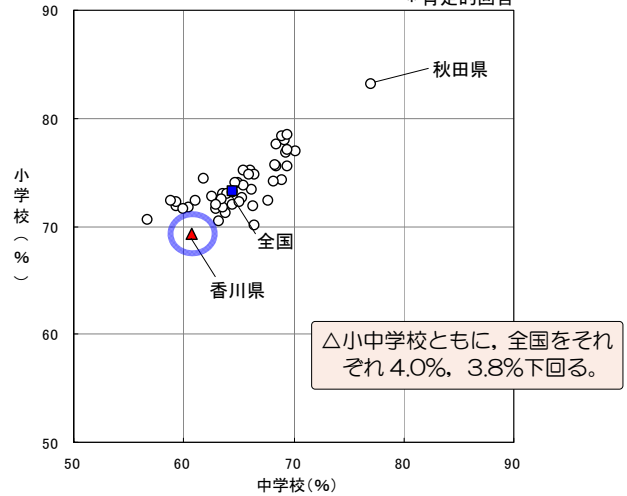
理由が分かるように書いている [児童生徒質問紙]

□91 国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気をつけて書いていますか



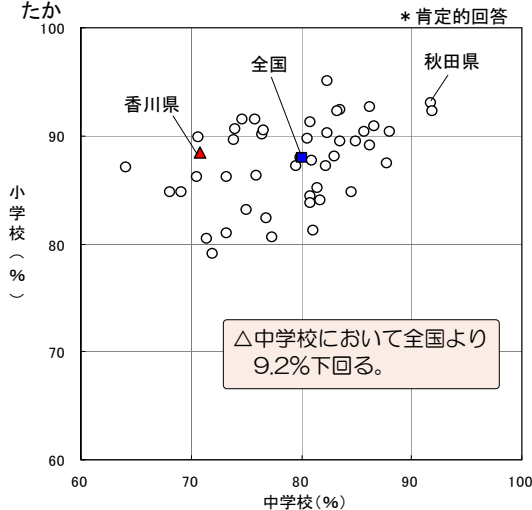
段落や話のまとめごとに内容を理解しながら読んでいます [児童生徒質問紙]

□92 国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめごとに内容を理解しながら読んでいますか



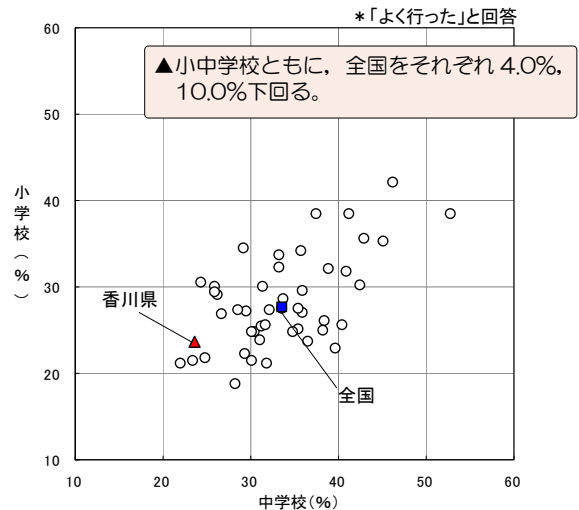
目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業 [学校質問紙]

■73/66 調査対象児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行いましたか



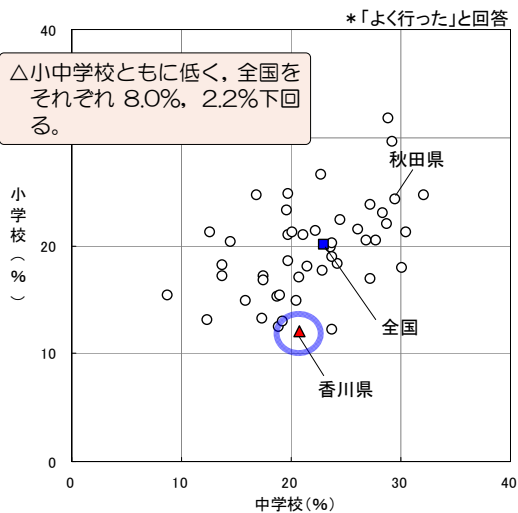
書く習慣を付ける授業 [学校質問紙]

■74/67 調査対象児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、書く習慣を付ける授業を行いましたか



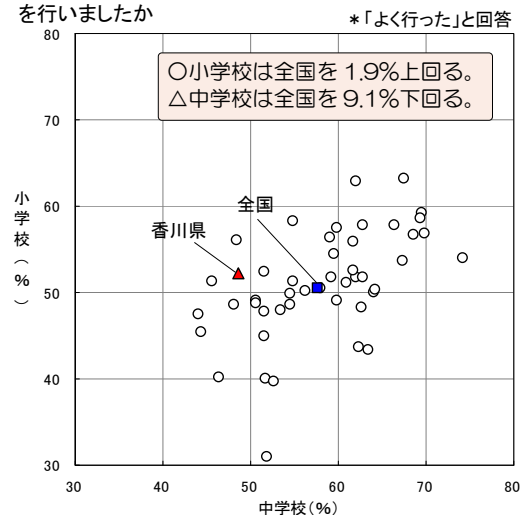
様々な文章を読む習慣を付ける授業 [学校質問紙]

■75/68 調査対象児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、様々な文章を読む習慣を付ける授業を行いましたか



漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業 [学校質問紙]

■76/69 調査対象児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行いましたか

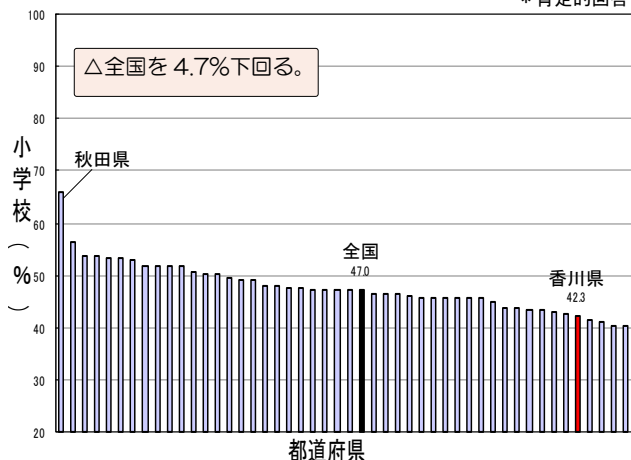


<小学校>

話し合いの仕方 [児童質問紙]

□93 国語の授業で話し合いをするときに、司会者として発言を整理してまとめたり、参加者として立場や理由を明らかにして発言したりしていますか(小I)

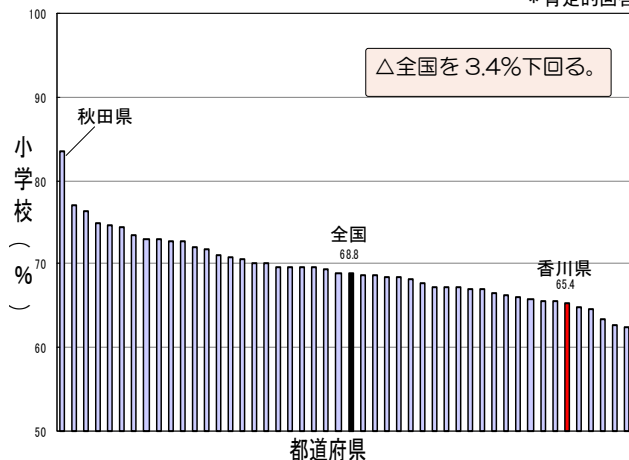
* 肯定的回答



読み手に伝わるように書く [児童質問紙]

□94 国語の授業で、調べたことや自分の考えたことを読み手に伝わるように気を付けながら書いていますか(小I)

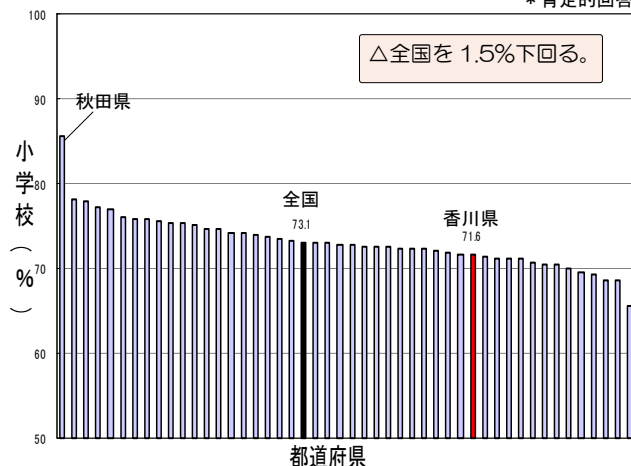
* 肯定的回答



目的に応じて登場人物の気持ちを考える [児童質問紙]

□95 国語の授業で物語を読むときに、目的に応じて登場人物の気持ちを考えていますか(小I)

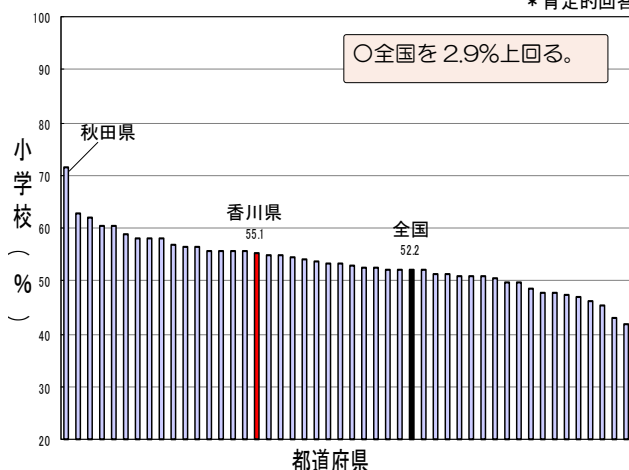
* 肯定的回答



文章の内容とグラフを合わせて考える [児童質問紙]

□96 国語の授業で、必要な情報を得るために、文章の内容とグラフなどを合わせて考えていますか(小I)

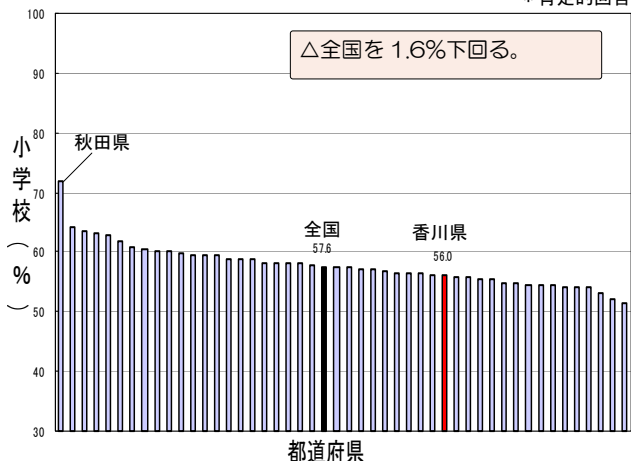
* 肯定的回答



分かりやすい文章 [児童質問紙]

□97 国語の授業で、分かりやすい文章を書くために、2つ以上の文を1つの文にまとめて書いたり、1つの長い文を2つの文に書き分けたりしていますか(小I)

* 肯定的回答



○国語の授業で「必要な情報を得るために、文章の内容とグラフなどを合わせて考えている」と回答した児童の割合は、全国を上回る。

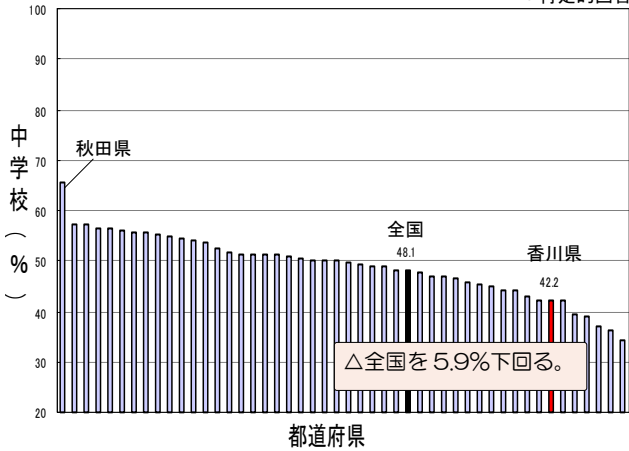
▲「話し合いをするときに司会者として発言を整理してまとめている」「読み手に伝わるように気を付けながら書いています」と回答した児童の割合は、全国と比較して下位にある。

△「目的に応じて登場人物の気持ちを考える」「分かりやすい文章を書くために、1つの文にまとめて書いたり、2つの文に書き分けたりしている」と回答している児童の割合は、全国と比べて下位にある。

<中学校>

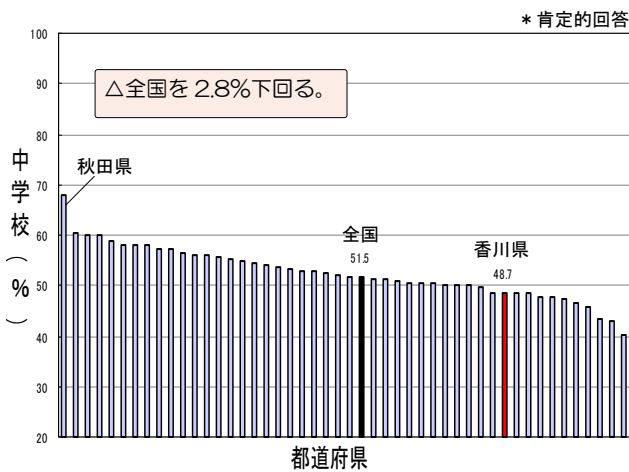
聞き手のことを考えた資料 [生徒質問紙]

□98 国語の授業で調べたことなどを発表するときに、聞き手のことを考えて資料の作り方を工夫していますか(中I) *肯定的回答



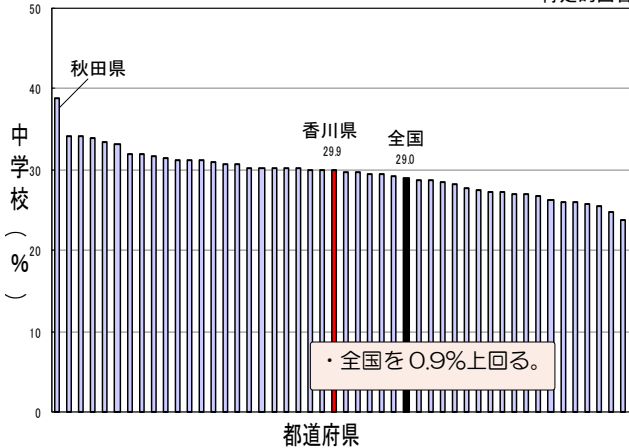
事実が意見かに気を付けて読む [生徒質問紙]

□100 国語の授業で本や資料を読むとき、書かれている内容が事実か意見かに気を付けて読んでいますか(中I) *肯定的回答



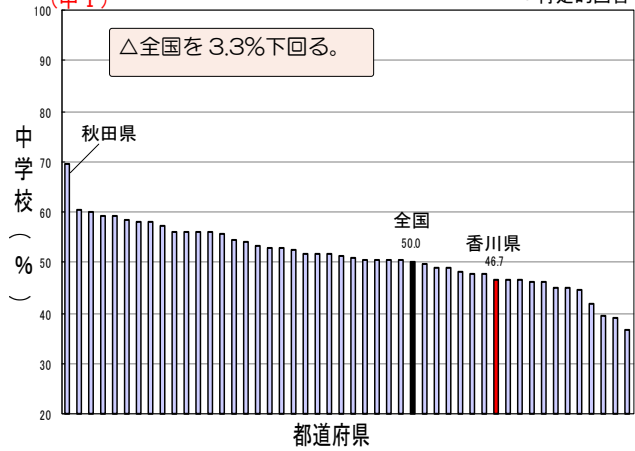
古典は好き [生徒質問紙]

□102 古典は好きですか(中I) *肯定的回答



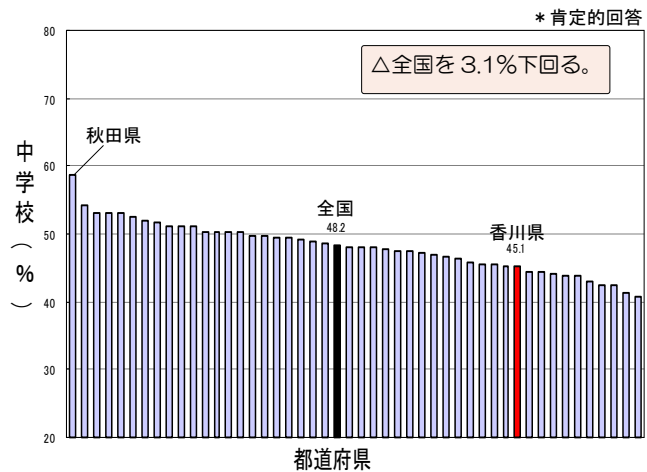
意見の根拠として取り上げる資料 [生徒質問紙]

□99 国語の授業で意見を書くとき、意見の根拠として取り上げる資料や具体例が適切かどうかをよく考えて使っていますか(中I) *肯定的回答



辞書を引いて言葉の意味を理解する [生徒質問紙]

□101 日常生活や国語の授業で分からない言葉に出会ったとき、辞書を引いて言葉の意味を理解するようにしていますか(中I) *肯定的回答



○「古典は好き」と回答している生徒の割合は、全国よりもやや上回っている。

▲「聞き手のことを考えて資料の作り方を工夫している」と回答した生徒の割合は、全国的に見て、下位にある。

△「意見を書くとき、具体例が適切かどうかをよく考えている」「本や資料を読むとき、書かれている内容が事実か意見かに気を付けて読んでいる」「分からない言葉に出会ったとき、辞書を引いて言葉の意味を理解するようにしている」と回答している生徒の割合は、全国平均と比較していずれも下回っている。

⑤ 算数・数学の授業・指導について

▲「数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか」という質問に肯定的に回答している生徒の割合は、全国的に見て下位にある。

・上記以外の質問については、全国と比較して大きな差はない。

▲「算数(数学)の指導として、前年度までに計算問題などの反復練習をする授業を行った」と回答している学校の割合は、小中学校ともに下位にある。

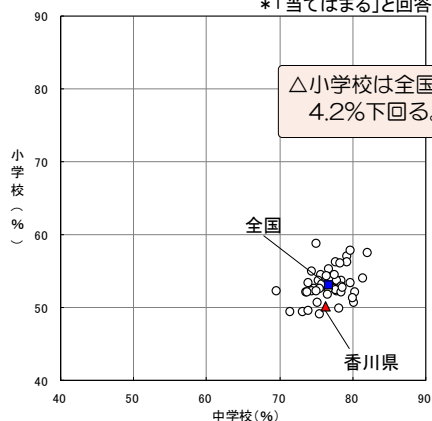
新しい問題を解いてみたい(小) 数学ができるようになりたい(中)

[児童生徒質問紙]

□112 小:算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか

中:数学ができるようになりたいと思いますか

*「当てはまる」と回答

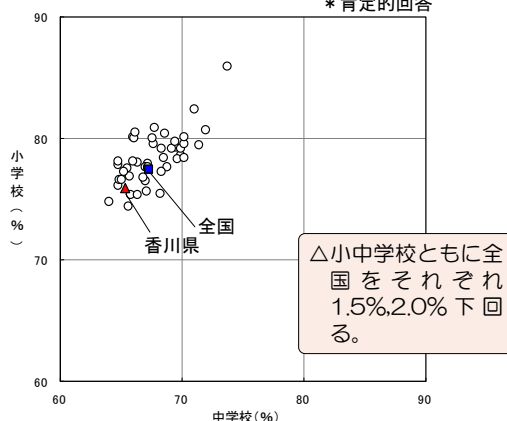


解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考える

[児童生徒質問紙]

□113 算数(数学)の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか

*肯定的回答

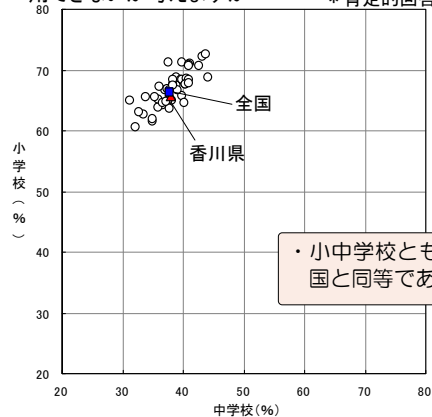


普段の生活の中で活用できないか考える

[児童生徒質問紙]

□114 算数(数学)の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか

*肯定的回答

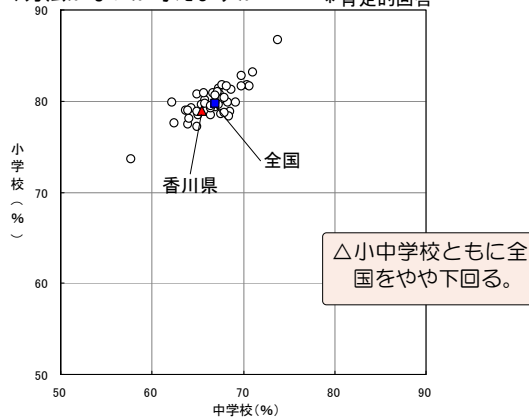


もっと簡単に解く方法がないか考える

[児童生徒質問紙]

□116 算数(数学)の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか

*肯定的回答

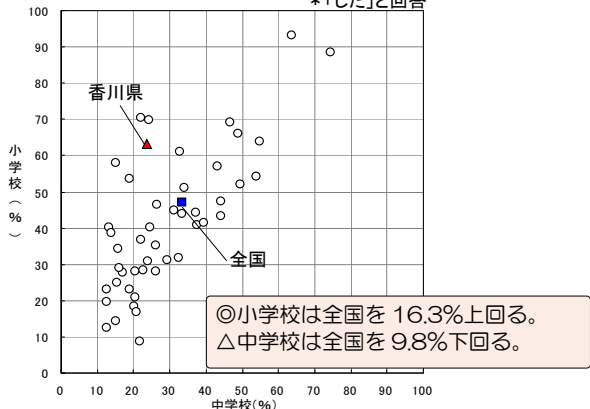


習熟の遅いグループへの指導

[学校質問紙]

■65/58 算数(数学)の授業において、習熟の遅いグループに対して、少人数指導を行い、習得できるようにしましたか

*「した」と回答

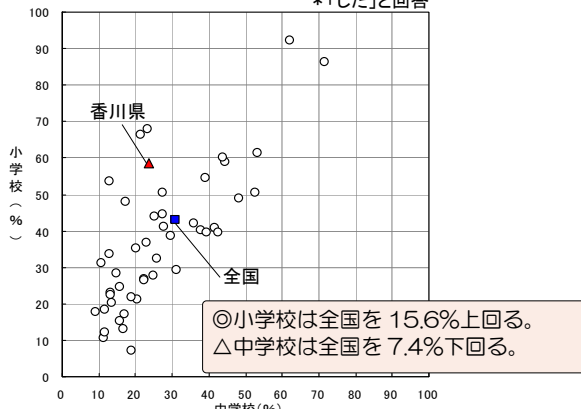


習熟の早いグループへの指導

[学校質問紙]

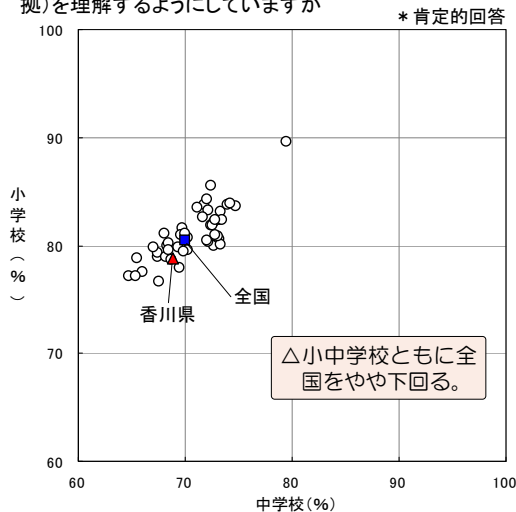
■66/59 算数(数学)の授業において、習熟の早いグループに対して、発展的な内容について少人数による指導を行いましたか

*「した」と回答



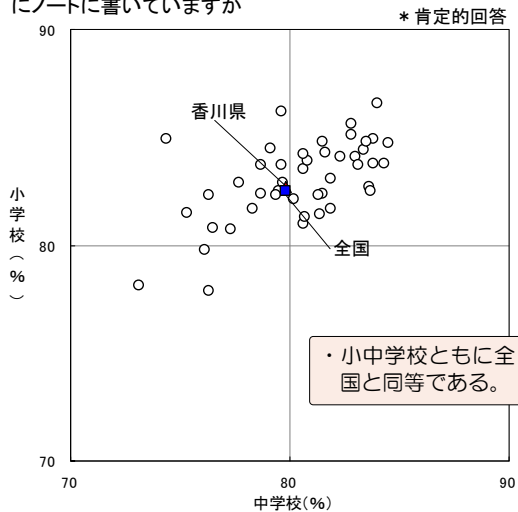
公式やきまりを習うとき、そのわけ(根拠)を理解するようにしている [児童生徒質問紙]

□117 算数(数学)の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけ(根拠)を理解するようにしていますか



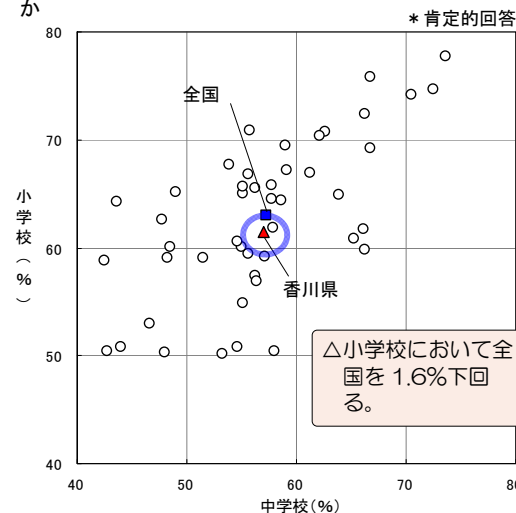
問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている [児童生徒質問紙]

□118 算数(数学)の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか



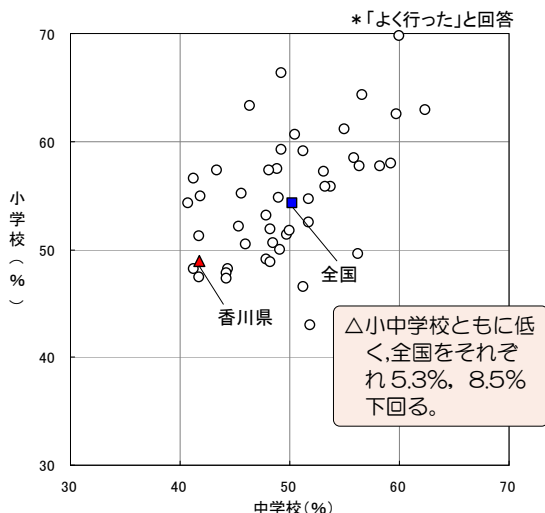
実生活における事象との関連を図った授業 [学校質問紙]

■80/72 調査対象児童生徒に対する算数の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか



計算問題など反復練習をする授業 [学校質問紙]

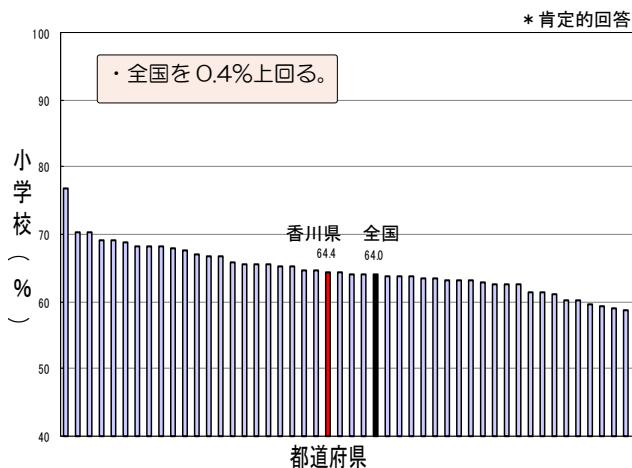
■81/73 調査対象児童生徒に対する算数の指導として、前年度までに、計算問題などの反復練習をする授業を行いましたか



<小学校>

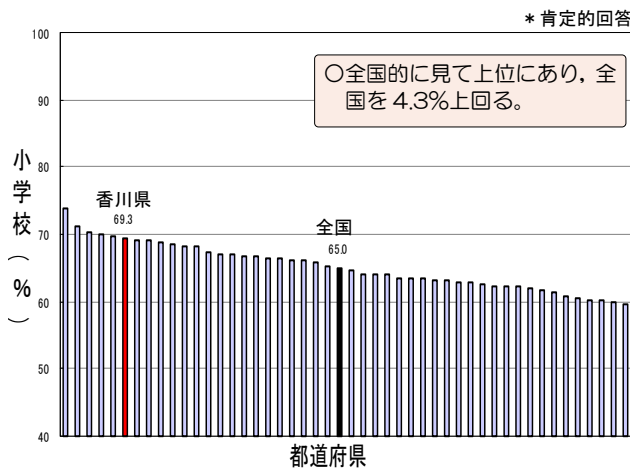
式に表した時の理由を考える [児童質問紙]

□119 算数の授業で問題を解くときに、なぜこの式に表したのかという理由を考えていますか(小II)



身の回りの図形の面積を求める経験 [児童質問紙]

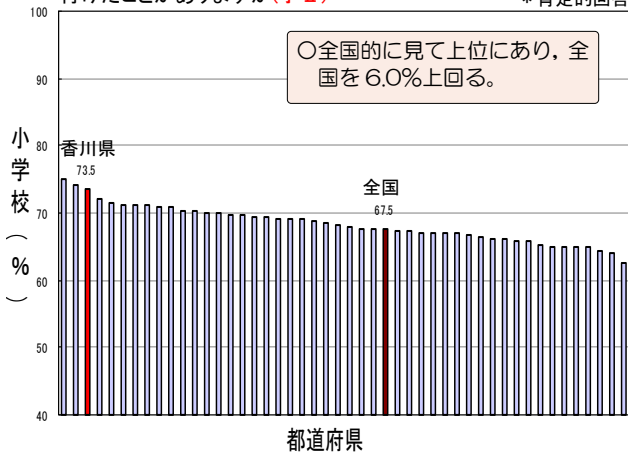
□120 算数の授業で身のまわりにある長方形や正方形などの図形の面積を求めたことがありますか(小II)



身のまわりから図形を見付けたことがある

[児童質問紙]

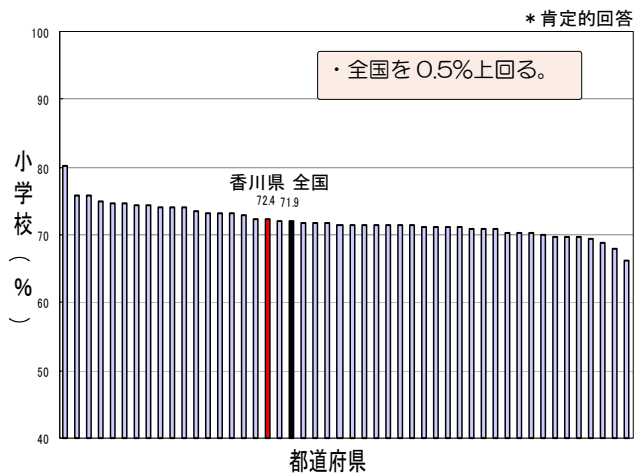
□121 普段の生活で、学習した図形の性質をもとに、身のまわりのものを観察し、二等辺三角形や長方形や円などの図形を見付けたことがありますか(小Ⅱ) * 肯定的回答



簡単に計算する工夫をしたことがある

[児童質問紙]

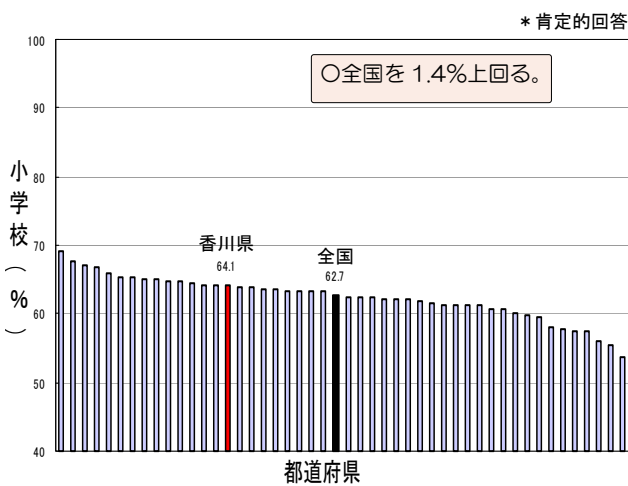
□122 算数の授業で計算をするときに、もっと簡単に計算することができるように工夫をしたことがありますか(小Ⅱ) * 肯定的回答



身の回りにおける割合の表現

[児童質問紙]

□123 普段の生活で、身の回りにおける割合の表現について、実際に計算したことがありますか(小Ⅱ) * 肯定的回答



◎「授業で身の回りにおける長方形や正方形などの図形の面積を求めたことがある」「身の回りのものを観察し、二等辺三角形や長方形や円などの図形を見付けたことがある」と回答している児童の割合は、全国的に見て極めて上位にある。

●「普段の授業の中で、実生活を意識した問題の把握や学んだことの実生活への活用を促す指導が充実していることがうかがえる。」

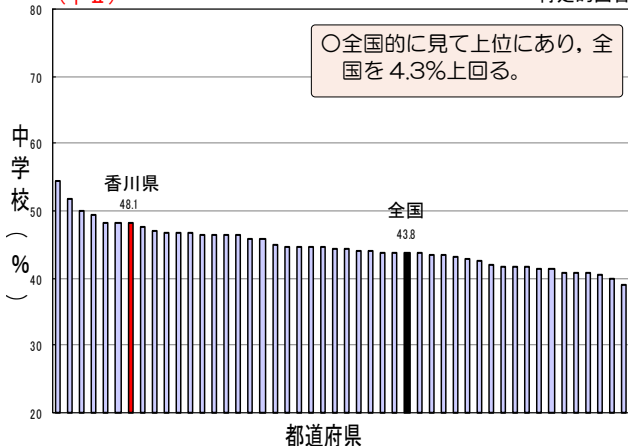
○「式に表す理由を考えている」「簡単に計算することができるように工夫している」「身の回りにおける割合の表現について実際に計算したことがある」と回答した児童の割合は、全国と比較して、いずれも上回っている。

<中学校>

確かめながら式をつくる

[生徒質問紙]

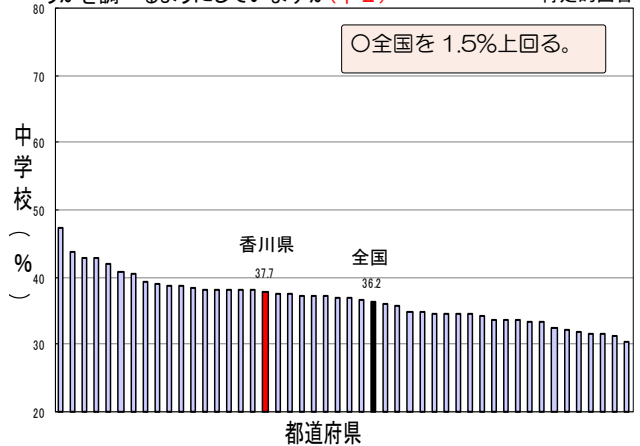
□124 数学の授業で方程式を使って問題を解くために、数量の関係を、表や線分図などで確かめながら式をつくっていますか(中Ⅱ) * 肯定的回答



証明したことの確認(図形)

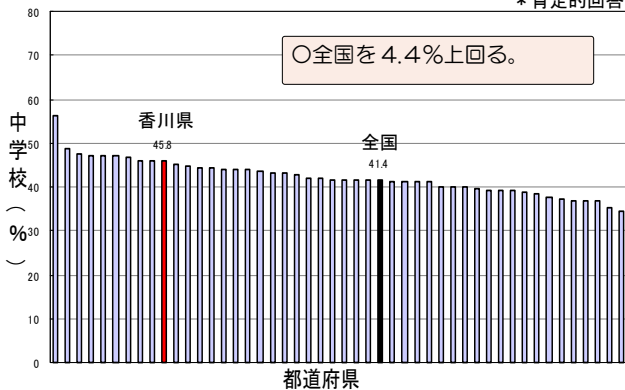
[生徒質問紙]

□125 数学の授業で図形の証明について学習するとき、1つの図だけでなく、いくつかの図について証明したことが成り立つかどうかを調べるようにしていますか(中Ⅱ) * 肯定的回答



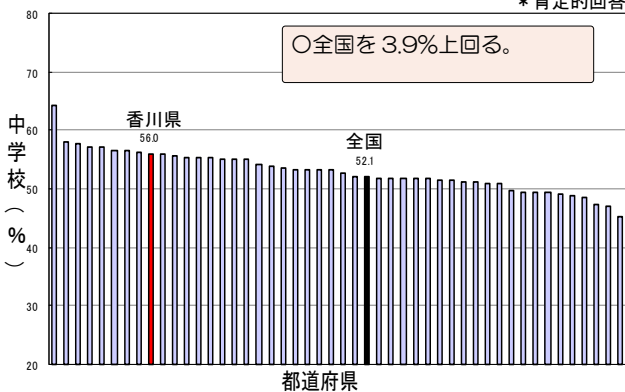
2つの数量の関係を考える（関数） [生徒質問紙]

□126 数学の授業で関数の問題を考えるとき、2つの数量の関係を、表、式、グラフを使って考えるようにしていますか(中Ⅱ) *肯定的回答



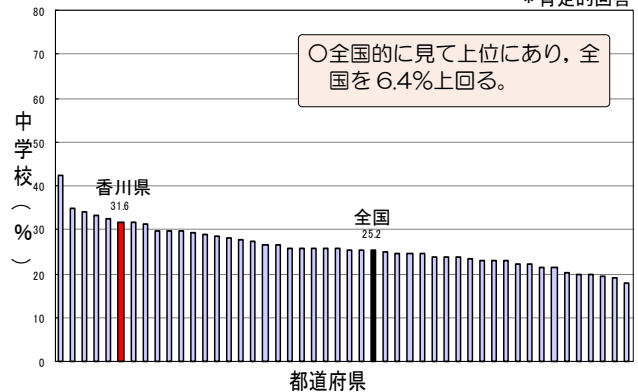
文字を使った式の意味を考える [生徒質問紙]

□128 数学の授業で文字を使った式について学習するとき、表した式が何を意味しているかを考えようとしていますか(中Ⅱ) *肯定的回答



ヒストグラムから分かることの説明 [生徒質問紙]

□127 数学の授業でヒストグラムなどから分かることを説明したことがありますか(中Ⅱ) *肯定的回答



◎「方程式を使って問題を解くために、数量の関係を、表や線分図などで確かめながら式をつくらせている」「関数の問題を考えるときに、2つの数量の関係を、表、式、グラフを使って考えている」「ヒストグラムなどから分かることを説明したことがある」「表した式が何を意味しているかを考えている」と回答している生徒の割合は、いずれも全国的に見て上位にある。

○「図形の証明について学習するとき、1つの図だけでなく、いくつかの図について証明したことが成り立つかどうかを調べるようにしている」と回答している生徒の割合は、全国と比較して上回っている。

⑥ 「総合的な学習の時間」の授業・指導について

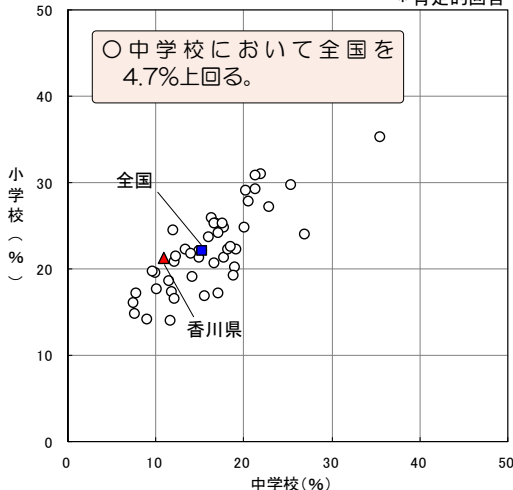
△「自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる」と回答している生徒の割合は、全国と比較して下回っている。

▲「課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしている」と回答している中学校の割合は、全国的に見て下位にある。

・児童生徒質問紙、学校質問紙を比較すると全国との関係においてほぼ同様の結果となっている。特に、中学校における指導に課題がつかえる。

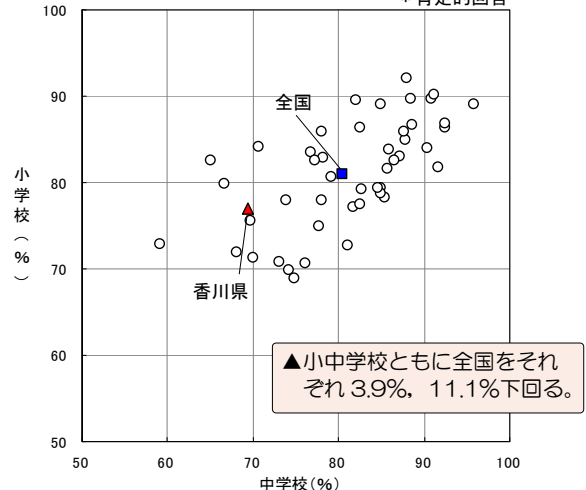
探究的な学習への取組 [児童生徒質問紙]

□74 「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか(小Ⅲ, 中Ⅲ) *肯定的回答



探究の過程を意識した指導 [学校質問紙]

■47/41 総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしていましたか *肯定的回答

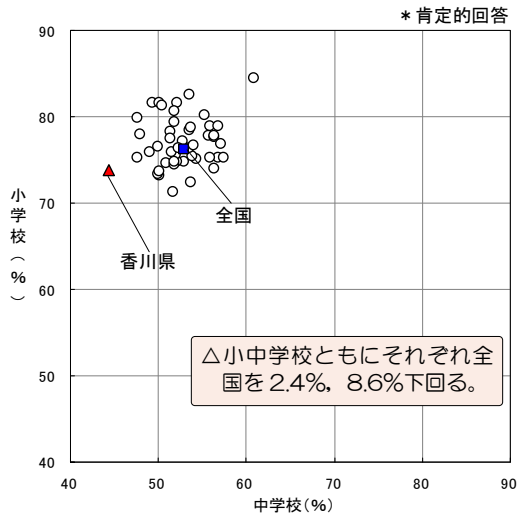


⑦ 英語の学習等について

英語の学習が好き

[児童生徒質問紙]

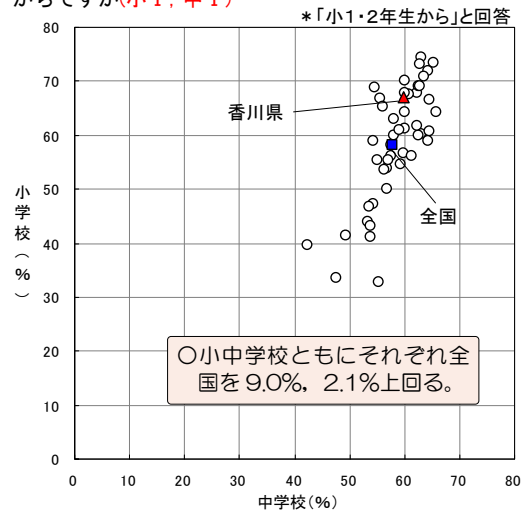
□60 英語の学習は好きですか(小I, 中I)



英語を学び始めた

[児童生徒質問紙]

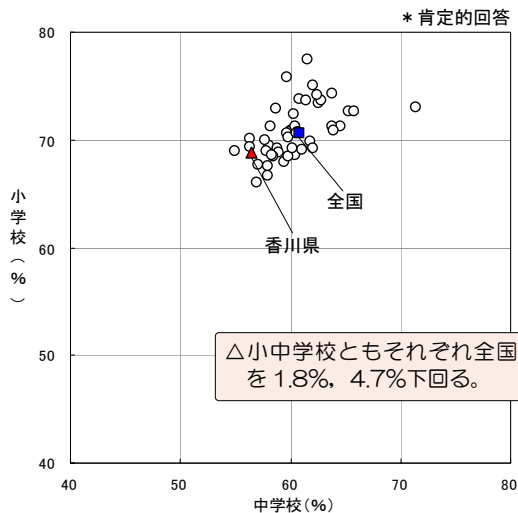
□61 学校の授業や英会話教室で英語を学び始めたのはいつからですか(小I, 中I)



外国を知りたい

[児童生徒質問紙]

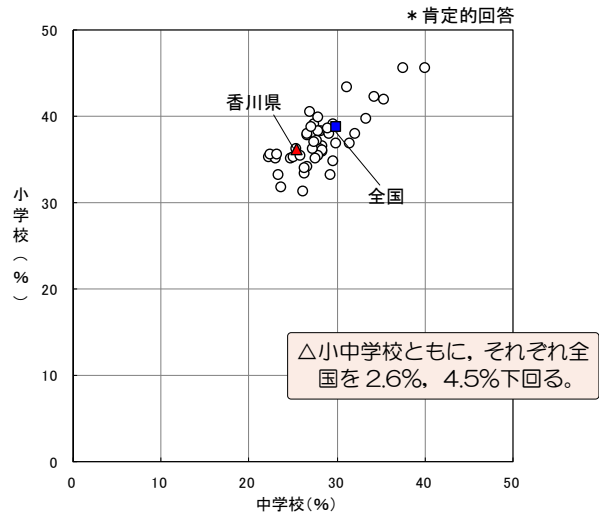
□62 外国の人と友達になったり, 外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思いませんか(小I, 中I)



留学・国際的な仕事をしたい

[児童生徒質問紙]

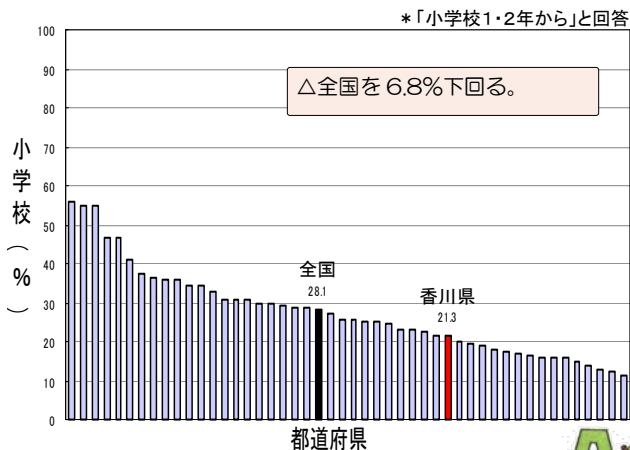
□63 将来, 外国へ留学したり, 国際的な仕事に就いたりしてみたいと思いませんか(小I, 中I)



【小学校】英語をいつから始めたか

[学校質問紙]

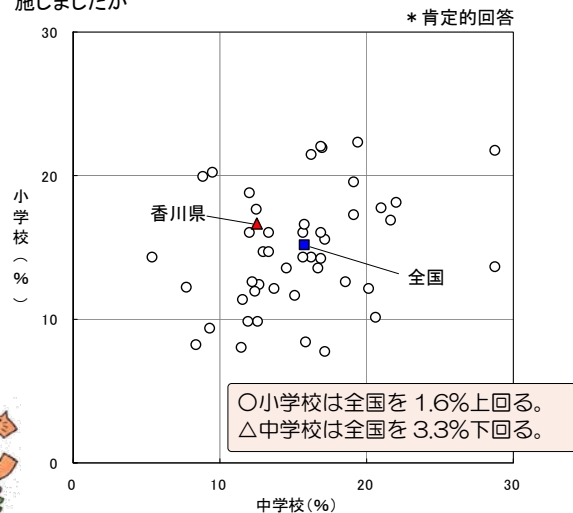
■49 いつから英語に関する指導を始めましたか(小)



国際交流の取組の実施

[学校質問紙]

■50/43 前年度に, 外国語活動・外国語の授業以外で, 国際交流や外国語でのコミュニケーション能力の育成のための取組を実施しましたか



⑧ 調査問題（書く問題）の解答方法，解答時間について

○いずれの調査区分においても，書く問題について，最後まで書こうと努力したと回答している児童生徒の割合は，全国と比較すると，小学校は高い。中学校は国語において全国と同等，数学においては高い。

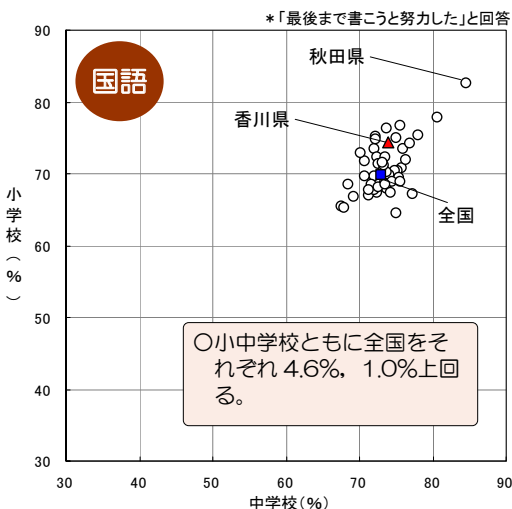
●主な学力上位県は，いずれも高い割合を示しており，書く問題に粘り強く取り組んだことがうかがえる。また，小学校はいずれの教科においても全国的に見て極めて上位にある。

◆調査問題（書く問題）の解答方法

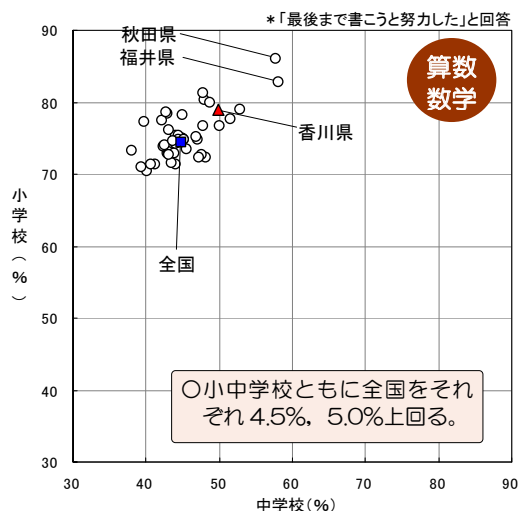
書く問題について，最後まで解答を書こうと努力した

[児童生徒質問紙]

□103[国語]小：解答を文章で書く問題について，どのように解答しましたか
 中：解答を文章で書く問題がありましたか，最後まで解答を書こうと努力しましたか



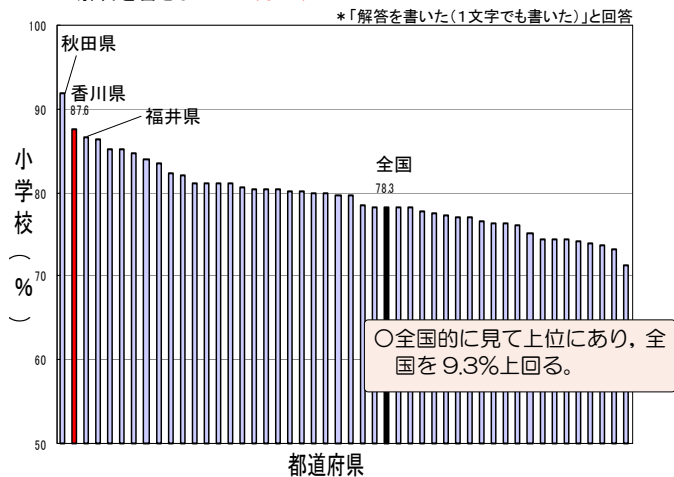
□129[算数]小：言葉や式を使って，わけや求め方を書く問題がありましたか，どのように解答しましたか
 [数学]中：解答を言葉や式を使って説明する問題は最後まで解答を書こうと努力しましたか



【小学校】国語B-2-三の問題の解答について

[児童質問紙]

□104 解答を書きましたか(小I)



○解答を書いたと回答している児童の割合は，全国的に見て極めて上位である。

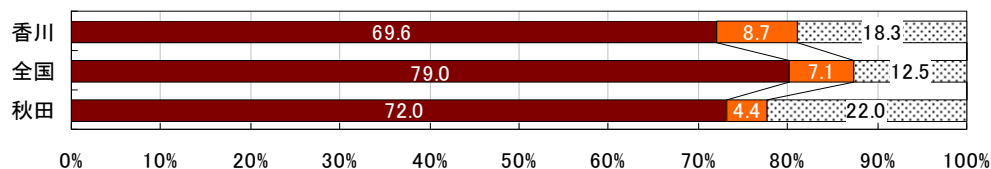
●学力上位県は，全国的に見て極めて上位にあり，全国と比較しても大きな隔りがある。

●解答しなかった理由は何ですか(104で「解答を書かなかった」と回答した児童が回答)の質問に対し，「文章を書く問題だったので，解答しようと思わなかった」と回答している児童の割合は，全国と比較して高い。学力上位県では，低くなっている。

□105 解答しなかった理由は何ですか。最も近いものを選んでください。(104で「解答を書かなかった」と回答した児童が回答)(小I)

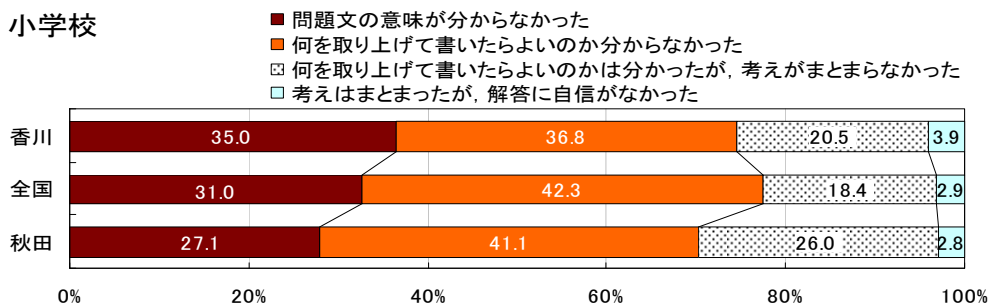
小学校

- 解答しようと努力したが，問題が難しくて解答できなかった
- 解答を文章で書く問題だったので，解答しようと思わなかった
- 他の問題に解答していたら，この問題に解答する時間が足りなくなった



□106 解答しようとしたとき、あなたはどのように考えましたか。最も近いものを選んでください。(105で「解答しようとしたが、問題が難しくて解答できなかった」と回答した児童が回答)(小I)

小学校

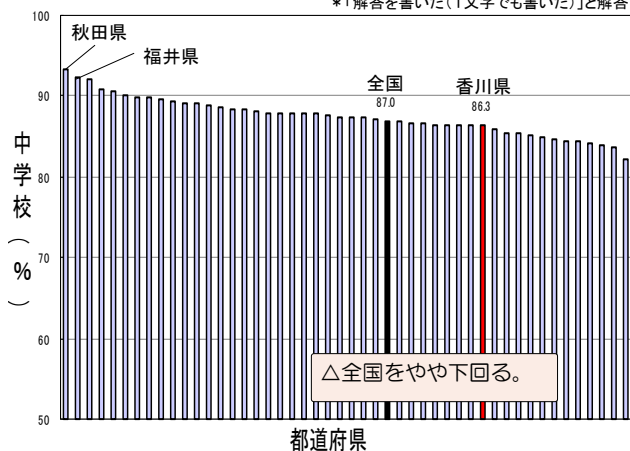


【中学校】国語B-3-三の問題の解答について

[生徒質問紙]

□104 解答を書きましたか(中I)

*「解答を書いた(1文字でも書いた)」と解答



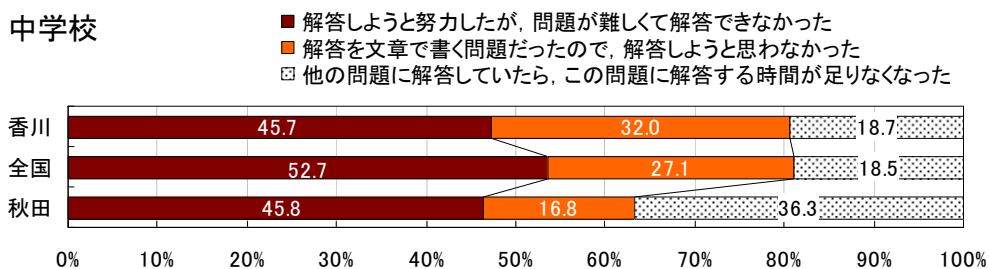
△解答を書いたと回答している生徒の割合は、全国と比較して下回る。

●学心上位県は、全国的に見て極めて上位にある。

▲解答しなかった理由は何ですか(104で「解答を書かなかった」と回答した生徒が回答)の質問に対し、「文章を書く問題だったので、解答しようと思わなかった」と回答している生徒の割合は、全国と比較して高い。学心上位県では、少ない。

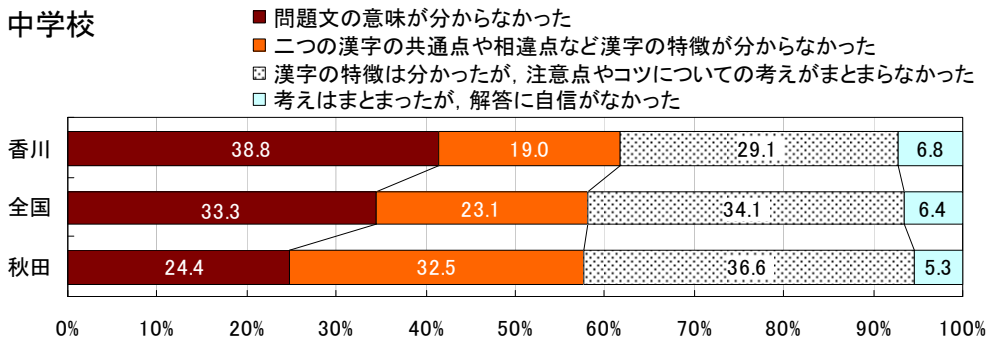
□105 解答しなかった理由は何ですか。最も近いものを選んでください。(104で「解答を書かなかった」と回答した生徒が回答)(中I)

中学校



□106 解答しようとしたとき、あなたはどのように考えましたか。最も近いものを選んでください。(105で「解答しようとしたが、問題が難しくて解答できなかった」と回答した生徒が回答)(中I)

中学校

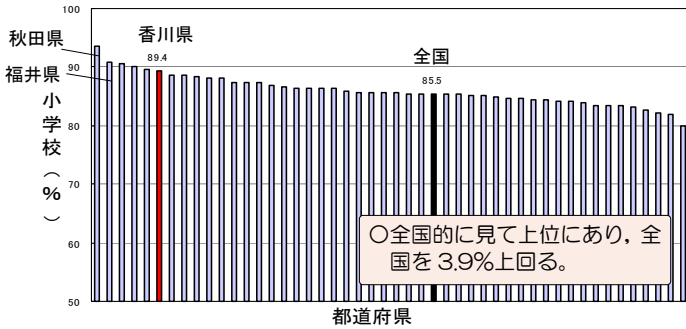


【小学校】算数B-4-(1)の問題の解答について

[児童質問紙]

□130 解答を書きましたか(小Ⅱ)

*「解答を書いた(1文字でも書いた)」と解答



○解答を書いたと回答している児童の割合は、全国的に見て極めて上位である。

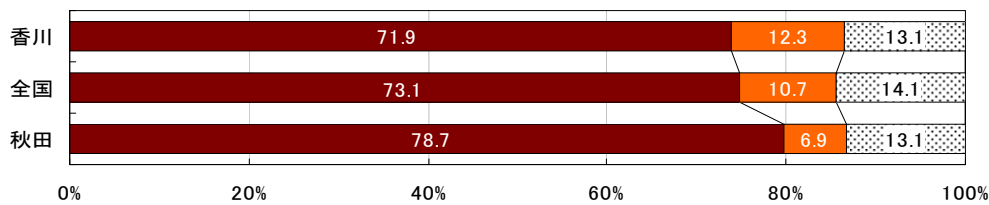
●学力上位県は、全国的に見て極めて上位にあり、全国と比較しても隔りがある。

●解答しなかった理由は何ですか(130で「解答を書かなかった」と回答した児童が回答)の質問に対し、「書く分量が多い問題だったので、解答しようと思わなかった」と回答している児童の割合は、全国と比較して高い。学力上位県では、極めて低い。

□131 解答しなかった理由は何ですか。最も近いものを選んでください。(130で「解答を書かなかった」と回答した児童が回答)(小Ⅱ)

小学校

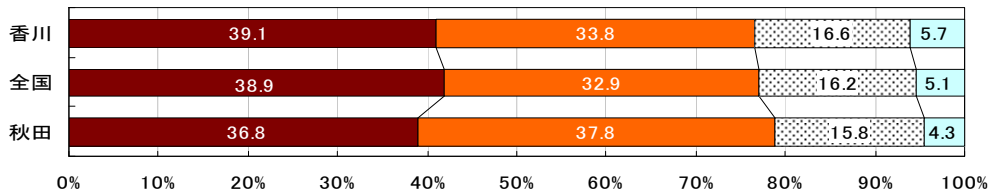
- 解答しようとしたが、問題が難しくて解答できなかった
- 書く分量が多い問題だったので、解答しようと思わなかった
- 他の問題に解答していたら、この問題に解答する時間が足りなくなった



□132 解答しようとしたとき、あなたはどのように考えましたか。最も近いものを選んでください。(131で「解答しようとしたが、問題が難くて解答できなかった」と回答した児童が回答)(小Ⅱ)

小学校

- 問題文の意味が分からなかった
- 何倍になるかを求める方法が分からなかった
- 約何倍になるかを求める方法は分かったが、どのように書いたらよいか考えがまとまらなかった
- 考えはまとまったが、解答に自信がなかった

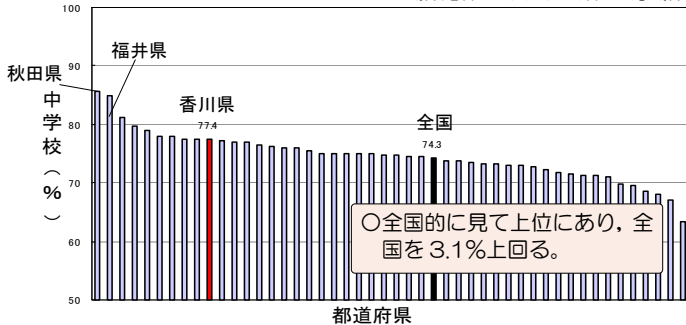


【中学校】数学B-4-(1)の問題の解答について

[生徒質問紙]

□130 解答を書きましたか(中Ⅱ)

*「解答を書いた(1文字でも書いた)」と解答



○解答を書いたと回答している生徒の割合は、全国的に見て極めて上位である。

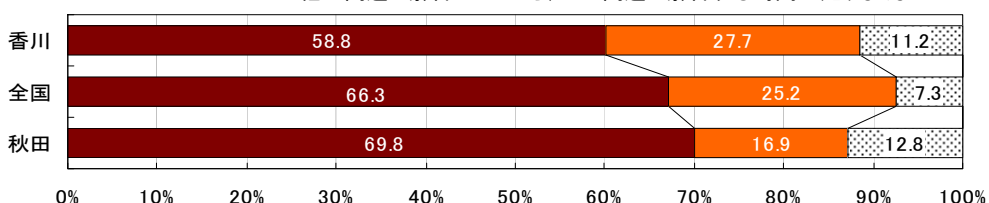
●学力上位県は、全国的に見て極めて上位にあり、全国と比較してもかなり隔りがある。

●解答しなかった理由は何ですか(130で「解答を書かなかった」と回答した生徒が回答)の質問に対し、「書く分量が多い問題だったので、解答しようと思わなかった」と回答している生徒の割合は、全国と比較して高い。学力上位県では、低い。

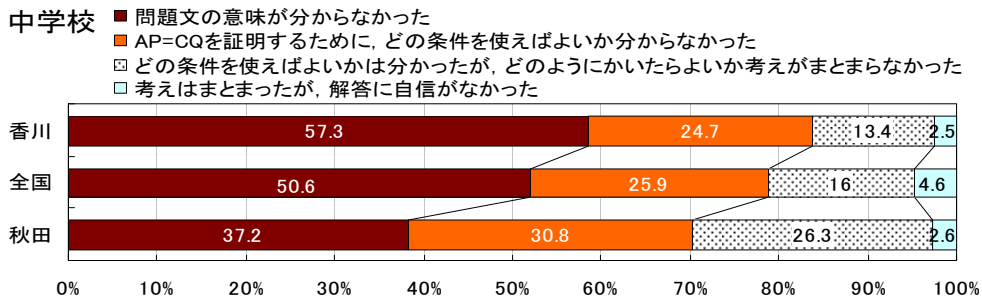
□131 解答しなかった理由は何ですか。最も近いものを選んでください。(130で「解答を書かなかった」と回答した生徒が回答)(中Ⅱ)

中学校

- 解答しようとしたが、問題が難しくて解答できなかった
- 書く分量が多い問題だったので、解答しようと思わなかった
- 他の問題に解答していたら、この問題に解答する時間が足りなくなった



□132 解答しようとしたとき、あなたはどのように考えましたか。最も近いものを選んでください。(131 で「解答しようとしたが、問題が難しく解答できなかった」と回答した児童が回答)(中Ⅱ)



◆調査問題の解答時間

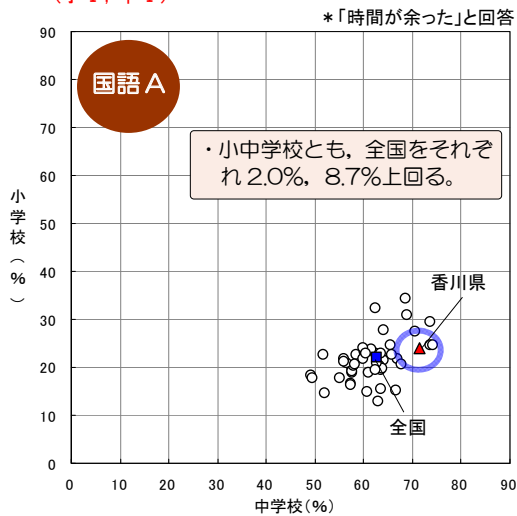
△「調査問題の解答時間は十分でしたか」という質問に対して、「時間が余った」と回答している生徒の割合は、いずれの調査区分においても全国的に見て上位にある。

・小学校においては、全国と比較してほぼ同等となっている。

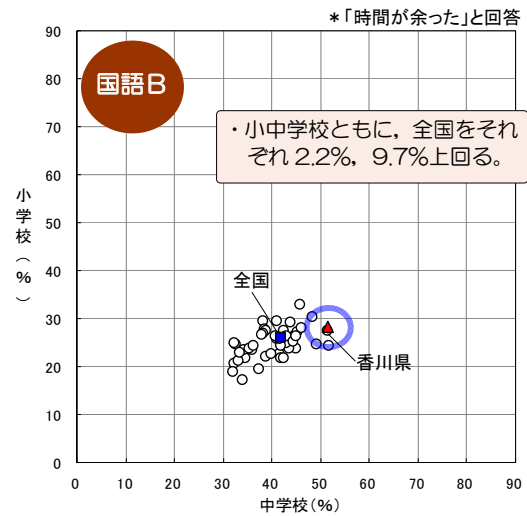
●中学校において、「時間が余った」と回答している生徒の割合が全国的に見て上位にあること、また、無解答率や全問不正解の生徒の割合が高いことから、調査そのものに取り組む姿勢に課題があることがうかがえる。

解答時間は十分だった [児童生徒質問紙]

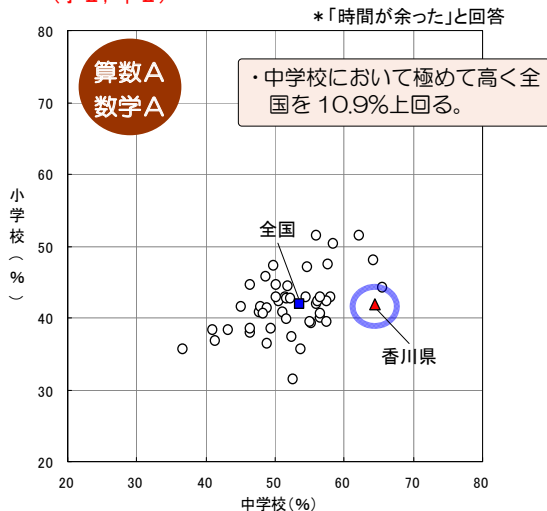
□107 調査問題の解答時間は十分でしたか(国語 A)
(小Ⅰ, 中Ⅰ)



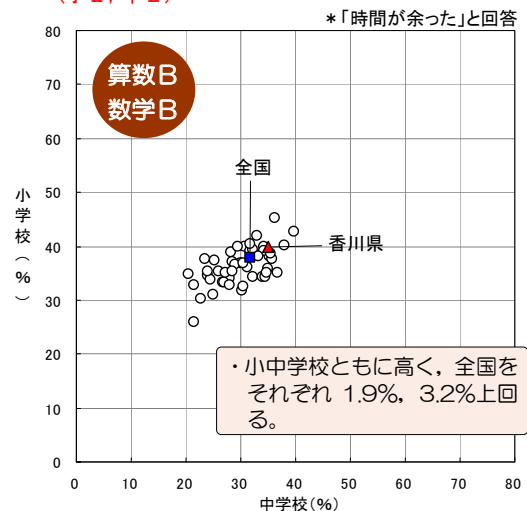
□108 調査問題の解答時間は十分でしたか(国語 B)
(小Ⅰ, 中Ⅰ)



□133 調査問題の解答時間は十分でしたか(算数 A, 数学 A)
(小Ⅱ, 中Ⅱ)



□134 調査問題の解答時間は十分でしたか(算数 B, 数学 B)
(小Ⅱ, 中Ⅱ)



⑨ 児童生徒の学習態度 / 学習規律の維持について

▲「調査対象児童生徒は熱意をもって勉強していると思う」と回答している学校の割合は、全国と比較して小学校においては同等、中学校においては極めて低く、最下位である。

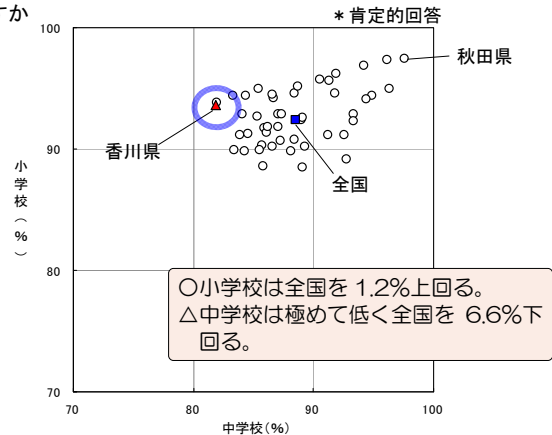
▲「授業中私語が少なく、落ち着いていると思う」と回答している学校の割合は、全国と比較して中学校では同等、小学校においては、下回る。

●いずれの質問においても学力上位県が高い割合を示している。特に秋田県は、「授業中の私語が少なく、落ち着いていると思う」と回答している中学校が100%であり、落ち着いた学習ができてることがうかがえる。

熱意をもって勉強している

[学校質問紙]

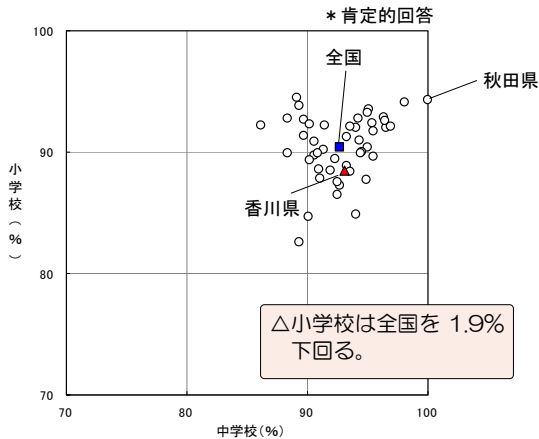
■21/15 調査対象児童生徒は、熱意をもって勉強していると思えますか



授業中私語が少なく、落ち着いている

[学校質問紙]

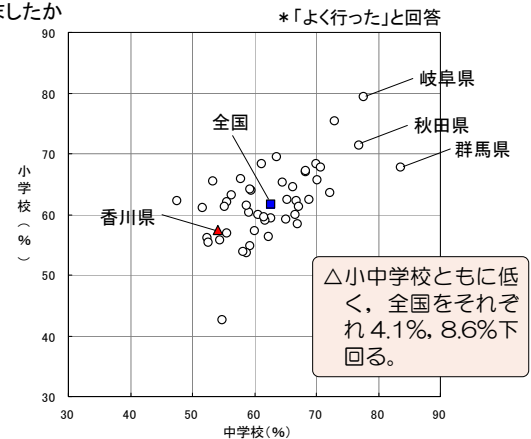
■22/16 調査対象児童生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思えますか



学習規律の維持

[学校質問紙]

■40/34 調査対象児童生徒に対して、前年度までに、学習規律(私語をしない、聞き手に向かって話をするなど)の維持を徹底しましたか



⑩ 学級やグループでの話し合い活動について

△「学級やグループの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができています」と回答した学校の割合は、小中学校ともに全国と比較して下回っている。

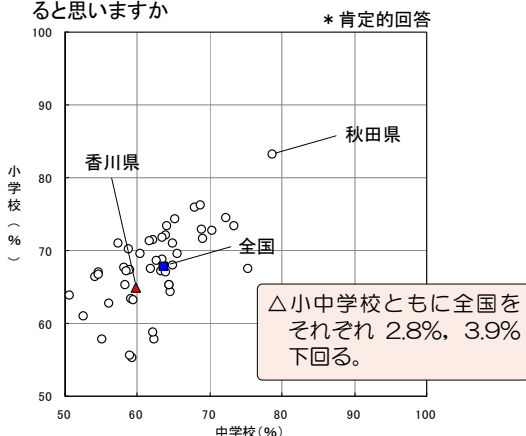
▲「学級やグループでの話し合いなどの活動で、相手の考えを最後まで聞くことができています」と回答している学校の割合は、小中学校ともに全国と比較して低くなっている。

●いずれの質問においても学力上位県が高い割合を示している。

自分の考えをしっかりと・・・

[学校質問紙]

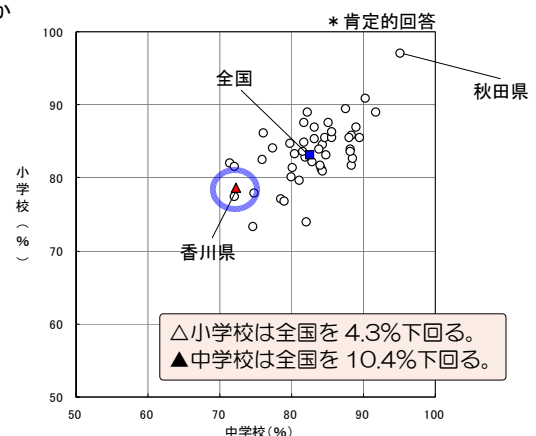
■24/18 調査対象児童生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていますか



相手の考えを最後まで聞く

[学校質問紙]

■25/19 調査対象児童生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、相手の考えを最後まで聞くことができていますか



(3) 学力向上に向けた取組（補足的な学習サポート、少人数指導等）

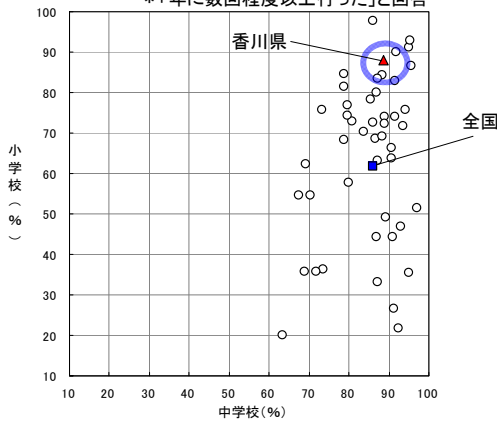
① 放課後等を利用した補足的な学習サポートについて

放課後を利用した補足的な学習

[学校質問紙]

■32/26 放課後を利用した補足的な学習サポートを実施しましたか

*「年に数回程度以上行った」と回答



- 「放課後等を利用した補足的な学習を年に数回程度以上実施している」と回答した学校の割合は、全国的に見て小学校は極めて上位にある。
- ・中学校は全国と比較して同等である。
- 「長期休業日を利用した補足的な学習サポートを実施している」と回答した学校の割合は、全国と比較して小学校で同等、中学校では全国を大きく上回る。

- ◎小学校においては極めて高く、全国を26.2%も上回る。
- 中学校においては全国を2.8%上回る。

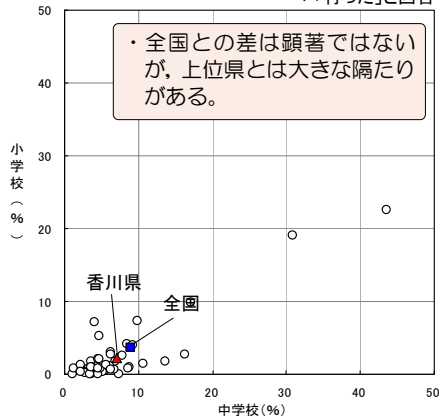


土曜日を利用した補足的な学習

[学校質問紙]

■33/27 土曜日を利用した補足的な学習サポートを実施しましたか

*「行った」と回答



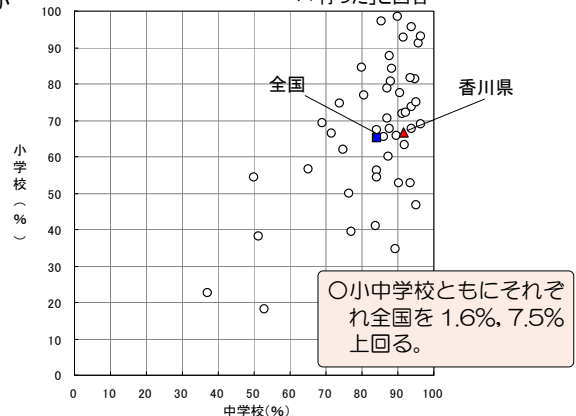
・全国との差は顕著ではないが、上位県とは大きな隔りがある。

長期休業日を利用した補足的な学習

[学校質問紙]

■34/28 長期休業日を利用した補足的な学習サポートを実施しましたか

*「行った」と回答



○小中学校ともにそれぞれ全国を1.6%, 7.5%上回る。

② 補足的な学習・発展的な学習の指導について

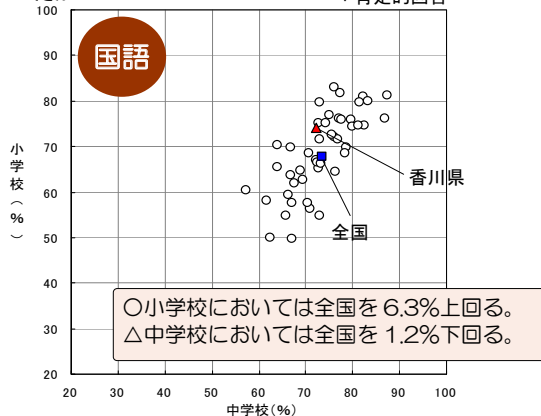
- 補足的な学習の指導を行うことに対して肯定的に回答している学校の割合は、全国と比較して小学校において上回っている。
- ▲発展的な学習の指導を行ったと回答している学校の割合は、国語において小中学校ともに全国と比較して極めて低くなっている。

補足的な学習の指導

[学校質問紙]

■71/64 [国語] 前年度までに、補足的な学習の指導を行いましたか

*肯定的回答



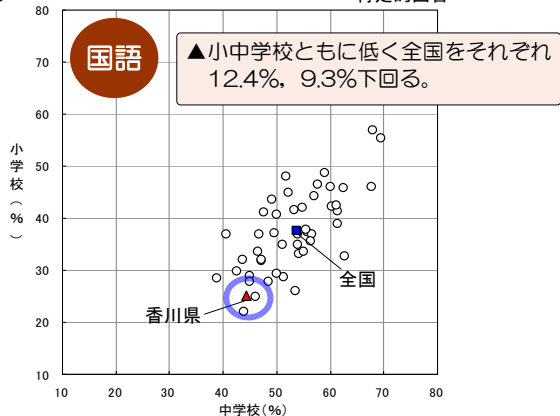
○小学校においては全国を6.3%上回る。
△中学校においては全国を1.2%下回る。

発展的な学習の指導

[学校質問紙]

■72/65 [国語] 前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか

*肯定的回答

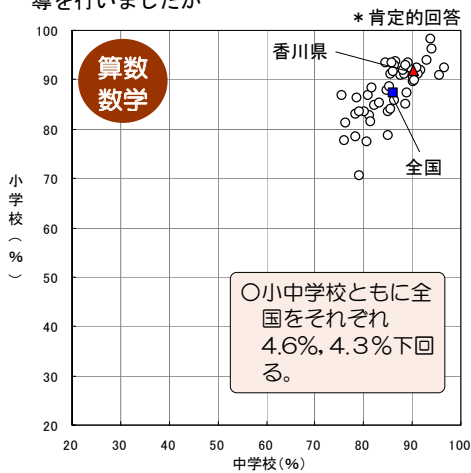


▲小中学校ともに低く全国をそれぞれ12.4%, 9.3%下回る。

補足的な学習の指導

[学校質問紙]

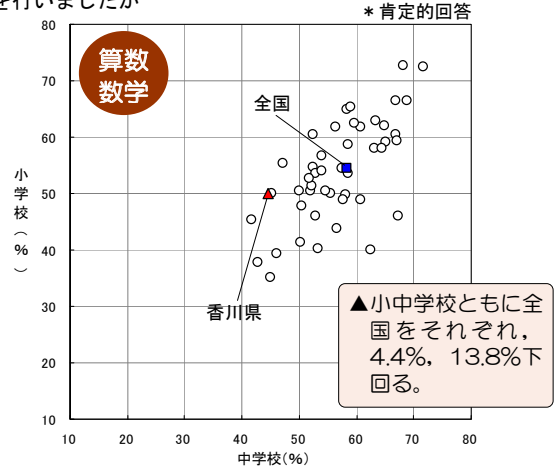
■78/70 [算数・数学] 前年度までに、補足的な学習の指導を行いましたか



発展的な学習の指導

[学校質問紙]

■79/71 [算数・数学] 前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか



③ 少人数指導，チームティーチング，教科担任制の実施状況について

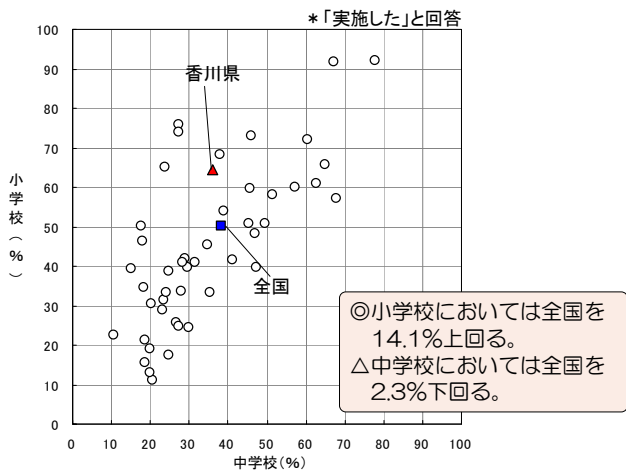
○習熟度別に少人数指導を年間 1/2 以上行った，個人差に応じた独自教材を用いたと回答している小学校の割合が，全国と比較して高くなっている。

●全国的に見ると，極めて高い割合となっている都道府県がある。

習熟度別少人数指導の実施

[学校質問紙]

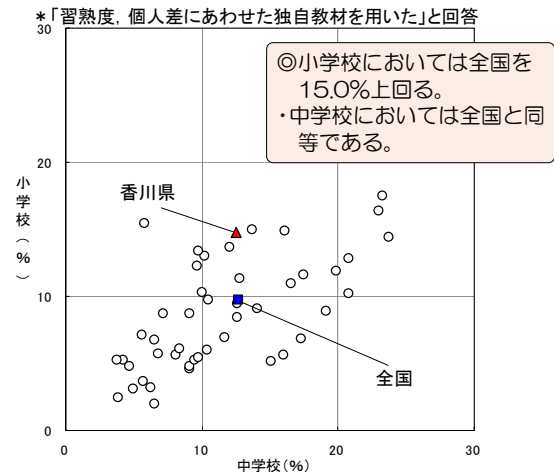
■63/56 前年度に，習熟度別の少人数指導を行うに当たって，学習集団をどう編制しましたか



習熟度別少人数指導で用いる教材

[学校質問紙]

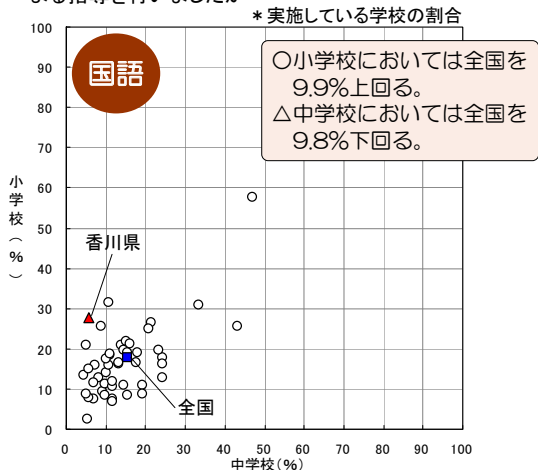
■64/57 前年度に，習熟度別の少人数指導を行うに当たって，どのような教材を用いましたか。



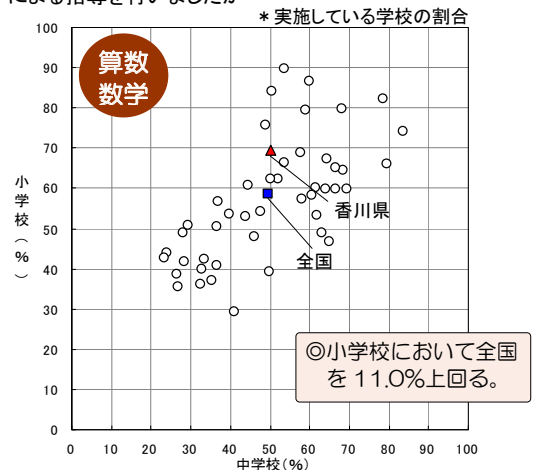
チームティーチングの実施

[学校質問紙]

■67/60 国語の授業において，前年度に，チームティーチングによる指導を行いましたか



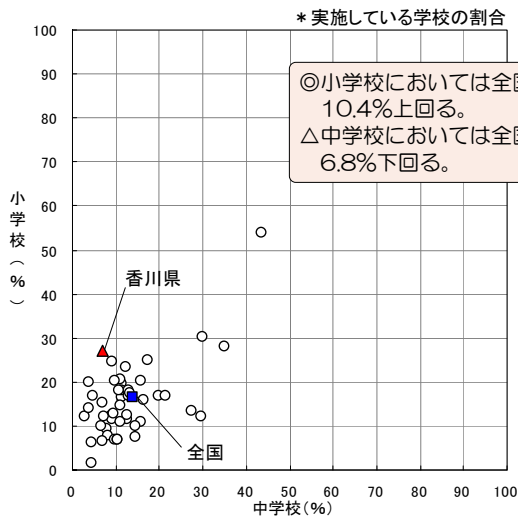
■69/62 算数・数学の授業において，前年度に，チームティーチングによる指導を行いましたか



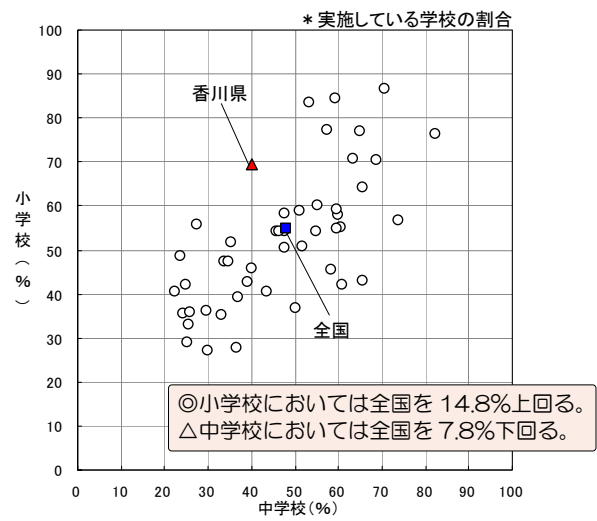
チームティーチングの実施（小4，中1）

[学校質問紙]

■68/61 国語の授業において、第4学年(中学校第1学年)のときに、チームティーチングによる指導を行いましたか



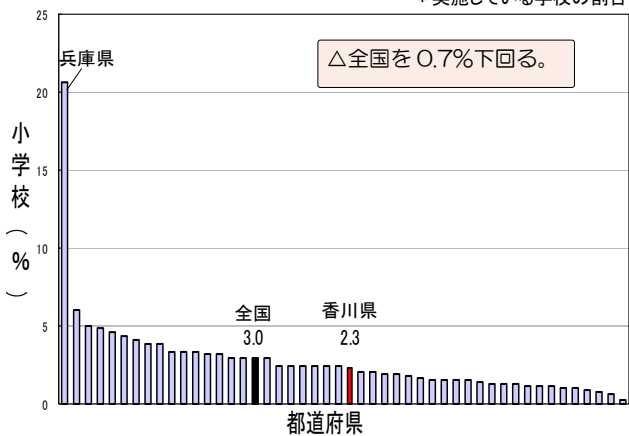
■70/63 算数・数学の授業において、第4学年(中学校第1学年)に、チームティーチングによる指導を行いましたか



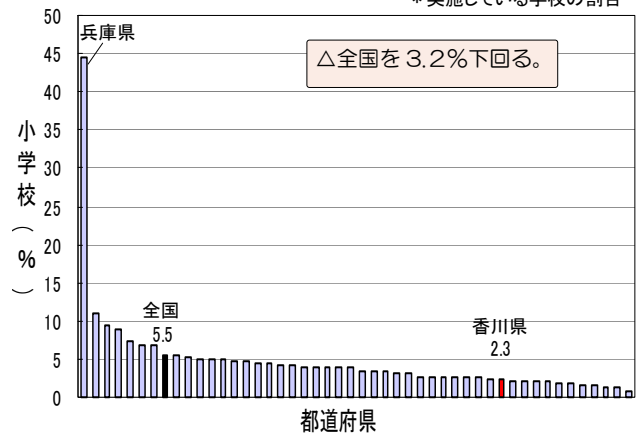
【小学校】教科担任制の実施

[学校質問紙]

■77 国語の授業では、前年度までに、教科担任制を実施していましたか



■82 算数の授業では、前年度までに、教科担任制を実施していましたか



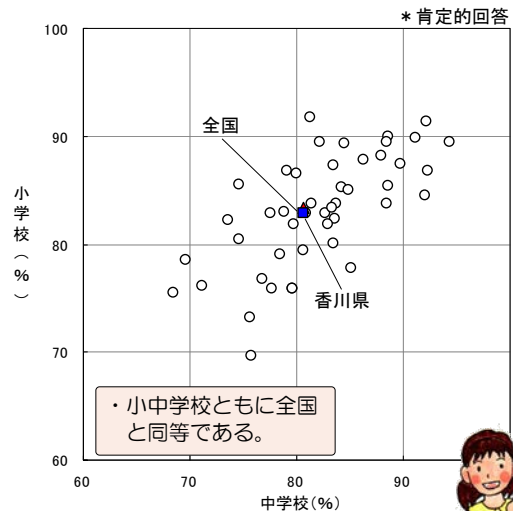
④ 特別支援教育

児童生徒の特性に応じた指導上の工夫

[学校質問紙]

■83/74 教員は特別支援教育を理解し、授業の中で、児童生徒の特性に応じた指導上の工夫を行いましたか

・特別支援教育を理解し、児童生徒の特性に応じた指導上の工夫を行っていると感じた学校の割合は、小中学校ともに、全国と同等である。



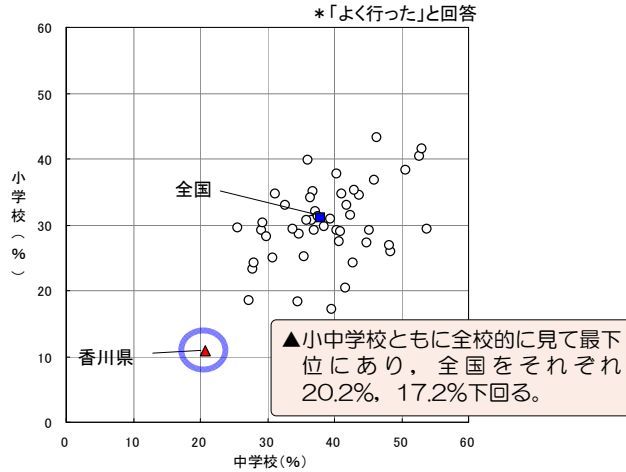
(4) コンピュータなどを活用した教育 / 読書の状況

① コンピュータなどを活用した教育

基本操作の身に付ける指導

[学校質問紙]

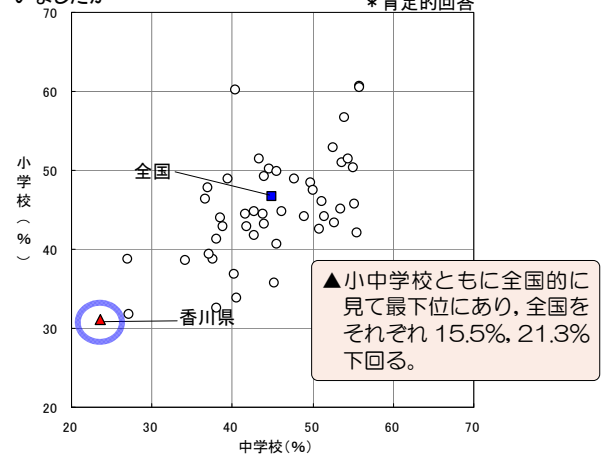
■51/44 児童生徒がコンピュータ等の基本的な操作を身に付ける学習指導を行いましたか



教え合い、課題発見

[学校質問紙]

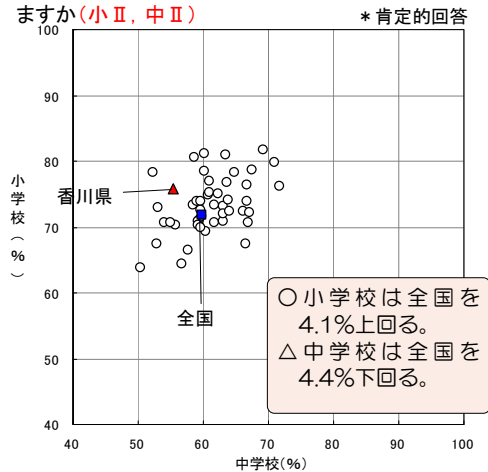
■52/45 コンピュータ等の情報通信技術を活用して、子ども同士が教え合い学び合う学習や課題発見・解決型の学習指導を行いましたか



コンピュータや電子黒板

[児童生徒質問紙]

□78 コンピュータや電子黒板を使った授業は分かりやすいと思いますか(小Ⅱ, 中Ⅱ)



▲「コンピュータ等の基本的な操作を身に付ける学習指導を行っている」「コンピュータ等の情報通信技術を活用して、子ども同士が教え合い学び合う学習を行っている」と回答した学校の割合は、小中学校ともに全国的に見て、最下位となっている。

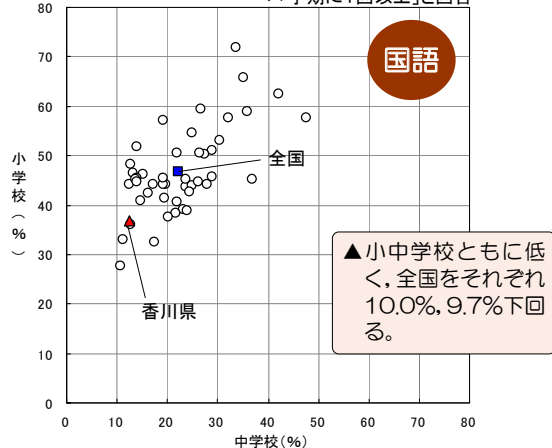
▲インターネットを活用した授業、コンピュータを使った学習を行っているかを問う質問に対して「学期に1回以上」と回答した学校の割合は、小中学校ともに全国より大きく下回る。

インターネットを活用した授業

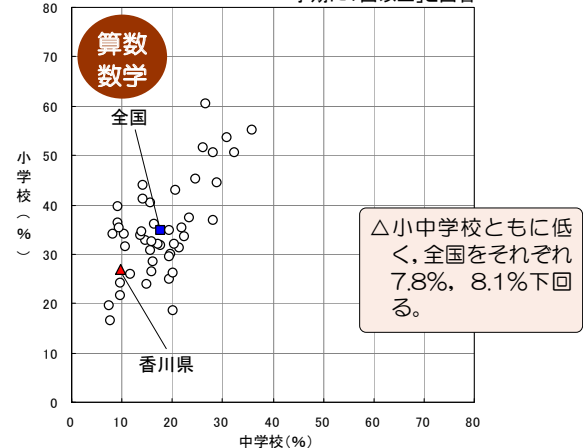
[学校質問紙]

■53/46,55/48 調査対象児童生徒に対して、前年度までに、国語(算数・数学)の授業において、普通教室でのインターネットを活用した授業を行いましたか

■53/46 国語 *「学期に1回以上」と回答



■55/48 算数・数学 *「学期に1回以上」と回答

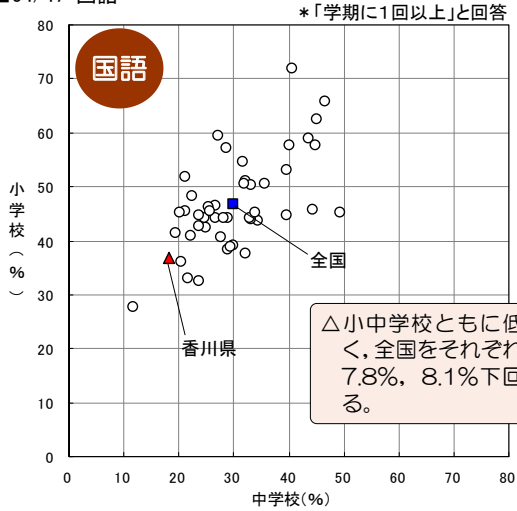


コンピュータを使った学習

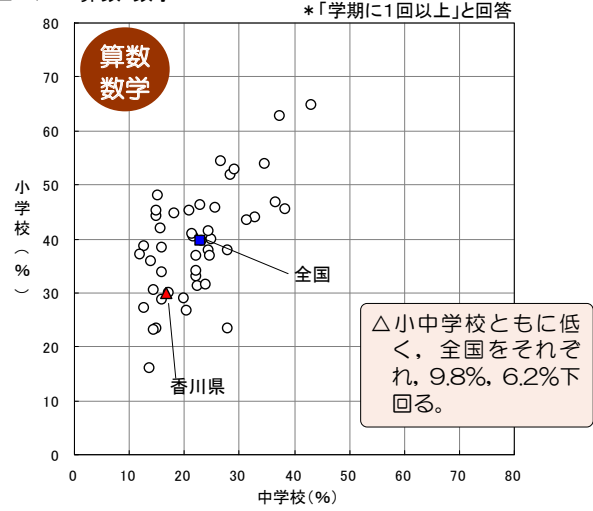
[学校質問紙]

■54/47,56/49 調査対象児童生徒に対して、前年度までに、国語(算数、数学)の授業において、発表や自分の考えを整理する際に、児童生徒がコンピュータを使う学習活動を1クラス当たりどの程度行いましたか

■54/47 国語



■56/49 算数・数学



② 児童生徒の読書の状況 / 一斉読書 / 学校図書館の活用等

◆児童生徒の読書の状況

▲読書が好きと回答している児童生徒の割合は、小中学校ともに、全国を下回っている。
学力上位県は、小中学校とも約80%となっている。

○「家や図書館で普段、1日当たり1時間以上読書をしている」と回答した児童生徒の割合は、全国と比較していずれも高くなっている。

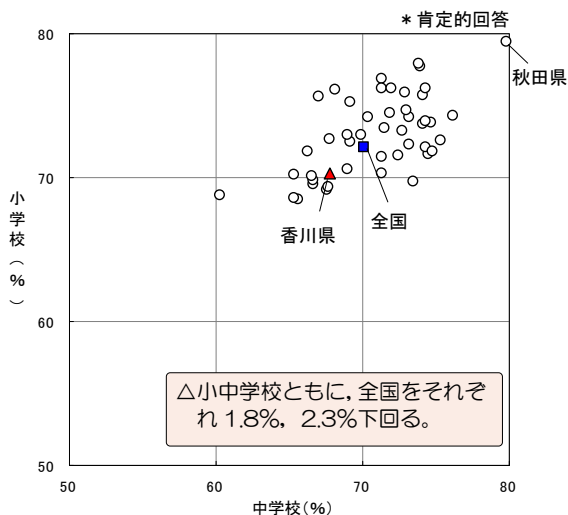
△「本を読んだり、借りたりするために学校図書館・学校図書室や地域の図書館へ週に1~3回以上行く」と回答した児童生徒の割合は、全国と比較して、小学校では上回り、中学校では同等となっている。

●「読書が好きである」と回答している児童生徒の割合は、全国と比較して小中学校ともに低くなっているが、小学校においては、本を読んだり、借りたりするために学校図書館等へ行く児童の割合は全国よりも高い結果となっている。

読書が好き

[児童生徒質問紙]

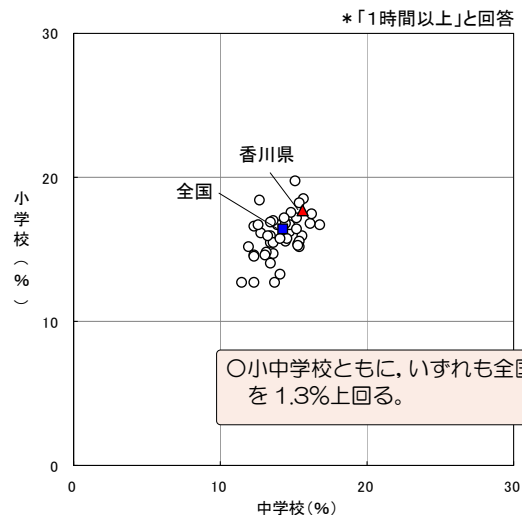
□87 読書は好きですか



読書時間

[児童生徒質問紙]

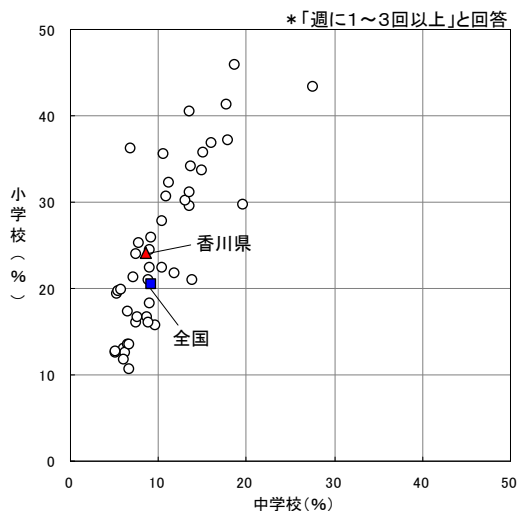
□30 家や図書館で、普段(月~金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか(教科書や参考書、漫画や雑誌除く)



図書館の利用

[児童生徒質問紙]

□31 休みや放課後、学校が休みの日に、本を読んだり、借りたりするために、学校図書館や地域の図書館へどれくらい行きますか（教科書や参考書、漫画や雑誌除く）

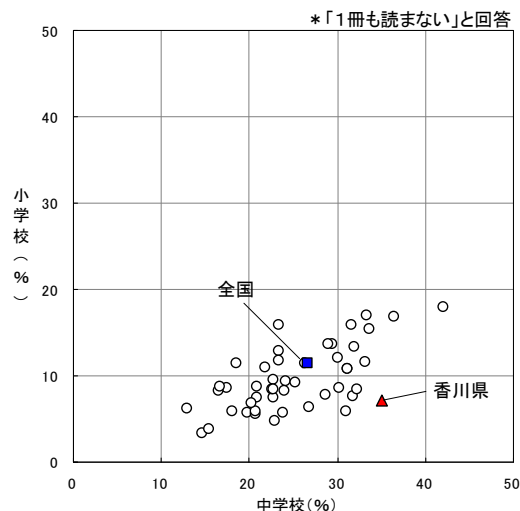


○小学校においては、全国を3.6%上回る。
△中学校においては、全国を1.6%下回る。

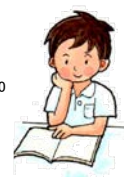
1か月に読む冊数

[児童生徒質問紙]

□32 1か月に、何冊くらい本を読みますか（教科書や参考書、漫画や雑誌除く）（小I、中I）



○小学校においては、全国を4.4%下回る。
△中学校においては、全国を8.3%上回る。



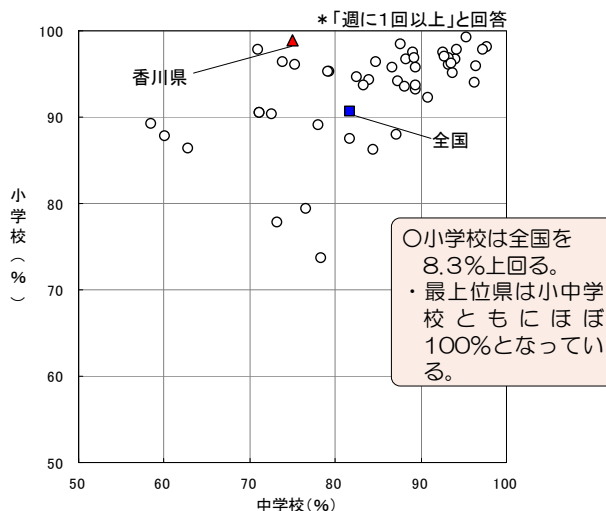
◆読書に関する学校の取組等

- 「週に1回以上、一斉読書を行った」と回答している学校の割合は、小学校においては、全国を上回っており、ほぼ100%に近い割合となっている。一方、中学校は全国を下回る。
- △「学校図書館を活用した授業を月に数回程度以上、計画的に行った」と回答した学校の割合が、全国と比較して小学校において低くなっている。中学校においては、同等である。
- △「司書教諭が置かれている」と回答した小学校の割合は、全国と比較して低くなっている。
- ・「学校図書館に関する業務を担当する教員以外の職員が置かれている」と回答した小学校の割合は、全国と比較して低くなっている。

一斉読書（朝の読書など）の時間

[学校質問紙]

■30/24「朝の読書」などの一斉読書の時間を設けましたか

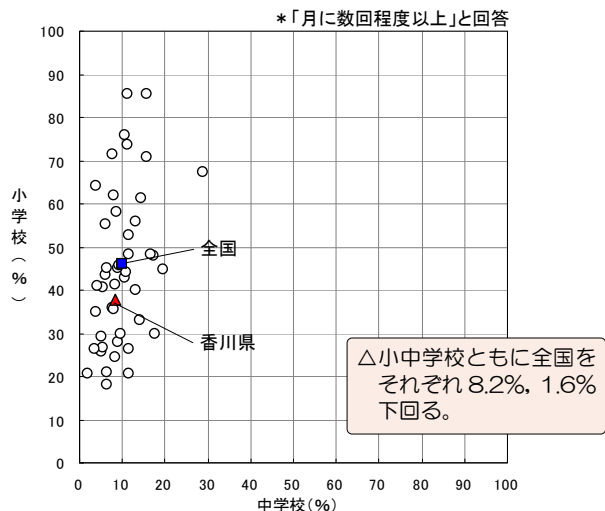


○小学校は全国を8.3%上回る。
・最上位県は小中学校ともにほぼ100%となっている。

学校図書館を活用した授業

[学校質問紙]

■31/25 学校図書館を活用した授業を計画的に行いましたか

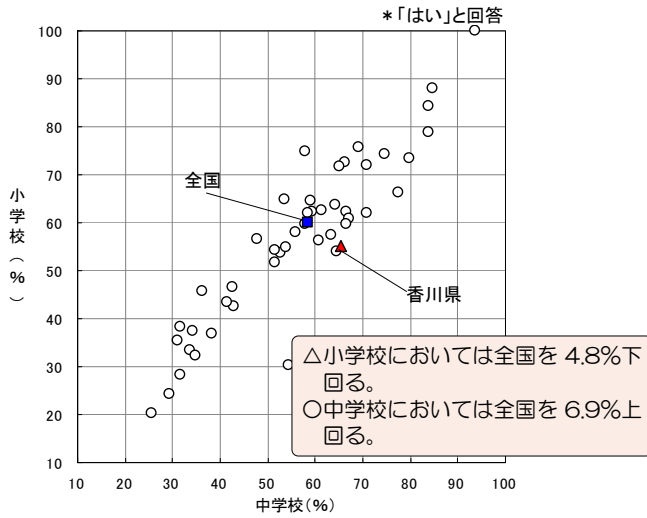


△小中学校ともに全国をそれぞれ8.2%、1.6%下回る。

司書教諭の配置

[学校質問紙]

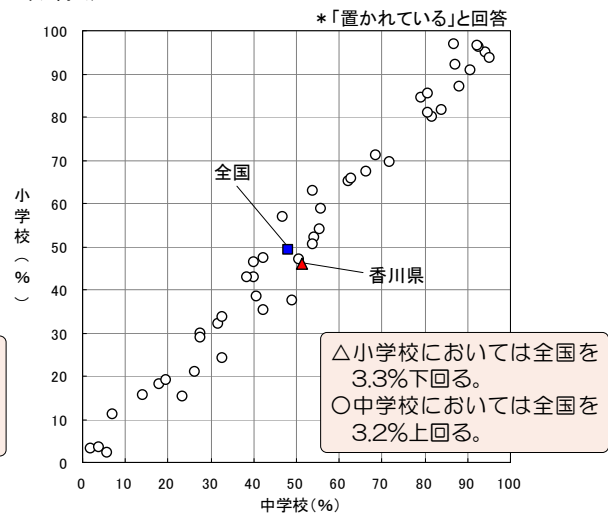
■28/22 司書教諭が置かれていますか



学校司書などの配置

[学校質問紙]

■29/23 教員以外の職員で学校図書館に関する業務を担当する職員(いわゆる「学校司書」など)が置かれていますか(ボランティア除く)



[参考] 香川県教育委員会「香川の子どもたちに読んでほしい100冊」

中学校から (40冊)

香川県教育委員会藤村委員長からのメッセージ

「香川の子どもたちに読んでほしい100冊」

香川の子どもたちに読んでほしい100冊
中学校から(40冊)

香川県教育委員会

あのころはフリードリヒがいた (ハンス・ペーター・リヒター)	ダレン・ジャン -電撃なサーカス- (ダレン・ジャン)
阿房列車 (内田百閒)	探検! ことばの世界 (大津由記雄)
アラスカの詩 (星野道夫)	父の詫び状 (向田邦子)
伊豆の踊子 (川端康成)	天平の臺 (井上 雄)
宇宙からの帰還 (立花 隆)	藤十郎の恋・恩讐の彼方に (菊池 寛)
ABC殺人事件 (アガサ・クリスティー)	どくとるマンボウ青春記 (北 杜夫)
科学の考え方・学び方 (池内 了)	なまくら (吉橋通夫)
木に学べ -法隆寺・興隆寺の美 (西岡常一)	半自叙伝・無名作家の日記 (菊池 寛)
蜘蛛の糸・杜子春 (芥川龍之介)	病牀六尺 (正岡子規)
高野聖 (泉 鏡花)	平家物語を読む -古典文学の世界- (永積安明)
坂の上の雲 (司馬遼太郎)	まちがったっていいじゃないか (森 鏡)
砂糖の世界史 (川北 穂)	室樹 (芥川龍之介)
三四郎 (夏目漱石)	三十一文学のパレット (横 万智)
読筆断章 (竹西寛子)	名人伝 (中島 敦)
自分の感受性くらい (茨木のり子)	モンテ・クリスト伯 (デュマ)
スローカーブを、もう一球 (山藤淳吾)	八日目の蝉 (角田光代)
青春デンデケデケデケ (戸原すなお)	レポートの組み立て方 (木下是雄)
聖書物語 (山形孝夫)	老人と海 (ヘミングウェイ)
そうだったのか! 現代史 (池上 彰)	論語物語 (下村湖人)
ソウの時間ネズミの時間 -サイズの生物界 (本川達雄)	香川の歴史ものがたり [阪神:平成25年度出版予定] (香川県中学校社会科研究会)

藤村委員長からのメッセージ

「香川の子どもたちに読んでほしい100冊」

かがわ しょうがくせい ちゅうがくせい
香川の小学生、中学生のみなさんへ-----

わたし ほん よ ところ うち あたら
私 たちは、本を読むことで 心 を動かされたり、新 しいこ
し ほん わたし あたら せいかい させ
とを知ったりします。本は、私 たちを 新 しい世界に誘ってく
こ ころ よ ほん いっしょう たからもの
れます。子どもの頃に読んだ本は、一 生の宝 物です。

こんがい かがわ しょうがくせい ちゅうがくせい よ
今回、香川の小学生、中学生のみなさんにぜひ読んで
さつ えら はなし はなし
ほしい100冊を選びました。おもしろい 話、ためになる 話、
はなし しゅるい ようい
わくわくする 話 など、いろいろな種類を用意しています。

なつやす すこ せの よ
もうすぐ夏 休みです。少し背伸びしなければ読めないよう
むすか ほん さいご よ どの
な 難 しいものもありますが、1冊の本を最後まで読み通す楽
まんぞく あじ
しさと満足を味わいませんか。

かがわけんきょう 香川県教育委員会
いいんちょう 委員長 藤村育雄

(5) 家庭学習 / 家庭との連携

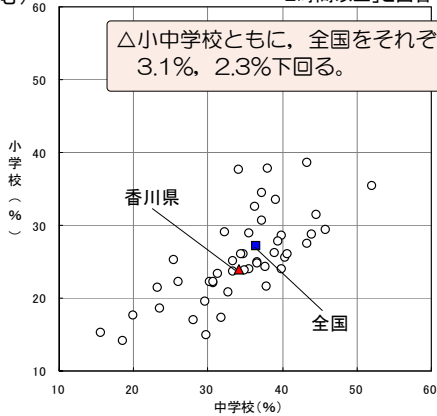
① 家庭学習の時間

- ・「普段の学習時間が、1日当たり2時間以上」と回答している児童生徒の割合は、全国と比較して小中学校ともに下回る。
- ・「土日の学習時間が、1日当たり3時間以上」と回答している児童生徒の割合は、全国と比較して小学校では下回り、中学校では同等である。

普段の学習時間

[児童生徒質問紙]

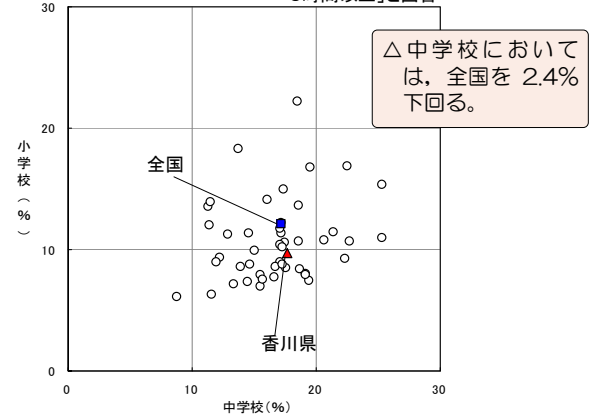
- 25 学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾や家庭教師含む)
*「2時間以上」と回答



土日の学習時間

[児童生徒質問紙]

- 26 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾や家庭教師含む)
*「3時間以上」と回答



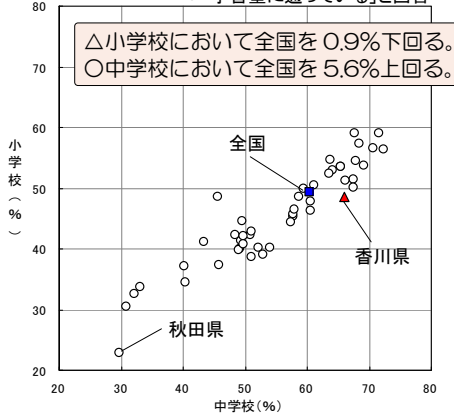
② 家庭学習の状況 (学習塾, 宿題, 予習, 復習)

- ・「学習塾で勉強している」「宿題をしている」と回答している生徒の割合は、全国と比較して高くなっている。
- 秋田県においては、学習塾に通っていると回答している児童生徒の割合は、小中学校ともに全国的に見て最下位である。

学習塾

[児童生徒質問紙]

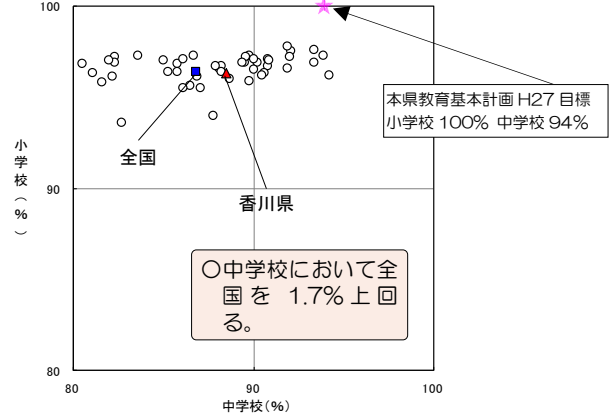
- 27 学習塾(家庭教師を含む)で勉強をしていますか
*「学習塾に通っている」と回答



宿題

[児童生徒質問紙]

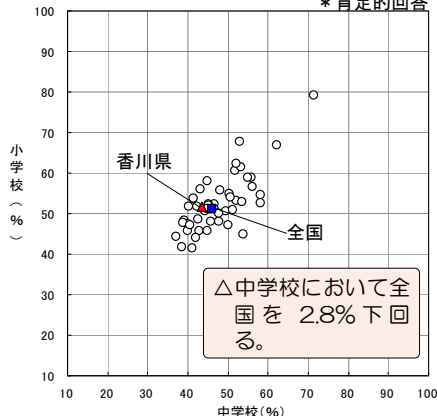
- 40 家で学校の宿題をしていますか
*肯定的回答



苦手な教科の勉強

[児童生徒質問紙]

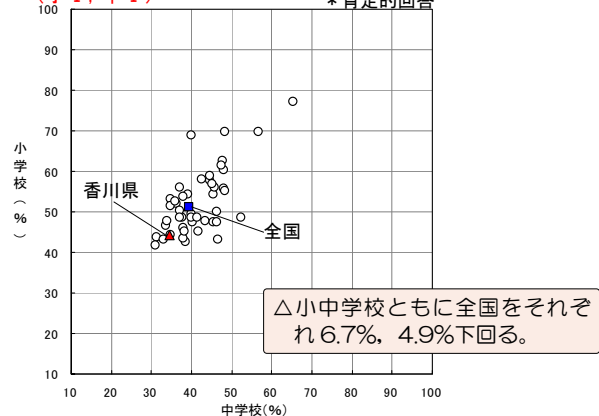
- 43 家で苦手な教科の勉強をしていますか(小I, 中I)
*肯定的回答



テストで間違えた問題の勉強

[児童生徒質問紙]

- 44 家でテストで間違えた問題について勉強していますか(小I, 中I)
*肯定的回答



・「予習をしている」「復習をしている」と回答している児童の割合は、全国と比較して、「予習」においては下回り、「復習」においては上回る。

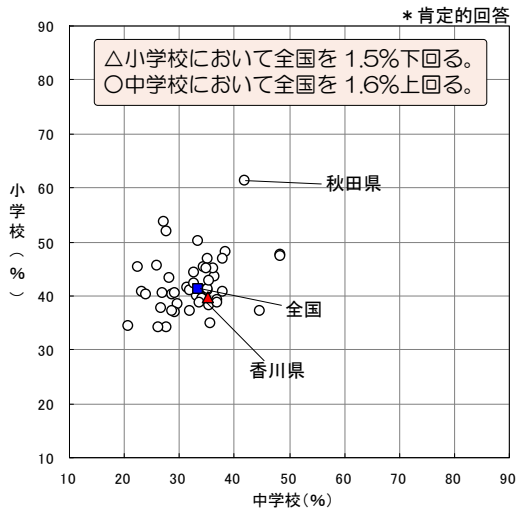
●秋田県は、小中学校ともに特に「復習をしている」と回答している児童生徒が、全国的に見て極めて高い割合を示している。

●秋田県においては、通塾率が低く、「家庭学習を全くしない」と回答している児童生徒が極めて少ないことから、家では計画的に、学校の予習・復習を中心とした学習を行っていることがうかがえる。

予習

[児童生徒質問紙]

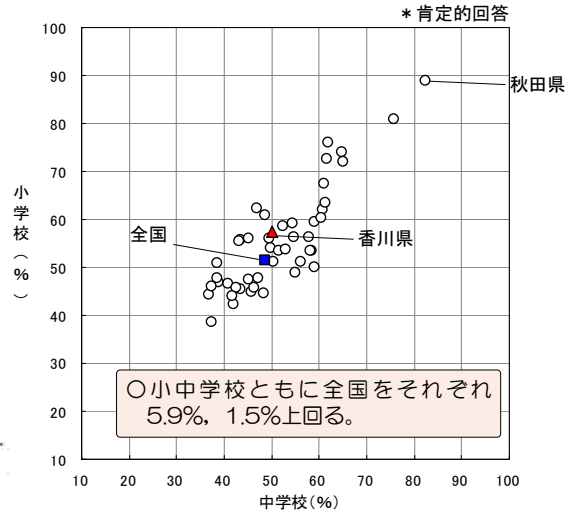
□41 家で学校の授業の予習をしていますか



復習

[児童生徒質問紙]

□42 家で学校の授業の復習をしていますか



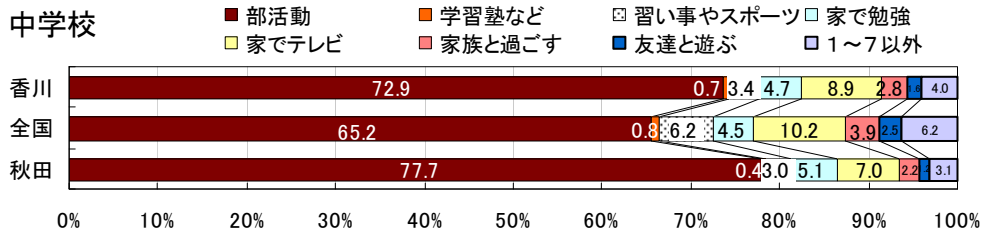
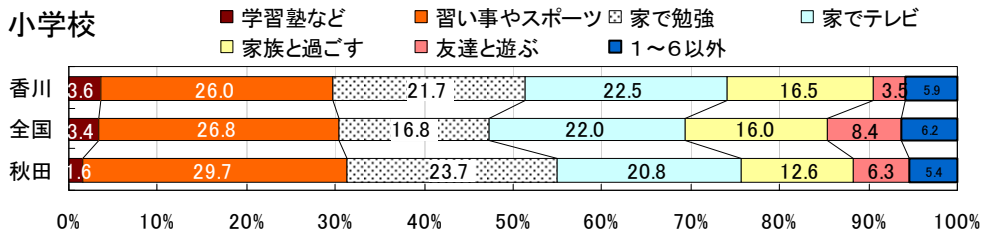
③ 土曜日の過ごし方

- ・土曜日の午前の過ごし方について小学校では、「家でテレビを見る」「家族と過ごす」と回答している児童の割合が全国より上回る。
- ・中学校では、「部活動」と回答している生徒の割合が全国と比較して極めて高くなっている。秋田県においては、それがさらに顕著である。
- ・土曜日の午後の過ごし方について小学校では「家でテレビを見る」「家族と過ごす」と回答している児童の割合が全国と比較して高くなっている。中学校では、「友達と遊ぶ」と回答している生徒の割合が全国と比較して高くなっている。

土曜日は何をして過ごす

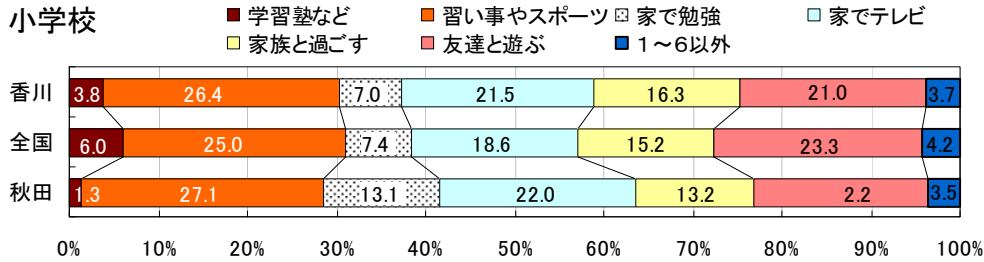
[児童生徒質問紙]

□28 土曜日の午前は、何をして過ごすことが多いですか

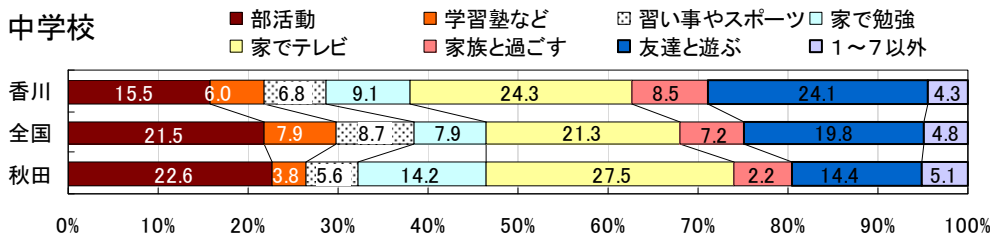


□29 土曜日の午後は、何をして過ごすことが多いですか

小学校



中学校



④ 家庭学習に関する学校の取組

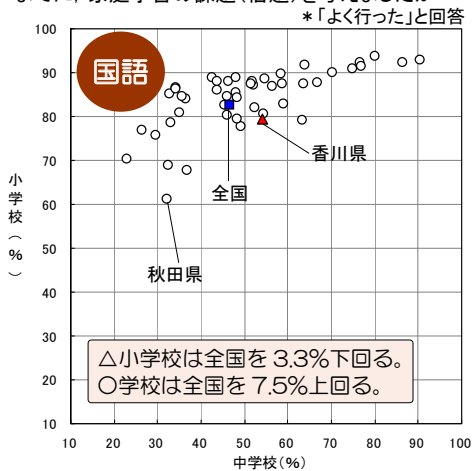
・「家庭学習の課題をよく与えた」と回答している小中学校の割合は、全国と比較して、小学校は同等か低くなっており、中学校は同等か高くなっている。

●小学校国語、算数においては、秋田県の割合が全国的に見て低くなっている。家庭学習の時間等、他の調査結果から、自主的な学習習慣が児童に定着していることがうかがえる。

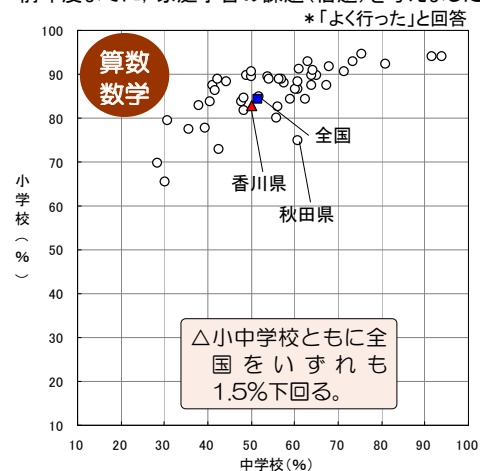
家庭学習の課題（宿題）

[学校質問紙]

■95/84 調査対象児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、家庭学習の課題(宿題)を与えましたか



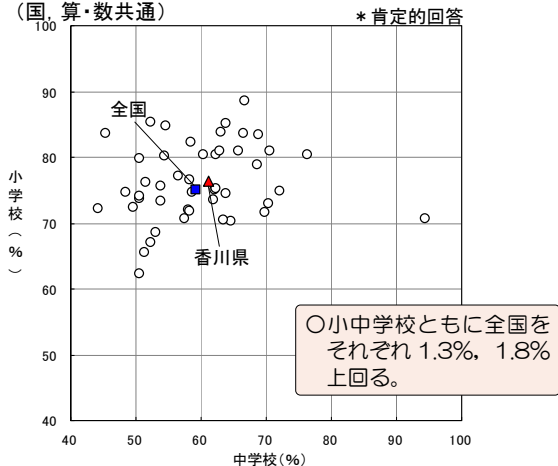
■99/88 調査対象児童生徒に対する算数(数学)の指導として、前年度までに、家庭学習の課題(宿題)を与えましたか



調べたり、文章を書いたりする宿題

[学校質問紙]

■103/92 調査対象児童生徒に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりする宿題を出しましたか (国・算・数共通)



◆家庭学習の与え方についての共通理解については、P96参照

■97/86 ■101/90 調査対象児童生徒に対する(教科)の指導として、前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、教職員で共通理解を図りましたか

◆家庭学習の評価・指導については、P97参照

■98/87 ■102/91 調査対象児童生徒に対する(教科)の指導として、前年度までに、家庭学習の課題について、評価・指導をしましたか

(6) 基本的な生活習慣 / 家庭でのコミュニケーション / ゲーム等

① 食生活, 起床・就寝時刻, 睡眠時間

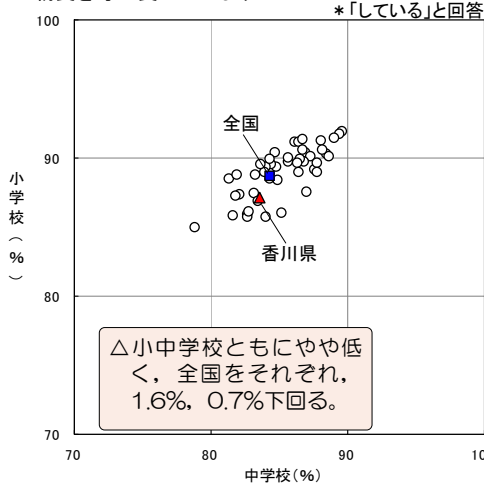
△「朝食を毎日食べている」「毎日、同じくらいの時刻に寝て(起きて)いる」と回答している児童の割合は、全国を下回る。

○「普段、6時半より前に起きている」と回答している児童の割合が、全国と比較して高くなっている。

朝食

[児童生徒質問紙]

□1 朝食を毎日食べていますか



【参考】 香川県教育委員会「カイケツ朝ごはん」より



朝ごはんを毎日食べる児童生徒の方が、学力調査の平均正答率が高い傾向にあります。

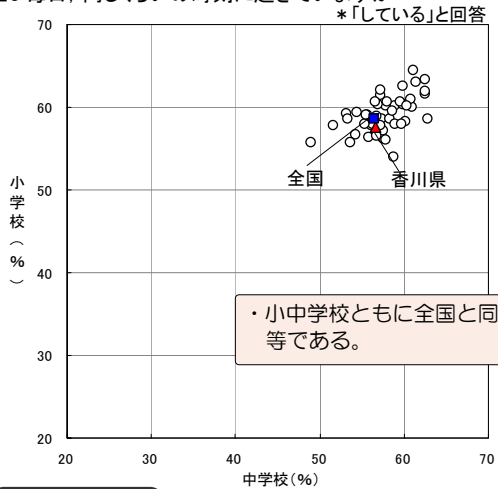
朝ごはんを食べずに食事の回数を減らすと、血清コレステロールや中性脂肪が高くなり、生活習慣病の原因になると言われています。

香川県では、「ひとり残らず朝ごはん100%」めざしています。

起きる時刻

[児童生徒質問紙]

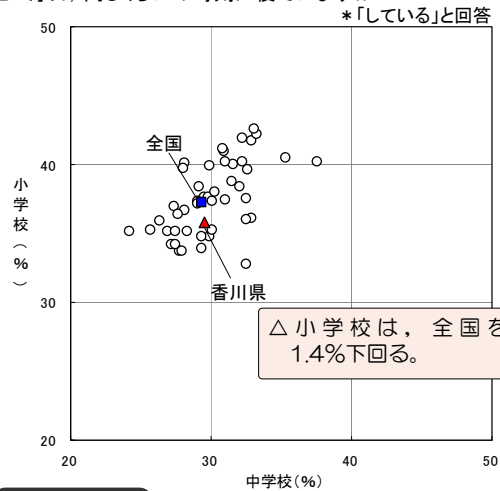
□3 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



寝る時刻

[児童生徒質問紙]

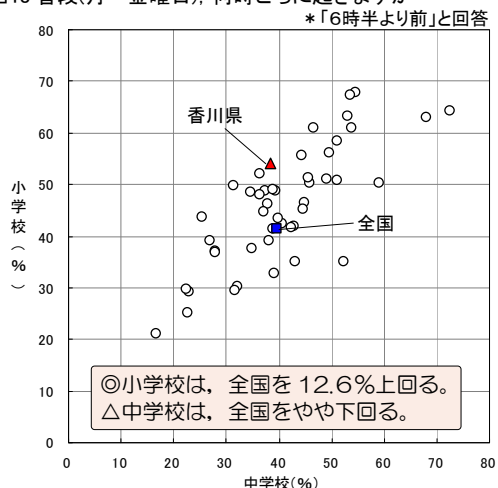
□2 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



起床時刻

[児童生徒質問紙]

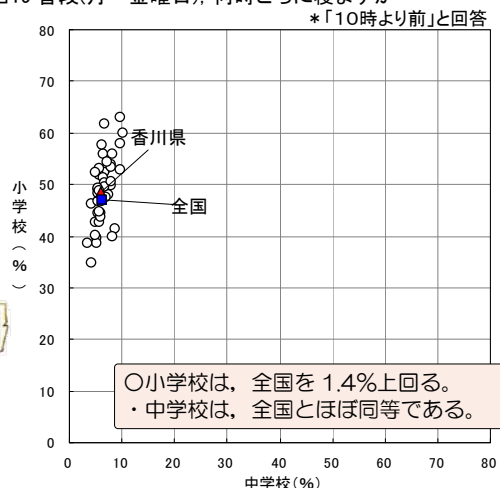
□18 普段(月～金曜日)、何時ごろに起きますか



就寝時刻

[児童生徒質問紙]

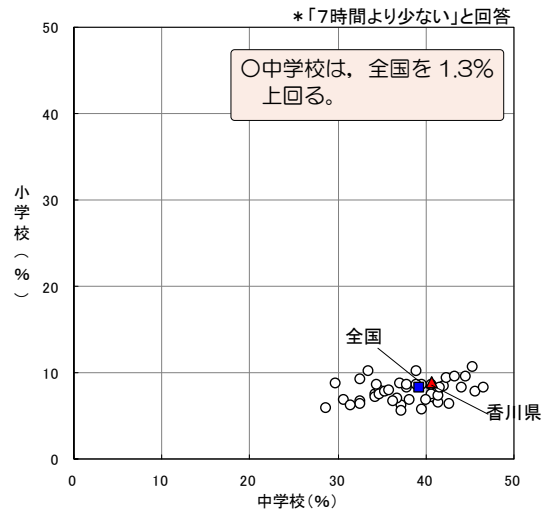
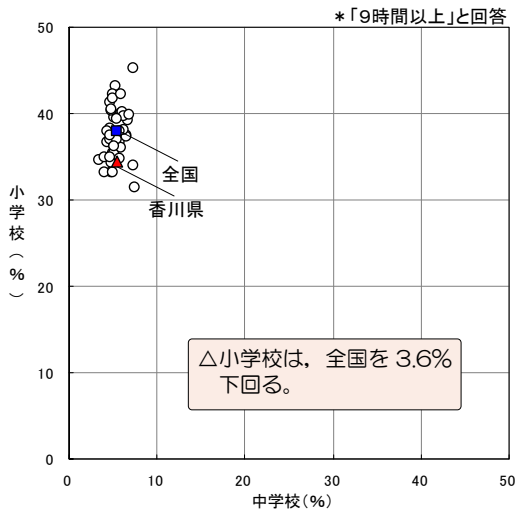
□19 普段(月～金曜日)、何時ごろに寝ますか



睡眠時間

[児童生徒質問紙]

□20 普段(月～金曜日), 1日にどれくらいの時間, 睡眠をとることが最も多いですか



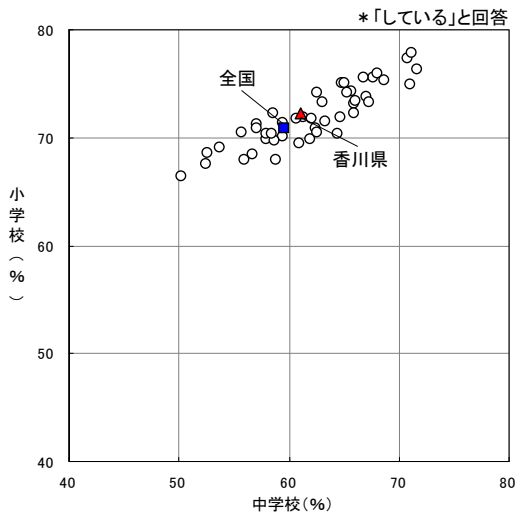
② 家庭でのコミュニケーション

- ・「家の人と夕食を食べている」と回答している児童生徒の割合は, 全国をやや上回る。
- △「家の人と学校での出来事について話をしている」と回答している児童の割合は, 全国を下回る。
- 「家の人と学校での出来事について話をしている」と回答している生徒の割合は, 全国を上回る。
- △「家の手伝いをしている」と回答している児童生徒の割合は, 小中学校ともに, 全国と比較して低くなっている。

家の人と夕食を食べている

[児童生徒質問紙]

□33 家の人と普段(月～金曜日), 夕食を一緒に食べていますか

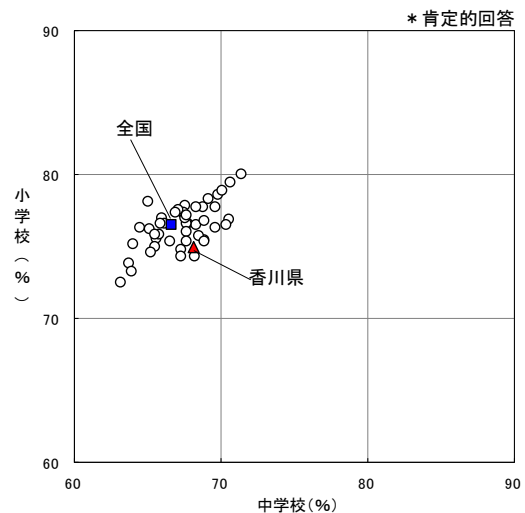


○小中学校ともに全国よりやや高く, それぞれ 1.3%, 1.4% 上回る。

家の人と学校での出来事を話している

[児童生徒質問紙]

□34 家の人と学校での出来事について話をしていますか

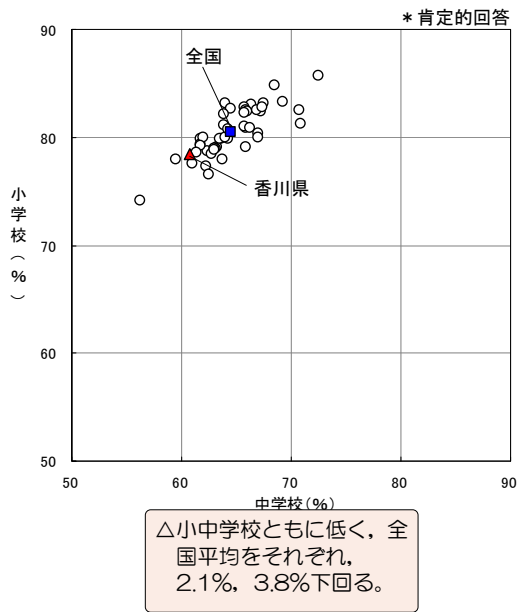


△小学校においては, 全国を 1.5% 下回る。
○中学校においては, 全国を 1.5% 上回る。

家の手伝いをしている

[児童生徒質問紙]

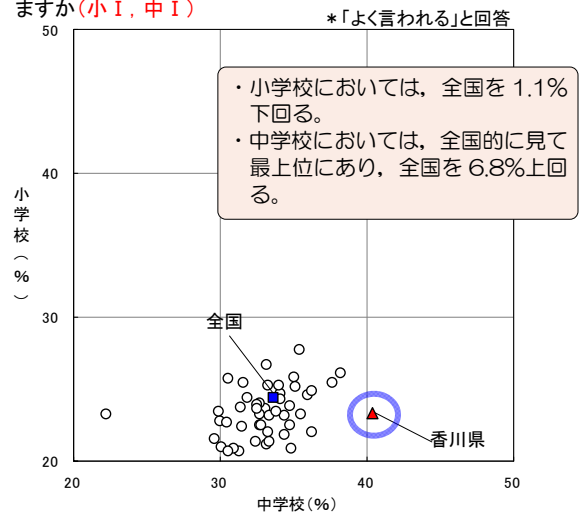
□35 家の手伝いをしていますか



勉強を促される

[児童生徒質問紙]

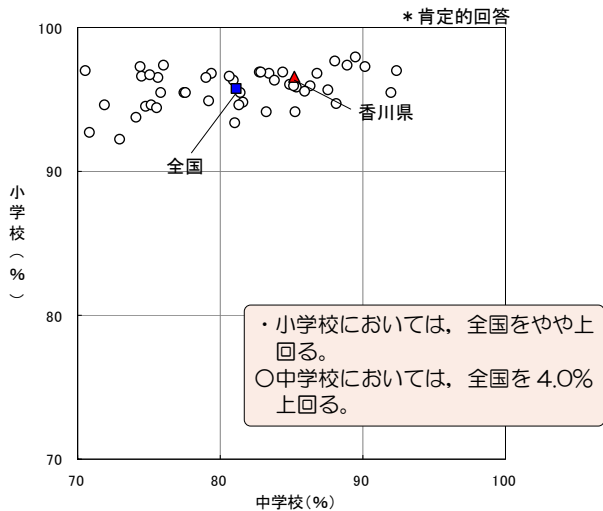
□37 家の人(兄弟姉妹は含みません。)に「勉強しなさい」と言われますか(小I, 中I)



授業参観への参加

[児童生徒質問紙]

□38 家の人(兄弟姉妹は含みません。)は、授業参観や運動会などの学校の行事に来ますか(小I, 中I)



- ・「家の人に「勉強しなさい」とよく言われる」と回答した生徒の割合が全国的に見て最上位にあり、家庭における学習への関心の高さがうかがえる。
- ・「家の方は授業参観や運動会などの学校の行事に来る」と回答している生徒の割合は、全国を上回っている。学校に対する関心の高さがうかがえる。

③ テレビゲーム、インターネット、メール

○「テレビやビデオ、テレビゲーム、インターネット等を1日あたり3時間以上する」と回答している児童生徒の割合は、いずれも全国と比較して低くなっている。

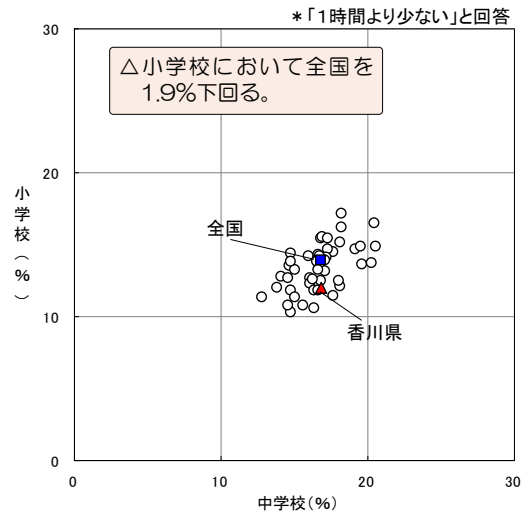
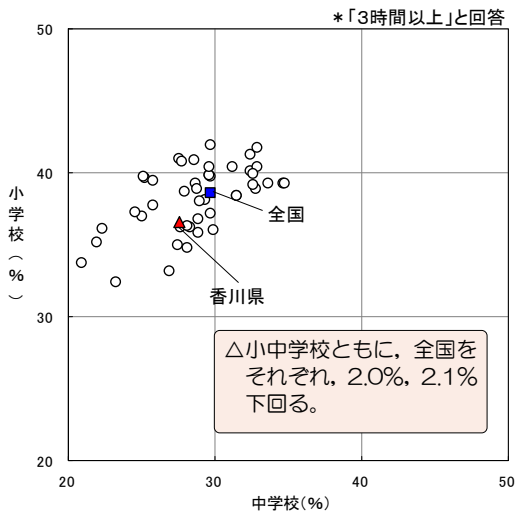
△「1日あたり3時間以上テレビゲームをしている」と回答している生徒の割合は、全国と比較して高くなっている。

・「1日あたり3時間以上インターネットをする」と回答している児童生徒の割合は、全国と比較して同等である。

テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりする時間

[児童生徒質問紙]

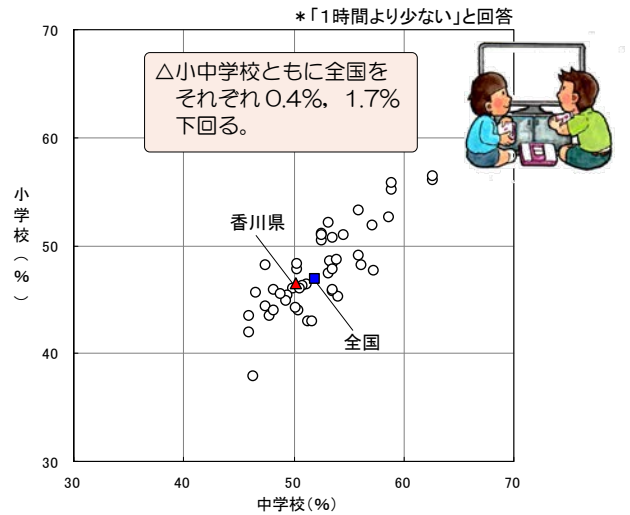
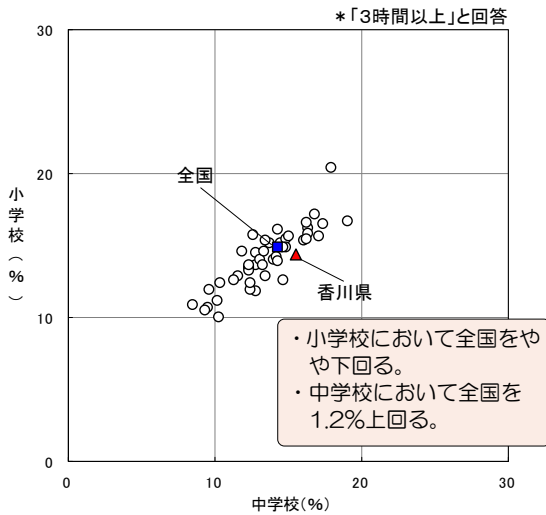
□21 普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか



テレビゲームをする時間

[児童生徒質問紙]

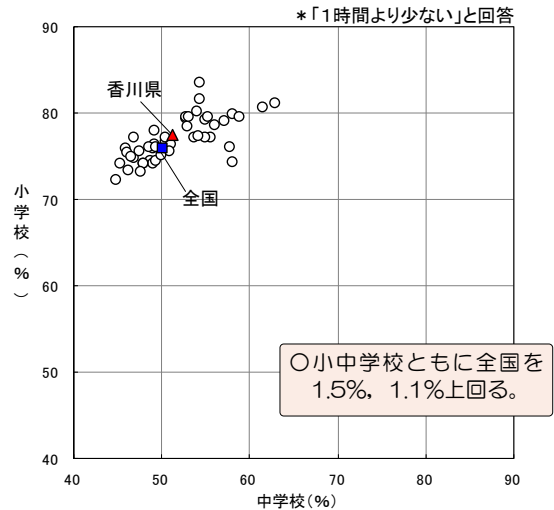
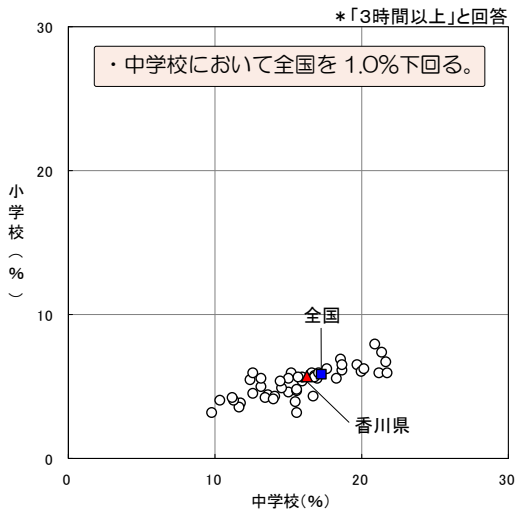
□22 普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか



インターネットをする時間

[児童生徒質問紙]

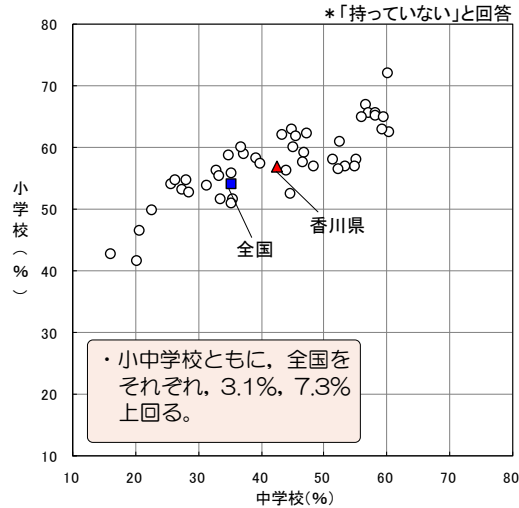
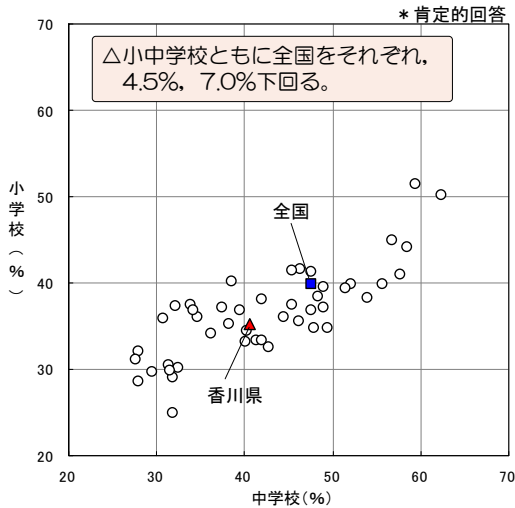
□23 普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、インターネットをしますか(小I、中I)



携帯電話の使い方についての約束を守っている

[児童生徒質問紙]

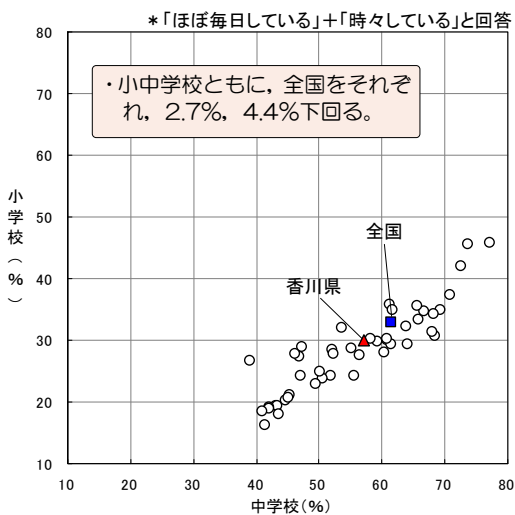
□36 携帯電話の使い方について、家の人と約束したことを守っていますか



携帯電話で通話やメールをしている

[児童生徒質問紙]

□24 携帯電話で通話やメールをしていますか(小I、中I)



[参考] 香川県教育委員会「大人の力」より

メディアとのつきあい方

有害情報につながる恐れも



携 携帯電話やパソコンは現代っ子には欠かせない便利なツール。特にインターネット機能を知りたい情報がすぐに手に入るので、多くの子どもたちが利用しています。一方、学校裏サイトや有害サイトの悪影響などが問題になっていることも事実。危険な世界と直結する危険性がある

フィルタリング
アダルトサイトや出会い系サイトなどの有害な情報に簡単にアクセスしたり、有害な情報だけを閲覧できるようにすることもフィルタリングといえます。フィルタリング機能を設定するとともに、利用にあたってのルールをつくりましょう。

ことも知っておかなければいけません。
ん。
犯罪やトラブルに巻き込まれないためには、子ども自身が危険性を認識することが大切。家族で話し合いの場を持ち、使用場所や時間などのほか、「フィルタリングを活用する」「興味本位でアクセスしない(見ない)、書き込みをしない」などルールを決めましょう。テレビの番組選択や視聴時間についても家族で話し合いましょう。

[参考] 香川県警察本部・香川県教育委員会「マンガで学ぶ正しいつきあい方 子どもとスマホ」より

スマホを使うあなたに(私からのお願い)

私たちが使ったスマホはいつも大切に扱って、大切に扱ってほしいです。スマホは少し心配です。でも危険がいっぱい。あなたが心配なら、あなたが心配するのでも大丈夫です。あなたが心配するのでも大丈夫です。

① 家族からの電話は必ず出てください。あなたが電話に出ると安心します。

② スマホを使って喋る時は、人を真実だと思わないでください。

③ 知らない人に自分の情報を教えたり、お金を貸したりしないでください。

④ スマホは必ず使わなければならない。大事なものを守り、大切にしてください。

⑤ スマホは必ず使わなければならない。大事なものを守り、大切にしてください。

⑥ スマホは必ず使わなければならない。大事なものを守り、大切にしてください。

⑦ スマホは必ず使わなければならない。大事なものを守り、大切にしてください。

⑧ スマホは必ず使わなければならない。大事なものを守り、大切にしてください。

⑨ スマホは必ず使わなければならない。大事なものを守り、大切にしてください。

⑩ スマホは必ず使わなければならない。大事なものを守り、大切にしてください。

お家の人より

香川県警察本部少年課
☎ 087-833-0110 (代表)
香川県教育委員会生涯学習課
☎ 087-832-3741

(7) 社会に対する興味・関心

① ニュースなどへの関心、地域の行事への参加

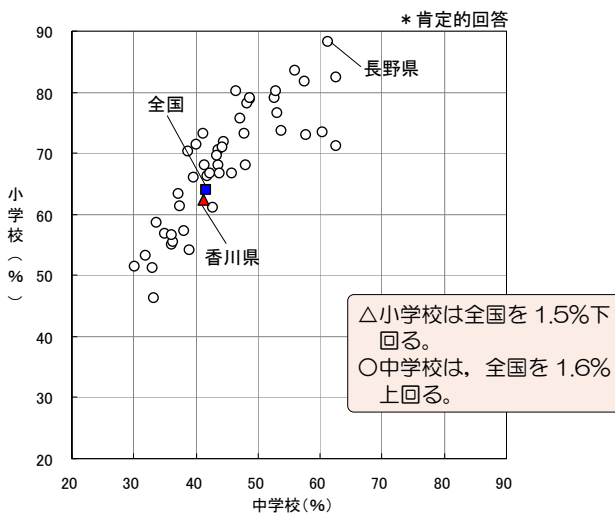
△「地域の行事に参加している」と回答している児童生徒の割合は、全国と同等である。一方、上位県の結果は、小学校において、90%に近い結果となっている。

○「地域や社会などでボランティア活動に参加したことがある」と回答した児童生徒の割合は、いずれも全国を大きく上回る。

地域の行事への参加

[児童生徒質問紙]

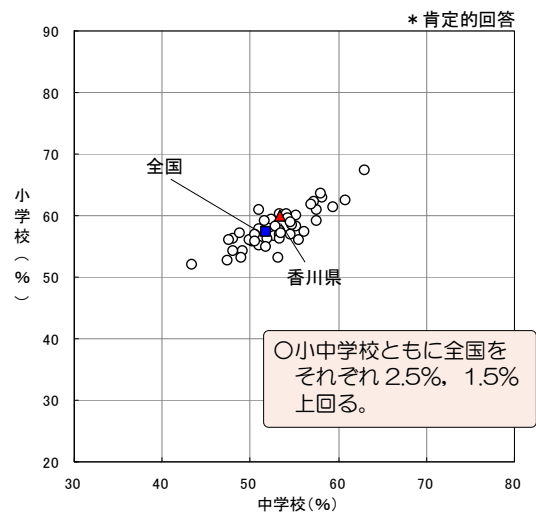
□50 今住んでいる地域の行事に参加していますか



地域の出来事への関心

[児童生徒質問紙]

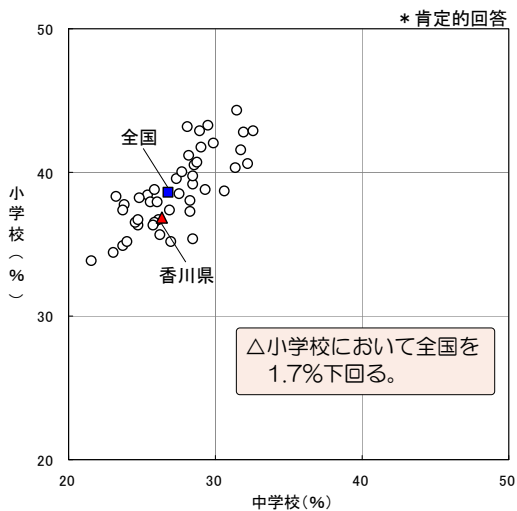
□51 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか



何をすべきか考える

[児童生徒質問紙]

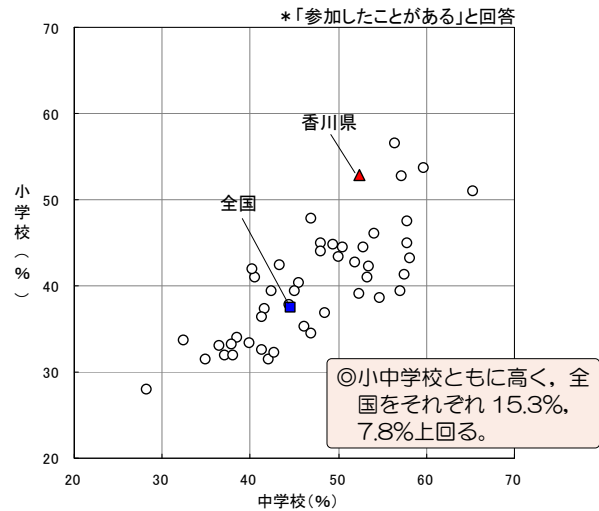
□52 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか



ボランティア活動への参加

[児童生徒質問紙]

□53 地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか(小Ⅱ, 中Ⅱ)

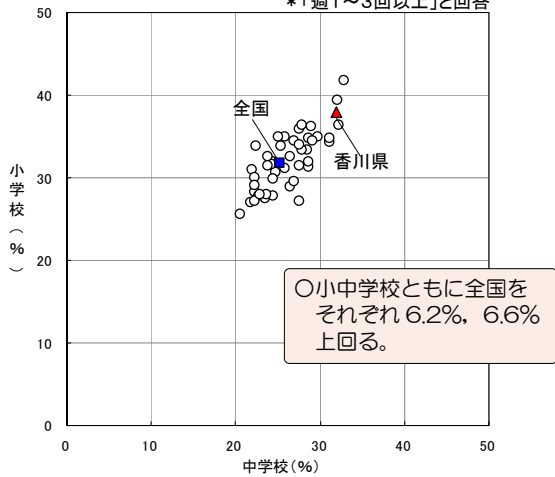


新聞を読んでいる

[児童生徒質問紙]

□54 新聞を読んでいますか(小Ⅱ, 中Ⅱ)

*「週1~3回以上」と回答

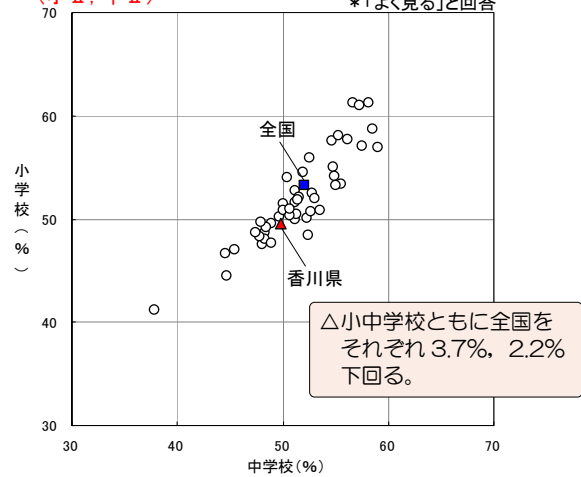


ニュース番組を見る

[児童生徒質問紙]

□55 テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか(小Ⅱ, 中Ⅱ)

*「よく見る」と回答



② 地域の大人や異年齢の友達とのかかわり

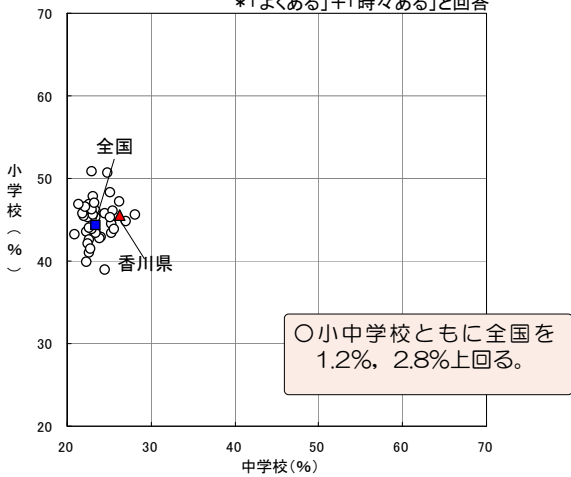
・「地域の大人と遊んだり, 勉強したりする」「年上や年下の友達と遊んだり, 勉強したりすることがある」と回答している児童生徒の割合は, 小中学校ともにやや上回る。

地域の大人と一緒に遊ぶ, 勉強する

[児童生徒質問紙]

□56 学校や塾の先生や家の人以外の地域の大人と一緒に遊んだり, 勉強を教えてもらったりすることがありますか(小Ⅱ, 中Ⅱ)

*「よくある」+「時々ある」と回答

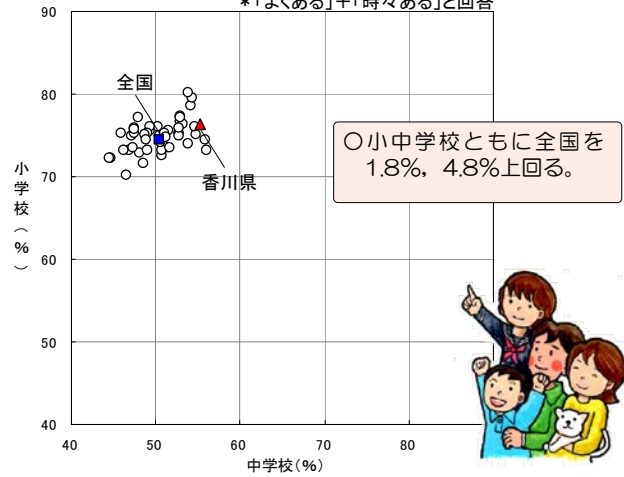


年上や年下の友達と遊ぶ, 勉強する

[児童生徒質問紙]

□57 年上や年下の友達と一緒に遊んだり, 勉強したりすることがありますか(小Ⅱ, 中Ⅱ)

*「よくある」+「時々ある」と回答

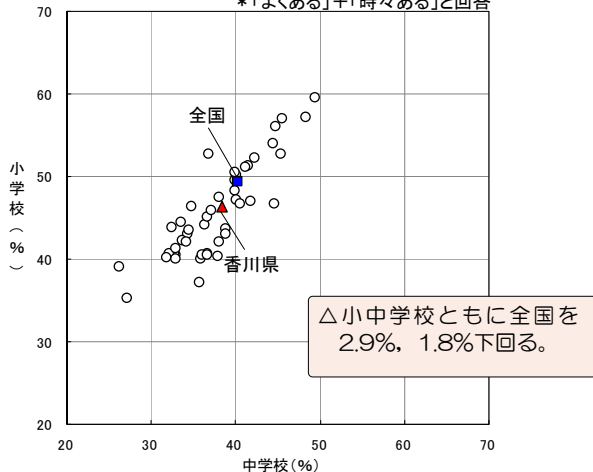


地域の人から注意される

[児童生徒質問紙]

□58 地域の大人から注意されたことや, 友達や他の子どもが注意されているところを見たことがありますか(小Ⅱ, 中Ⅱ)

*「よくある」+「時々ある」と回答

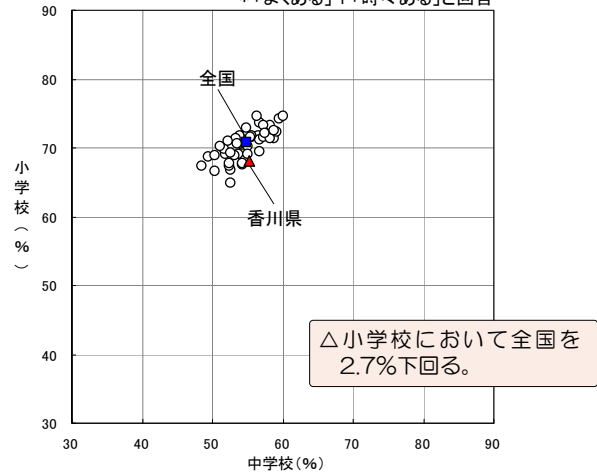


地域の人からの褒められる

[児童生徒質問紙]

□59 地域の人から褒められたことがありますか(小Ⅱ, 中Ⅱ)

*「よくある」+「時々ある」と回答



(8) 自尊感情・規範意識等

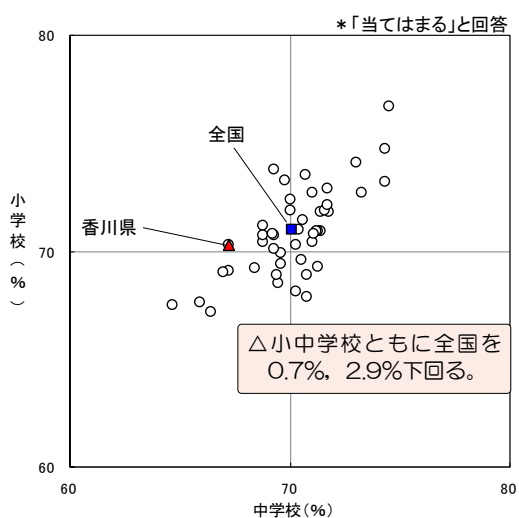
① 自尊感情等

- ▲「ものごとを最後までやりとげてうれしかったことがある」と回答している生徒の割合は全国を下回る。
- ▲「友達の前での発表は得意である」「自分の行動や発言に自信がある」と回答している児童生徒の割合は、全国的に見て極めて下位にある。香川の子どもたちは、小中学校ともに自分の考えや発言に自信をもつことができていなかったり、友達の前で発表することに苦手意識をもったりしていることがうかがえる。
- 学上位県においては、自尊感情にかかわるほぼすべての質問に対して最上位となっている。

やりとげてうれしかった

[児童生徒質問紙]

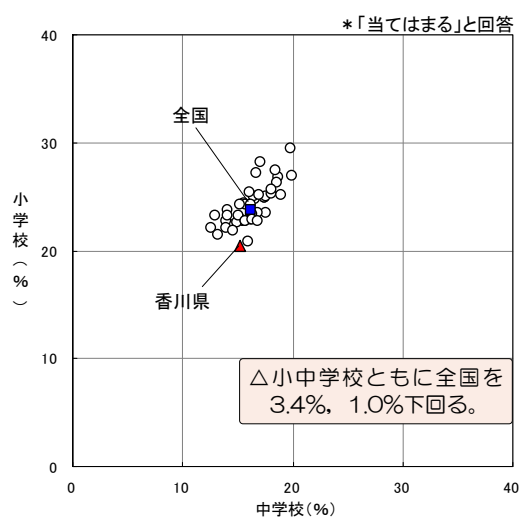
□4 ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがありますか



失敗を恐れずに挑戦する

[児童生徒質問紙]

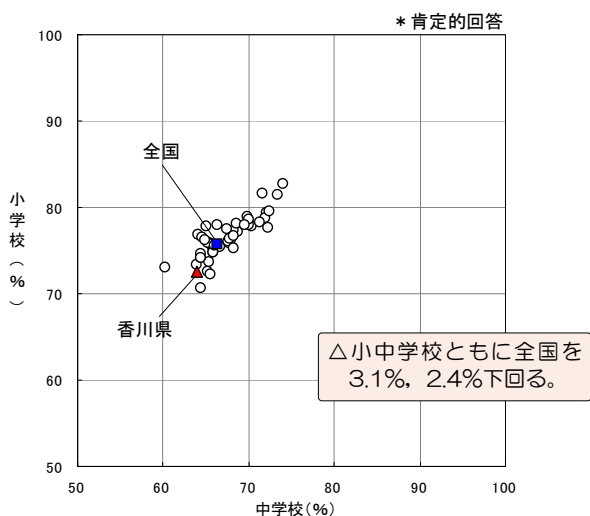
□5 難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか



自分にはよいところがある

[児童生徒質問紙]

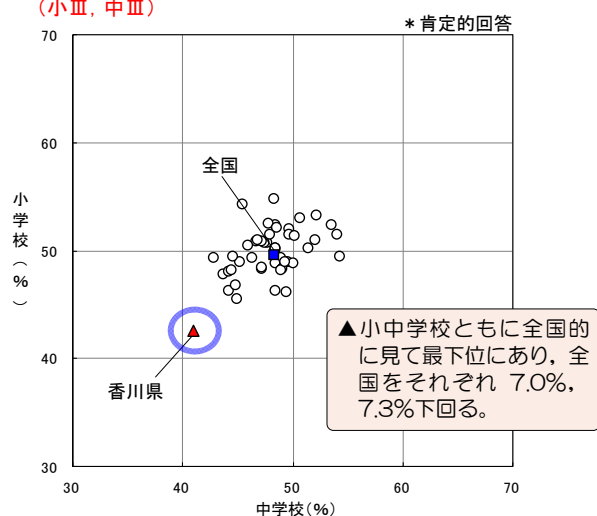
□6 自分には、よいところがあると思いますか



友達の前での発表は得意

[児童生徒質問紙]

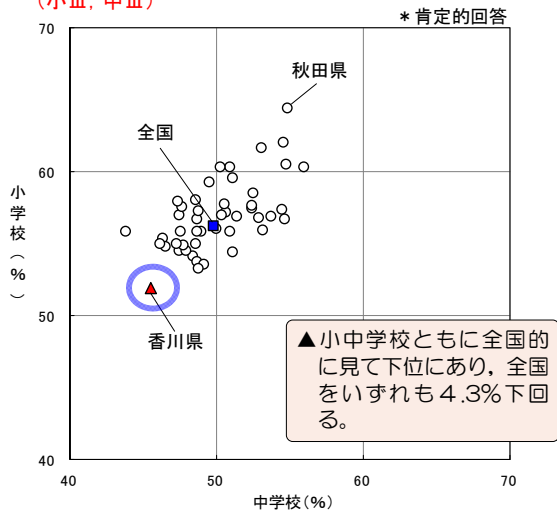
□7 友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか
(小Ⅲ, 中Ⅲ)



自分の行動や発言に自信

[児童生徒質問紙]

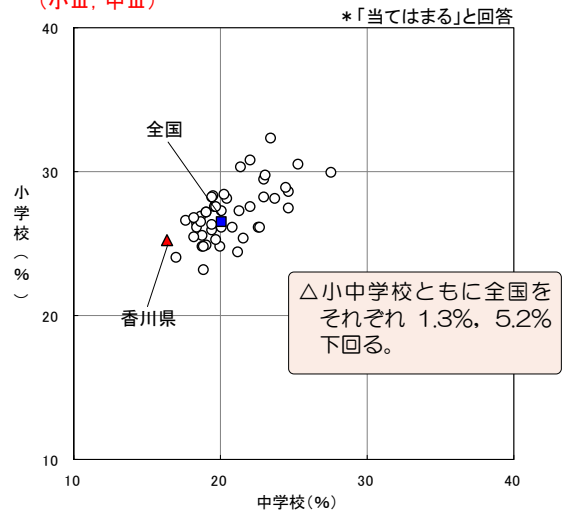
□8 自分の行動や発言に自信を持っていますか
(小Ⅲ, 中Ⅲ)



友達にうまく伝える

[児童生徒質問紙]

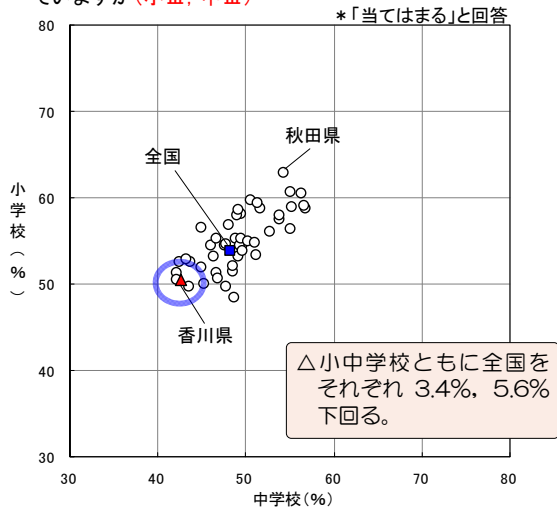
□9 友達に伝えたいことをうまく伝えることができますか
(小Ⅲ, 中Ⅲ)



友達の意見を最後まで聞く

[児童生徒質問紙]

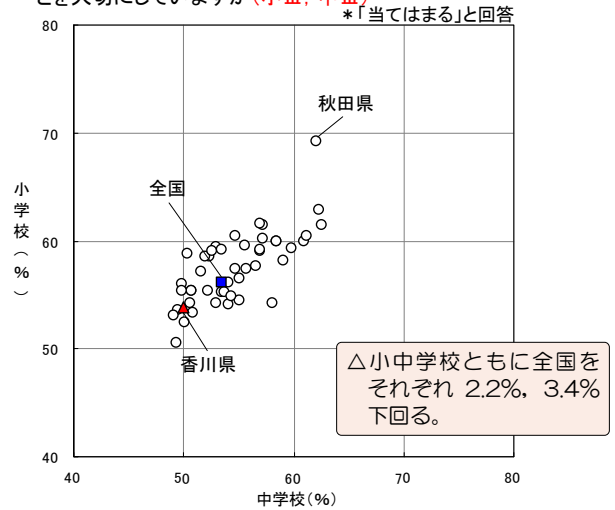
□10 友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか
(小Ⅲ, 中Ⅲ)



人には違いがあることを大切にしている

[児童生徒質問紙]

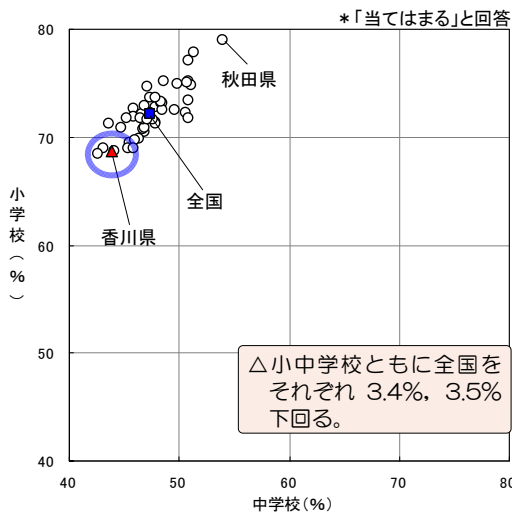
□11 一人一人の人間には考えや性格などに違いがあるということを大切にしていますか
(小Ⅲ, 中Ⅲ)



将来の夢や目標

[児童生徒質問紙]

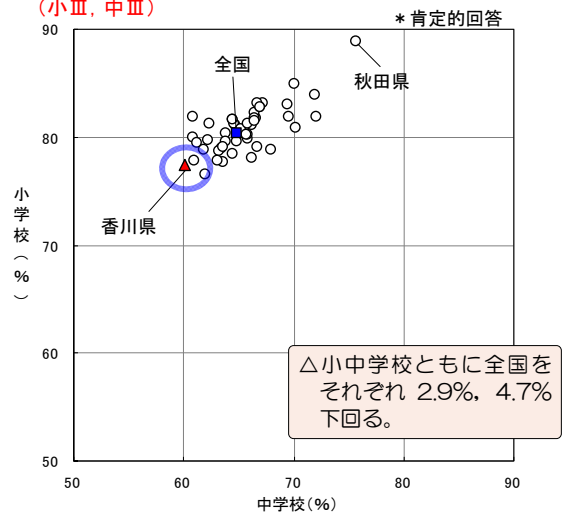
□12 将来の夢や目標を持っていますか



夢や目標のための努力

[児童生徒質問紙]

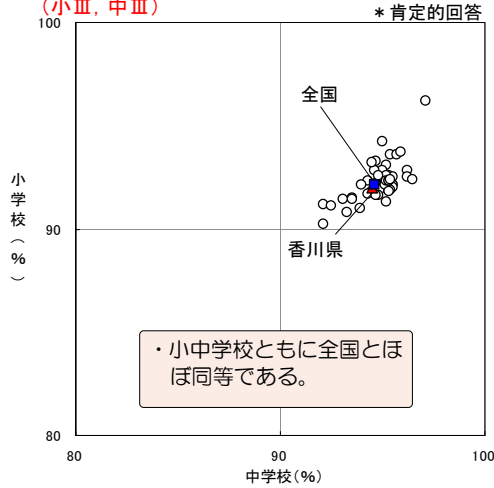
□13 将来の夢や目標を実現するために努力していますか
(小Ⅲ, 中Ⅲ)



何かの職業に就いて働きたい

[児童生徒質問紙]

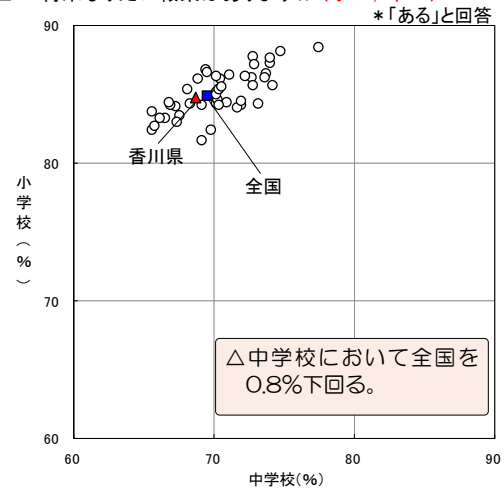
□14 将来何かの職業や仕事に就いて働きたいと思いませんか (小Ⅲ, 中Ⅲ)



将来なりたい職業がある

[児童生徒質問紙]

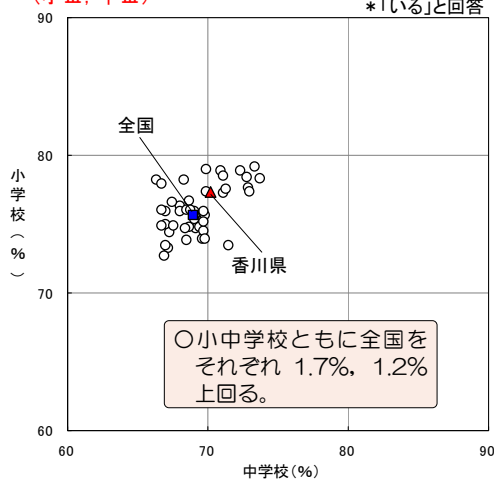
□15 将来なりたい職業はありますか (小Ⅲ, 中Ⅲ)



「あのような人」になりたい

[児童生徒質問紙]

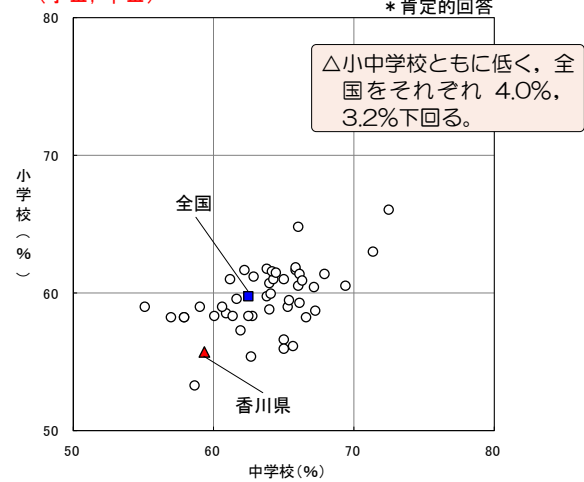
□16 あなたには「あのような人になりたい」と思う人はいますか (小Ⅲ, 中Ⅲ)



家の人と将来のことについて話すことがある

[児童生徒質問紙]

□17 家の人と将来のことについて話すことがありますか (小Ⅲ, 中Ⅲ)



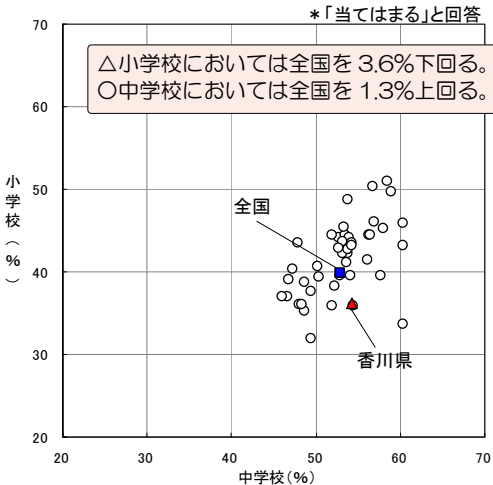
② 規範意識等

△「学校の規則を守っている」と回答している児童生徒の割合が、全国を下回り、全国的に見ても下位にある。
 ・「友達との約束を守っている」と回答している児童生徒の割合は、全国をやや下回る。

きまりを守っている

[児童生徒質問紙]

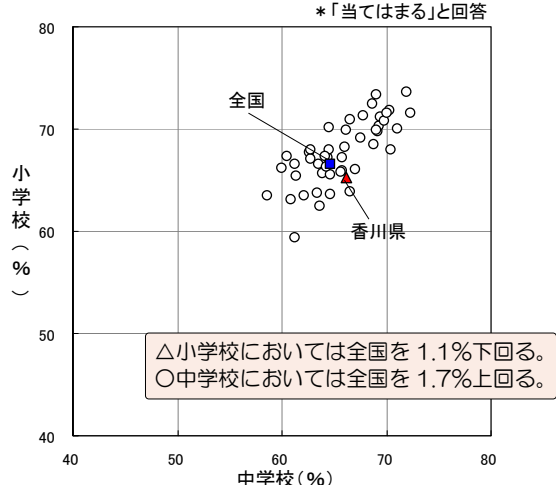
□64 学校のきまり(規則)を守っていますか



友達との約束を守っている

[児童生徒質問紙]

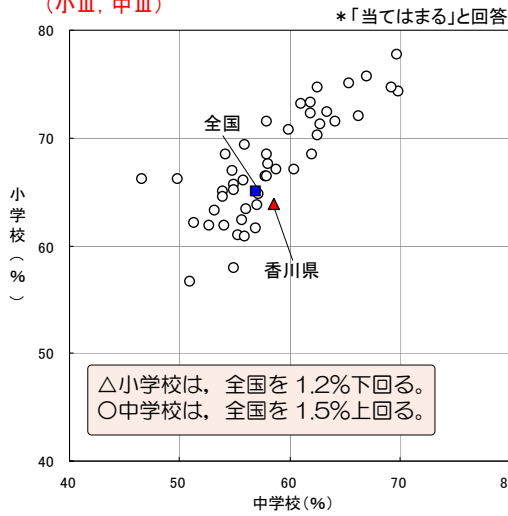
□66 友達との約束を守っていますか (小Ⅱ, 中Ⅱ)



あいさつ

[児童生徒質問紙]

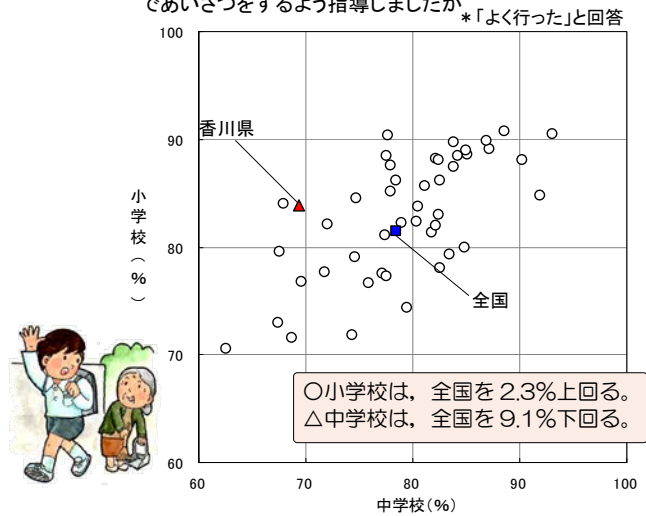
□65 近所の人に会ったときは、あいさつをしていますか
(小Ⅲ, 中Ⅲ)



あいさつの指導

[学校質問紙]

■48/42 調査対象児童生徒に対して、前年度までに、学校や地域
であいさつをするよう指導しましたか *「よく行った」と回答



[参考] 「さめきっ子 あいさつ運動」の取組

「さめきっ子 あいさつ運動」



東かがわ市立白鳥中学校

○平成24年9月24日

あいさつが伝統になっているよ。

毎朝、あいさつ運動をしているから、このような風景がいつもの風景だよ。

あいさつが伝統になっていて、自転車に乗っていても、どの人も笑顔であいさつしてくれてよ。続けていくことは大切だよ。

三豊市立仁尾小学校

○平成24年9月4日

とってもユニークだね▼

たくさん地域の方々为学校のまわりで活動してくれています。子どもたちを温かく見守っています。

子どもたちは、ボールといっしょに

あいさつのキャッチボールをしているよ。



高松市立前田小学校

○平成24年9月25日

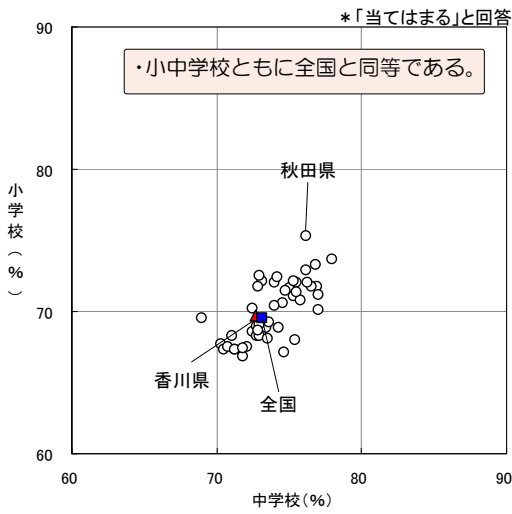
元気ハツラツのあいさつ運動でした。

いろいろな色のたすきがあるね。学年ごとに色を変えているそうです。

今日は、6年生が修学旅行に出発した日なのに、これだけたくさん子どもたちがあいさつ運動に集まったよ。多くの保護者の方やアイスフェローズの選手も一緒に参加しました。

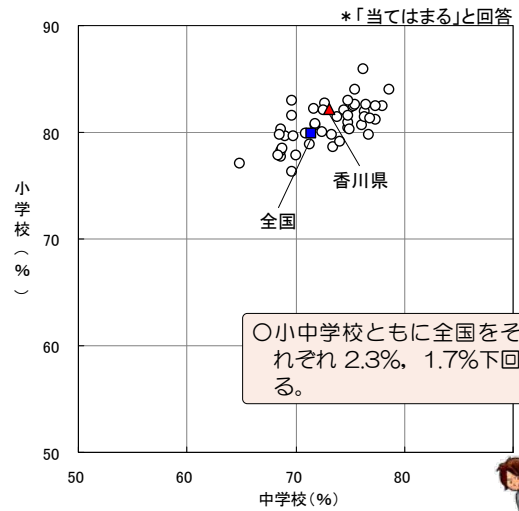
人の気持ち分かる人間になりたい [児童生徒質問紙]

□67 人の気持ち分かる人間になりたいと思いますか



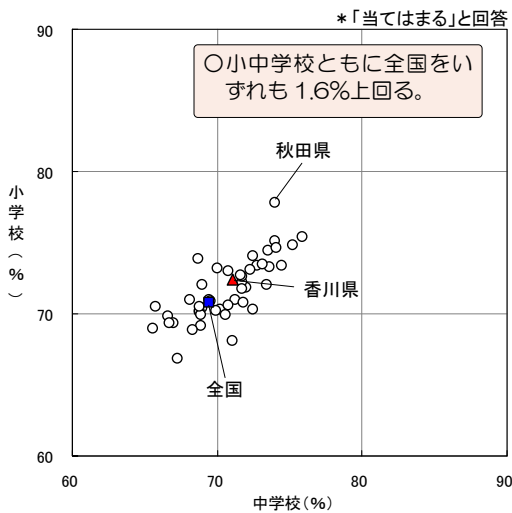
いじめは、いけないことだ [児童生徒質問紙]

□68 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



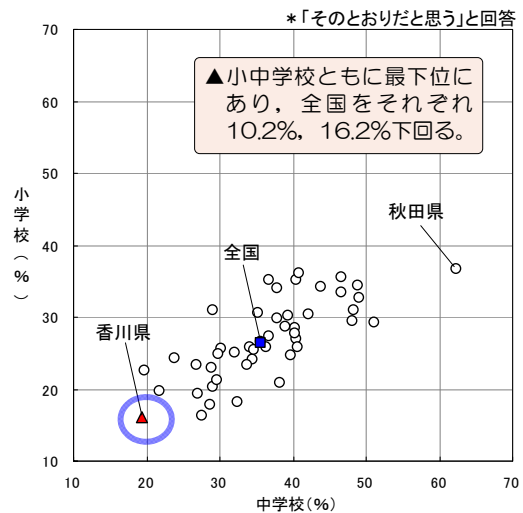
人の役に立つ人間になりたい [児童生徒質問紙]

□69 人の役に立つ人間になりたいと思いますか



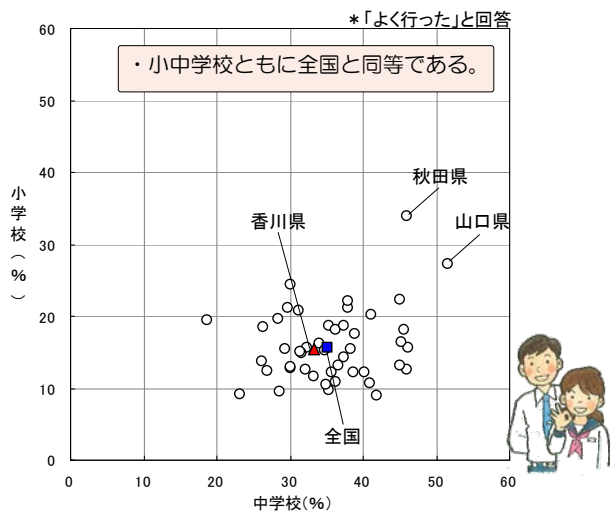
礼儀正しいと思う [学校質問紙]

■23/17 調査対象の児童生徒は、礼儀正しいと思いますか



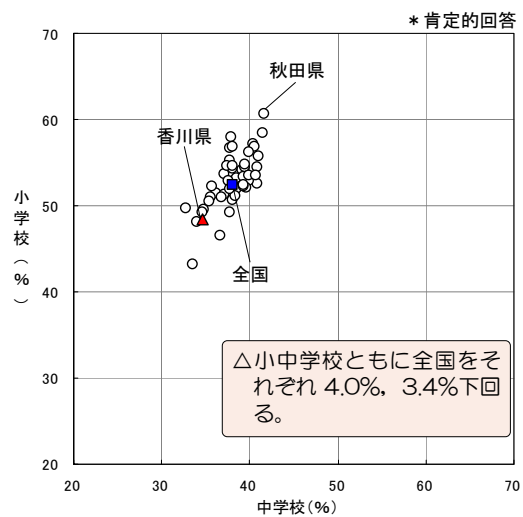
将来の仕事や夢について考えさせる指導 [学校質問紙]

■39/33 調査対象児童生徒に対して、前年度までに、児童生徒に将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか



リーダーとしての自信 [児童生徒質問紙]

□70 リーダーとして周りの人をまとめて引っ張っていける自信がありますか (小Ⅲ, 中Ⅲ)

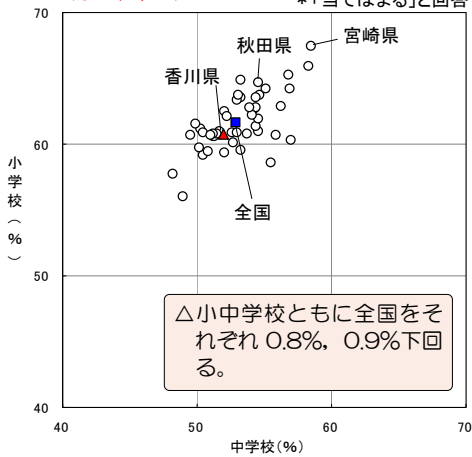


理解してくれる友達がいる

[児童生徒質問紙]

□71 自分の考えや気持ちを理解してくれる友達がありますか
(小Ⅲ, 中Ⅲ)

*「当てはまる」と回答

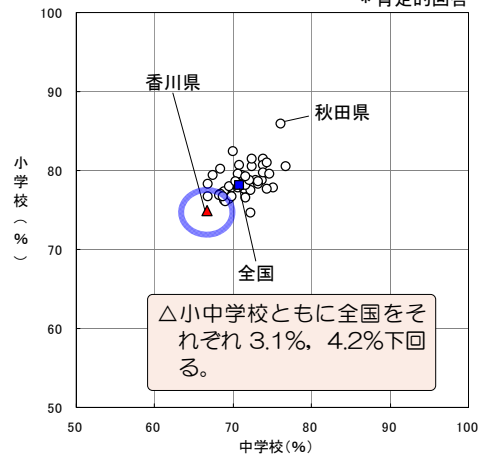


悪いことをした時は注意する

[児童生徒質問紙]

□72 友達が悪いことをしたときは注意しますか(小Ⅲ, 中Ⅲ)

*肯定的回答



③ 学校生活

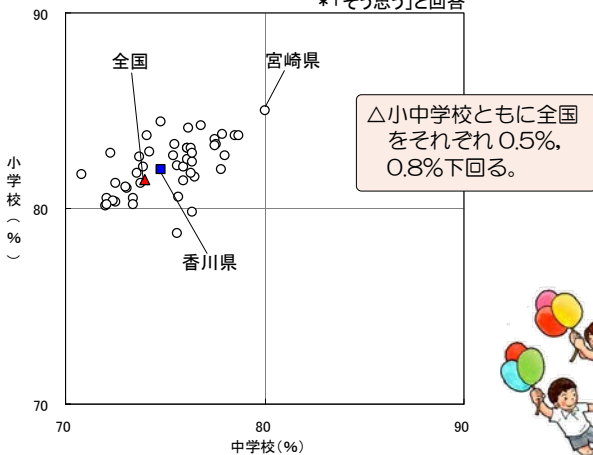
- △「学校で友達に会うのは楽しい」「学校に行くのは楽しい」と回答している児童の割合は、全国をやや下回る。
- △「学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマをよく与えた」と回答している学校の割合は、小学校において全国を下回る。

友達に会うのは楽しい

[児童生徒質問紙]

□46 学校で友達に会うのは楽しいと思いますか

*「そう思う」と回答

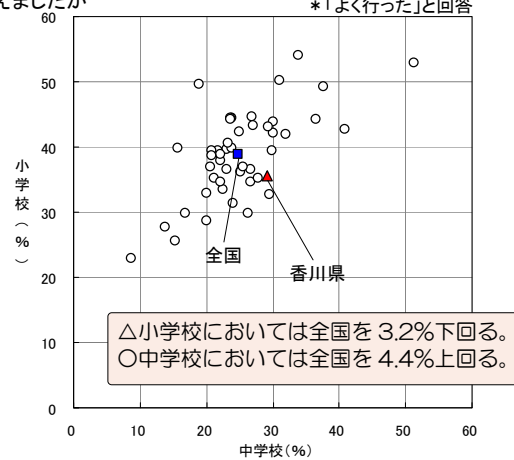


学級全員で挑戦する課題

[学校質問紙]

■42/36 調査対象児童生徒に対して、前年度までに、児童生徒に対して、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか

*「よく行った」と回答

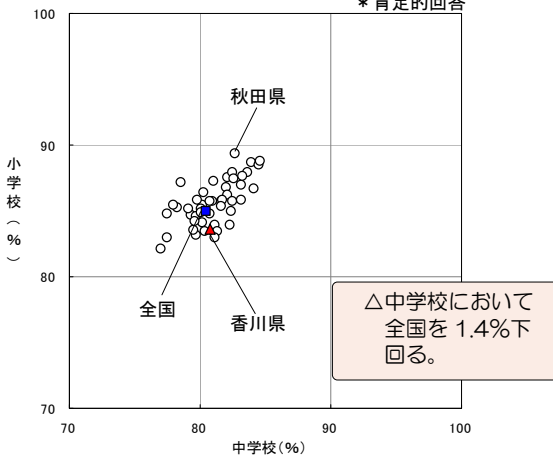


学校に行くのは楽しい

[児童生徒質問紙]

□45 学校に行くのは楽しいと思いますか

*肯定的回答

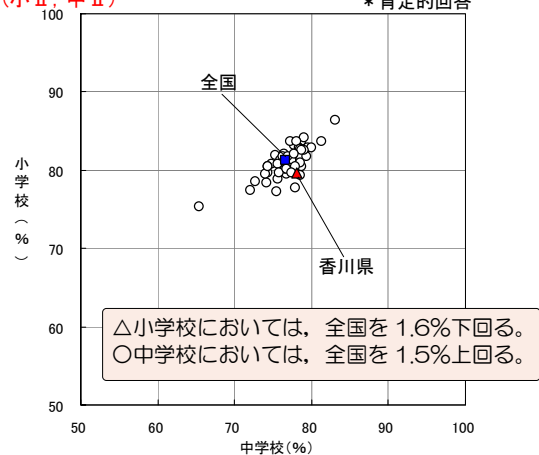


自然体験

[児童生徒質問紙]

□49 自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがありますか(小Ⅱ, 中Ⅱ)

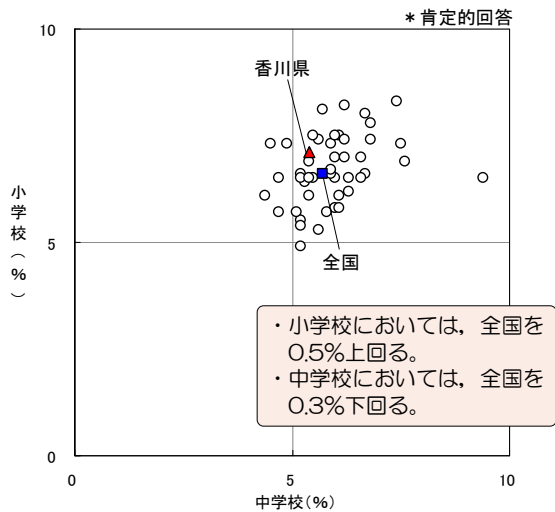
*肯定的回答



気持ちが沈んだとき

[児童生徒質問紙]

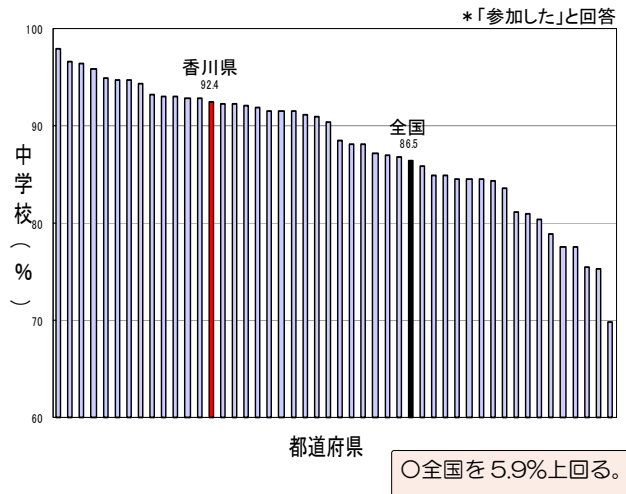
□47 学校で気持ちが沈んだときや、落ち着かないときなどに、保健室の先生のとこりに相談に行くことはありますか(小Ⅲ, 中Ⅲ)



部活動への参加

[生徒質問紙]

□48 学校の部活動に参加していますか(中Ⅲ)

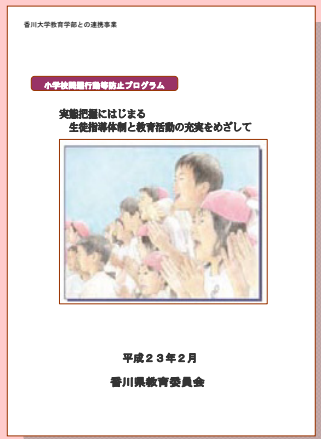


[参考]

「小学校問題行動等防止プログラム」より(H23.2)

自分のよさがわからず、何をやるにも自信がもてない。周りの友達とすぐぶつかってしまい、みんなで力を合わせたり何かをやり遂げたりした達成感や充実感を味わったこともあまりない。夢や目標に向かってがんばったり、みんなのために自分から何かしようとはしない。そんな児童の姿が増えつつあることが、質問紙調査や聞き取り調査の結果からうかがえます。・・・

どの児童の学校生活においても6つの視点を踏まえた教育活動を保障すること、つまり学校全体のプロジェクトとして位置付けることが、組織的に生徒指導を進めていく上で大切であると考えます。



「活躍できる」、「安心して自分を表現できる」、「かかわり方を身に付ける」、「人とつながる喜びを味わう」、「主体的に生活をつくる」、「自分を見つめ、生き方を考える」といった6つの視点を踏まえた教育活動を工夫する。



さぬきの教員
かかわりの三訓

一 共感的に受け止め
二 チームの力で
三 毅然と粘り強く

暴力行為を繰り返してしまったり、深刻かつ重大な事案を起こしてしまったりした児童生徒には、自分に寄り添い、かかわってくれる存在が必要です。

児童生徒の思いを共感的に受け止め、児童生徒を取り巻くみんなが力を合わせ、決して見捨てたりしないという熱意を持って毅然と粘り強くかかわり続けることで、いつか児童生徒は信頼を寄せ、前向きな気持ちを持ってくれるはずです。

先生のあたたかい手を、子どもは待っています。

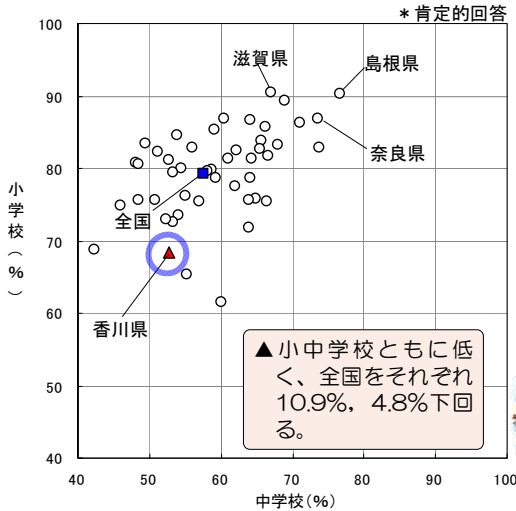
(9) 地域の人材・施設等の活用 / 開かれた学校

① 地域の人材・施設等の活用

地域人材を外部講師として招聘した授業

[学校質問紙]

■86/76 調査対象児童生徒に対して、前年度までに、地域の人材を外部講師として招聘した授業を行いましたか

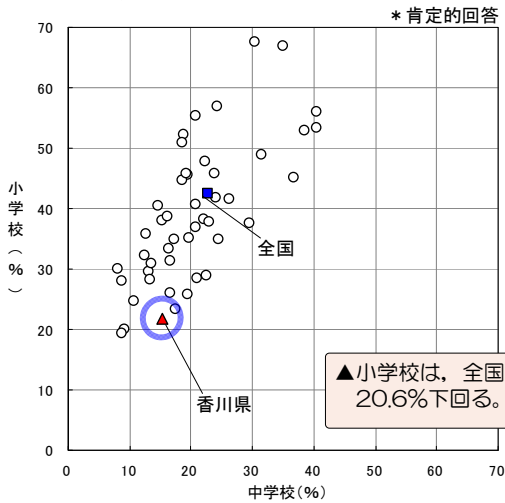


- ▲「地域の人材を外部講師として招聘した」と回答している小中学校の割合は、全国的に見て下位にある。
- ▲「ボランティア等による授業サポートを行った」「博物館や科学館、図書館を利用した授業を行った」と回答している小中学校の割合は、全国的に見て極めて下位にある。
- ▲第6学年の児童に対して、「第5学年までの間に自然の中での集団宿泊活動を2泊3日以上行った」と回答している小学校の割合は、全国的に見て下位にある。
- いずれの質問においても、複数の上位県は高い結果を示している。

ボランティア等による授業サポート

[学校質問紙]

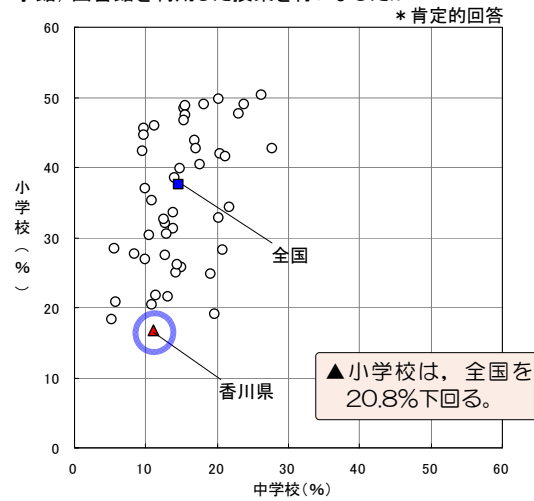
■87/77 調査対象児童生徒に対して、前年度までに、ボランティア等による授業サポート(補助)を行いましたか



博物館、図書館を利用した授業

[学校質問紙]

■88/78 調査対象児童生徒に対して、前年度までに、博物館や科学館、図書館を利用した授業を行いましたか

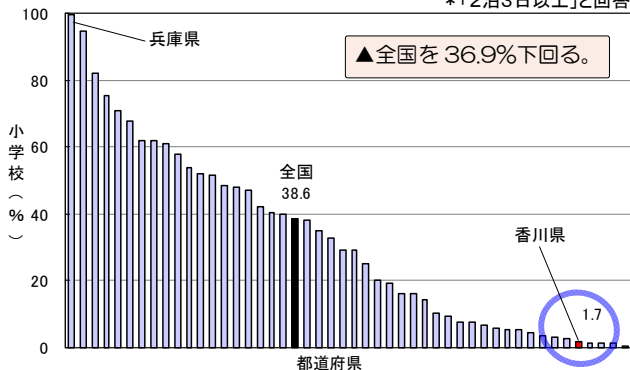


自然の中での集団宿泊活動の実施(小)

[学校質問紙]

■89 調査対象児童に対して、第5学年までの間に、自然の中での集団宿泊活動を行いましたか

*「2泊3日以上」と回答



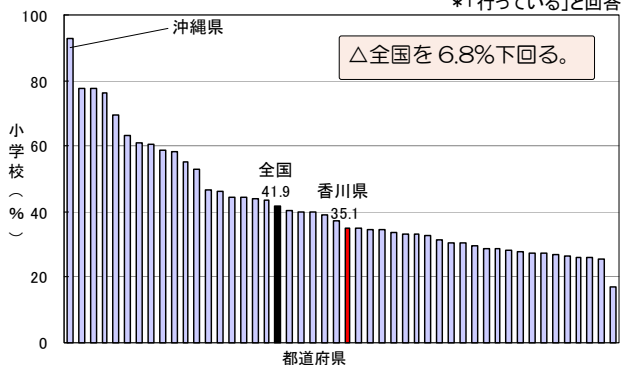
●兵庫県は、4泊5日以上と回答している小学校の割合を見ても99.4%で、極めて高くなっている。

職場見学や職場体験活動の実施

[学校質問紙]

■90/79 あなたの学校では、職場見学や職場体験活動を行っていますか

*「行っている」と回答



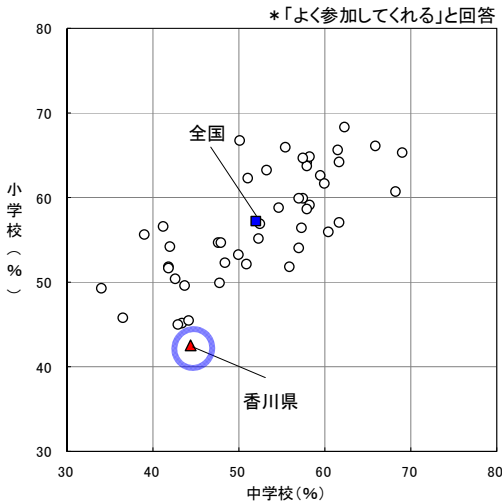
※中学校(■79)の結果は、香川100%、全国98.4%(分布幅95.5~100%)

- ▲「PTA や地域の人が学校の諸活動にボランティアとしてよく参加してくれる」と回答している小中学校の割合は、全国と比較して下位にある。
- ▲「保護者や地域の人の学校支援ボランティア活動は、学校の教育水準の向上に効果がある」と回答している小中学校の割合は、全国的に見て下位にある。

PTAや地域の人によるボランティア

[学校質問紙]

- 91/80 あなたの学校では、PTAや地域の人が学校の諸活動にボランティアとして参加してくれますか

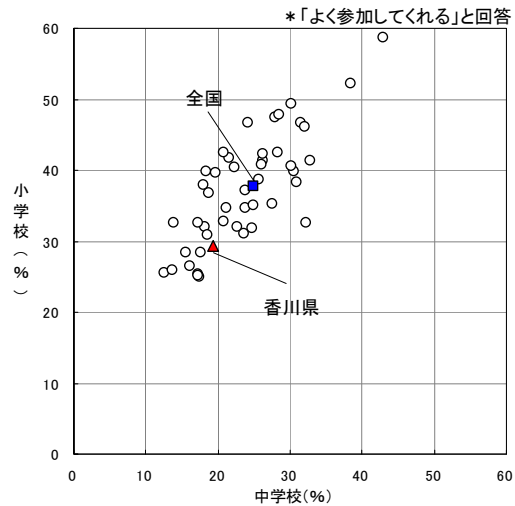


▲小学校は最下位で、中学校も低く、全国をそれぞれ、14.7%、7.6%下回る。

学校支援ボランティアの仕組みによる保護者等の活動

[学校質問紙]

- 92/81 学校支援ボランティアの仕組みにより、保護者や地域の人 が学校における教育活動や様々な活動に参加してくれますか



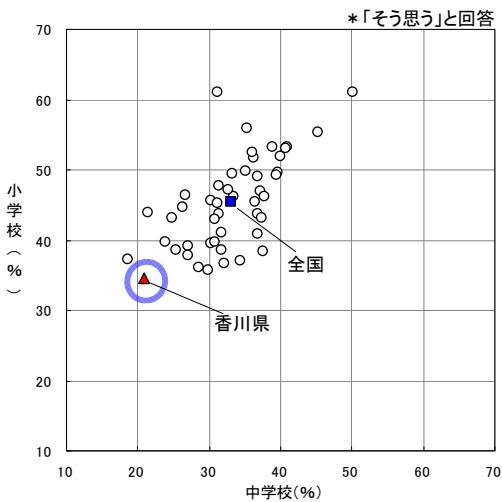
△小中学校ともに全国をそれぞれ、8.4%、5.5%下回る。



学校支援ボランティアの効果

[学校質問紙]

- 93/82 保護者や地域の人の学校支援ボランティア活動は、学校の教育水準の向上に効果がありましたか

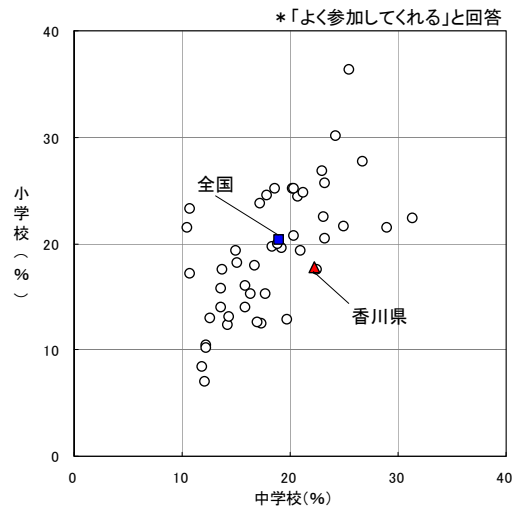


▲小中学校ともに全国をそれぞれ、11.0%、12.2%下回る。

教職員の地域行事等への参加

[学校質問紙]

- 94/83 教職員は、勤務している学校の地域や住んでいる地域の活動や行事に参加していますか



△小学校は、全国を2.5%下回る。
○中学校は、全国を3.2%上回る。

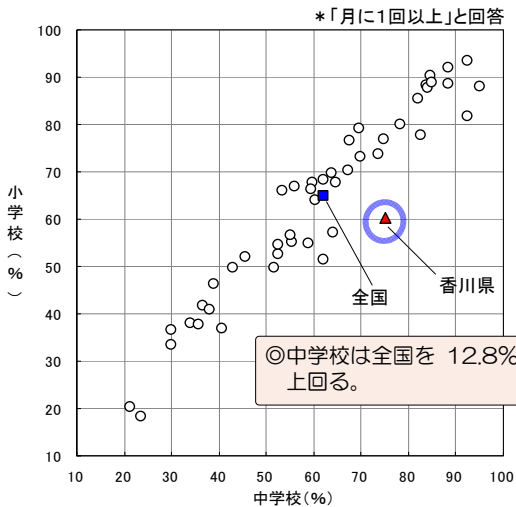
② 開かれた学校

- 学校のHPを月に1回以上の頻度で更新し、情報提供を行っている中学校の割合は、全国と比較して高くなっている。
- 「保護者からの意見や要望を聞くために、学校として懇談会の開催やアンケート調査を年間に3回以上実施した」と回答している中学校の割合が、全国と比較して高くなっている。
- ▲「学校評価を教育活動その他の学校運営の改善に結び付けることができている」と回答している中学校の割合が、全国と比較して低くなっている。
- 上記の質問について、いずれも最上位県は極めて高い結果を示している。

HPによる情報提供

[学校質問紙]

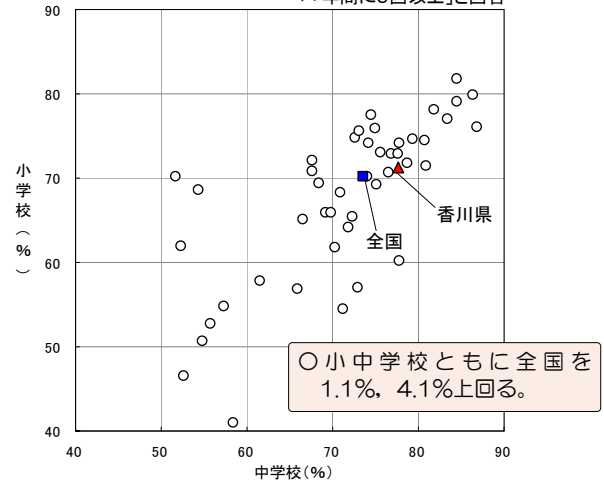
- 105/94 学校の教育活動の情報について、前年度にどれくらいの頻度でホームページを更新し、情報提供を行いましたか



懇談会やアンケートの実施

[学校質問紙]

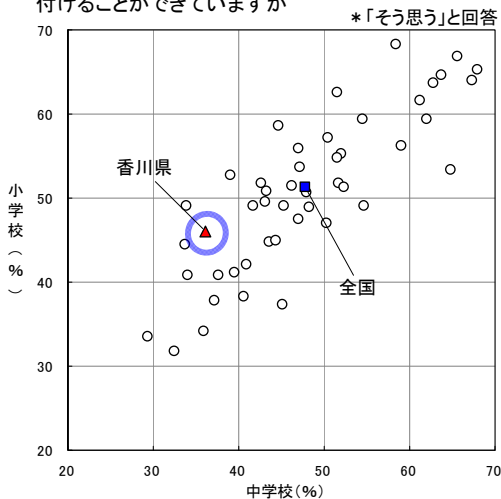
- 106/95 保護者からの意見や要望を聞くために、学校として懇談会の開催やアンケート調査を前年度にどれくらい実施しましたか



学校評価を改善に結び付ける

[学校質問紙]

- 107/96 学校評価を教育活動その他の学校運営の改善に結び付けることができているか



【参考】 香川県教育委員会「ひろめよう地域の底デカラ」より

「地域教育活動のためのハンドブック」には地域で子どもを育てるヒントがいっぱい!

子どもたちの笑顔と未来のために

関係者からこんな声があがっています

学校の声	子どもの声	地域住民の声
<ul style="list-style-type: none"> ●地域コーディネーターがボランティアとの調整してくれるのが助かっています。 ●子どもの成長を見つけて声かけしてくださるので、子どもにも励みになり、学校全体が喜んでいます。 	<ul style="list-style-type: none"> ●お金をさいにしていたのでみんなで大切に使っています。 ●勉強で分らなかった事もボランティアの人に教えてもらってよかったです。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「お金を貸しても口を出さないでいいよ」と、学校に信頼をかけるようになってきました。 ●子どもたちから元氣をもらい、生きがいになっています。 ●地域のつながりも深まりました。

(10) 全国学力・学習状況調査等の活用 / 異校種間の連携 / 教員研修

① 全国学力・学習状況調査等の活用

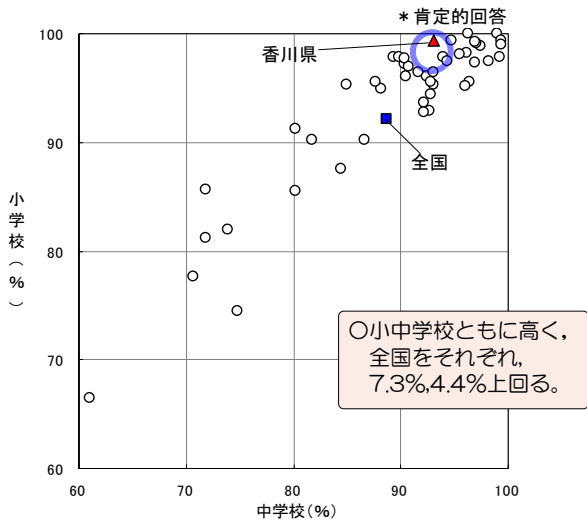
◎全国学力・学習状況調査等の活用に関する質問において、小中学校ともに本県の結果は、全国を大きく上回っている。

●「独自の調査等の結果を利用し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行った」と回答している小学校の上位県の中には、100%の割合を示している県が2県ある。

具体的な教育指導の改善等

[学校質問紙]

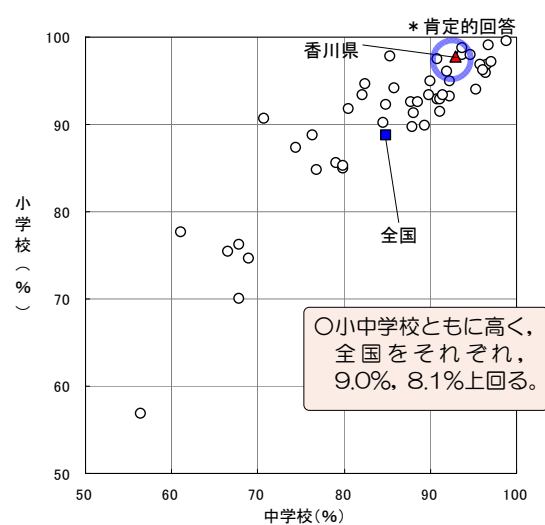
■57/50 独自の調査等の結果を利用し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行いましたか



学校全体で教育活動への改善

[学校質問紙]

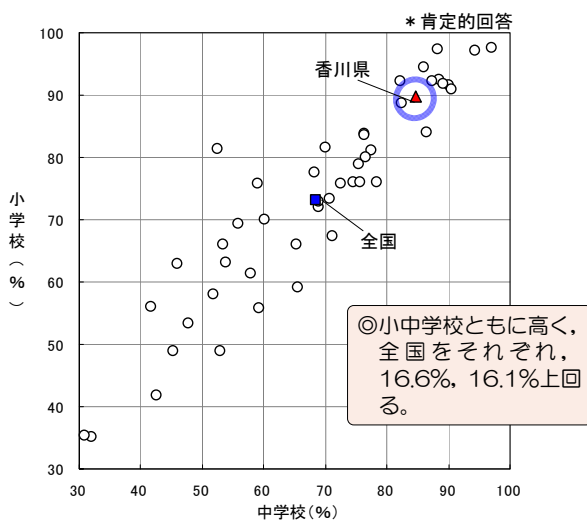
■58/51 独自の調査等の結果を調査対象学年・教科だけでなく学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか



保護者や地域の人たちへの公表や説明

[学校質問紙]

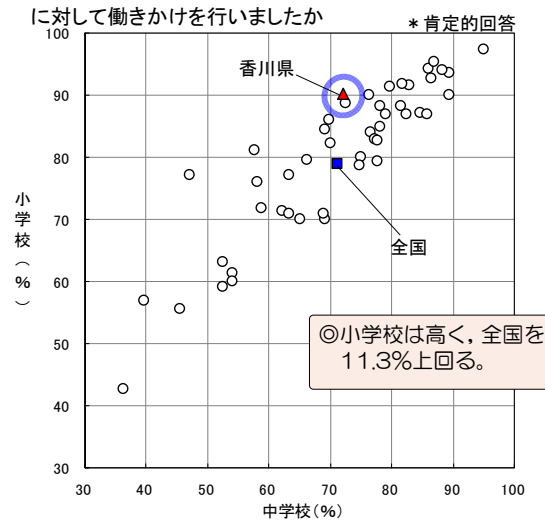
■59/52 独自の調査等の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行いましたか



保護者等への働きかけ

[学校質問紙]

■60/53 独自の調査等の結果や学校評価の自校の結果等を踏まえた学力向上のための取組について、保護者や地域の人たちに対して働きかけを行いましたか



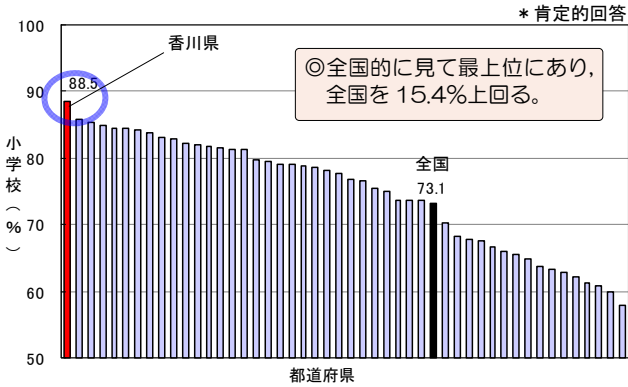
② 異校種間の連携

- ◎「保育所（保育園）や幼稚園との連携を行っている」と回答している小学校の割合は、全国最上位にある。
- 「小中連携を行っている」と回答している学校の割合は、全国と比較して、小学校は低く、中学校は高くなっている。

保育所や幼稚園との連携

[学校質問紙]

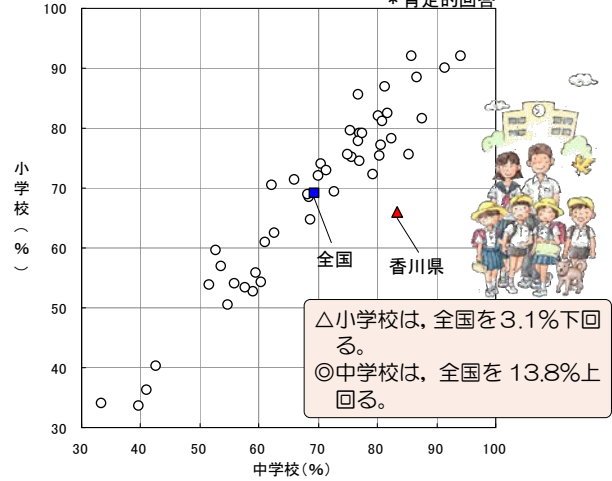
- 84 保育所（保育園）や幼稚園との連携（保育所や幼稚園との合同研修、保育所や幼稚園の幼児と児童の交流など）を行っていますか



小中学校の連携

[学校質問紙]

- 85/75 小・中学校と連携（教師の合同研修、教師の交流、教育課程の接続など）を行っていますか

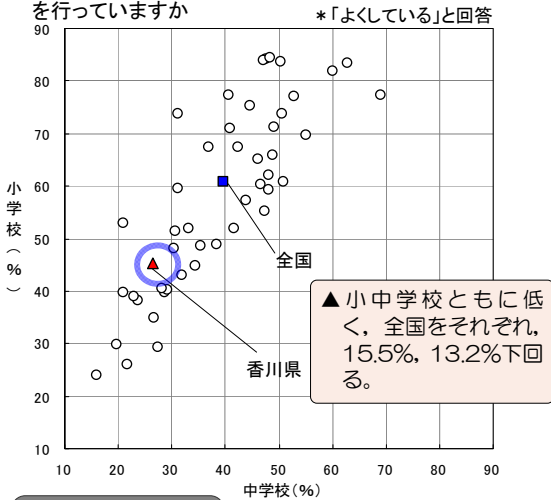


③ 教員研修等

講師を招聘するなどの校内研修

[学校質問紙]

- 108/97 学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っていますか



△「講師を招聘した校内研修の実施や教員が学校外での研修に参加できるようにしている」と回答している小中学校の割合は、全国と比較して低くなっている。

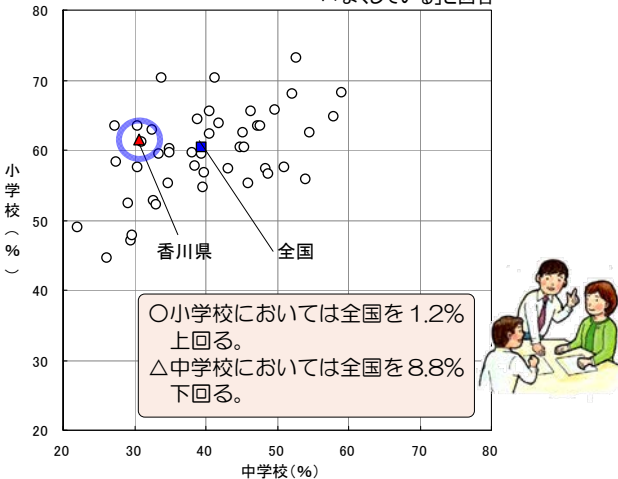
○「授業研究を伴う校内研修を年間15回以上実施した」と回答している中学校の割合は、全国でも上位にある。

△「他校や外部の研修機関などの学校外での研修に積極的に参加している」と回答した小中学校の割合は、ともに全国を下回っている。

実践的な研修

[学校質問紙]

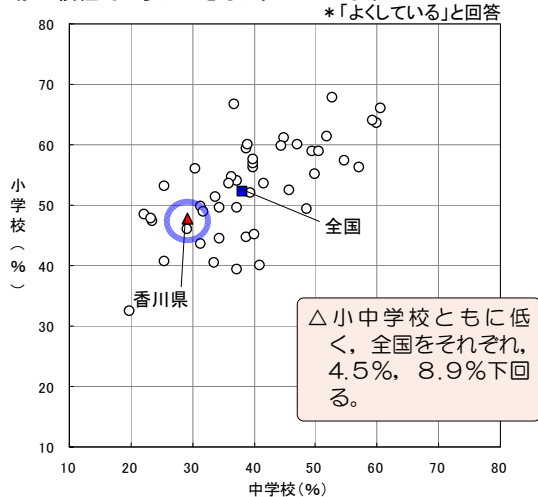
- 109/98 模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っていますか



学校外での研修

[学校質問紙]

- 110/99 教員が、他校や外部の研修機関などの学校外での研修に積極的に参加できるようにしていますか

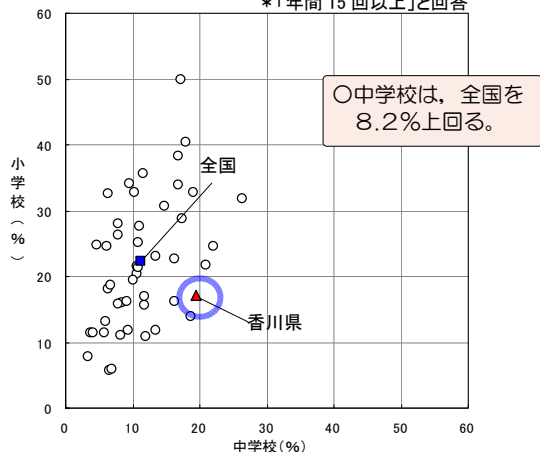


授業研究の実施回数

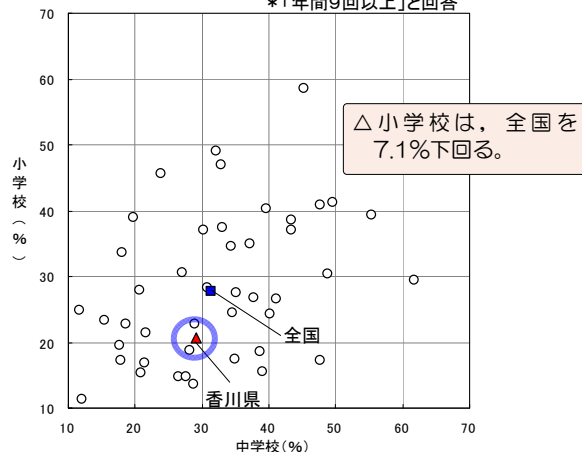
[学校質問紙]

■111/100 授業研究を伴う校内研修を前年度、何回実施しましたか

*「年間15回以上」と回答



*「年間9回以上」と回答



④ 研修成果の反映、教員同士の協力等

○「指導計画の作成にあたって、教職員同士がよく協力し合っている」「学校教育目標等について、全教職員の間で共有し、取組によくあたっている」「校長は、校内の授業をほぼ毎日見回っている」と回答している小学校の割合が、全国と比較して高くなっている。

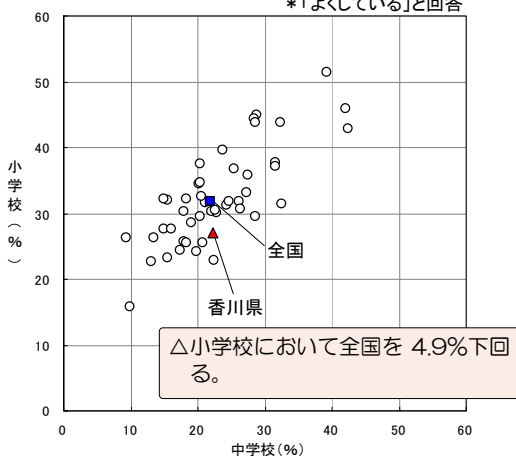
●各質問における上位県は、極めて高い結果を示している。

研修成果の反映

[学校質問紙]

■112/101 教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させていますか

*「よくしている」と回答

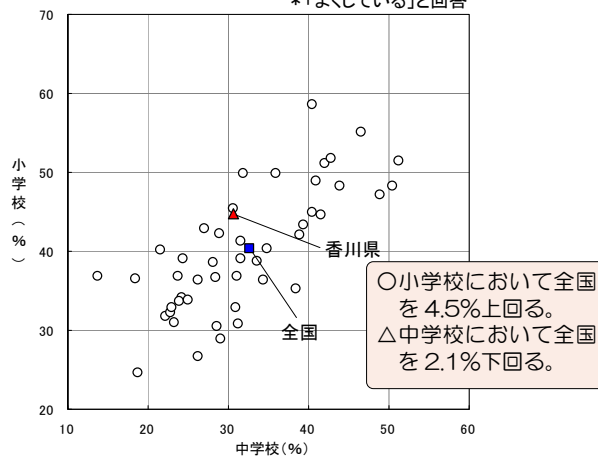


指導計画の作成にあたっての協力

[学校質問紙]

■113/102 指導計画の作成にあたっては、教職員同士が協力していますか

*「よくしている」と回答

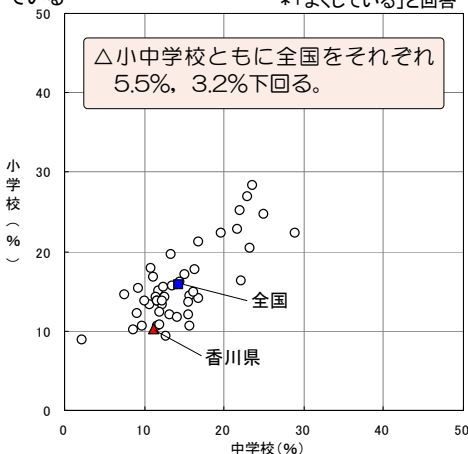


活用に重点を置いた指導計画

[学校質問紙]

■114/103 知識・技能の活用に重点を置いた指導計画を作成している

*「よくしている」と回答

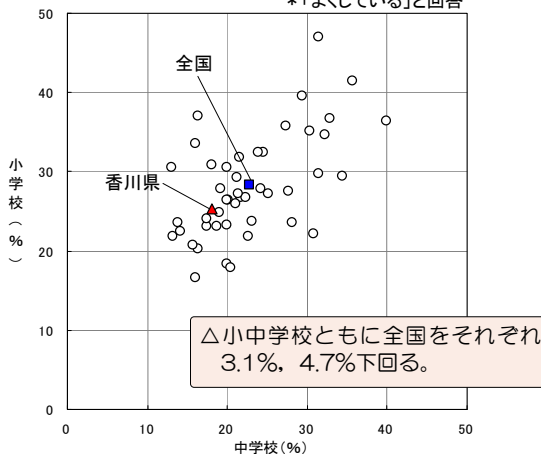


言語活動に重点を置いた指導計画

[学校質問紙]

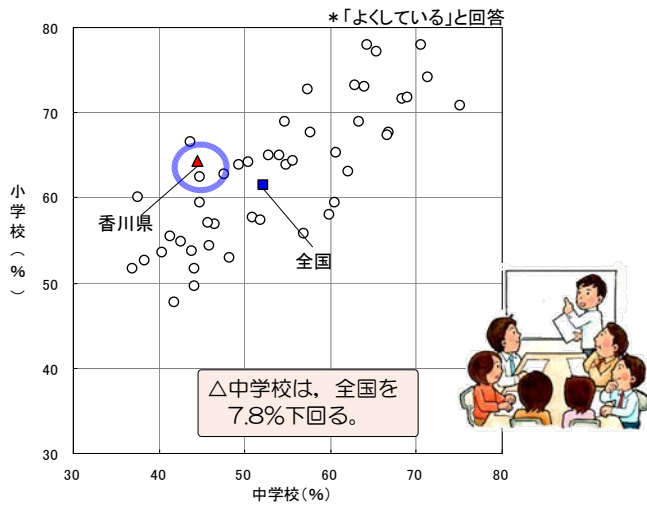
■115/104 言語活動に重点を置いた指導計画を作成している

*「よくしている」と回答



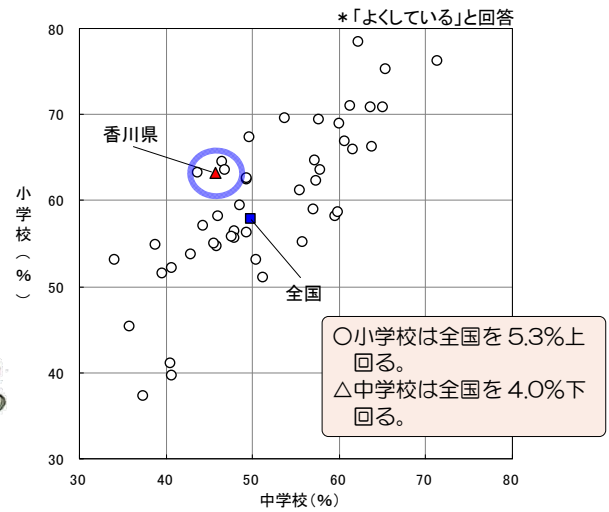
学校教育目標等についての共通理解 [学校質問紙]

■116/105 学校の教育目標やその達成に向けた方策について、全教職員の間で共有し、取組にあたっていますか



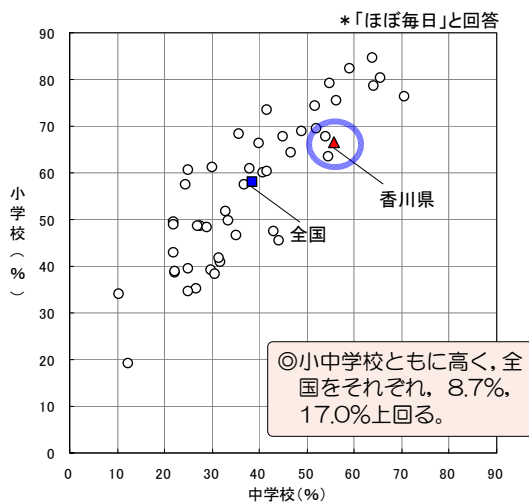
学力傾向や課題の共有 [学校質問紙]

■117/106 学校全体の学力傾向や課題について、全教職員の間で共有していますか



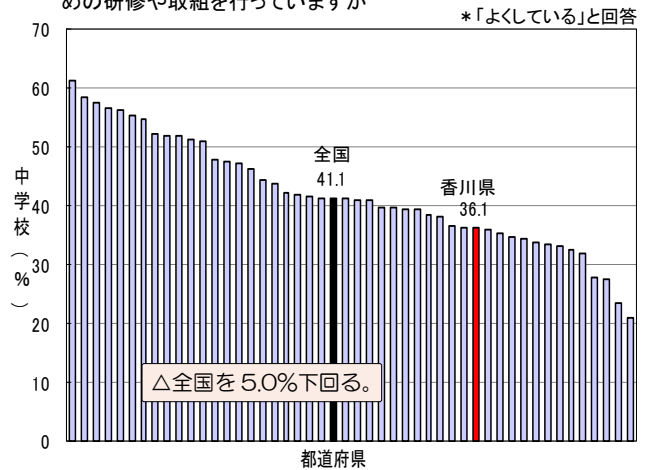
校長による授業参観 [学校質問紙]

■118/108 校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか



【中学校】指導力向上のための研修や取組 [学校質問紙]

■107 教科内にとどまらず学校として組織的に、指導力向上のための研修や取組を行っていますか



[参考] 校内研修資料等 (香川県教育センター)

4 結果に特徴の見られる質問 【児童生徒質問紙】

1段目：都道府県（公立）の割合（%） 2段目：全国（公立）の割合（%）

【小学校】肯定的な回答が3%以上全国を上回る質問

共通 番号	小学校 質問番号			中学校 質問番号			掲載P	H24 番号	質問事項	小	選 択 肢 (p80参照)								その他 *	無回答	1の差 1+2の差
	I	II	III	I	II	III					1	2	3	4	5	6	7	8			
	18	(8)	(8)	(18)	(8)	(8)					(18)	126	(7)	普段（月～金曜日）、何時ごろに起きますか	小	12.1 10.2	42.0 31.3	38.1 38.5			
54		(35)			(35)		132	新	新聞を読んでいますか	小	13.1 12.1	24.8 19.6	25.0 22.2	37.1 46.1					0.0 0.1	0.0 0.0	1.0 6.2
121		(74)					108	新	普段の生活で、学習した図形の性質をもとに、身のまわりのものを観察し、二等辺三角形や円などの図形を見付けたことがありますか	小	43.7 38.5	29.8 29.0	17.6 21.1	8.7 11.0					0.1 0.1	0.0 0.4	5.2 6.0
42	(32)	(27)	(37)	(32)	(27)	(37)	124	(26)	家で、学校の授業の復習をしていますか	小	24.8 21.0	32.5 30.4	28.7 31.6	13.8 16.9					0.1 0.1	0.0 0.0	3.8 5.9
79			(57)			(58)	101	新	普段の授業では、はじめに授業の目標（めあて・ねらい）が示されていると思いますか	小	63.5 51.0	24.1 31.5	9.4 13.2	2.9 4.2					0.0 0.0	0.0 0.1	12.5 5.1
120		(73)					107	新	算数・数学の授業で身のまわりにある長方形や正方形などの図形の面積を求めたことがありますか	小	43.8 40.9	25.5 24.1	19.0 20.8	11.6 13.7					0.0 0.1	0.0 0.3	2.9 4.3
78		(49)			(49)		119	新	コンピュータや電子黒板を使った授業は分かりやすいと思いますか	小	46.9 41.0	29.0 30.8	8.0 8.4	4.7 4.8	11.2 14.8				0.1 0.1	0.0 0.1	5.9 4.1
31	(21)	(19)	(29)	(21)	(19)	(29)	121	(18)	昼休みや放課後、学校が休みの日に、本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか（教科書や参考書、漫画や雑誌除く）	小	3.3 3.7	20.8 16.8	31.8 24.4	23.1 25.3	20.6 29.4				0.4 0.4	0.0 0.1	-0.4 3.6

【小学校】肯定的な回答が3%以上全国を下回る質問

共通 番号	小学校 質問番号			中学校 質問番号			掲載P	H24 番号	質問事項	小	選 択 肢 (p80参照)								その他 *	無回答	1の差 1+2の差
	I	II	III	I	II	III					1	2	3	4	5	6	7	8			
	61	(41)			(41)							110	新	学校の授業や英会話教室で英語を学び始めたのはいつからですか	小	17.5 17.6	14.6 23.8	24.6 25.1			
84	(53)	(52)	(62)	(53)	(52)	(62)	99	(45)	国語の勉強は好きですか	小	16.4 21.6	33.6 36.3	30.9 27.5	18.9 14.4					0.2 0.1	0.0 0.1	-5.2 -7.9
7			(7)			(7)	133	新	友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか	小	15.0 19.4	27.6 30.2	38.6 35.0	18.7 15.4					0.0 0.0	0.0 0.0	-4.4 -7.0
44	(34)			(34)			123	再	家で、テストで間違えた問題について勉強していますか	小	16.4 21.0	28.0 30.1	35.0 31.2	20.3 17.4					0.1 0.1	0.2 0.2	-4.6 -6.7
90	(59)	(58)	(68)	(59)	(58)	(69)	102	(51)	国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝えるように話の組み立てを工夫していますか	小	14.2 18.0	37.9 39.3	35.8 32.3	12.0 10.3					0.0 0.0	0.0 0.1	-3.8 -5.2
75	(48)	(46)	(54)	(48)	(46)	(54)	90	(40)	普段の授業では、本やインターネットを使って、グループで調べる活動をよく行っていると思いますか	小	14.7 15.5	37.4 41.1	35.5 33.1	12.2 10.1					0.2 0.1	0.0 0.1	-0.8 -4.5
36	(26)	(23)	(33)	(26)	(23)	(33)	130	(22)	携帯電話やスマートフォンの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか	小	24.8 28.1	10.5 11.7	1.5 1.4	6.1 4.8	57.0 53.9				0.2 0.1	0.0 0.0	-3.3 -4.5
93	(62)						104	新	国語の授業で話し合いをするときに、司会者として発言をまとめたり、参加者として立場や理由を明らかにして発言したりしますか	小	14.1 15.0	28.6 32.0	39.3 36.0	17.8 16.7					0.1 0.1	0.1 0.2	-0.9 -4.3
8			(8)			(8)	134	新	自分の行動や発言に自信をもっていますか	小	13.5 16.3	38.4 39.9	36.3 33.8	11.7 10.0					0.1 0.0	0.0 0.0	-2.8 -4.3
17			(17)			(17)	135	新	家の人と将来のことについて話すことがありますか	小	15.9 16.6	39.8 43.1	31.1 28.3	12.9 11.8					0.1 0.1	0.1 0.1	-0.7 -4.0
92	(61)	(60)	(70)	(61)	(60)	(71)	103	(53)	国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとまりごとに内容を理解しながら読んでいますか	小	28.0 31.5	41.3 41.8	23.1 20.5	7.4 6.0					0.1 0.1	0.1 0.1	-3.5 -4.0
70			(49)			(50)	137	新	リーダーとして周りの人をまとめて引っ張っている自信がありますか	小	14.7 17.9	33.7 34.5	32.4 31.5	19.1 15.9					0.1 0.0	0.0 0.0	-3.2 -4.0
91	(60)	(59)	(69)	(60)	(59)	(70)	103	(52)	国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか	小	23.9 27.0	41.2 41.9	27.4 24.2	7.4 6.6					0.1 0.0	0.1 0.1	-3.1 -3.8
86	(55)	(54)	(64)	(55)	(54)	(65)	94	(47)	国語の授業の内容はよく分かりますか	小	28.2 33.3	48.0 46.6	18.1 15.4	5.5 4.5					0.1 0.0	0.0 0.1	-5.1 -3.7
20	(10)	(10)	(20)	(10)	(10)	(20)	127	(9)	普段（月～金曜日）、1日にどれくらいの時間、睡眠をとることが最も多いですか	小	6.7 7.9	27.7 30.1	38.2 36.5	18.3 17.1	6.8 6.5	2.1 1.7			0.2 0.1	0.0 0.0	-1.2 -3.6
94	(63)						104	新	国語の授業で、調べたことや自分の考えたことを読み手に伝えるように気を付けて書いていますか	小	22.2 25.1	43.2 43.7	27.4 24.4	7.0 6.4					0.0 0.1	0.1 0.3	-2.9 -3.4
6	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	133	(5)	自分には、よいところがあると思いますか	小	32.9 34.5	39.7 41.2	18.3 16.9	9.0 7.3					0.1 0.0	0.0 0.0	-1.6 -3.1
72			(51)			(52)	138	新	友達が悪いことをしたときは注意しますか	小	27.3 31.2	47.7 46.9	19.6 17.4	5.3 4.4					0.1 0.1	0.0 0.1	-3.9 -3.1
25	(15)	(13)	(23)	(15)	(13)	(23)	123	(14)	学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾や家庭教師含む）	小	7.7 11.5	16.3 15.6	38.0 36.1	24.6 24.5	10.0 9.0	3.4 3.2			0.1 0.1	0.0 0.0	-3.8 -3.1
39	(29)	(24)	(34)	(29)	(24)	(34)	98	(23)	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	小	23.4 25.6	32.5 33.3	31.1 29.5	12.9 11.6					0.1 0.1	0.0 0.0	-2.2 -3.0
81	(51)	(50)	(59)	(51)	(50)	(60)	101	(43)	400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか	小	46.5 36.8	26.7 28.8	17.1 20.7	9.4 13.4					0.2 0.1	0.1 0.2	9.7 7.6
82	(52)	(51)	(60)	(52)	(51)	(61)	102	(44)	学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか	小	30.3 25.9	33.0 33.4	23.0 25.0	13.4 15.2					0.1 0.1	0.2 0.3	4.4 4.0

【中学校】肯定的な回答が3%以上全国を上回る質問

共通 番号	小学校 質問番号			中学校 質問番号			掲載P H24 番号	質問事項	選 択 肢 (p80参照)								その他 *	無回答	1の差 1+2の差	
	I	II	III	I	II	III			1	2	3	4	5	6	7	8				
	54	(35)			(35)					132	新 新聞を読んでいますか	13.5	18.4	20.6	47.4					
127				(75)			109	新 数学の授業でヒストグラムなどから分かることを説明したことがありますか	12.6	19.0	35.0	33.2						0.0	0.2	4.3
57	(38)			(38)			132	(31) 年上や年下の友達と一緒に遊んだり、勉強したりすることがありますか	26.1	29.2	21.4	23.2						0.0	0.1	3.8
126				(74)			109	新 数学の授業で関数の問題を考えるとき、2つの数量の関係を、表、式、グラフを使って考えるようにしていますか	22.3	28.2	23.5	26.0						0.0	0.1	4.8
124				(72)			108	新 数学の授業で方程式を使って問題を解くために、数量の関係を、表や線分図などで確かめながら式をつくっていますか	14.3	31.5	36.3	17.9						0.0	0.0	2.6
37	(27)			(27)			128	新 家の人(兄弟姉妹除く)に「勉強しなさい」と言われますか	11.7	29.7	38.9	19.1						0.0	0.6	4.4
38	(28)			(28)			128	新 家の人(兄弟姉妹除く)は、授業参観や運動会などの学校の行事に来ますか	16.1	32.0	34.0	17.8						0.0	0.1	2.4
79		(57)		(58)			101	新 普段の授業では、はじめに授業の目標(めあて・ねらい)が示されていると思いますか	13.7	30.1	37.4	18.2						0.0	0.6	4.3
128				(76)			109	新 数学の授業で文字を使った式について学習するとき、表した式が何を意味しているかを考えようとしていますか	40.4	30.4	19.5	9.3						0.0	0.4	6.8
24	(14)			(14)			130	(13) 携帯電話やスマートフォンで通話やメールをしていますか	33.6	33.0	21.7	11.2						0.0	0.5	4.2
									53.8	31.4	11.3	3.3						0.0	0.2	5.4
									48.4	32.8	13.6	4.8						0.0	0.4	4.0
									27.2	44.9	21.2	6.6						0.0	0.1	-1.7
									28.9	39.2	23.6	8.0						0.0	0.2	4.0
									26.2	29.8	26.2	17.7						0.0	0.1	5.0
									21.2	30.9	29.6	17.6						0.0	0.7	3.9
									36.0	21.1	7.0	35.9						0.0	0.1	-1.9
									37.9	23.6	7.0	31.5						0.0	0.1	-4.4

【中学校】肯定的な回答が3%以上全国を下回る質問

共通 番号	小学校 質問番号			中学校 質問番号			掲載P H24 番号	質問事項	選 択 肢 (p80参照)								その他 *	無回答	1の差 1+2の差		
	I	II	III	I	II	III			1	2	3	4	5	6	7	8					
	77	(50)	(48)	(56)	(50)	(48)			(56)	93	(42) 普段の授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていると思いますか	15.5	39.7	33.1	11.6						
60	(40)			(40)			110	新 英語の学習は好きですか	21.7	43.0	27.4	7.7						0.0	0.2	-9.5	
75	(48)	(46)	(54)	(48)	(46)	(55)	90	(40) 普段の授業では、本やインターネットを使って、グループで調べる活動をよく行っていると思いますか	19.3	25.1	25.8	29.7						0.0	0.0	-5.1	
27	(17)	(15)	(25)	(17)	(15)	(25)	123	(16) 学習塾(家庭教師を含む)で勉強をしていますか	24.4	28.6	25.5	21.4						0.0	0.1	-8.6	
7			(7)			(7)	133	新 友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか	4.9	18.3	42.9	33.9						0.0	0.0	-2.1	
36	(26)	(23)	(33)	(26)	(23)	(33)	130	(22) 携帯電話やスマートフォンの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか	7.0	24.4	42.9	25.5						0.0	0.1	-8.2	
98				(62)			105	新 国語の授業で調べたことなどを発表するとき、聞き手のことを考えて資料の作り方を工夫していますか	33.9	17.1	12.9	30.3	5.6					0.1	0.1	-5.7	
9		(9)		(9)			134	新 友達に伝えたいことをうまく伝えることができますか	39.6	18.7	8.9	27.3	5.4					0.1	0.1	-7.3	
44	(34)			(34)			123	再 家で、テストで間違えた問題について勉強していますか	12.1	28.9	40.5	18.5						0.0	0.0	-3.7	
74		(53)		(54)			109	新 「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	15.8	32.5	36.7	14.9						0.0	0.1	-7.3	
13		(13)		(13)			134	新 将来の夢や目標を実現するために努力していますか	20.0	20.6	4.6	12.0	42.6						0.0	0.2	-3.7
63	(43)			(43)			110	新 将来、外国へ留学したり、国際的な仕事に就いたりしてみたいと思いますか	23.7	23.9	4.8	12.1	35.3						0.0	0.2	-7.0
78		(49)		(49)			119	新 コンピュータや電子黒板を使った授業は分かりやすいと思いますか	8.1	34.1	41.3	16.3						0.0	0.2	-2.5	
62	(42)			(42)			110	新 外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思いますか	10.6	37.5	39.0	12.6						0.0	0.4	-6.9	
8		(8)		(8)			134	新 自分の行動や発言に自信をもっていますか	16.4	45.9	31.0	6.5						0.0	0.1	-3.7	
72		(51)		(51)			138	新 友達が悪いことをしたときは注意しますか	20.1	47.4	26.7	5.6						0.0	0.2	-6.2	
61	(41)			(41)			110	新 学校の授業や英会話教室で英語を学び始めたのはいつからですか	10.8	23.8	37.6	27.5						0.0	0.3	-1.1	
84	(53)	(52)	(62)	(53)	(52)	(63)	99	(45) 国語の勉強は好きですか	11.9	27.6	36.8	23.1						0.0	0.6	-4.9	
92	(61)	(60)	(70)	(61)	(60)	(71)	103	(53) 国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめごとに内容を理解しながら読んでいますか	10.9	35.5	36.2	17.3						0.0	0.1	-4.3	
35	(25)	(22)	(32)	(25)	(22)	(32)	128	(21) 家の手伝いをしていますか	15.2	35.9	32.9	15.6						0.0	0.4	-4.7	
83		(61)		(62)			94	新 授業の中で分からないことがあったら、どうすることが多いですか	22.6	37.5	30.1	9.7						0.0	0.1	-5.1	
70		(49)		(50)			137	新 リーダーとして周りの人をまとめて引っ張っていきける自信がありますか	27.7	37.1	25.7	9.3						0.0	0.1	-4.7	
99				(63)			105	新 国語の授業で意見を書くとき、意見の根拠として取り上げる資料や具体例が適切かどうかをよく考えて使っていますか	11.2	14.2	26.7	47.5						0.0	0.4	-3.0	
17		(17)		17			135	新 家の人と将来のことについて話すことがありますか	14.2	15.7	28.0	41.6						0.0	0.5	-4.5	
101				(65)			105	新 日常生活や国語の授業で分からない言葉に出合ったとき、辞書を引いて言葉の意味を理解するようにしていますか	24.7	30.7	9.2	5.0	30.0					0.2	0.2	-1.5	
90	(59)	(58)	(68)	(59)	(58)	(69)	102	(51) 国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝えるように話の組み立てを工夫していますか	26.2	33.6	11.9	6.3	21.7					0.1	0.2	-4.4	
81	(51)	(50)	(59)	(51)	(50)	(60)	101	(43) 400字詰め原稿用紙2~3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか	30.6	25.9	19.0	24.6						0.0	0.0	-2.1	
									32.7	28.1	19.1	19.8						0.0	0.2	-4.3	
									10.7	34.8	43.0	11.4						0.0	0.0	-1.2	
									11.9	37.9	39.5	10.7						0.0	0.1	-4.3	
									19.5	47.2	25.8	7.4						0.0	0.2	-2.2	
									21.7	49.2	23.1	5.7						0.0	0.3	-4.2	
									10.1	8.0	15.9	44.0	21.8					0.0	0.1	-0.6	
									10.7	11.6	18.7	39.1	19.6					0.0	0.2	-4.2	
									19.4	34.4	29.6	16.3						0.0	0.2	-1.3	
									20.7	37.0	28.7	13.2						0.0	0.4	-3.9	
									18.8	41.9	29.3	9.8						0.0	0.2	-2.2	
									21.0	43.5	27.1	7.9						0.0	0.4	-3.8	
									19.3	41.4	29.2	10.0						0.0	0.1	-1.5	
									20.8	43.7	26.7	8.7						0.0	0.1	-3.8	
									8.9	12.5	37.6	7.7	18.8	13.7				0.4	0.5	-3.2	
									12.1	12.7	41.7	7.0	15.8	8.9				0.6	1.2	-3.4	
									8.6	26.0	39.2	26.1						0.1	0.0	-1.7	
									10.3	27.7	37.8	24.1						0.0	0.2	-3.4	
									9.4	37.3	39.0	13.9						0.0	0.4	-2.6	
									12.0	38.0	37.7	11.8						0.0	0.5	-3.3	
									14.6	44.7	29.6	11.1						0.0	0.1	-1.8	
									16.4	46.1	26.8	10.6						0.0	0.1	-3.2	
									16.4	28.7	33.5	21.1						0.0	0.3	-1.7	
									18.1	30.1	33.0	18.3						0.0	0.5	-3.1	
									9.4	34.7	40.9	14.8						0.0	0.2	-1.6	
									11.0	36.1	39.6	13.0						0.0	0.3	-3.0	
									44.7	26.2	16.6	12.0						0.0	0.4	5.0	
									39.7	28.0	19.1	12.7						0.0	0.5	3.2	

5 結果に特徴の見られる質問 【学校質問紙】

【小学校】肯定的な回答が5%以上全国を上回る質問

小学校 質問番号	中学校 質問番号	掲載P	H24 番号	質問事項	1項目：都道府県（公立）の割合（%） 2項目：全国（公立）の割合（%）										その他* ・無回答	1の差 1+2の差		
					選 択 肢 (p87参照)													
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10				
61	54	117	41	対象児童に対して、前年度に、算数の授業において、習熟の遅いグループに少人数指導を行い、習得できるようにしましたか	23.6	25.9	8.6	8.6	32.8								0.6	3.9
					19.7	10.0	11.4	12.6	46.1							0.2	19.8	
32	26	116	19	対象児童に対して、前年度に、放課後を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか	3.4	31.0	20.7	28.2	4.6	11.5						0.6	0.8	
					2.6	14.1	12.8	19.4	12.8	38.2						0.2	17.7	
59	52	143	39	平成24年度全国学力・学習状況調査や独自の調査等の結果について、保護者や地域の人たちに公表や説明をしましたか	20.7	69.0	9.8									0.6	4.7	
					16.0	57.1	26.7									0.2	16.6	
84	*	144	67	保育所（保育園）や幼稚園との連携（保育所・幼稚園との合同研修、保育士・教師の交流、幼児と児童の交流など）を行っていますか	29.3	59.2	10.3	1.1								0.0	6.2	
					23.1	50.0	22.4	4.4								0.1	15.4	
63	56	117	43	対象児童に対して、前年度に、算数の授業において、習熟度別の少人数指導を行うにあたって、学習集団をどう編制しましたか	51.1	13.2	33.9									1.7	14.6	
					36.5	13.7	47.9									1.9	14.1	
67	60	117	新	対象児童に対して、前年度に、国語の授業において、チームティーチングによる指導を行いましたか	9.8	6.3	5.2	6.3	71.8							0.6	7.4	
					2.4	1.9	3.6	9.8	82.2							0.2	11.8	
62	55	117	42	対象児童に対して、前年度に、算数の授業において、習熟の早いグループに発展的な内容について少人数指導を行いましたか	14.4	19.0	14.4	16.1	35.6							0.6	1.4	
					13.0	8.7	11.7	16.0	50.4							0.2	11.7	
60	53	143	40	平成24年度全国学力・学習状況調査、独自調査や学校評価の結果等を踏まえた学力向上の取組を保護者等に働きかけましたか	11.5	78.7	9.2									0.6	-0.8	
					12.3	66.6	20.9									0.2	11.3	
68	61	118	新	対象児童に対して、第4学年のときに、国語の授業において、チームティーチングによる指導を行いましたか	8.6	5.2	7.5	5.7	72.4							0.6	6.3	
					2.3	1.6	3.6	9.1	83.1							0.3	9.9	
101	90	96	82 79	対象児童に対する算数の指導として、前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、教職員で共通理解を図りましたか	48.3	48.9	2.3	0.0								0.6	6.0	
					42.3	45.4	11.3	0.8								0.1	9.5	
58	51	143	38	平成24年度全国学力・学習状況調査や独自の調査等の結果を、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか	26.4	71.3	1.7									0.6	4.7	
					21.7	67.0	11.1									0.2	9.0	
97	86	96	78 75	対象児童に対する国語の指導として、前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、教職員で共通理解を図りましたか	50.0	46.6	2.9	0.0								0.6	8.0	
					42.0	45.7	11.3	0.8								0.1	8.9	
65	58	106	45	対象児童に対して、第4学年のときに、算数の授業において習熟の遅いグループに少人数指導で習得できるようにしましたか	16.7	15.5	19.0	12.1	36.2							0.6	1.5	
					15.2	8.7	10.6	12.5	52.6							0.4	8.3	
64	57	117	44	対象児童に対して、前年度に、算数の授業において、習熟度別の少人数指導を行うにあたって、どのような教材を用いましたか	13.2	39.1	14.4	0.6	31.6							1.1	0.7	
					12.5	32.3	7.7	1.9	44.9							0.7	7.5	
57	50	143	37	平成24年度全国学力・学習状況調査や独自の調査等の結果を利用し、具体的な教育指導の改善を行いましたか	31.0	68.4	0.0									0.6	7.2	
					23.8	68.3	7.7									0.2	7.3	
71	64	116	47	対象児童に対する国語の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか	10.3	63.8	24.7	0.6								0.6	-2.1	
					12.4	55.4	28.6	3.5								0.1	6.3	

【小学校】肯定的な回答が5%以上全国を下回る質問

小学校 質問番号	中学校 質問番号	掲載P	H24 番号	質問事項	1項目：都道府県（公立）の割合（%） 2項目：全国（公立）の割合（%）										その他* ・無回答	1の差 1+2の差	
					選 択 肢 (p87参照)												
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10			
88	78	140	71 69	対象児童に対して、前年度までに、博物館や科学館、図書館を利用した授業を行いましたか	2.3	14.4	63.2	19.5								0.6	-2.9
					5.2	32.3	47.6	14.7								0.2	-20.8
87	77	140	70 68	対象児童に対して、前年度までに、ボランティア等による授業サポート（補助）を行いましたか	3.4	18.4	37.4	40.2								0.6	-10.0
					13.4	29.0	31.1	26.4								0.2	-20.6
30	24	121	17	対象児童に対して、前年度に、「朝の読書」などの一斉読書の時間を設けましたか	13.2	30.5	55.2	0.6	0.0	0.0						0.6	-6.1
					19.3	42.6	28.7	3.1	4.5	1.5						0.2	-18.2
51	44	119	新	対象児童に対して、前年度までに、コンピュータ等の基本的な操作を身に付ける指導を行いましたか	10.9	61.5	23.0	4.0								0.6	-20.2
					31.1	58.7	9.8	0.3								0.1	-17.4
52	45	119	新	対象児童に対して、前年度までに、情報通信技術を活用し、協働学習や課題発見・解決型の指導を行いましたか	0.6	30.5	55.7	12.6								0.6	-6.9
					7.5	39.1	46.4	6.9								0.1	-15.5
44	38	90	28	対象児童に対して、前年度までに、本やインターネットなどの資料の調べ方が身に付くよう指導しましたか	11.5	66.7	20.7	0.6								0.6	-17.8
					29.3	62.0	8.5	0.1								0.1	-13.1
72	65	116	48	対象児童に対する国語の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	1.1	24.1	69.5	4.6								0.6	-2.3
					3.4	34.2	56.0	6.2								0.1	-12.4
86	76	140	69 67	対象児童に対して、前年度までに、地域の人材を外務講師として招聘した授業を行いましたか	19.5	48.9	29.3	1.7								0.6	-8.1
					27.6	51.7	17.9	2.6								0.2	-10.9
53	46	119	32	対象児童に対して、前年度に、国語の授業において、普通教室でのインターネットを活用した授業を行いましたか	1.1	5.7	29.9	62.6								0.6	-1.3
					2.4	13.9	30.4	53.1								0.2	-9.5
31	25	121	18	対象児童に対して、前年度に、学校図書館を活用した授業を計画的に行いましたか	10.9	27.0	38.5	19.0	4.0							0.6	-5.2
					16.1	30.0	32.5	17.6	3.5							0.2	-8.2
92	81	141	74 72	学校支援ボランティアの仕組みにより、保護者等が様々な活動に参加してくれますか	29.3	44.3	5.7	20.1								0.6	-8.4
					37.7	43.2	4.0	15.0								0.1	-7.3
111	100	145	95 92	授業研究を伴う校内研修を前年度に何回実施しましたか	17.2	3.4	9.2	10.9	28.2	22.4	6.9	0.6	0.0		1.1	-5.0	
					22.2	5.5	8.1	11.3	19.4	18.8	12.6	1.6	0.0		0.4	-7.1	
54	47	120	新	対象児童に対して、前年度に、国語の授業において、発表などする際に児童がコンピュータを使う活動を行いましたか	1.1	7.5	37.4	53.4								0.6	-0.7
					1.8	13.0	41.3	43.8								0.2	-6.2
56	49	120	新	対象児童に対して、前年度に、算数の授業において、発表などする際に児童がコンピュータを使う活動を行いましたか	1.7	4.6	23.6	69.5								0.6	-0.5
					2.2	9.4	28.1	60.1								0.2	-5.3
45	39	92	29	対象児童に対して、前年度までに、資料を使って発表ができるよう指導しましたか	16.7	64.4	18.4	0.0								0.6	-6.4
					23.1	63.1	13.6	0.1								0.1	-5.1

【中学校】肯定的な回答が5%以上全国を上回る質問

小学校 質問番号	中学校 質問番号	掲載P	H24 番号	質問事項		1段目：都道府県（公立）の割合（%） 2段目：全国（公立）の割合（%）									その他* ・無回答	1の差 1+2の差		
						選 択 肢 (p87参照)												
						1	2	3	4	5	6	7	8	9				
59	52	143	39	平成24年度全国学力・学習状況調査や独自の調査等の結果について、保護者や地域の人たちに公表や説明をしましたか	中	13.9	70.8	13.9									1.4	-0.3
						14.2	54.4	31.2									0.2	16.1
118	108	146	99 96	校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか	中	55.6	36.1	8.3	0.0								0.0	17.0
						38.6	38.6	21.6	0.8								0.4	14.5
85	75	144	66	教科の指導内容や指導方法について近隣の中学校と連携（教師の合同研修、教師の交流、教育課程の接続など）を行っていますか	中	25.0	58.3	12.5	2.8								1.4	-1.9
						26.9	42.6	25.5	5.0								0.1	13.8
105	94	142	90 87	学校の教育活動の情報について、前年度にどれくらいの頻度でホームページを更新し、情報提供を行いましたか	中	25.0	50.0	8.3	11.1	4.2							1.4	1.0
						24.0	38.2	13.7	11.5	12.5							0.1	12.8
58	51	143	38	平成24年度全国学力・学習状況調査や独自の調査等の結果を、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか	中	19.4	73.6	5.6									1.4	2.4
						17.0	67.9	14.9									0.2	8.1
42	36	138	27	前年度までに、生徒に対して、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか	中	29.2	58.3	11.1	0.0								1.4	4.4
						24.8	56.3	18.5	0.2								0.1	6.4
95	84	125	76 73	対象生徒に対する国語の指導として、前年度までに、家庭学習の課題（宿題）を与えましたか	中	54.2	41.7	2.8	0.0								1.4	7.5
						46.7	42.9	10.0	0.3								0.1	6.3
111	100	145	95 92	授業研究を伴う校内研修を前年度に何回実施しましたか	中	19.4	0.0	2.8	6.9	15.3	19.4	27.8	6.9	0.0			1.4	8.2
						11.2	3.0	6.1	11.0	12.5	18.0	26.8	10.8	0.4			0.2	5.2

【中学校】肯定的な回答が5%以上全国を下回る質問

小学校 質問番号	中学校 質問番号	掲載P	H24 番号	質問事項		選 択 肢 (p87参照)									その他* ・無回答	1の差 1+2の差		
						選 択 肢 (p87参照)												
						1	2	3	4	5	6	7	8	9				
52	45	119	新	対象生徒に対して、前年度までに、情報通信技術を活用し、協働学習や課題発見・解決型の指導を行いましたか	中	2.8	20.8	65.3	9.7								1.4	-4.8
						7.6	37.3	47.9	7.1								0.1	-21.3
44	38	90	28	対象生徒に対して、前年度までに、本やインターネットなどの資料の調べ方が身に付くよう指導しましたか	中	4.2	52.8	38.9	2.8								1.4	-12.7
						16.9	59.4	23.3	0.3								0.1	-19.3
96	85	98	77 74	対象生徒に対する国語の指導として、前年度までに、保護者に対して児童の家庭学習を促すような働きかけを行いましたか	中	13.9	43.1	37.5	4.2								1.4	-9.7
						23.6	48.4	24.2	3.7								0.1	-15.0
79	71	117	54	対象生徒に対する算数の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	中	5.6	38.9	51.4	2.8								1.4	-4.1
						9.7	48.6	38.4	3.1								0.1	-13.8
30	24	121	17	対象生徒に対して、前年度に、「朝の読書」などの一斉読書の時間を設けましたか	中	36.1	30.6	8.3	5.6	9.7	8.3						1.4	-28.7
						64.8	14.6	2.4	2.9	8.0	7.2						0.1	-12.7
45	39	92	29	対象生徒に対して、前年度までに、資料を使って発表ができるよう指導しましたか	中	12.5	52.8	33.3	0.0								1.4	-3.1
						15.6	61.2	22.8	0.3								0.1	-11.5
61	54	117	41	対象生徒に対して、前年度に、算数の授業において、習熟の遅いグループに少人数指導を行い、習得できるようにしましたか	中	8.3	4.2	16.7	8.3	61.1							1.4	-9.3
						17.6	6.1	8.2	8.7	59.3							0.1	-11.2
47	41	109	新	対象生徒に対して、前年度までに、総合的な学習の時間で、課題の設定から始まる探究の過程を意識した指導をしましたか	中	20.8	48.6	27.8	1.4								1.4	-7.7
						28.5	52.0	18.9	0.5								0.1	-11.1
25	19	115	新	対象生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、相手の考えを最後まで聞くことができていると思いますか	中	9.7	62.5	27.8	0.0								0.0	-8.1
						17.8	64.8	16.4	0.8								0.2	-10.4
100	89	98	81 78	対象生徒に対する数学の指導として、前年度までに、保護者に対して児童の家庭学習を促すような働きかけを行いましたか	中	19.4	43.1	33.3	2.8								1.4	-4.2
						23.6	49.1	23.7	3.4								0.1	-10.2
97	86	96	78 75	対象生徒に対する国語の指導として、前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、教職員で共通理解を図りましたか	中	29.2	38.9	27.8	2.8								1.4	-1.6
						30.8	47.3	19.4	2.4								0.1	-10.0
62	55	117	42	対象生徒に対して、前年度に、数学の授業において、習熟の早いグループに発展的な内容について少人数指導を行いましたか	中	6.9	2.8	15.3	12.5	61.1							1.4	-6.9
						13.8	5.7	8.1	10.1	62.1							0.2	-9.8
65	58	106	45	対象生徒に対して、第1学年のときに、数学の授業において習熟の遅いグループに少人数指導で習得できるようにしましたか	中	4.2	4.2	6.9	8.3	73.6							2.8	-8.5
						12.7	5.2	6.8	8.7	66.4							0.2	-9.5
72	65	116	48	対象生徒に対する国語の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	中	9.7	34.7	48.6	5.6								1.4	2.5
						7.2	46.5	41.8	4.4								0.1	-9.3
73	66	103	49	対象生徒に対する国語の指導として、前年度までに、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行いましたか	中	12.5	58.3	27.8	0.0								1.4	-5.8
						18.3	61.7	19.2	0.6								0.2	-9.2
37	31	92	22	対象生徒に対して、前年度までに、児童の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか	中	18.1	65.3	15.3	0.0								1.4	-4.3
						22.4	69.4	8.0	0.0								0.1	-8.4
115	104	145	新	言語活動に重点を置いた指導計画を作成していますか	中	18.1	56.9	23.6	1.4								0.0	-4.7
						22.8	60.1	16.8	0.2								0.1	-7.9
66	59	106	46	対象生徒に対して、第1学年のときに、数学の授業において、習熟の早いグループに発展的な内容の少人数指導を行いましたか	中	4.2	2.8	8.3	8.3	73.6							2.8	-5.9
						10.1	4.6	6.8	9.5	68.7							0.2	-7.7
87	77	140	70 68	対象生徒に対して、前年度までに、ボランティア等による授業サポート（補助）を行いましたか	中	2.8	12.5	23.6	59.7								1.4	-4.6
						7.4	15.4	26.3	50.9								0.1	-7.5
101	90	96	82 79	対象生徒に対する数学の指導として、前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、教職員で共通理解を図りましたか	中	30.6	40.3	23.6	4.2								1.4	-0.9
						31.5	46.9	18.9	2.5								0.1	-7.5
70	63	118	新	対象生徒に対して、第1学年のときに、数学の授業において、ティームティーチングによる指導を行いましたか	中	13.9	6.9	12.5	6.9	56.9							2.8	-6.1
						20.0	7.5	9.8	10.7	51.8							0.2	-6.7
21	15	115	10	対象生徒は、熱意をもって勉強していると思いますか	中	9.7	72.2	18.1	0.0								0.0	-10.0
						19.7	68.8	11.1	0.3								0.1	-6.6
46	40	102	30	対象生徒に対して、前年度までに、児童が自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をしましたか	中	11.1	68.1	19.4	0.0								1.4	-8.3
						19.4	66.3	14.2	0.1								0.1	-6.5
38	32	91	23	対象児童生徒に対して、前年度までに、児童の発言や活動の時間を確保して授業を進めましたか	中	23.6	63.9	9.7	1.4								1.4	-6.0
						29.6	63.7	6.6	0.0								0.1	-5.8
109	98	144	93 90	模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っていますか	中	30.6	50.0	19.4	0.0								0.0	-8.8
						39.4	47.0	12.9	0.6								0.0	-5.8
43	37	93	新	対象生徒に対して、前年度までに、学級やグループで話し合う活動を授業などで行いましたか	中	20.8	61.1	16.7	0.0								1.4	-9.4
						30.2	57.4	12.2	0.2								0.1	-5.7
69	62	117	新	対象生徒に対して、前年度に、数学の授業において、ティームティーチングによる指導を行いましたか	中	12.5	9.7	12.5	15.3	47.2							2.8	-7.8
						20.3	7.4	10.7	11.2	50.2							0.2	-5.5
104	93	95	85 82	対象生徒に対して、前年度までに、家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えましたか（国・数共通）	中	20.8	61.1	16.7	0.0								1.4	-6.0
						26.8	60.3	12.1	0.3								0.5	-5.2

※【その他】とは、『選択肢以外の回答や複数回答』されたものである。 ※各質問の選択項目は、p87を参照。